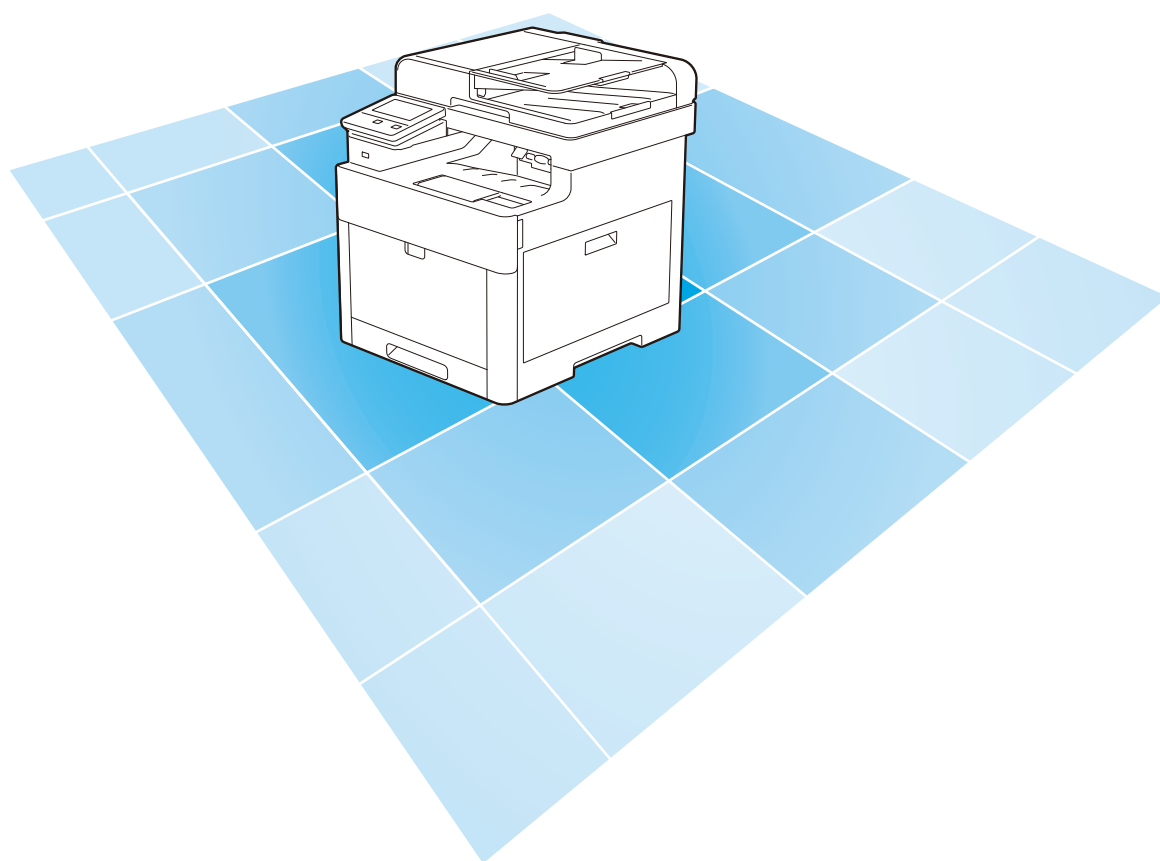


ColorMultiWriter 400F

カラープリンタ複合機



ユーザーズマニュアル

AdobeおよびPhotoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows Vista、Windows、Windows Server、およびInternet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Bonjour、iPad、iPhone、Mac OS、OS Xは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

AirPrintおよびAirPrintロゴは、Apple Inc.の商標です。

Google、Google Chrome、Google Cloud Print、Google Play、およびAndroidは、Google Inc.の登録商標または商標です。

RSAおよびBSAFEは、EMCコーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

RSA BSAFEについて

本機は、EMCコーポレーションのRSA® BSAFE®ソフトウェアを搭載しています。



この取扱説明書のなかで ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 1 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- 2 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 3 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- 4 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- 5 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

NEC、NECロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。

MULTIWRITERおよびCentreWare は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

はじめに

このたびはColor MultiWriter 400F（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読みなおしてご利用いただけます。

日本電気株式会社

目次

はじめに	3
1 お使いいただく前に	9
1.1 マニュアル体系	10
1.1.1 本機に付属するマニュアル	10
1.1.2 オプション製品に付属するマニュアル	10
1.2 本書の使いかた	11
1.2.1 本書の構成	11
1.2.2 本書の表記	12
1.3 各部の名称	13
1.3.1 前面／内部／背面	13
1.3.2 自動原稿送り装置	16
1.3.3 操作パネル	16
2 本機のセットアップ	18
2.1 Wi-Fiアダプターを取り付ける	19
2.2 電源について	20
2.2.1 電源を入れる	20
2.2.2 電源を切る	21
2.3 本機をコンピューターと接続する	22
2.3.1 概要	22
2.3.2 無線 LAN で接続する	23
2.3.3 有線 LAN で接続する	25
2.3.4 USB で接続する	26
2.3.5 Windows® 用のソフトウェアをインストールする	26
2.3.6 Mac 用のソフトウェアをインストールする	30
2.3.7 Linux 用のプリンタードライバをインストールする	32
2.4 IPアドレスを設定する	33
2.4.1 IP アドレスを設定する	33
2.4.2 ネットワーク設定を確認する	34
2.5 ファクスを設定する	35
2.5.1 本機を電話回線に接続する	35
2.5.2 ファクスの初期設定をする	36
3 本機の基本操作	38
3.1 操作パネルを使用する	39
3.1.1 ホーム画面について	39
3.1.2 タッチパネルディスプレイの基本操作	41
3.1.3 ホーム画面をカスタマイズする	41
3.1.4 文字を入力する	44
3.1.5 パネル操作を制限する	45
3.2 ホーム画面の機能ボタンについて	47
3.2.1 [コピー]	47
3.2.2 [ID カードコピー]	49
3.2.3 [ファクス]	51
3.2.4 [スキャナー (メール送信)]	53
3.2.5 [USB]	54
3.2.6 [スキャナー (ネットワーク)]	59
3.2.7 [スキャナー (WSD)]	61
3.2.8 [スキャナー (PC 保存)]	61
3.2.9 [アドレス帳]	63

3.2.10	[機器設定]	64
3.2.11	[ジョブ]	65
3.3	本機の設定メニューについて	66
3.3.1	[言語設定]	66
3.3.2	[機器情報]	66
3.3.3	[レポート / リスト]	66
3.3.4	[トレイ設定]	68
3.3.5	[消耗品]	69
3.3.6	[メーター]	69
3.3.7	[一般]	69
3.3.8	[ネットワーク設定]	75
3.3.9	[アプリの初期値]	81
3.3.10	[セキュリティ設定]	81
3.3.11	[メンテナンス]	85
3.3.12	[高度な設定]	87
3.4	節電機能について	94
3.4.1	節電状態に移行する	94
3.4.2	節電機能の種類	94
3.4.3	節電状態に移行する時間を変更する	94
3.4.4	節電状態から復帰する	94
3.5	用紙について	95
3.5.1	弊社推奨の用紙	95
3.5.2	各トレイで利用できる用紙	95
3.5.3	用紙の保管と取り扱い	98
3.6	用紙をセットする	99
3.6.1	トレイ 1 とトレイモジュール (トレイ 2) (オプション) に用紙をセットする	99
3.6.2	手差しトレイに用紙をセットする	102
3.6.3	はがき、往復はがきをセットする	104
3.6.4	封筒をセットする	106
3.7	原稿をセットする	108
3.7.1	自動原稿送り装置にセットする	108
3.7.2	原稿ガラスにセットする	109

4 プリント 110

4.1	コンピューターからプリントする	111
4.2	プリントを中止する	112
4.2.1	操作パネルで中止する	112
4.2.2	コンピューターで中止する	112
4.3	カラープリントジョブを白黒でプリントする	113
4.4	蓄積プリント	114
4.4.1	概要	114
4.4.2	蓄積プリントをする	114
4.5	USBメモリーのファイルをプリントする (USBダイレクトプリント)	116
4.5.1	利用できる USB メモリーとプリントできるファイルについて	116
4.5.2	USB メモリーのファイルをプリントする	116

5 コピー 118

5.1	コピーの基本操作	119
5.1.1	原稿送り装置を使う	119
5.1.2	原稿ガラスを使う	119
5.2	IDカードをコピーする	121
5.3	コピー設定を変更する	122

6 スキャン 123

6.1	概要	124
6.2	本機の操作パネルを使ってスキャンする	125
6.2.1	スキャンしたデータをコンピューターに保存する	125
6.2.2	スキャンしたデータを USB メモリーに保存する (スキャナー (USB 保存))	130
6.2.3	スキャンしたデータをメールで送信する (スキャナー (メール送信))	131
6.3	コンピューターからスキャンする	134
6.3.1	Windows®	134
6.3.2	Mac.....	137
6.4	スキャン設定を変更する	138
7	ファクス	139
7.1	ファクスを送信する	140
7.1.1	ファクス送信の基本操作	140
7.1.2	オンフック機能を使って送信する.....	140
7.1.3	時刻を指定して送信する	141
7.1.4	コンピューターからファクスを送信する (ダイレクトファクス)	142
7.2	ファクスを受信する	146
7.2.1	自動で受信する	146
7.2.2	手動で受信する	146
7.2.3	セキュリティ受信モードを使う.....	147
7.2.4	ポーリング受信をする	149
7.3	ファクス設定を変更する	150
8	スマートフォン/タブレットからのプリント、スキャン.....	151
8.1	本機をスマートフォン/タブレットと接続する	152
8.1.1	Wi-Fi で接続する	152
8.1.2	Wi-Fi Direct で接続する	152
8.2	Print Utilityを使ってプリント、スキャンする	156
8.3	その他のサービスを利用する.....	157
8.3.1	AirPrint.....	157
8.3.2	Google クラウド プリント	158
8.3.3	Mopria プリントサービス.....	160
9	便利な使いかた	162
9.1	CentreWare Internet Services	163
9.1.1	Web ブラウザーの設定.....	163
9.1.2	CentreWare Internet Services を起動する.....	164
9.1.3	ユーザー認証とセキュリティ	165
9.2	本機のソフトウェア	166
9.2.1	概要	166
9.2.2	ソフトウェアをアップデートする.....	166
9.3	アドレス帳	167
9.3.1	アドレス帳で利用できる機能	167
9.3.2	アドレス帳に宛先を登録する	167
9.3.3	アドレス帳から宛先を指定する	169
9.3.4	アドレス帳の宛先を編集/削除する	169
9.3.5	LDAP サーバーのアドレス帳を使用する	171
10	セキュリティ機能	175
10.1	プリント集計管理	176
10.1.1	概要	176
10.1.2	登録ユーザーだけにプリントを許可する.....	177
10.1.3	登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する.....	179

10.1.4	アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する	185
10.1.5	プリントの利用状況を確認する	186
10.2	暗号化機能を使う	187
10.2.1	事前準備をする	187
10.2.2	暗号化機能を設定する	191
11	日常管理	193
11.1	消耗品を交換する	194
11.1.1	トナーカートリッジを交換する	194
11.1.2	ドラムカートリッジを交換する	196
11.1.3	トナー回収ボトルを交換する	201
11.2	清掃する	204
11.2.1	本体外部を清掃する	204
11.2.2	タッチパネルディスプレイを清掃する	204
11.2.3	本体内部を清掃する	204
11.2.4	原稿ガラス、原稿読み取りガラス、原稿読み取りガラスカバー、原稿ガラスカバーを清掃する	214
11.2.5	自動原稿送り装置のローラー部を清掃する	216
11.3	出力したページ数を確認する	217
11.3.1	メーター別に確認する	217
11.3.2	ユーザー別に確認する	217
12	困ったときには	218
12.1	紙詰まりに対処する	219
12.1.1	原稿が詰まった場合	219
12.1.2	用紙が詰まった場合	221
12.2	トラブルを解決する	229
12.2.1	メニュー設定のトラブル	229
12.2.2	プリントのトラブル	229
12.2.3	画質のトラブル	231
12.2.4	コピーのトラブル	245
12.2.5	スキャンのトラブル	246
12.2.6	ファクスのトラブル	247
12.2.7	電子証明書のトラブル	250
12.2.8	無線 LAN 接続のトラブル	250
12.2.9	Wi-Fi Direct のトラブル	251
12.2.10	トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）のトラブル	252
12.2.11	スキャナードライバー／ソフトウェアのトラブル	252
12.2.12	その他のトラブル	253
12.3	エラーコードが表示されたら	254
12.4	修理に出す前に	260
12.4.1	修理依頼について	260
12.4.2	プリンター内の電話帳データ（個人情報）の取り扱いに関して	260
付録		261
主な仕様		262
基本機能 / コピー機能		262
プリント機能		264
スキャン機能		265
ファクス機能		266
ダイレクトファクス機能		266
両面出力機能		267
自動原稿送り装置		267
保証について		268

保証書について	268
保守サービスについて	268
プリンターの耐久性について	269
消耗品の寿命について	270
補修用性能部品について	271
情報サービスについて	271
本機を移動する	273
オプション製品とWi-Fiアダプターを取り外す	275
トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）を取り外す	275
専用キャビネット（オプション）を取り外す	276
トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）と専用キャビネット（オプション）を取り外す	280
専用キャスター台（オプション）を取り外す	284
Wi-Fi アダプターを取り外す	287
最新のソフトウェアを入手する	289
本機のファームウェアを更新する	290
工場出荷時の状態に戻す	291

1 お使いいただく前に

1.1	マニュアル体系	10
1.2	本書の使いかた	11
1.3	各部の名称.....	13

1.1 マニュアル体系

1.1.1 本機に付属するマニュアル

はじめにお読みください

本機の設置手順や本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。

ユーザーズマニュアル（本書）（「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスク）

プリント／コピー／スキャン／ファクス機能の操作方法や、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、日常の管理方法などについて説明しています。

1.1.2 オプション製品に付属するマニュアル

本機ではオプション製品をご用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

1.2 本書の使いかた

本書は、本機を初めてお使いになるかたを対象に、プリント／コピー／スキャン／ファクス機能の操作方法などについて説明しています。



補足

- ・ 本書では特に断りのない限り、コンピューターを使った手順ではMicrosoft® Windows® 7および OS X 10.11 を例に説明しています。

1.2.1 本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 お使いいただく前に (P.9)

操作の前に知っていただきたい本機の基本的な情報について説明しています。

2 本機のセットアップ (P.18)

本機とコンピューターおよびネットワークの接続方法や、ソフトウェアのインストール方法について説明しています。

3 本機の基本操作 (P.38)

本機の画面、使用できる用紙、用紙や原稿のセット方法について説明しています。

4 プリント (P.110)

プリント機能の使いかたについて説明しています。

5 コピー (P.118)

コピー機能の使いかたについて説明しています。

6 スキャン (P.123)

スキャン機能の使いかたについて説明しています。

7 ファクス (P.139)

ファクス機能の使いかたについて説明しています。

8 スマートフォン／タブレットからのプリント、スキャン (P.151)

本機とモバイル機器の接続方法や、モバイル機器からのプリントまたはスキャン方法について説明しています。

9 便利な使いかた (P.162)

本機に付属するソフトウェアや応用機能について説明しています。

10 セキュリティー機能 (P.175)

電子証明書を使ったデータの暗号化機能などセキュリティー機能について説明しています。

11 日常管理 (P.193)

本機の清掃など日常のお手入れについて説明しています。

12 困ったときには (P.218)

トラブルの対処方法について説明しています。

付録 (P.261)

本機の仕様やサポート情報について説明しています。

1.2.2 本書の表記

- 本書中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- お客様の設定内容によっては、本書に掲載している画面が実際の画面と異なる場合があります。
- 本書では、説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。



注記

操作の前に知っていただきたいことや、注意していただきたい重要事項を記述しています。



補足

補足事項を記述しています。

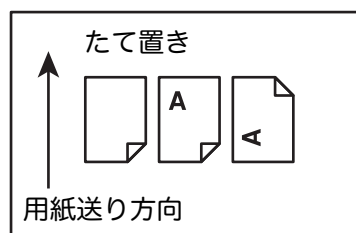
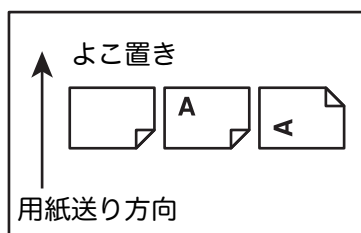


参照

参照先を記述しています。

「 」	・ 本書内にある参照先を表しています。 ・ DVD-ROMや機能の名称、タッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字などを表しています。
『 』	参照するマニュアルを表しています。
[]	・ 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 ・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
< >	操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
>	操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。

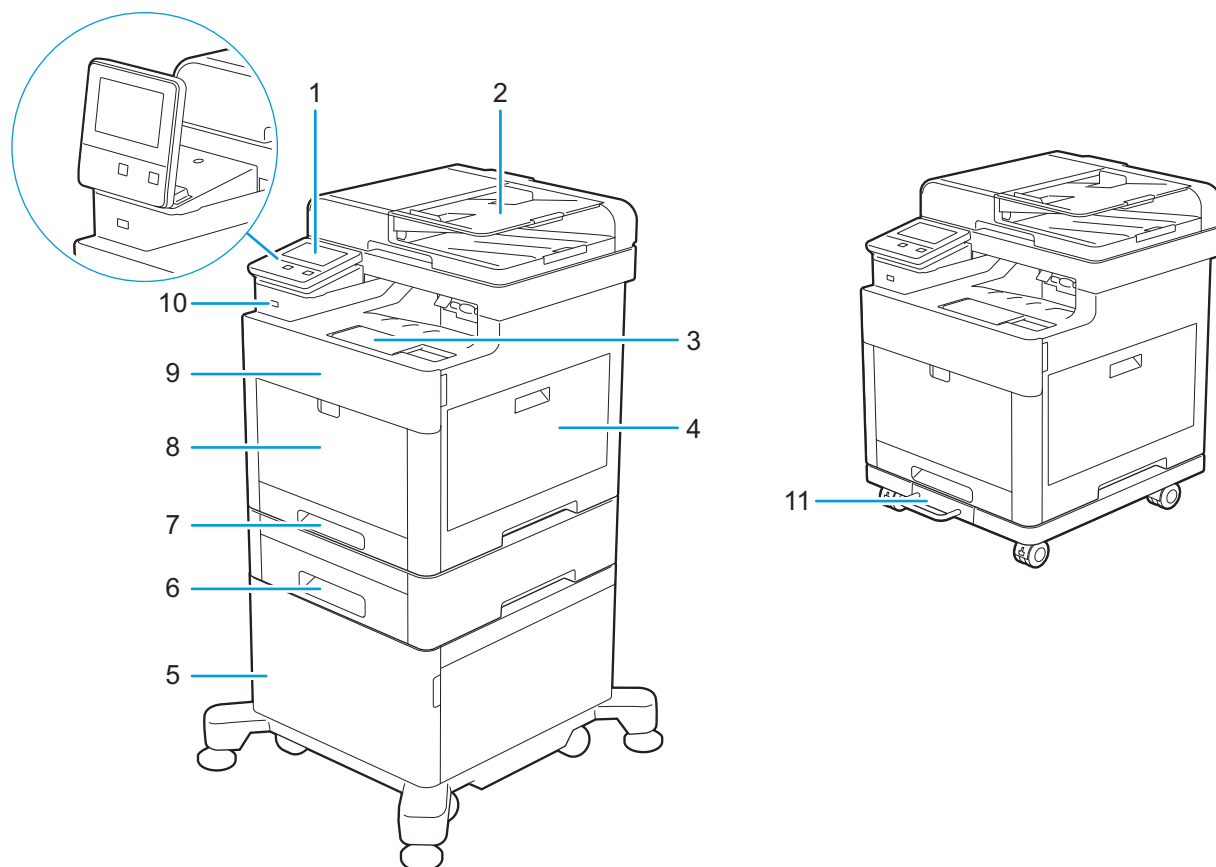
- 本文中では、原稿または用紙の向きを、次のように表しています。
よこ置き：本機正面から見て、原稿や用紙をよこ長にセットした状態を表しています。
たて置き：本機正面から見て、原稿や用紙をたて長にセットした状態を表しています。



1.3 各部の名称

1.3.1 前面／内部／背面

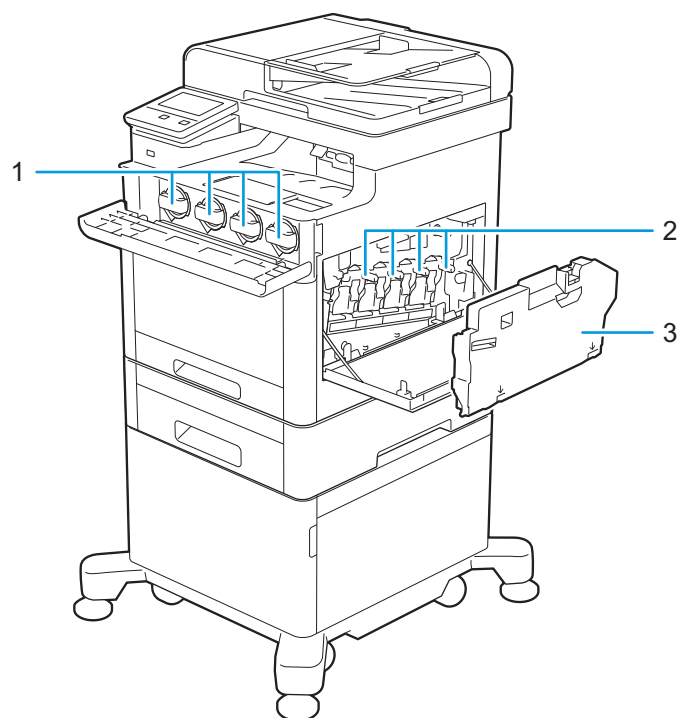
前面



1 操作パネル*	7 トレイ1
2 自動原稿送り装置	8 手差しトレイ
3 排出延長トレイ	9 フロントカバー
4 右サイドカバー	10 USBポート
5 専用キャビネット（オプション）	11 専用キャスター台（オプション）
6 トレイモジュール（トレイ2）（オプション）	

* 操作パネルの角度は図のように調節できます。

内部

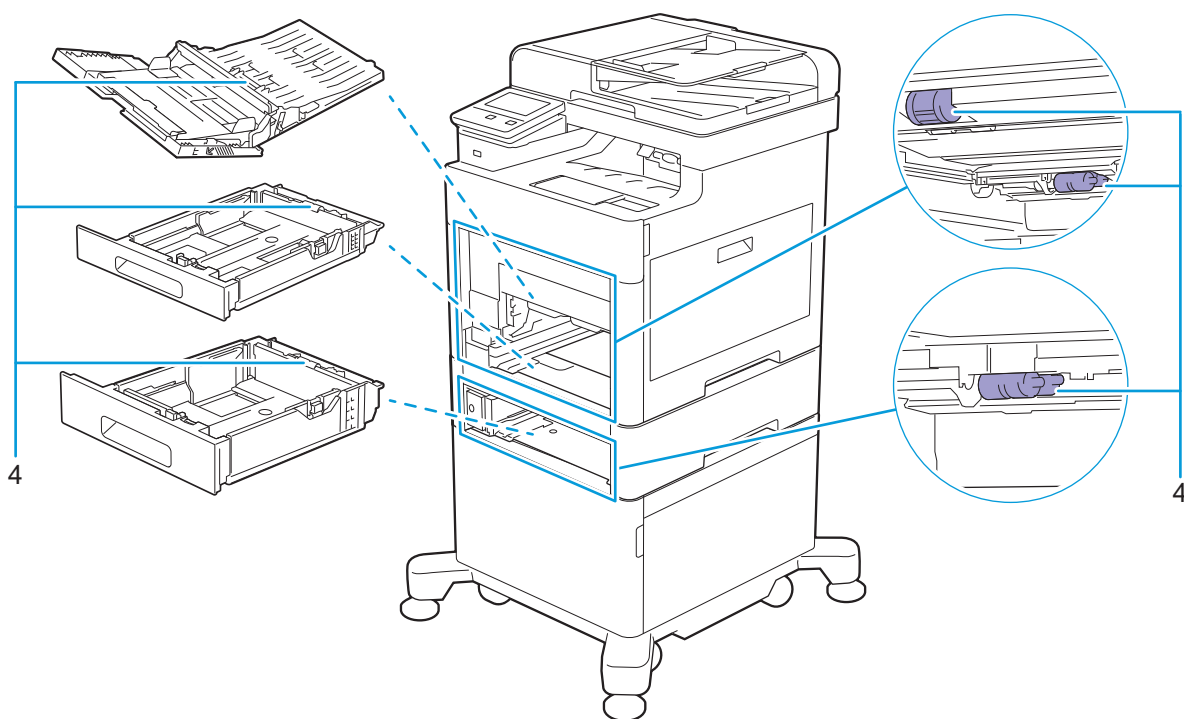


- | | |
|---|-----------|
| 1 | トナーカートリッジ |
| 2 | ドラムカートリッジ |
| 3 | トナー回収ボトル |



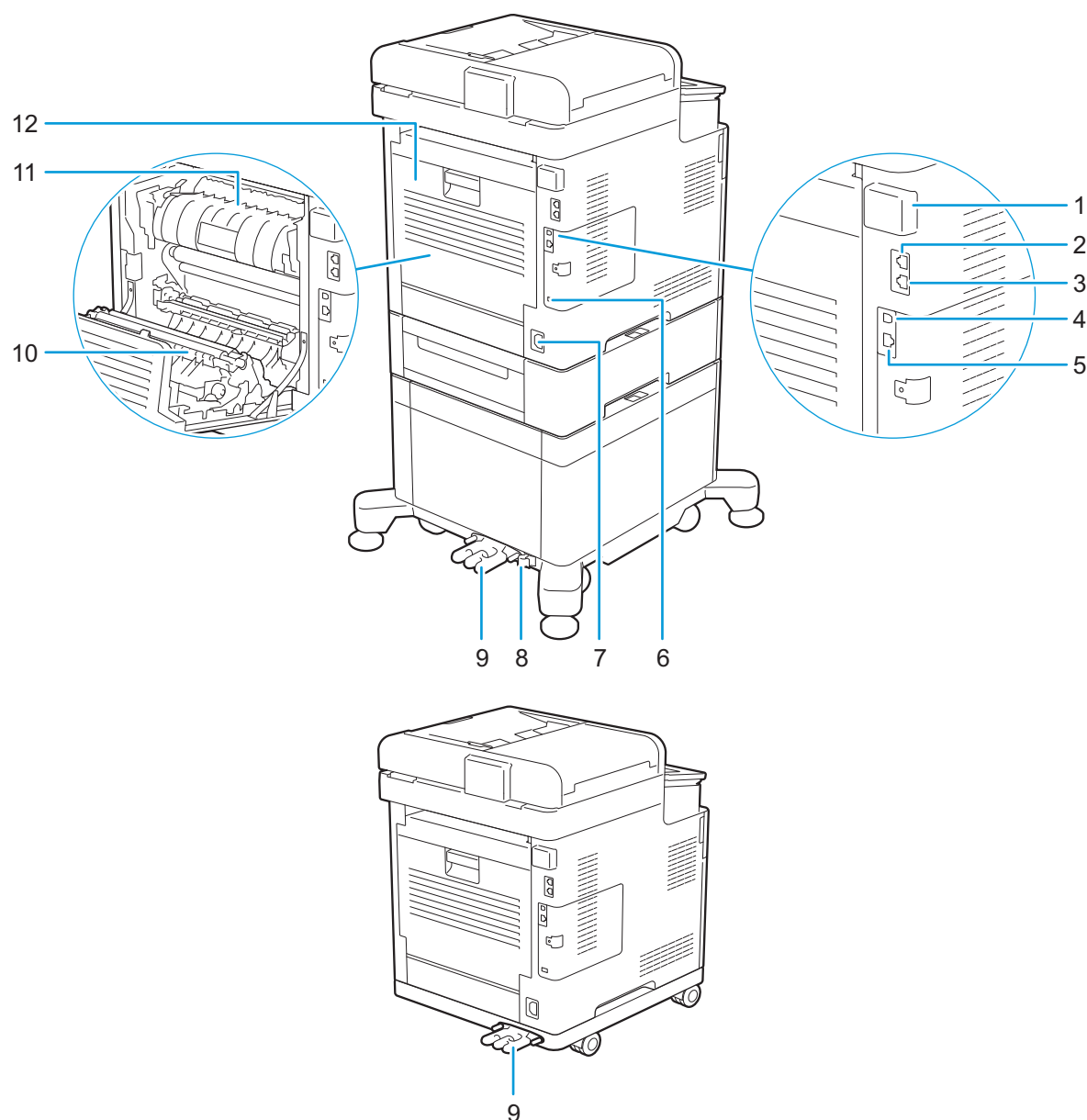
補足

・本機の動作中はトナーカートリッジを出し入れしないでください。



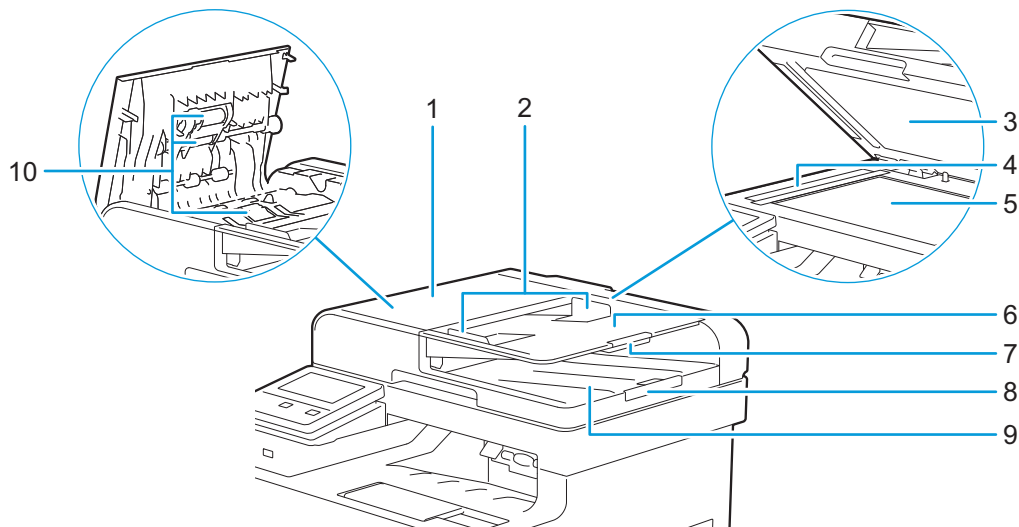
- | | |
|---|----------|
| 4 | 用紙送りローラー |
|---|----------|

背面



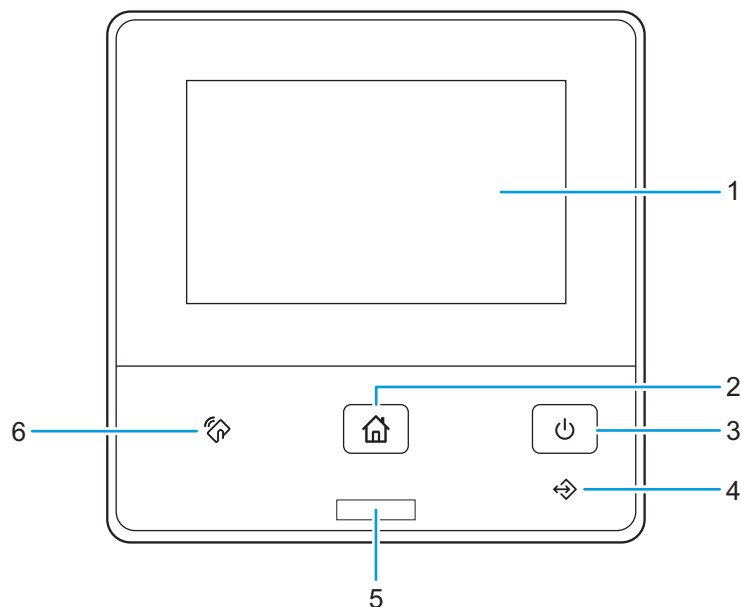
1 Wi-Fiアダプター	7 電源コード挿入口
2 ☎〈PHONE〉コネクター	8 ケーブル固定具
3 ☎〈LINE〉コネクター	9 ケーブルフック
4 USBインターフェイスコネクター	10 両面プリントユニット
5 イーサネットインターフェイスコネクター	11 定着ユニット
6 ケンジントンロックスロット	12 背面カバー

1.3.2 自動原稿送り装置



1	上カバー	6	原稿送りトレイ
2	原稿ガイド	7	延長原稿送りトレイ
3	原稿ガラスカバー	8	延長排出トレイ
4	原稿読み取りガラス	9	原稿受け
5	原稿ガラス	10	原稿送りローラー

1.3.3 操作パネル



1	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。 直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。
2	🏠 〈ホーム〉 ボタン	[ホーム] 画面に移動します。

3  〈電源/節電〉ボタン	・本機の電源を入れる／切るときに押します。 ・節電状態を解除するとき、または節電状態にするときに押します。 本機が節電状態に入るとゆっくり点滅します
	 参照 ・電源を入れる／切る方法については、「電源について (P.20)」を参照してください。 ・節電機能については、「節電機能について (P.94)」を参照してください。
4 データランプ	・ファクスの送受信中に点滅します。 ・メモリーに保存されているデータがあるときに点灯します。
5 状態表示ランプ	・モバイル機器から識別信号を受信したときに青色に点滅します。 ・エラーが発生するとオレンジ色に点滅します。
6  〈NFC タッチエリア〉	モバイル機器をかざすと、本機とモバイル機器がNFC機能で通信を開始します。

2 本機のセットアップ

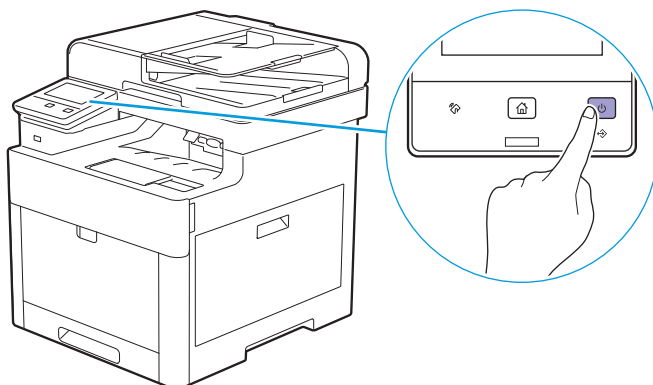
2.1	Wi-Fi アダプターを取り付ける	19
2.2	電源について	20
2.3	本機をコンピューターと接続する	22
2.4	IP アドレスを設定する	33
2.5	ファクスを設定する	35

2.1 Wi-Fiアダプターを取り付ける

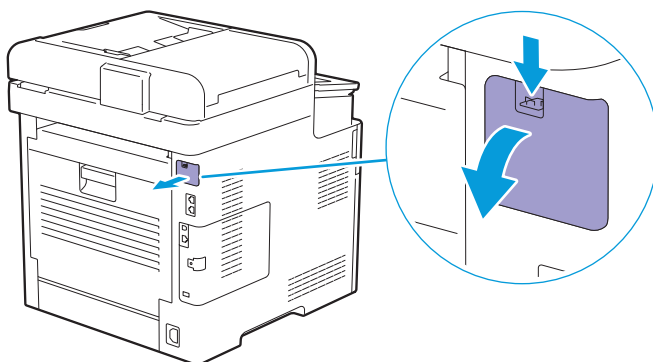
1. 本機の電源を切ります。



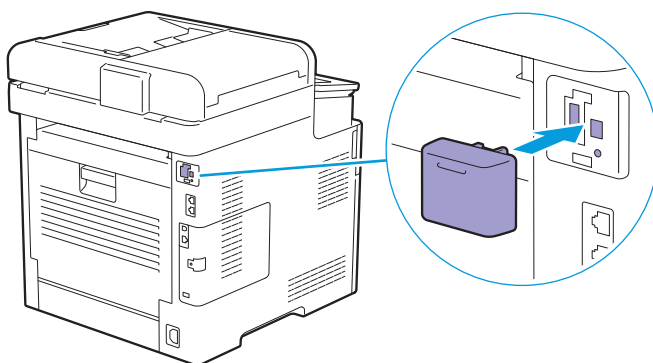
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。



2. Wi-Fiアダプターソケットのカバーを、ラッチを押し下げて取り外します。



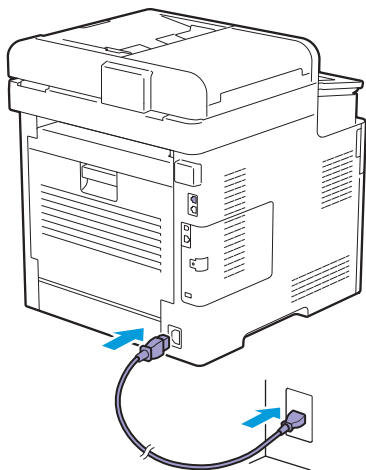
3. Wi-FiアダプターのコネクターをWi-Fiアダプターソケットに差し込みます。



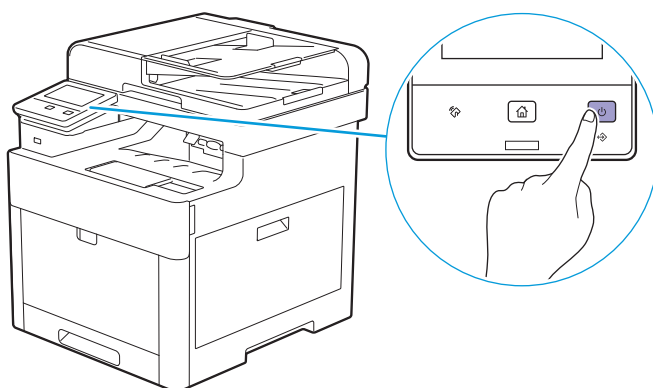
2.2 電源について

2.2.1 電源を入れる

1. 電源コードを本機背面の電源コード挿入口に接続したあと、電源コンセントに差し込みます。



2. ㊦〈電源/節電〉ボタンを押します。

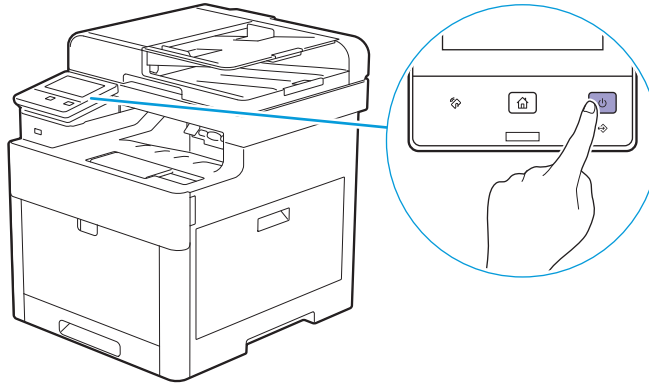


2.2.2 電源を切る

！ 注記

- ・ 本機の電源を切るとメモリー内のデータは消去されます。

1. ㏻〈電源/節電〉ボタンを押します。



2. タッチパネルディスプレイの【電源オフ】をタップします。

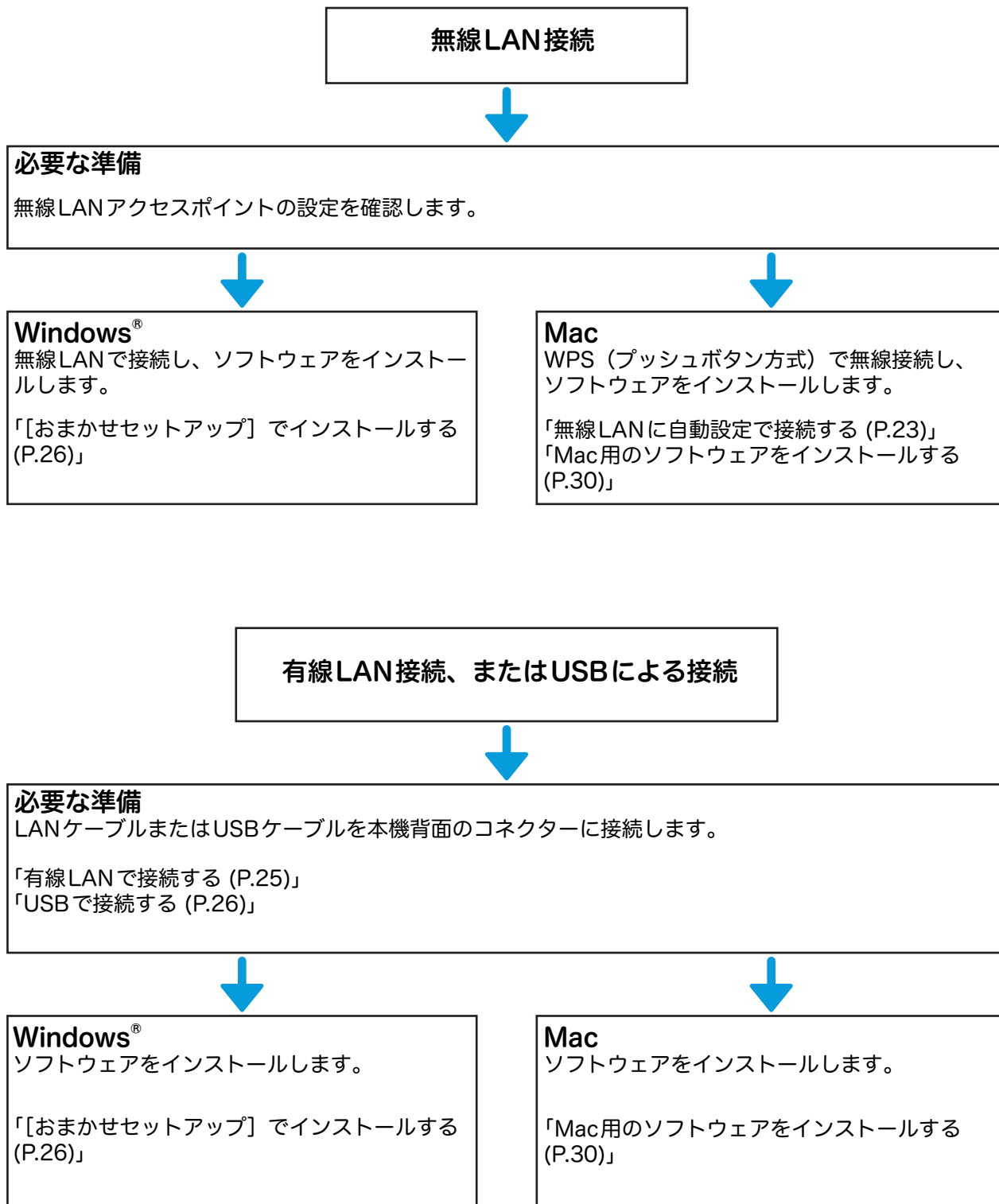
💡 補足

- ・ ㏻〈電源/節電〉ボタンを3秒以上長押しすると本機の電源を直接切ることができます。
- ・ 本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。緊急時に容易に電源コードを抜くことができるように、本機は電源コンセントの近くに設置してください。

2.3 本機をコンピューターと接続する

2.3.1 概要

本機は無線LAN接続、有線LAN接続、およびUSBによる接続に対応しています。接続には次の手順をおすすめします。



2.3.2 無線 LAN で接続する

無線 LAN を使うために必要な作業

無線 LAN を設定する前に、次の操作をしてください。

1. Wi-Fi アダプターが本機に接続されていることを確認します。



・詳しくは、「Wi-Fi アダプターを取り付ける (P.19)」を参照してください。

2. LAN ケーブルが本機に接続されていないことを確認します。

無線 LAN に自動設定で接続する

本機は WPS (プッシュボタン方式) および WPS (PIN コード方式) を使用した無線 LAN 接続に対応しています。

WPS (プッシュボタン方式) では、設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して設定します。

WPS (PIN コード方式) では、本機に割り当てられる PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。

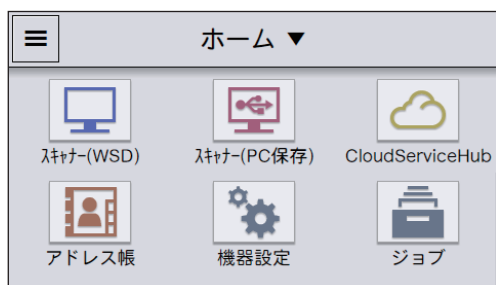
どちらの方法も無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している必要があります。



・無線 LAN アクセスポイント側の WPS 操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

● WPS (プッシュボタン方式) で接続する場合

1. 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。

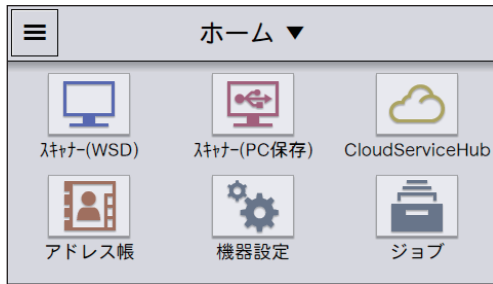


3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [WPS] をタップします。
4. 「無線 LAN ルーターの WPS ボタンを押してください。」のメッセージが表示されたら、無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを 2 分以内に押します。

● WPS (PIN コード方式) で接続する場合

1. 〈ホーム〉 ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [WPS] をタップします。

4. [PINコードで接続] をタップします。



・タッチパネルディスプレイに表示される8桁のPINコードをメモしておいてください。

5. 「無線LANルーターを操作してください」のメッセージが表示されたら、PINコードを無線LANアクセスポイントに入力します。



・PINコードの入力方法については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線LANに手動設定で接続する

無線LANアクセスポイントを一覧から選ぶか、またはSSIDを指定して無線LANに接続します。

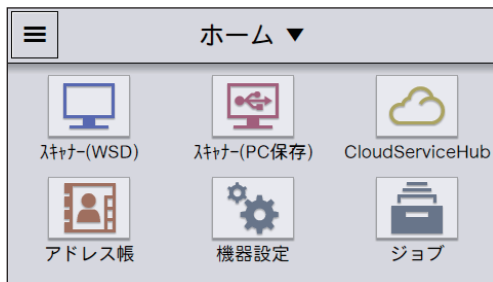


・無線LANアクセスポイントのSSIDと、WEPキーまたはパスフレーズが必要になります。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

●無線LANアクセスポイントを一覧から選んで接続する場合

1. 𠂇〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] をタップします。

4. [Wi-Fi設定ウィザード] をタップします。

5. 接続先の無線LANアクセスポイントをタップします。

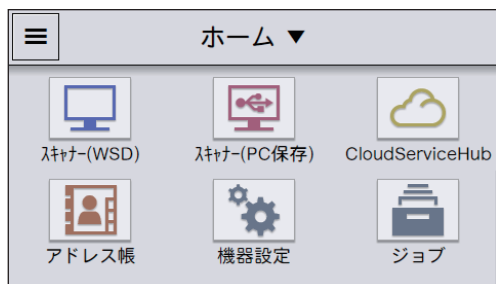


・無線LANアクセスポイントが表示されない場合は、手動で入力してSSIDを設定します。詳しくは、「SSIDを手動で入力して接続する場合 (P.25)」を参照してください。

6. WEPキーまたはパスフレーズを入力し、[次へ] をタップします。

●SSIDを手動で入力して接続する場合

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [Wi-Fi設定ウィザード] をタップします。
4. [SSIDを入力] をタップします。
5. SSIDを入力し、[次へ] をタップします。
6. お使いの環境に合わせて [インフラストラクチャー] または [アドホック] を選びます。



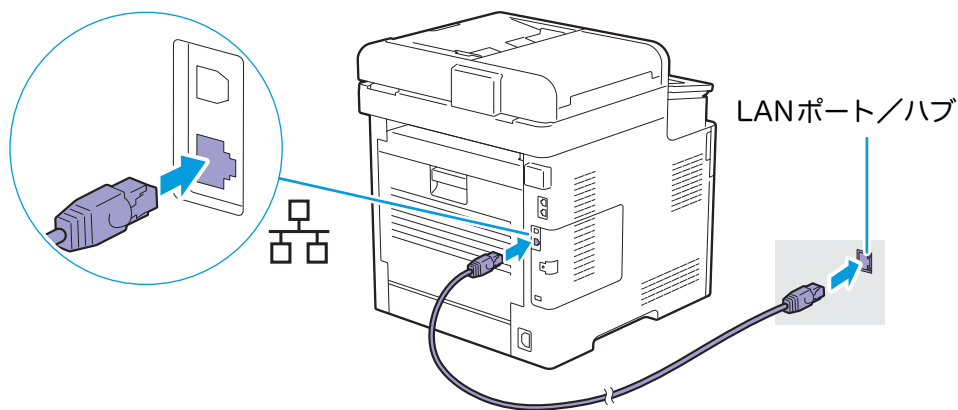
補足

・ [Wi-Fi Direct] が有効な場合は、[アドホック] を使用できません。

7. 暗号化方式を設定します。
8. [次へ] をタップします。
9. 必要に応じてWEPキーまたはパスフレーズを入力し、[次へ] をタップします。

2.3.3 有線 LAN で接続する

本機とLANポートまたはハブをLANケーブルで接続します。



2.3.4 USB で接続する

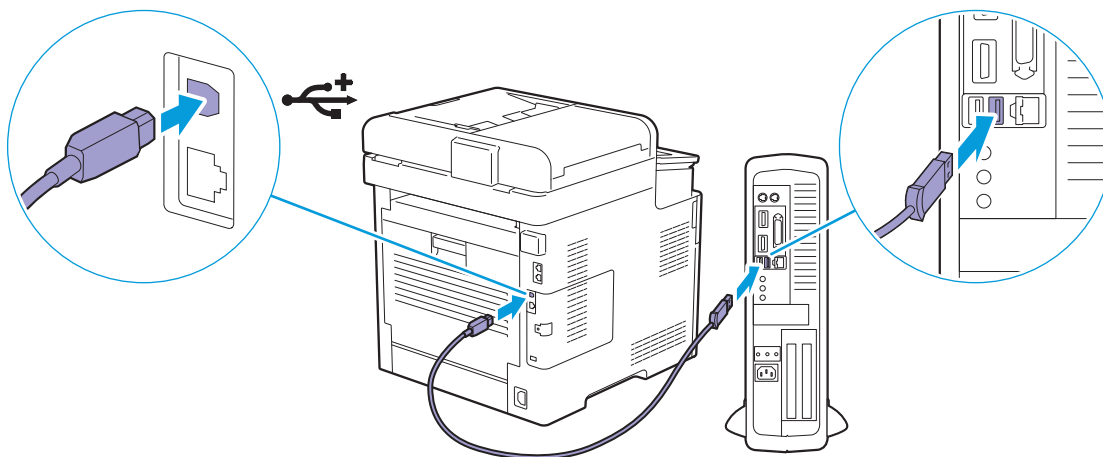
本機とコンピューターをUSBケーブルで接続します。

注記

- ・ 本機をUSBハブに接続しないでください。

補足

- ・ ケーブルのUSBマークと本機のUSBマークが一致していることを確認してください。



2.3.5 Windows® 用のソフトウェアをインストールする

補足

- ・ 本機がコンピューターまたはネットワークに接続されていることを確認してからインストールを開始してください。詳しくは、以下を参照してください。
 - 「無線LANで接続する (P.23)」
 - 「有線LANで接続する (P.25)」
 - 「USBで接続する (P.26)」

【おまかせセットアップ】でインストールする

次のソフトウェアをインストールできます。

- ・ PCLドライバー
- ・ スキャナードライバー
- ・ Print & Scan Hub

無線LAN環境で利用する場合は、本機をネットワークに簡単に接続できます。

補足

- ・ 暗号化方式をWEPに設定して無線LAN環境に接続する場合は、【おまかせセットアップ】は使用できません。無線LAN設定を本機の操作パネルから行い、ソフトウェアを【お好みインストール】でインストールします。無線LAN設定については、「無線LANに手動設定で接続する (P.24)」を、ソフトウェアのインストールについては、「【お好みインストール】でインストールする (P.27)」を参照してください。

参照

- ・ MultiWriter共通ドライバーおよび宛先表ツールをインストールするには、「【お好みインストール】でインストールする (P.27)」を参照してください。
- ・ XML Paper Specification (XPS) ドライバーをインストールするには、「XML Paper Specification (XPS) ドライバーをインストールする (P.28)」を参照してください。

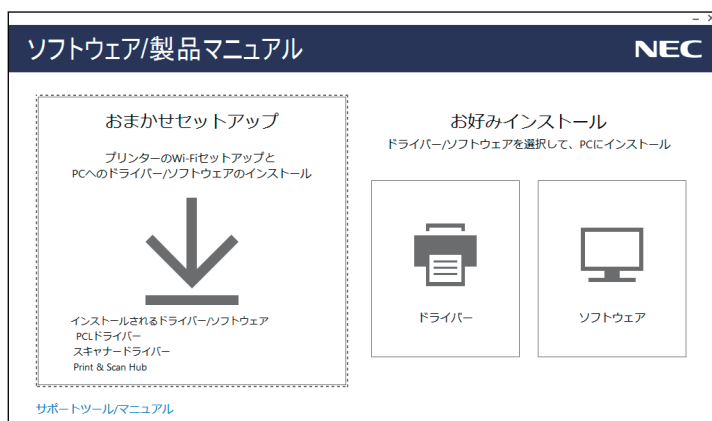
1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。



補足

- ・「<http://jpn.nec.com/printer/laser/download/>」にアクセスして最新版のソフトウェアをダウンロードすることもできます。
- ・「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 - 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 - 2 「D:¥Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、[OK] をクリックします。

2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

[お好みインストール] でインストールする

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。



補足

- ・MultiWriter 共通ドライバーは Windows® 8.1 以降用に最適化されたプリンタードライバーです。

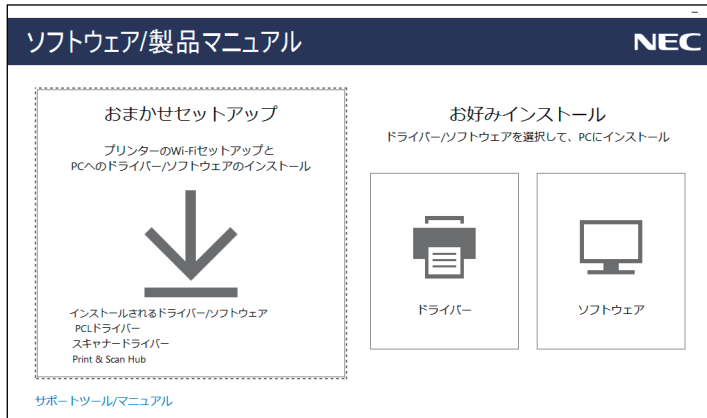
1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。



補足

- ・「<http://jpn.nec.com/printer/laser/download/>」にアクセスして最新版のソフトウェアをダウンロードすることもできます。
- ・「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 - 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 - 2 「D:¥Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、[OK] をクリックします。

2. [ドライバー] または [ソフトウェア] をクリックします。
[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順5に進みます。



3. [使用許諾契約] に同意する場合は、[使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ] をクリックします。
4. お使いの接続方法を選び、[次へ] をクリックします。
5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

XML Paper Specification (XPS) ドライバーをインストールする



補足

・XML Paper Specification (XPS) ドライバーはWindows Vista® 以降に対応しています。
ここでは、Windows® 7およびWindows® 10を例に手順を説明します。

●Windows® 7の場合

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」 ディスクをコンピューターにセットします。
2. ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [XPS] > [i386_amd64] の順に開きます。
3. 使用する言語フォルダーを開き、フォルダー内にあるzipファイルを任意の場所に解凍します。
4. [スタート] > [デバイスとプリンター] > [プリンターの追加] をクリックします。



補足

・[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

5. [プリンタードライバのインストール] 画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。
6. [ディスク使用] > [参照] をクリックします。
7. 手順3で解凍したフォルダー内にあるinfファイルを選び、[開く] をクリックします。
8. [OK] をクリックします。
9. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

●Windows® 10の場合

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」 ディスクをコンピューターにセットします。
2. ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [XPS] > [i386_amd64] の順に開きます。
3. 使用する言語フォルダーを開き、フォルダー内にあるzipファイルを任意の場所に解凍します。

4. スタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
5. [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] > [プリンターの追加] をクリックします。
6. [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。
7. [ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する] を選び、[次へ] をクリックします。
8. [プリンタードライバのインストール] 画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。
9. [ディスク使用] > [参照] をクリックします。
10. 手順3で解凍したフォルダー内にあるinfファイルを選び、[開く] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。
12. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

サポートツールを使用してセットアップディスクの作成やネットワークの設定をする

付属するインストーラーを使用してセットアップディスクを作成したり、ネットワークの設定をしたりできます。インストーラーのトップメニューから[サポートツール/マニュアル] をクリックすると、次の設定メニューにアクセスできます。



- ・ [ドライバーセットアップディスク作成]
ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合は、CD-Rなどの媒体かネットワーク上のサーバーにディスクデータを作成します。セットアップディスクを使用することで、ドライバーインストール時の作業負担を軽減できます。
- 💡 **補足**
 - ・ セットアップディスクは、ディスクを作成したOSと異なるOSのコンピューターでは使用できません。OSごとにセットアップディスクを作成してください。
- ・ [IPアドレス設定]
IPアドレスを設定できます。
- ・ [Wi-Fi設定]
無線LANを設定できます。

2.3.6 Mac 用のソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。
2. ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [MacPrinter] > [MacOSX] > [Common] の順に開きます。
3. フォルダー内にある pkg ファイルをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

USB 接続で本機を追加する

ここでは、OS X 10.11 を例に手順を説明します。

1. 本機の電源を入れます。
2. USB ケーブルで本機とコンピューターを接続します。
3. [システム環境設定] ウィンドウを開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
4. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。



補足

・本機が表示されない場合は、手順5以降に従って本機を追加します。

5.  をクリックします。



6. [デフォルト] をクリックします。
7. [種類] 列に [USB] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。
8. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
9. [追加] をクリックします。
10. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。
11. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

LPD接続で本機を追加する

ここでは、OS X 10.11 を例に手順を説明します。

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
有線LAN接続の場合は、本機をLANケーブルで接続します。
無線LAN接続の場合は、本機とコンピューターの無線LAN接続が確立されていることを確認します。
3. [システム環境設定] ウィンドウを開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
4.  をクリックします。



5. [IP] をクリックします。
6. [プロトコル] から [LPD (Line Printer Daemon)] を選びます。
7. 本機のIPアドレスを [アドレス] に入力します。
8. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
9. [追加] をクリックします。
10. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。
11. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

Bonjour接続で本機を追加する

ここでは、OS X 10.11 を例に手順を説明します。

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
有線LAN接続の場合は、本機をLANケーブルで接続します。
無線LAN接続の場合は、本機とコンピューターの無線LAN接続が確立されていることを確認します。
3. [システム環境設定] ウィンドウを開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。

4. をクリックします。



5. [デフォルト] をクリックします。

6. [種類] 列に [Bonjour マルチファンクション] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。

7. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。

8. [追加] をクリックします。

9. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。

10. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

オプション製品の機能を有効にする

本機に装着済みのオプション製品をドライバーから設定し、関連する機能を有効にします。
ここでは、OS X 10.11 を例に手順を説明します。

1. [システム環境設定] ウィンドウを開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。

2. [プリンタ] から本機を選び、[オプションとサプライ] をクリックします。

3. [オプション] をクリックし、本機に装着済みのオプション製品を選びます。

4. [OK] をクリックします。

2.3.7 Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<http://jpn.nec.com/printer/laser/download/>

2.4 IPアドレスを設定する

2.4.1 IPアドレスを設定する

本機をネットワーク環境で使用するときはあらかじめ、IPアドレスとその他のネットワーク情報を設定する必要があります。

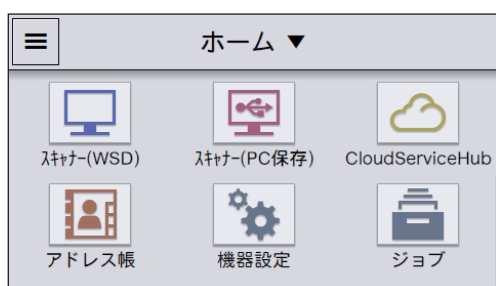


補足

- ・IPv6環境のIPアドレスを手動で割り当てるときは、本機のインストーラーまたはCentreWare Internet Servicesを使用してください。CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

1. 〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] をタップします。

4. 本機が有線LANに接続されている場合は、[Ethernet] を、無線LANに接続されている場合は、[Wi-Fi] をタップします。

5. [IP動作モード] をタップします。

お使いの環境に合わせて、[デュアルスタック]、[IPv4] または [IPv6] をタップします。



補足

- ・使用するネットワークがIPv4およびIPv6の両方に対応している場合は、[デュアルスタック] を選んでください。

6. [TCP/IP] > [IPアドレスの取得方法] をタップします。

7. IPアドレスの割り当て方法を設定します。

- ・ IPアドレスを自動で設定する場合
 - a [DHCP/AutoIP]、[BOOTP]、[RARP]、または [DHCP] をタップし、手順8に進みます。
- ・ IPアドレスを手動で設定する場合
 - a [直接入力] をタップします。
 - b [IPアドレス] をタップします。
IPアドレスの最初のオクテットにカーソルが移動します。
 - c IPアドレスの最初のオクテットを入力します。
カーソルが次のオクテットに移動します。
 - d 残りのオクテットを入力し、[OK] をタップします。
 - e [サブネットマスク] をタップします。
 - f サブネットマスクを入力し、[OK] をタップします。
 - g [ゲートウェイアドレス] をタップします。
 - h ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] をタップします。

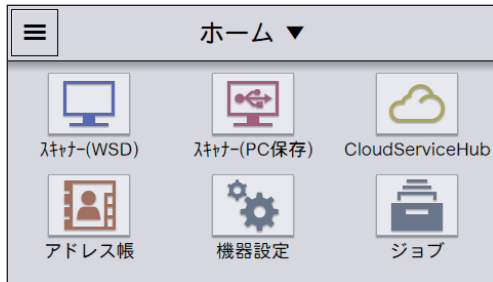
8. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

2.4.2 ネットワーク設定を確認する

設定内容は、操作パネルの画面またはシステム設定リストで確認できます。

操作パネルを使用する

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [機器情報] をタップします。
4. [IPv4] または [IPv6] に表示される IP アドレスを確認します。

システム設定リストを使用する

1. システム設定リストを出力します。



参照

・ リストの出力方法については、「[レポート/リスト] (P.66)」を参照してください。

2. リストの [ネットワーク設定] または [無線LAN] の項目内に、IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスが記載されていることを確認します。



補足

・ IP アドレスが「0.0.0.0」になっている場合は、IP アドレスが設定されていません。「IP アドレスを設定する (P.33)」の手順に従って設定をなおしてください。

2.5 ファクスを設定する

ファクス機能を使うには本機を電話回線に接続し、本機の操作パネルからファクスの初期設定をします。

2.5.1 本機を電話回線に接続する



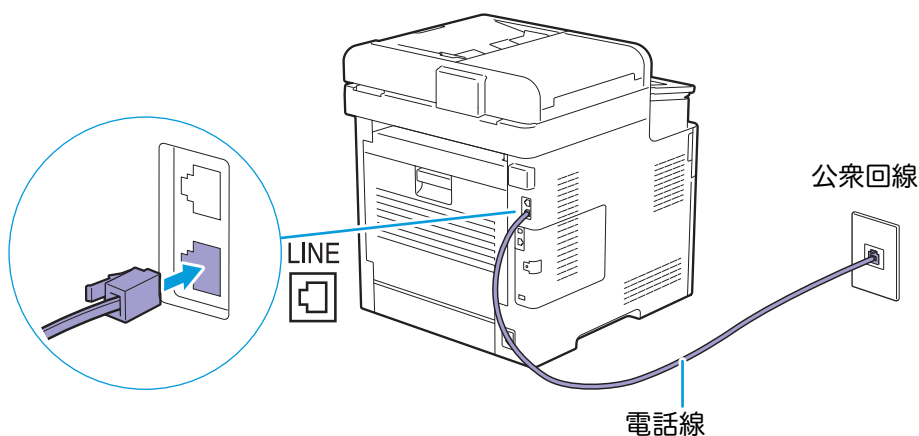
補足

・本機を光回線やADSLに接続した場合に正しく通信できないときは、ご利用の回線事業者にお問い合わせください。また接続方法についての詳細もご利用の回線事業者にお問い合わせください。

公衆回線に接続する

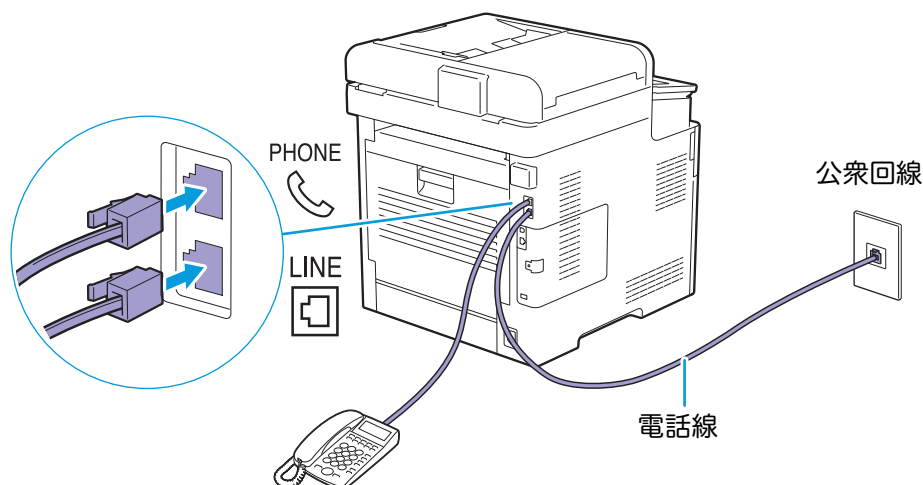
●ファクス専用として使う場合

1. 電話線的一方を本機背面の☐〈LINE〉コネクタに、もう一方を公衆回線に接続します。



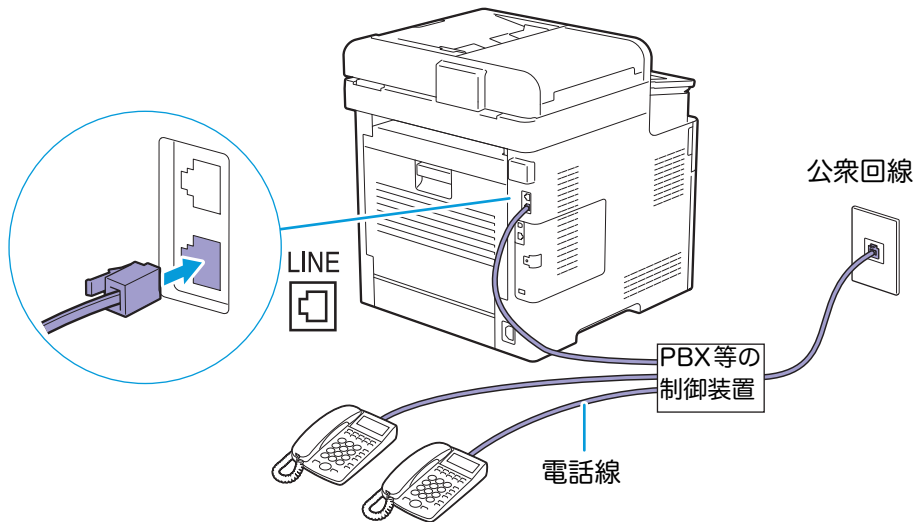
●電話とファクスの両方を使う場合

1. 電話線的一方を本機背面の☐〈LINE〉コネクタに、もう一方を公衆回線に接続します。
2. 電話線の方を本機背面の☎〈PHONE〉コネクタに、もう一方を電話機に接続します。



構内交換機（PBX）に接続する

1. 電話線的一方を本機背面の  〈LINE〉コネクタに、もう一方を構内交換機（PBX）などの制御装置に接続します。



参照

- ・ 本機を構内交換機（PBX）に接続する場合は、[回線の種類] を [PBX] に設定する必要があります。詳しくは、「[回線の種類] (P.71)」を参照してください。

2.5.2 ファクスの初期設定をする

ファクス機能を使用するには、操作パネルから次の項目を設定する必要があります。

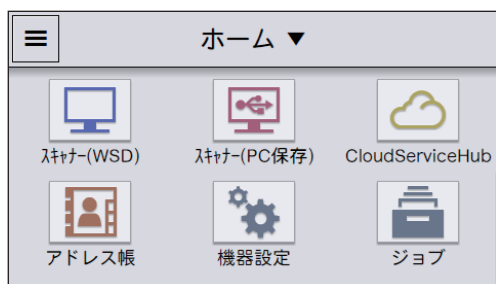
- ・ [ファクス番号] / [発信元名]
 - 1  〈ホーム〉ボタンを押します。
 - 2 [機器設定] をタップします。



- 3 [一般] > [ファクス設定] > [ファクス番号] または [発信元名] をタップします。

- ・ [回線の種類]

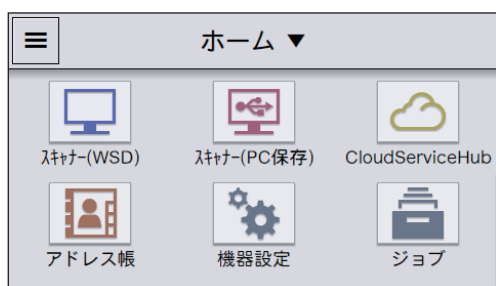
- 1  〈ホーム〉 ボタンを押します。
- 2 [機器設定] をタップします。



- 3 [一般] > [ファクス設定] > [ファクス回線設定] > [回線の種類] をタップします。

- ・ [受信モード]

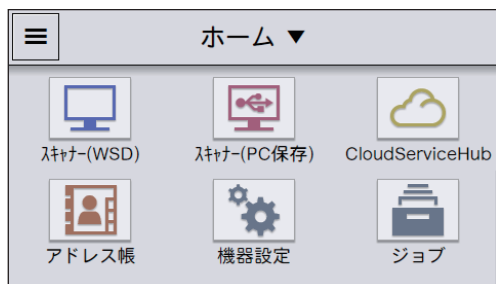
- 1  〈ホーム〉 ボタンを押します。
- 2 [機器設定] をタップします。



- 3 [一般] > [ファクス設定] > [受信設定] > [受信モード] をタップします。

- ・ [ダイヤルの種類]

- 1  〈ホーム〉 ボタンを押します。
- 2 [機器設定] をタップします。



- 3 [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] > [ダイヤルの種類] をタップします。

 参照

- ・ 設定については、「[ファクス設定] (P.71)」を参照してください。

3 本機の基本操作

3.1	操作パネルを使用する	39
3.2	ホーム画面の機能ボタンについて	47
3.3	本機の設定メニューについて	66
3.4	節電機能について	94
3.5	用紙について	95
3.6	用紙をセットする	99
3.7	原稿をセットする	108

3.1 操作パネルを使用する

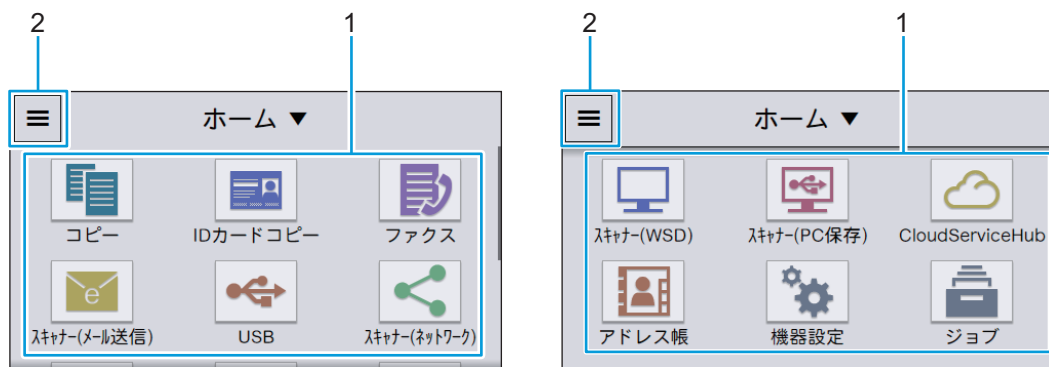
操作パネルは、タッチパネルディスプレイ、データランプ、状態表示ランプ、〈電源/節電〉ボタン、〈ホーム〉ボタンと〈NFCタッチエリア〉から構成されています。操作パネルを使ってメニューを閲覧し、文字や数値を入力します。

3.1.1 ホーム画面について

[ホーム] 画面を表示するには  〈ホーム〉ボタンを押します。[ホーム] 画面は、使用目的に合わせてカスタマイズできます。



・ [ホーム] 画面のカスタマイズについては、「ホーム画面をカスタマイズする (P.41)」を参照してください。



1 機能ボタン

[ホーム] 画面では、次の機能ボタンを利用できます。

●[コピー]

原稿をコピーしたり、コピー機能を設定したりします。



- ・ 「[コピー] (P.47)」
- ・ 「コピーの基本操作 (P.119)」

●[ファクス]

ファクスを送受信したり、ファクス機能を設定したりします。



- ・ 「[ファクス] (P.51)」
- ・ 「ファクスを送信する (P.140)」
- ・ 「ファクスを受信する (P.146)」

●[スキャナー（メール送信）]

原稿をスキャンしてメールで送信したり、スキャン機能を設定したりします。



- ・ 「[スキャナー（メール送信）] (P.53)」
- ・ 「スキャンしたデータをメールで送信する（スキャナー（メール送信）) (P.131)」

●[IDカードコピー]

IDカードをコピーしたり、コピー機能を設定したりします。



参照

- ・「[IDカードコピー] (P.49)」
- ・「IDカードをコピーする (P.121)」

●[スキャナー (ネットワーク)]

原稿をスキャンしてサーバーに送信したり、スキャン機能を設定したりします。



参照

- ・「[スキャナー (ネットワーク)] (P.59)」
- ・「スキャンしたデータを保存する (P.130)」

●[アドレス帳]

アドレス帳に宛先を登録したり、宛先を編集／削除したりします。



参照

- ・「[アドレス帳] (P.63)」
- ・「アドレス帳 (P.167)」

●[機器設定]

本機全般を設定します。



参照

- ・「本機の設定メニューについて (P.66)」

●[ジョブ]

ジョブの状況確認や実行中のジョブのキャンセルをします。また、本機に蓄積されているプリントジョブやセキュリティー受信モードで受信したファクスを出力します。



参照

- ・「[ジョブ] (P.65)」

●[スキャナー (PC保存)]

USBケーブルで接続しているコンピューターに、本機でスキャンしたデータを送信します。



参照

- ・「[スキャナー (PC保存)] (P.61)」
- ・「USB接続したコンピューターに保存する (スキャナー (PC保存)) (Windows®のみ) (P.125)」

●[USB]

USBメモリーにスキャンしたデータを直接保存したり、USBメモリーに保存されている写真や文書をプリントしたりします。



参照

- ・「[USB] (P.54)」
- ・「USBメモリーのファイルをプリントする (USBダイレクトプリント) (P.116)」
- ・「スキャンしたデータをUSBメモリーに保存する (スキャナー (USB保存)) (P.130)」

●[スキャナー (WSD)]

Web Services on Devices (WSD)を使って、コンピューターにスキャンしたデータを送信します。



参照

- ・「[スキャナー (WSD)] (P.61)」

2 サイドバー

消耗品の状態、エラーメッセージ、ネットワーク情報やWi-Fi Directの情報を表示します。



画面右上の をタップして [ジョブ] メニューを開いたり、 をタップして [機器設定] メニューを開いたりします。

3.1.2 タッチパネルディスプレイの基本操作

機能ボタンを選ぶ

機能ボタンをタップします。

画面をスクロールする

画面を指でなぞり、スワイプします。

速くスクロールするには、画面をフリックします。

3.1.3 ホーム画面をカスタマイズする

[ホーム] 画面は、使用目的に合わせてカスタマイズできます。

よく使う機能ボタンにアクセスしやすいように並べ替えたり、使わないボタンを [ホーム] 画面から消したりできます。

また、たとえば「両面カラーで7部コピーする」というような、よく使う機能の設定を登録した機能ボタンを作成することで、操作のたびに設定しないで、簡単な操作ですぐに機能を実行できます。

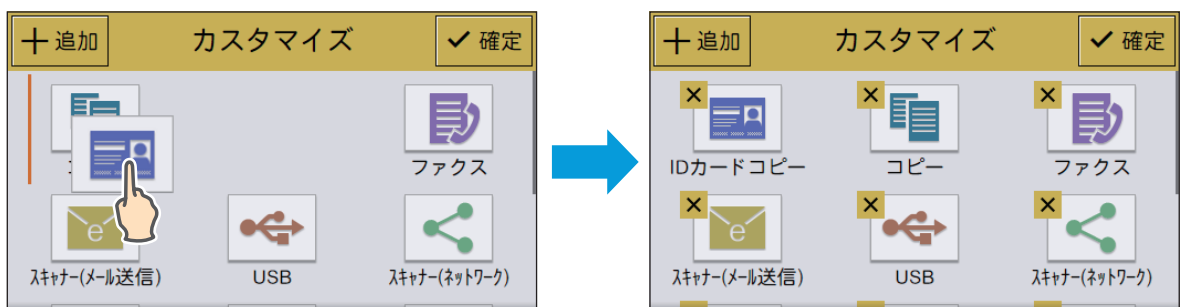


機能ボタンを移動する

1. [ホーム ▼] > [カスタマイズ] をタップします。



2. 移動する機能ボタンを長押しして、移動する場所にドラッグします。
オレンジ色の短いバーが移動する位置に表示されます。位置を確認して、機能ボタンを配置します。



3. [確定] をタップします。

機能ボタンを追加する

あらかじめ設定されている機能ボタンを[ホーム]画面に追加したり、機能ボタンを新しく作成して[ホーム]画面に追加したりできます。[ホーム]画面には、42個以内の機能ボタンを配置できます。

●設定されている機能ボタンから選ぶ

本機には、あらかじめ基本的な機能ボタンが設定されています。

1. [ホーム ▼] > [カスタマイズ] をタップします。



2. [追加] をタップします。
3. [ホーム]画面に追加する機能ボタンをタップします。
4. [確定] をタップします。

●新しい機能ボタンを作成する

よく使う設定を登録した機能ボタンを作成し、[ホーム] 画面に配置できます。

機能ボタンを作成する

ここでは、コピー用の機能ボタンの作成手順を例として説明します。

ファクスやスキャンなどほかの機能ボタンを作成する場合は、それぞれの設定画面で同様に操作します。

1. [ホーム] 画面で、[コピー] をタップします。



2. ⚙️ をタップし、コピー設定を変更します。



・コピー設定については、「[コピー] (P.47)」を参照してください。

3. [コピー ▼] > [新しいアプリとして保存] をタップします。

4. 機能ボタン名を入力します。

5. [確定] > [次へ] をタップします。

6. 機能ボタンに使いたい画像アイコンをタップします。

7. [確定] をタップします。



・[ファクス] または [スキャナー (メール送信)] の設定を機能ボタンに保存すると、宛先情報も保存されます。ファクスやメールの誤送信を防ぐために、タッチパネルディスプレイに表示された宛先のファクス番号やメールアドレスが正しいことを確認してください。

機能ボタンを編集する

機能ボタンの設定を編集できます。

1. [ホーム] 画面で、編集する機能ボタンをタップします。
2. 必要に応じて設定を変更します。
3. 機能ボタン名をタップし、[新しい初期値として保存] をタップします。
4. 機能ボタン名を変えたいときは、テキストボックスをタップし、名前を入力します。
5. [確定] > [次へ] をタップします。
6. 機能ボタンの画像アイコンを変えたいときは、使いたいアイコンをタップします。
7. [確定] をタップします。

機能ボタンを削除する

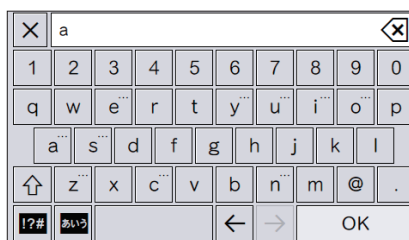
1. [ホーム ▼] > [カスタマイズ] をタップします。



2. 削除する機能ボタンを選び、左上の ✕ をタップします。
3. [はい] > [確定] をタップします。

3.1.4 文字を入力する

宛先登録など文字入力が必要な場合には、タッチパネルディスプレイに、キーボード画面が表示されます。



項目	内容
英字を入力する	英字を入力するには、 ABC をタップします。 英字の大文字を入力するには、 ⇧ をタップします。小文字に戻すには、 ⇧ を再度タップします。大文字で固定するには、 ⇧ をダブルタップします。 日本語入力に戻す場合は、 あいう をタップします。
記号や数字を入力する	日本語入力の場合は、 &123 をタップします。英字入力の場合は、 !?# をタップします。
スペースを入力する	 をタップします。
文字を削除する	✕ を1回タップすると、1文字削除されます。
文字を変換する	変換 をタップします。
文字列を確定する	日本語入力の場合は、 確定 をタップします。英字入力の場合は、 OK をタップします。

3.1.5 パネル操作を制限する

権限のないユーザーに操作パネルメニューの設定を変更させないように、パスワードを設定してパネル操作を制限できます。

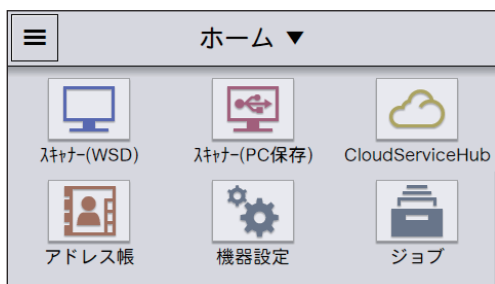


補足

- ・パネル操作制限が有効の場合でも、蓄積プリントやトレイ設定のメニューなど、アクセス可能なメニューがあります。

パネル操作制限を有効にする

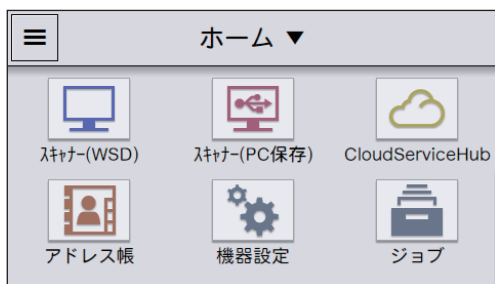
1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] > [パネルロック] をタップします。
4. [パネルロック設定] の 𠂇 をタップしてチェックマークを表示します。
5. 4桁のパスワードを入力し、[OK] をタップします。
6. パスワードを再度入力し、[OK] をタップします。

パネル操作制限のパスワードを変更する

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] をタップします。
4. 現在のパスワードを入力し、[OK] をタップします。
5. [パネルロック] > [暗証番号の変更] をタップします。
6. 現在のパスワードを入力し、[OK] をタップします。
7. 新しいパスワードを入力し、[OK] をタップします。
8. 新しいパスワードを再度入力し、[OK] をタップします。

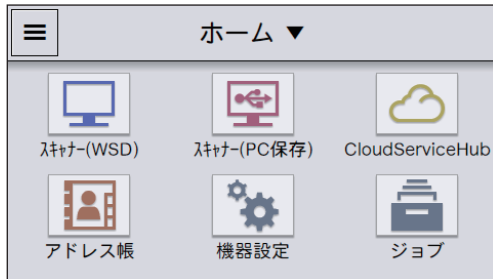
パネル操作制限を無効にする



補足

- ・パネル操作制限を無効にする前に、[セキュリティーファクス受信] と [サービスロック] を無効にしてください。詳しくは、「[サービスロック] (P.82)」および「[セキュリティーファクス受信] (P.83)」を参照してください。

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。

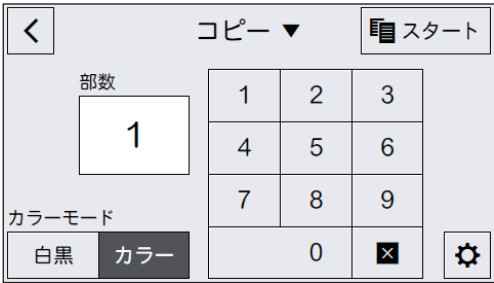


3. [セキュリティー設定] をタップします。
4. 現在のパスワードを入力し、[OK] をタップします。
5. [パネルロック] をタップします。
6. [パネルロック設定] の  をタップしてチェックマークを非表示にします。
7. 現在のパスワードを入力し、[OK] をタップします。

3.2 ホーム画面の機能ボタンについて

3.2.1 【コピー】

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、[コピー] をタップします。



【部数】	コピー部数を設定します。
【カラーモード】	カラーモードを設定します。

その他の設定を表示する

その他の設定をするには、 をタップします。

■ [コピー] >  >

【コピー濃度】

コピーの濃度を調整して、原稿の色より濃く／薄くします。

■ [コピー] >  >

【倍率】

倍率を設定して、拡大コピーや縮小コピーをします。

定形サイズ原稿から定形サイズ用紙に、拡大／縮小コピーをするときのコピー倍率は、次のとおりです。

出力サイズ 原稿	A5	B5	A4
A5	100%	122%	141%
B5	81%	100%	115%
A4	70%	86%	100%

■ [コピー] >  >

【トレイ選択】

用紙トレイを選びます。

【手差し】	【用紙サイズ】	用紙サイズを設定します。
	【用紙種類】	用紙種類を設定します。
【トレイ1】		
【トレイ2】*		

* オプションのトレイモジュール（トレイ2）の装着時に使用できます。

■ [コピー] > ⚙ >

【両面】

片面や両面の原稿を、用紙の両面や片面にコピーできます。

【片面→片面】	片面原稿を用紙の片面にコピーします。
【片面→両面】	片面原稿を用紙の両面にコピーします。長辺をとじるか、短辺をとじるかを設定します。
【両面→片面】	両面原稿を用紙の片面にコピーします。原稿が長辺とじか、短辺とじかを設定します。
【両面→両面】	両面原稿を用紙の両面にコピーします。長辺をとじるか、短辺をとじるかを設定します。

■ [コピー] > ⚙ >

【2アップ】

2枚の原稿を1枚にまとめてコピーします。

【しない】	
【自動】	本機が自動的に倍率を設定して、用紙に画像が収まるようにコピーします。
【手動】	【倍率】を設定してコピーします。

■ [コピー] > ⚙ >

【シャープネス】

画像の輪郭を鮮明にしたり、ぼかしてなめらかにしたりします。

■ [コピー] > ⚙ >

【原稿サイズ】

原稿サイズを設定します。



補足

・【自動】を選ぶと、【トレイ選択】で選択しているトレイの用紙サイズが原稿サイズとして設定されます。

■ [コピー] > ⚙ >

【原稿の画質】

原稿の種類を設定します。

■ [コピー] > ⚙ >

【ソート】

複数ページの原稿を複数部コピーする場合に、ページごとまたは1部ごとにまとめて排出します。

【自動】	自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は、ソートして排出します。
【ソート(1部ごと)】	コピーした用紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて排出します。
【スタック(ページごと)】	コピーした用紙をページごとにまとめて、入力した部数を排出します。

■ [コピー] > ⚙ >

【彩度】

色の鮮やかさを設定します。

■ [コピー] > ⚙ >

【地色除去】

原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。

■ [コピー] > ⚙ >

【わく消し】

厚い書類や書籍などをコピーするときに、上下左右または中央にできる影を消します。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[コピー ▼] をタップします。

■ [コピー] > [コピー ▼] >

【リセット】

本機の [コピー] の設定をリセットします。

■ [コピー] > [コピー ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

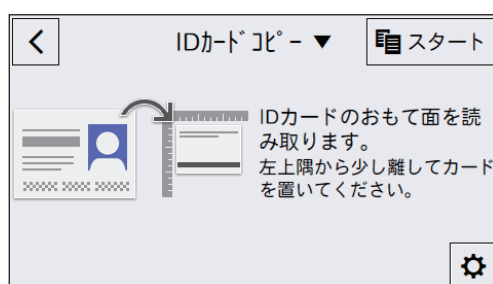
■ [コピー] > [コピー ▼] >

【新しいアプリとして保存】

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

3.2.2 【ID カードコピー】

操作パネルの 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押し、[IDカードコピー] をタップします。



その他の設定を表示する

その他の設定をするには、⚙ をタップします。

■ [ID カードコピー] > ⚙ >

【部数】



・ 詳しくは、「[部数] (P.47)」を参照してください。

■ [ID カードコピー] > ⚙ >

【カラーモード】



参照

・詳しくは、「[カラーモード] (P.47)」を参照してください。

■ [ID カードコピー] > ⚙ >

【コピー濃度】



参照

・詳しくは、「[コピー濃度] (P.47)」を参照してください。

■ [ID カードコピー] > ⚙ >

【トレイ選択】



参照

・詳しくは、「[トレイ選択] (P.47)」を参照してください。

■ [ID カードコピー] > ⚙ >

【シャープネス】



参照

・詳しくは、「[シャープネス] (P.48)」を参照してください。

■ [ID カードコピー] > ⚙ >

【地色除去】



参照

・詳しくは、「[地色除去] (P.49)」を参照してください。

■ [ID カードコピー] > ⚙ >

【彩度】



参照

・詳しくは、「[彩度] (P.48)」を参照してください。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[ID カードコピー ▼] をタップします。

■ [ID カードコピー] > [ID カードコピー ▼] >

【リセット】

本機の [ID カードコピー] の設定をリセットします。

■ [ID カードコピー] > [ID カードコピー ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

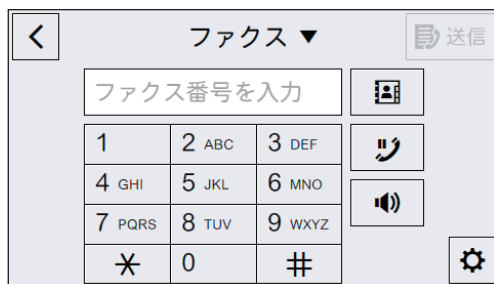
■ [ID カードコピー] > [ID カードコピー ▼] >

【新しいアプリとして保存】

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

3.2.3 【ファクス】

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、[ファクス] をタップします。



[ファクス番号を入力]	相手先のファクス番号を入力します。
	アドレス帳からファクス番号を選びます。
	最後にダイヤルしたファクス番号をファクス番号として設定します。
	ファクス番号にポーズ記号「-」を追加します。  を長押しすると、ファクス番号にダイヤルトーン検知記号「=」を追加します。ダイヤルトーン検知記号「=」を追加すると、本機は発信音が聞こえてから送信を始めます。
	オンフック機能で、ファクスを手動で送受信します。

その他の設定を表示する

その他の設定をするには、 をタップします。

■ [ファクス] >  >

【同報送信】

複数の宛先にファクスをします。

■ [ファクス] >  >

【送信濃度】

ファクスの濃度を調整し、原稿の色より濃く／薄くします。

■ [ファクス] >  >

【両面原稿送り】

原稿の片面を読み取るか、両面を読み取るかを設定します。両面の場合は、原稿が長辺とじか、短辺とじかを選びます。

■ [ファクス] >  >

【送信画質】

原稿読み込み時の画質を設定します。

[標準画質]	標準サイズの文字を含む文書に適しています。
[高画質]	小さい文字や細い線を含む文書に適しています。
[超高画質]	非常に細かい線などを含んだ文書に適しています。相手機が対応しているときにだけ使用できます。
[写真]	写真が含まれた文書に適しています。

■ [ファクス] >  >

【送信シート】

ファクスに送信シートを付けて送信します。

■ [ファクス] >  >

【ポーリング受信】

相手機に蓄積されているファクス文書を、本機からの操作で受信します。

■ [ファクス] >  >

【時刻指定送信】

指定した時刻にファクスを送信します。



補足

・ 最大19件のファクス送信を予約できます。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[ファクス ▼] をタップします。

■ [ファクス] > [ファクス ▼] >

【リセット】

本機の [ファクス] の設定をリセットします。

■ [ファクス] > [ファクス ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。



補足

・ 登録されたファクスの宛先が31件以上の場合は、[新しい初期値として保存] は表示されません。

■ [ファクス] > [ファクス ▼] >

【新しいアプリとして保存】

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。



補足

・ 登録されたファクスの宛先が31件以上の場合は、[新しいアプリとして保存] は表示されません。

3.2.4 [スキャナー (メール送信)]

原稿をスキャンしてメールで送ることができます。

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、[スキャナー (メール送信)] をタップします。



補足

- ・SMTPサーバーアドレスを事前に設定する必要があります。詳しくは、「スキャンしたデータをメールで送信する (スキャナー (メール送信)) (P.131)」を参照してください。

[To:]	相手先のメールアドレスを入力します。
	アドレス帳からメールアドレスを選びます。
	ファイル形式を選びます。

その他の設定を表示する

その他の設定をするには、 をタップします。

■ [スキャナー (メール送信)] >  >

[カラーモード]

原稿を読み取るときのカラーモードを設定します。

■ [スキャナー (メール送信)] >  >

[解像度]

原稿読み込み時の解像度を設定します。

■ [スキャナー (メール送信)] >  >

[両面原稿送り]

原稿の片面をスキャンするか、両面をスキャンするかを設定します。両面の場合は、原稿が長辺とじか、短辺とじかを選びます。

■ [スキャナー (メール送信)] >  >

[読み込み濃度]

スキャンの濃度を調整し、原稿の色より濃く／薄くします。

■ [スキャナー (メール送信)] >  >

[シャープネス]

画像の輪郭を鮮明にしたり、ぼかしてなめらかにしたりします。

■ [スキャナー (メール送信)] > ⚙ >

【コントラスト】

画像の明暗の差を調整します。強くすると明暗の差が大きくなり、弱くすると差が小さくなります。

■ [スキャナー (メール送信)] > ⚙ >

【地色除去】

原稿の地色（用紙色または背景色）を消してスキャンします。

■ [スキャナー (メール送信)] > ⚙ >

【原稿サイズ】

原稿サイズを設定します。

■ [スキャナー (メール送信)] > ⚙ >

【ファイル名】

スキャンしたデータのファイル名を設定します。

■ [スキャナー (メール送信)] > ⚙ >

【わく消し】

厚い書類や書籍などをスキャンするときに、上下左右または中央にできる影を消します。

■ [スキャナー (メール送信)] > ⚙ >

【送信者アドレス】

送信者のメールアドレスを設定します。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[スキャナー (メール送信) ▼] をタップします。

■ [スキャナー (メール送信)] > [スキャナー (メール送信) ▼] >

【リセット】

本機の [スキャナー (メール送信)] の設定をリセットします。

■ [スキャナー (メール送信)] > [スキャナー (メール送信) ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

■ [スキャナー (メール送信)] > [スキャナー (メール送信) ▼] >

【新しいアプリとして保存】

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

3.2.5 【USB】

USBメモリーに保存されている写真や文書をプリントしたり、原稿をスキャンしてUSBメモリーに保存したりできます。

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、[USB] をタップします。

■ [USB] >

【スキャナー (USB 保存)】

	スキャンしたデータを保存するフォルダーを選びます。
【ファイル形式】	ファイル形式を選びます。

その他の設定を表示する

その他の設定をするには、 をタップします。

■ [USB] > 【スキャナー (USB 保存)】 >  >

【カラーモード】



参照

・ 詳しくは、「【カラーモード】 (P.53)」を参照してください。

■ [USB] > 【スキャナー (USB 保存)】 >  >

【解像度】



参照

・ 詳しくは、「【解像度】 (P.53)」を参照してください。

■ [USB] > 【スキャナー (USB 保存)】 >  >

【両面原稿送り】



参照

・ 詳しくは、「【両面原稿送り】 (P.53)」を参照してください。

■ [USB] > 【スキャナー (USB 保存)】 >  >

【読み込み濃度】



参照

・ 詳しくは、「【読み込み濃度】 (P.53)」を参照してください。

■ [USB] > 【スキャナー (USB 保存)】 >  >

【シャープネス】



参照

・ 詳しくは、「【シャープネス】 (P.53)」を参照してください。

■ [USB] > 【スキャナー (USB 保存)】 >  >

【コントラスト】



参照

・ 詳しくは、「【コントラスト】 (P.54)」を参照してください。

■ [USB] > 【スキャナー (USB 保存)】 >  >

【地色除去】



参照

・ 詳しくは、「【地色除去】 (P.54)」を参照してください。

■ [USB] > 【スキャナー (USB 保存)】 >  >

【原稿サイズ】



参照

・ 詳しくは、「【原稿サイズ】 (P.54)」を参照してください。

■ [USB] > [スキャナー (USB 保存)] >  >

【フォルダー作成】

スキャンしたデータを保存するときに、保存するためのフォルダーも同時に作成します。

■ [USB] > [スキャナー (USB 保存)] >  >

【ファイル名】



・詳しくは、「[ファイル名] (P.54)」を参照してください。

■ [USB] > [スキャナー (USB 保存)] >  >

【わく消し】



・詳しくは、「[わく消し] (P.54)」を参照してください。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[スキャナー (USB 保存) ▼] をタップします。

■ [USB] > [スキャナー (USB 保存)] > [スキャナー (USB 保存) ▼] >

【リセット】

本機の [スキャナー (USB 保存)] の設定をリセットします。

■ [USB] > [スキャナー (USB 保存)] > [スキャナー (USB 保存) ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

■ [USB] >

【文書プリント(PDF/TIFF)】

	プリントするファイルを選びます。
【白黒】 【カラー】	出力するカラーモードを選びます。

その他の設定を表示する

その他の設定をするには、 をタップします。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] >  >

【部数】

プリント部数を設定します。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] >  >

【トレイ選択】

用紙トレイを選びます。

【手差し】	【用紙サイズ】	用紙サイズを設定します。
	【用紙種類】	用紙種類を設定します。
【トレイ1】		
【トレイ2】*		

* オプションのトレイモジュール（トレイ2）の装着時に使用できます。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] > ⚙ >

【両面プリント】

両面プリントの設定と同じ方向を設定します。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] > ⚙ >

【ページレイアウト】

プリントする用紙に割り付けるページ数を設定します。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] > ⚙ >

【PDFパスワード】

パスワードで保護されたPDF ファイルの場合は、パスワードを入力します。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] > ⚙ >

【画質】

プリント画質を選びます。

【自動】	PDFやTIFFのファイルは [文字] モード、JPEG ファイルは [写真(標準)] モードでプリントします。
【写真(標準)】	写真を標準の画質でプリントします。
【写真(高画質)】	写真を高画質でプリントします。
【文字】	書類を標準の画質でプリントします。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] > ⚙ >

【ソート】

複数ページを複数部プリントする場合に、ページごとまたは1部ごとにまとめて排出します。

【ソート(1部ごと)】	プリントした用紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて排出します。
【スタック(ページごと)】	プリントした用紙をページごとにまとめて、入力した部数を排出します。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[文書プリント (PDF/TIFF) ▼] をタップします。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] > [文書プリント (PDF/TIFF) ▼] >

【リセット】

本機の [文書プリント (PDF/TIFF)] の設定をリセットします。

■ [USB] > [文書プリント (PDF/TIFF)] > [文書プリント (PDF/TIFF) ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

■ [USB] >

【写真プリント (JPEG)】

☒	フォルダー内のすべての写真を選びます。
☐	フォルダー内のファイル選択をすべて解除します。
【白黒】 【カラー】	出力するカラーモードを選びます。



その他の設定を表示する

その他の設定をするには、 をタップします。

■ [USB] > [写真プリント] >  >

【部数】



参照

・詳しくは、「[部数] (P.56)」を参照してください。

■ [USB] > [写真プリント] >  >

【ページレイアウト】



参照

・詳しくは、「[ページレイアウト] (P.57)」を参照してください。

■ [USB] > [写真プリント] >  >

【トレイ選択】



参照

・詳しくは、「[トレイ選択] (P.56)」を参照してください。

■ [USB] > [写真プリント] >  >

【両面プリント】



参照

・詳しくは、「[両面プリント] (P.57)」を参照してください。

■ [USB] > [写真プリント] >  >

【ソート】



参照

・詳しくは、「[ソート] (P.57)」を参照してください。

■ [USB] > [写真プリント] >  >

【画質】



参照

・詳しくは、「[画質] (P.57)」を参照してください。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[写真プリント ▼] をタップします。

■ [USB] > [写真プリント] > [写真プリント ▼] >

【リセット】

本機の [写真プリント] の設定をリセットします。

■ [USB] > [写真プリント] > [写真プリント ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

3.2.6 【スキャナー（ネットワーク）】

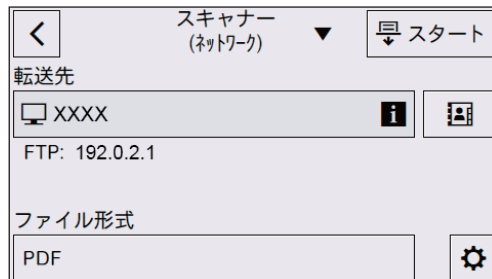
原稿をスキャンしてネットワークサーバーに保存できます。

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、【スキャナー（ネットワーク）】 をタップします。



補足

- ・サーバーアドレスを事前に設定する必要があります。詳しくは、「SMB/FTP接続したコンピューターまたはサーバーに保存する（スキャナー（ネットワーク））(P.127)」を参照してください。



	FTPまたはSMBサーバーのアドレスを、アドレス帳から選びます。
	登録されたネットワークアドレスの情報を表示します。
【ファイル形式】	ファイル形式を選びます。

その他の設定を表示する

その他の設定をするには、 をタップします。

■【スキャナー（ネットワーク）】 >  >

【カラーモード】



参照

- ・詳しくは、「【カラーモード】 (P.53)」を参照します。

■【スキャナー（ネットワーク）】 >  >

【解像度】



参照

- ・詳しくは、「【解像度】 (P.53)」を参照してください。

■【スキャナー（ネットワーク）】 >  >

【両面原稿送り】



参照

- ・詳しくは、「【両面原稿送り】 (P.53)」を参照してください。

■【スキャナー（ネットワーク）】 >  >

【読み込み濃度】



参照

- ・詳しくは、「【読み込み濃度】 (P.53)」を参照してください。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > ⚙ >

【シャープネス】



参照

・ 詳しくは、「[シャープネス] (P.53)」を参照してください。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > ⚙ >

【コントラスト】



参照

・ 詳しくは、「[コントラスト] (P.54)」を参照してください。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > ⚙ >

【地色除去】



参照

・ 詳しくは、「[地色除去] (P.54)」を参照してください。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > ⚙ >

【原稿サイズ】



参照

・ 詳しくは、「[原稿サイズ] (P.54)」を参照してください。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > ⚙ >

【フォルダー作成】



参照

・ 詳しくは、「[フォルダー作成] (P.56)」を参照してください。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > ⚙ >

【ファイル名】



参照

・ 詳しくは、「[ファイル名] (P.54)」を参照してください。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > ⚙ >

【わく消し】



参照

・ 詳しくは、「[わく消し] (P.54)」を参照します。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[スキャナー (ネットワーク) ▼] をタップします。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > [スキャナー (ネットワーク) ▼] >

【リセット】

本機の [スキャナー (ネットワーク)] の設定をリセットします。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > [スキャナー (ネットワーク) ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

■ [スキャナー (ネットワーク)] > [スキャナー (ネットワーク) ▼] >

【新しいアプリとして保存】

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

3.2.7 【スキャナー (WSD)】

原稿をスキャンして、WSD (Web Services on Devices) を使ってコンピューターに送ることができます。

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、[スキャナー (WSD)] をタップします。

【転送先】	転送先のコンピューターを選びます。
【イベント】	送信タイプを選びます。

3.2.8 【スキャナー (PC 保存)】

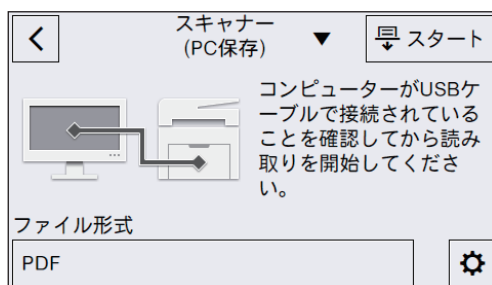
本機がコンピューターとUSBケーブルで接続されている場合に、原稿をスキャンしてコンピューターに保存できます。

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、[スキャナー (PC 保存)] をタップします。



補足

- ・ 本機がUSBケーブルでコンピューターに接続されていることを確認してください。



【ファイル形式】	ファイル形式を選びます。
----------	--------------

その他の設定を表示する

その他の設定をするには、 をタップします。

■ [スキャナー (PC 保存)] >  >

【カラーモード】



参照

- ・ 詳しくは、「[カラーモード] (P.53)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] >  >

【解像度】



参照

- ・ 詳しくは、「[解像度] (P.53)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] > ⚙ >

【両面原稿送り】



参照

・ 詳しくは、「[両面原稿送り] (P.53)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] > ⚙ >

【読み込み濃度】



参照

・ 詳しくは、「[読み込み濃度] (P.53)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] > ⚙ >

【シャープネス】



参照

・ 詳しくは、「[シャープネス] (P.53)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] > ⚙ >

【コントラスト】



参照

・ 詳しくは、「[コントラスト] (P.54)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] > ⚙ >

【地色除去】



参照

・ 詳しくは、「[地色除去] (P.54)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] > ⚙ >

【原稿サイズ】



参照

・ 詳しくは、「[原稿サイズ] (P.54)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] > ⚙ >

【ファイル名】



参照

・ 詳しくは、「[ファイル名] (P.54)」を参照してください。

■ [スキャナー (PC 保存)] > ⚙ >

【わく消し】



参照

・ 詳しくは、「[わく消し] (P.54)」を参照してください。

設定をリセットまたは保存する

設定をリセットまたは保存するには、[スキャナー (PC 保存) ▼] タップします。

■ [スキャナー (PC 保存)] > [スキャナー (PC 保存) ▼] >

【リセット】

本機の [スキャナー (PC 保存)] の設定をリセットします。

■[スキャナー (PC 保存)] > [スキャナー (PC 保存) ▼] >

【新しい初期値として保存】

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

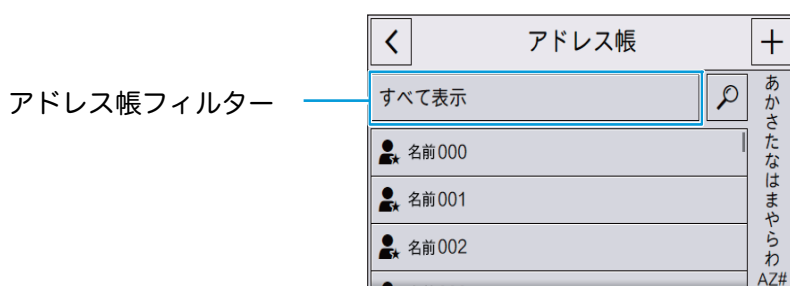
■[スキャナー (PC 保存)] > [スキャナー (PC 保存) ▼] >

【新しいアプリとして保存】

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタンのアイコンを選び、機能ボタン名を設定します。

3.2.9 【アドレス帳】

宛先を登録したり、登録した宛先を選んでグループとして登録したりできます。
操作パネルの 𠂇〈ホーム〉ボタンを押し、[アドレス帳] をタップします。



+	新規の宛先を登録します。
🔍	宛先を検索します。
【アドレス帳フィルター】	表示する宛先の種類を選びます。

■[アドレス帳] > + >

【宛先を登録】

宛先を登録します。

■[アドレス帳] > + > [宛先を登録] >

【名前】

宛先の名前を設定します。

■[アドレス帳] > + > [宛先を登録] >

【インデックスキー】

インデックスキーを設定します。宛先は登録されたインデックスキーのひらがな、英語アルファベット、数字、半角記号、全角記号の順に表示されます。

■[アドレス帳] > + > [宛先を登録] >



宛先をお気に入りに追加します。

■[アドレス帳] > + > [宛先を登録] >

【メールアドレスを入力してください。】

宛先のメールアドレスを入力します。

■[アドレス帳] > + > [宛先を登録] > [ファクス番号を入力してください。]

宛先のファクス番号を入力します。



補足

・入力した宛先を削除する場合は  をタップします。

■[アドレス帳] > + > [グループを登録]

宛先をまとめて宛先グループとして登録します。

■[アドレス帳] > + > [グループを登録] > [グループの種類] > [グループ名を入力してください。]

グループ名を入力します。



補足

・入力した宛先を削除する場合は  をタップします。

■[アドレス帳] > + > [グループを登録] > [グループの種類] > [インデックスキー]

インデックスキーを設定します。グループは登録されたインデックスキーのひらがな、英語アルファベット、数字、半角記号、全角記号の順に表示されます。

■[アドレス帳] > + > [グループを登録] > [グループの種類] >



グループをお気に入りに追加します。

■[アドレス帳] > + > [グループを登録] > [グループの種類] > [メンバーを追加]

個人の宛先を選んでグループに追加したり、すでに登録されている宛先を削除したりします。

3.2.10 [機器設定]

本機全般を設定できます。

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、[機器設定] をタップします。



参照

・設定メニューについては、「本機の設定メニューについて (P.66)」を参照してください。

3.2.11 [ジョブ]

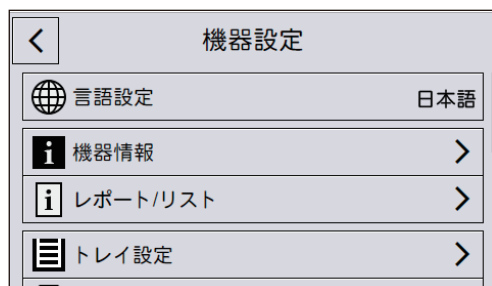
ジョブの実行状況を確認したり、ジョブを中止したりできます。また、本機に蓄積されているプリントジョブやセキュリティ受信モードで受信したファクスを出力したりできます。

操作パネルの  〈ホーム〉 ボタンを押し、[ジョブ] をタップします。

[ジョブフィルター]	ジョブリストを切り替えます。
	[すべて表示]
	[ファクス]
	[プリント]
	[スキャン]
[セキュリティファクスをプリント]	セキュリティ受信モードで受信し、本機に蓄積されているファクスを出力します。
[蓄積プリントジョブ]	本機に蓄積されているプリントジョブをプリントまたは削除します。

3.3 本機の設定メニューについて

ここでは、[ホーム] 画面の [機器設定] をタップすると表示される設定項目について説明します。



3.3.1 [言語設定]

本機で使用する言語を設定できます。

3.3.2 [機器情報]

本機のファクス番号、IPアドレス、シリアル番号などの情報を確認できます。

3.3.3 [レポート / リスト]

次のレポートやリストを出力できます。

■ [レポート / リスト] >

[システム設定リスト]

ネットワーク設定や搭載オプションなど、本機の設定情報や構成情報の一覧を出力します。

■ [レポート / リスト] >

[パネル設定リスト]

本機の設定内容を出力します。

■ [レポート / リスト] >

[PCLフォントリスト]

本機で利用できるPrinter Control Language (PCL) フォントの一覧を出力します。

■ [レポート / リスト] >

[PCLマクロリスト]

ダウンロードしたPCLマクロの情報を出力します。

■ [レポート / リスト] >

[PDFフォントリスト]

本機で利用できるPDFフォントの一覧を出力します。

■[レポート / リスト] >

【ジョブ履歴レポート】

本機で実行されたプリント／コピー／スキャン／ファクスのジョブ履歴を出力します。リストには最新の20件のジョブが記載されます。

■[レポート / リスト] >

【エラー履歴レポート】

紙詰まりや重大なエラーなどの詳細なリストを出力します。

■[レポート / リスト] >

【集計管理レポート】

プリントしたページ数の合計レポートを出力します。

■[レポート / リスト] >

【プロトコルモニターレポート】

最新のファクスのプロトコル情報を出力します。

■[レポート / リスト] >

【アドレス帳】

アドレス帳に登録されているすべての宛先を出力します。

■[レポート / リスト] >

【サーバーアドレスリスト】

アドレス帳に登録されているサーバーの宛先を出力します。

■[レポート / リスト] >

【ファクス通信管理レポート】

ファクスの送受信履歴を出力します。

■[レポート / リスト] >

【ファクス蓄積文書リスト】

待機中になっているファクスジョブの一覧を出力します。

■[レポート / リスト] >

【蓄積文書リスト】

サンプルプリント機能を使用して保存しているプリントジョブの一覧を出力します。

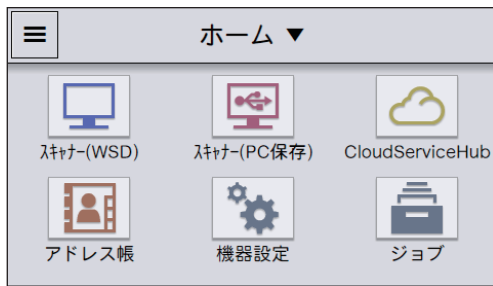


・この設定は、[RAMディスク] を有効にしたときに使用できます。詳しくは、「[RAMディスク] (P.91)」を参照してください。

レポート／リストを出力する

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [レポート/リスト] をタップします。

4. 出力するレポートまたはリスト名の横の をタップします。

3.3.4 [トレイ設定]

トレイ1、手差しトレイ、またはトレイモジュール（トレイ2）（オプション）にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。



・使用できる用紙サイズと用紙種類については、「各トレイで使用できる用紙 (P.95)」を参照してください。

■ [トレイ設定] >

[手差しトレイ]

手差しトレイにセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

[ドライバーの設定を使用する]	プリンタードライバーで設定した用紙サイズと用紙種類を使用するかどうかを設定します。
[用紙サイズ] *	用紙サイズを設定します。
[用紙種類] *	用紙種類を設定します。
[設定画面を表示する]	手差しトレイに用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

* この設定は、[ドライバーの設定を使用する] を無効にしたときに使用できます。

■ [トレイ設定] >

[トレイ1]

トレイ1にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

[用紙サイズ]	用紙サイズを設定します。
[用紙種類]	用紙種類を設定します。
[設定画面を表示する]	トレイ1に用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

■ [トレイ設定] >

[トレイ2]



・トレイモジュール（トレイ2）（オプション）を装着しているときに使用できます。

トレイモジュール（トレイ2）（オプション）にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

【自動サイズ検知】	自動的に用紙サイズを設定します。
【用紙サイズ】	【自動サイズ検知】の  をタップしてチェックマークを表示した場合は、本機が検知した用紙サイズが自動的に表示されます。【自動サイズ検知】のチェックマークを非表示にした場合は、【ユーザー定義サイズ】を設定します。
【用紙種類】	用紙種類を設定します。
【設定画面を表示する】	トレイモジュール（トレイ2）（オプション）に用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

■【トレイ設定】>

【トレイの優先順位】

使用する用紙トレイの優先順位を設定します。同じサイズと種類の用紙がセットされている用紙トレイがある場合は、ここで設定した優先順位に従って使用するトレイが自動的に選ばれます。

3.3.5 【消耗品】

消耗品の状態を確認できます。



・純正品以外のトナーカートリッジを使用すると、トナー残量をパーセント表示で確認できません。残量が空の場合は、【要交換】、それ以外の場合は残量の多少に関わらず、【良好】と表示されます。

3.3.6 【メーター】

これまでに出力した総ページ数を確認できます。

【メーター 1】	白黒出力の総数が表示されます。
【メーター 2】	通常は使用しません。
【メーター 3】	カラー出力の総数が表示されます。

3.3.7 【一般】

時刻や音量など、本機全般の設定ができます。

■【一般】>

【日付と時刻の設定】

日時とタイムゾーンを設定します。

■【一般】>

【画面の明るさ】

タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。

■【一般】>

【サウンド】

ジョブの終了音やトラブル発生時の警告音など、報知音を設定します。

【使用する】	音量の調整を有効にするかどうかを設定します。設定を有効にすると、各項目の音量を調整できます。
【正常入力】	操作パネルの入力が正しいときの報知音の音量を設定します。
【異常入力】	操作パネルの入力が正しくないときの報知音の音量を設定します。
【プリントジョブ完了】	コピーやプリントが終わったときの報知音の音量を設定します。
【ファクスプリント完了】	ファクス出力が終わったときの報知音の音量を設定します。
【ファクス送信完了】	ファクス送信が終わったときの報知音の音量を設定します。
【蓄積プリントジョブの受付完了】	本機に蓄積プリントをしたときの報知音の音量を設定します。
【異常警告】	ジョブが異常終了したときやエラーが発生したときの報知音の音量を設定します。
【用紙切れ】	用紙が切れたときの報知音の音量を設定します。
【消耗品系警告】	トナーが少なくなったときの報知音の音量を設定します。
【自動リセット事前通知】	自動的に［ホーム］画面に戻る前の報知音の音量を設定します。
【準備完了】	本機が操作可能になったときの報知音の音量を設定します。
【エラー解除】	エラーがクリアされたときの報知音の音量を設定します。
【電源オフ】	本機の電源を切るときの報知音の音量を設定します。

■ [一般] >

【NFC】

タブレットやスマートフォンなどのモバイル機器を、本機にNFC通信で接続できるようにするかどうかを設定します。

■ [一般] >

【状態表示ランプ(青)】

本体操作パネルの状態表示ランプの青色点滅をさせるかどうかを設定します。



参照

・状態表示ランプについては、「操作パネル (P.16)」を参照してください。

■ [一般] >

【節電設定】

節電状態に移行するまでの時間を設定します。

【低電力モード移行時間】	低電力モードに移行するまでの時間を設定します。
【スリープモード移行時間】	低電力モードからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。

■ [一般] >

【タイマー】

タイマー機能に関する設定をします。

■ [一般] > [タイマー] >

【オートクリア移行時間】

本機を何も操作しない状態で、一定の時間が経過したとき、自動的に初期画面に戻るまでの時間を設定します。

■ [一般] > [タイマー] >

【エラージョブの自動解除】

ユーザーが解除を必要としないエラーの発生時に、エラー画面から [ホーム] 画面に戻る時間を設定します。

■ [一般] >

【ミリ/インチ切替】

操作パネルに表示される数値の単位を設定します。

■ [一般] >

【出力用紙サイズの初期値】

レポートなど、サイズ指定のないデータをプリントする用紙サイズを A4 または レター から選びます。

■ [一般] >

【ファクス設定】

ファクス機能に関する仕様を設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] >

【ファクス番号】

本機のファクス番号を設定します。設定した番号はファクスのヘッダーに印字されます。



補足

・ [受信制限] を設定する前にこの設定をします。

■ [一般] > [ファクス設定] >

【発信元名】

送信者名を設定します。設定した名前はファクスのヘッダーに印字されます。



補足

・ JIS 第一水準漢字および第二水準漢字以外の文字は、表示や印字されない場合があります。

■ [一般] > [ファクス設定] >

【ファクス回線設定】

ファクスで使用する回線の設定をします。

■ [一般] > [ファクス設定] > [ファクス回線設定] >

【回線の種類】

回線種別を設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [ファクス回線設定] >

【ラインモニター音】

相手機との接続が確立するまでの間、内部スピーカーからの音量を設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [ファクス回線設定] >

【外付け電話フック検出レベル】

外付け電話機のオフフック検出感度（電圧）を調整します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [ファクス回線設定] >

【オフフックでの節電解除】

外付け電話機の手話器を取ったときに節電状態から復帰するかどうかを設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] >

【受信設定】

受信ファクスの設定をします。

■ [一般] > [ファクス設定] > [受信設定] >

【受信モード】

ファクス受信モードを設定します。

【手動受信】	ファクスを手動受信します。呼び出し音が鳴ったあと、外付け電話機の受話器を取りリモート受信番号を押すか、タッチパネルディスプレイの【受信】をタップするとファクスを受信できます。
【自動受信 ファクス】	ファクスを自動受信します。
【自動受信 電話/ファクス】	本機がファクスを受信すると、外付け電話機が【自動受信設定】の【自動受信 電話/ファクス】で設定された時間鳴ったあと、ファクス受信を開始します。相手が電話のときは、本機内部のスピーカーから呼び出し音が鳴ります。
【自動受信 留守電/ファクス】	留守番電話機を使用することを想定した設定です。相手先から着信があると、ファクスか電話かを判断します。相手がファクスのときはファクスを自動受信し、電話のときは留守番電話で相手の伝言を録音します。留守番電話機の電源が切れている場合は、呼び出し音があらかじめ設定した時間鳴ったあと、本機の受信モードが【自動受信 ファクス】に自動的に切り替わります。

■ [一般] > [ファクス設定] > [受信設定] >

【着信信号の検出方法】

着信信号の検出方法を設定します。着信音鳴り分け機能などの利用時にファクスが受信できない場合は、検出方法を切り替えます。

■ [一般] > [ファクス設定] > [受信設定] >

【呼び出し音】

呼び出し音の音量を設定します。【受信モード】が【自動受信 電話/ファクス】のときに有効な設定で、相手先が電話のときに本機内部のスピーカーから呼び出し音が鳴ります。

■ [一般] > [ファクス設定] > [受信設定] >

【自動受信設定】

自動ファクス受信の設定をします。

【自動受信 ファクス】	電話の着信からファクス受信モードに本機が移行するまでの時間を設定します。
【自動受信 電話/ファクス】	外付け電話機の電話の着信からファクス受信モードに本機が移行するまでの時間を設定します。
【自動受信 留守電/ファクス】	留守番電話機の着信からファクス受信モードに本機が移行するまでの時間を設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [受信設定] >

【受信制限】

本機のアドレス帳に登録されていないファクス番号からのファクス受信を拒否するかどうかを設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [受信設定] >

【ファクス受信転送設定】

受信したファクスを指定した宛先に転送するかどうかを設定します。

【転送しない】	
【ファクス転送】	受信したファクスを指定された宛先に転送します。
【転送先番号】	転送先のファクス番号を設定します。
【プリント+ファクス転送】	ファクスを受信したときに本機で出力し、指定されたファクス番号に転送します。
【転送先番号】	転送先のファクス番号を設定します。
【メール転送】 *1,2,3	受信したファクスを指定されたメールアドレスに転送します。
【プリント+メール転送】 *1,2,3	ファクスを受信したときに本機で出力し、指定されたメールアドレスに転送します。
【サーバー転送】 *3,4	受信したファクスを指定されたファイルサーバーの宛先に転送します。
【プリント+サーバー転送】 *3,4	ファクスを受信したときに本機で出力し、指定されたサーバーに転送します。

*1 メールサーバーの設定によっては、本機が転送中のエラーを検知できないことがあります。

*2 メールサーバーの設定が必要です。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

*3 転送先アドレスの登録が必要です。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

*4 ファイルサーバーの設定が必要です。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

■【一般】 > 【ファクス設定】 > 【受信設定】 >

【両面プリント】

受信したファクスを用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。



補足

・この設定は、受信ファクスの用紙サイズや用紙トレイの設定などにより使用できない場合があります。

■【一般】 > 【ファクス設定】 > 【受信設定】 >

【リモート受信】

本機に接続された外付け電話機の操作でファクスを受信できるようにするかどうかを設定します。設定を有効にすると、電話機から2桁の番号を入力するだけでファクスを受信できます。

■【一般】 > 【ファクス設定】 > 【受信設定】 >

【自動縮小受信】

受信したファクス文書の長さがプリントする用紙の長さを超える場合の動作を設定します。

■【一般】 > 【ファクス設定】 >

【送信設定】

送信ファクスの設定をします。

■【一般】 > 【ファクス設定】 > 【送信設定】 >

【リダイヤル設定】

自動リダイヤルの設定をします。

【リダイヤル回数】	リダイヤルする回数を設定します。0を指定した場合は、リダイヤルされません。
【リダイヤル間隔】	リダイヤル間隔を設定します。
【通信間隔】	通信間隔を設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] >

【ダイヤルの種類】

ダイヤル種別を設定します。

[PB]	プッシュ回線を使用します。
[DP(10PPS)]	ダイヤル回線 (10pps) を使用します。
[DP(20PPS)]	ダイヤル回線 (20pps) を使用します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] >

【プレフィックスダイヤル】

外線発信番号を設定します。外線発信時は登録した番号が先頭に付加されてダイヤルされます。構内交換機 (PBX) を利用している環境で設定しておくとな便利な機能です。

■ [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] >

【送信シート】

送信シートを付けるかどうかを設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] >

【発信元記録】

発信元記録を付けるかどうかを設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] >

【ECM】

Error Correction Mode (ECM) 機能を有効にするかどうかを設定します。ECM 機能を使用するには、相手機も ECM 機能に対応している必要があります。

■ [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] >

【モデムスピード】

ファクスの送受信でエラーが発生したとき、ファクスのモデム速度を調整します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] >

【手動送信時の番号表示】

ファクスの手動送信時に、相手先のファクス番号を操作パネルの画面に表示させるかどうかを設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] >

【ファクスレポート設定】

ファクスレポートの設定をします。

■ [一般] > [ファクス設定] > [ファクスレポート設定] >

【ファクス通信管理レポート】

通信結果の合計が 50 件になったときに、履歴を自動的に出力させるかどうかを設定します。

■ [一般] > [ファクス設定] > [ファクスレポート設定] >

【モニターレポート】

ファクス送信後に送信結果を出力するかどうかを設定します。

[常にプリント]	送信時ごとに出力します。
[エラー時にプリント]	送信エラーが発生したときだけ出力します。
[プリントしない]	モニターレポートを出力しません。

■ [一般] > [ファクス設定] > [ファクスレポート設定] >

【同報レポート】

複数の宛先にファクスを送信したときに、送信結果を出力するかどうかを設定します。

【常にプリント】	送信時ごとに出力します。
【エラー時にプリント】	送信エラーが発生したときだけ出力します。
【プリントしない】	同報レポートを出力しません。

■ [一般] > [ファクス設定] > [ファクスレポート設定] >

【プロトコルモニターレポート】

通信障害が発生した場合に原因を確認するための、プロトコルモニターを出力するかどうかを設定します。

【常にプリント】	送信時ごとに出力します。
【エラー時にプリント】	送信エラーが発生したときだけ出力します。
【プリントしない】	プロトコルモニターレポートを出力しません。

■ [一般] >

【メール設定】

メールに関する設定をします。

■ [一般] > [メール設定] >

【送信メールの最大サイズ】

メール送信時の最大データサイズを設定します。

3.3.8 【ネットワーク設定】

ネットワークに関する仕様を設定します。

■ [ネットワーク設定] >

【Wi-Fi】



補足

・この設定は、LANケーブルが接続されていない状態でWi-Fiアダプターが本機に接続されているときに使用できます。

無線LANの設定をします。

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] >

【Wi-Fi設定ウィザード】

表示される画面から接続先の無線LANアクセスポイントを選ぶか、[SSIDを入力] または [WPS] をタップして、無線LANの設定をします。

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [Wi-Fi 設定ウィザード] >

【SSIDを入力】

無線LANアクセスポイントの識別名称を設定します。32文字以内の英数字を入力できます。

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [Wi-Fi 設定ウィザード] > [SSID を入力] >

【インフラストラクチャー】

インフラストラクチャーモードの設定をします。

[暗号化なし]		暗号化を設定しません。
[Mixed mode PSK]		暗号化方式としてWPA-PSK (AES/TKIP)またはWPA2-PSK (AES)のどちらかを自動的に使用します。
	[パスフレーズを入力してください。]	8～63文字の半角英数字、または16進数64文字のパスフレーズを入力します。
[WPA2-PSK-AES]		暗号化方式としてWPA2-PSK (AES)を使用します。
	[パスフレーズを入力してください。]	8～63文字の半角英数字、または16進数64文字（0～9、a～f、A～Fを組み合わせた64桁の文字列）のパスフレーズを入力します。
[WEP]		暗号化方式としてWEPを使用します。
	[10桁または26桁で入力]	10桁または26桁の文字列を入力します。

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [Wi-Fi 設定ウィザード] > [SSID を入力] > [アドホック]

アドホックモードの設定をします。



補足

・この設定は、[Wi-Fi Direct] を無効にしたときに使用できます。

[暗号化なし]		暗号化を設定しません。
[WEP]		暗号化方式としてWEPを使用します。
	[10桁または26桁で入力]	10桁または26桁の文字列を入力します。

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [WPS]

WPSを使用して無線LANの設定をします。

[PINコードで接続]	本機に割り当てられるPINコードを使用して無線LANの設定をします。
-------------	------------------------------------

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [IP動作モード]

IPモードを設定します。



補足

・[IPv6] モードに設定されている場合は、Wi-Fi Directを使用できません。

[デュアルスタック]	IPv4とIPv6の両方を使用してIPアドレスを設定します。
[IPv4]	IPv4を使用してIPアドレスを設定します。
[IPv6]	IPv6を使用してIPアドレスを設定します。

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [TCP/IP]

TCP/IPを設定します。

[IPアドレスの取得方法]	[DHCP/AutoIP]	IPアドレスを自動で設定します。
	[BOOTP]	BOOTPを使用してIPアドレスを設定します。
	[RARP]	RARPを使用してIPアドレスを設定します。
	[DHCP]	DHCPを使用してIPアドレスを設定します。
	[直接入力]	IPアドレスを手動で設定します。
[IPアドレス]		本機に割り当てられたIPアドレスを表示します。IPアドレスを手動で設定するときは、各オクテットを0から254の範囲の値で指定します。127と224から254の範囲の値は、最初のオクテットとして指定できません。
[サブネットマスク]		本機に割り当てられたサブネットマスクを表示します。サブネットマスクを手動で設定するときは、各オクテットを0から255の範囲の値で指定します。255.255.255.255はサブネットマスクとして指定できません。
[ゲートウェイアドレス]		本機に割り当てられたゲートウェイアドレスを表示します。ゲートウェイアドレスを手動で設定するときは、各オクテットを0から254の範囲の値で指定します。127と224から254の範囲の値は、最初のオクテットとして指定できません。

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] >

[IPsecを無効にする]



補足

- ・この設定は、CentreWare Internet Servicesで [IPsec] が有効になっているときに使用できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

IPsec通信を無効にします。

■ [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] >

[Wi-Fi設定の初期化]

無線LANの設定を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、すべての無線LAN設定が工場出荷時の設定値に戻ります。

■ [ネットワーク設定] >

[Wi-Fi Direct]



補足

- ・この設定は、LANケーブルが接続されていない状態でWi-Fiアダプターが本機に接続されているときに使用できます。
- ・この設定は、IPv6やアドホック環境では使用できません。

Wi-Fi Directネットワークの設定をします。

[Wi-Fi Direct]		Wi-Fi Directネットワークの設定を有効または無効にします。
[グループ設定]	[自動]	本機のグループロールを自動的に設定します。
	[グループオーナー]	本機をWi-Fi Directネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線LANアクセスポイントとして機能し、モバイル機器から本機を検出できるようになります。

【機器名】		Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名称を、32文字以内の英数字で入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。
【接続中の機器】		Wi-Fi Directの接続状況を確認します。
	【すべて切断】	
	【今すぐ切断】	Wi-Fi Directの接続を切断します。
	【切断してパスワードをリセット】	Wi-Fi Directの接続を切断し、パスワードを初期化します。
【SSID】		Wi-Fi Directで識別するネットワークの名称を表示します。「DIRECT-XX」に続く部分については23文字以内の英数字で入力できます。モバイル機器から接続先のネットワーク名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。
【パスワード】		パスワードを表示します。モバイル機器からWi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスワードを入力します。
	【パスワードをリセット】	Wi-Fi Directの接続を切断し、パスワードを初期化します。
	【パスワードをプリント】	パスワードを出力します。
【WPSの設定】		WPSを使用してWi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	【押しボタン方式】	WPS（押しボタン方式）を使用してWi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	【PINコード方式】	本機に割り当てられるPINコードを使用してWi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	【PINコードをリセット】	PINコードを初期化します。
	【PINコードをプリント】	PINコードを出力します。

■ [ネットワーク設定] >

[Ethernet]



補足

・この設定は、本機が有線LANに接続されているときに使用できます。
有線LANの設定をします。

■ [ネットワーク設定] > [Ethernet] >

[IP動作モード]

IPモードを設定します。

【デュアルスタック】	IPv4とIPv6の両方を使用してIPアドレスを設定します。
【IPv4】	IPv4を使用してIPアドレスを設定します。
【IPv6】	IPv6を使用してIPアドレスを設定します。

■ [ネットワーク設定] > [Ethernet] >

[TCP/IP]

TCP/IPを設定します。

[IPアドレスの取得方法]	[DHCP/AutoIP]	IPアドレスを自動で設定します。
	[BOOTP]	BOOTPを使用してIPアドレスを設定します。
	[RARP]	RARPを使用してIPアドレスを設定します。
	[DHCP]	DHCPを使用してIPアドレスを設定します。
	[直接入力]	IPアドレスを手動で設定します。
[IPアドレス]		本機に割り当てられたIPアドレスを表示します。IPアドレスを手動で設定するときは、各オクテットを0から254の範囲の値で指定します。127と224から254の範囲の値は、最初のオクテットとして指定できません。
[サブネットマスク]		本機に割り当てられたサブネットマスクを表示します。サブネットマスクを手動で設定するときは、各オクテットを0から255の範囲の値で指定します。255.255.255.255はサブネットマスクとして指定できません。
[ゲートウェイアドレス]		本機に割り当てられたゲートウェイアドレスを表示します。ゲートウェイアドレスを手動で設定するときは、各オクテットを0から254の範囲の値で指定します。127と224から254の範囲の値は、最初のオクテットとして指定できません。

■ [ネットワーク設定] > [Ethernet] >

[通信速度]

イーサネットの通信速度および通信方式を設定します。

[自動]
[10BASE-T(半二重)]
[10BASE-T(全二重)]
[100BASE-TX(半二重)]
[100BASE-TX(全二重)]
[1000BASE-T(全二重)]

■ [ネットワーク設定] > [Ethernet] >

[IPsecを無効にする]



補足

・この設定は、CentreWare Internet Servicesで [IPsec] が有効になっているときに使用できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

IPsec通信を無効にします。

■ [ネットワーク設定] >

[プロトコル]

各プロトコルを有効または無効にします。

[LPD]
[Port9100]
[FTP]
[IPP]
[WSDプリント] *1
[WSDスキャン] *1

[TWAIN]

[SNMP UDP] *2

[StatusMessenger]

[Internet Services]

[Bonjour(mDNS)]

[Telnet]

[アドレス帳の更新]

[HTTP - SSL/TLS]

[Google Cloud Print]

*1 WSDはWeb Services on Devicesの略称です。

*2 SNMPはSimple Network Management Protocolの略称です。

■ [ネットワーク設定] >

【その他】

ネットワーク関連の応用設定をします。

■ [ネットワーク設定] > [その他] >

【IPv4フィルター】

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可するIPv4アドレスは、CentreWare Internet Servicesで登録します。



補足

・ Wi-Fi Direct経由の通信には適用されません。

■ [ネットワーク設定] > [その他] >

【IPv6フィルター】

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可するIPv6アドレスは、CentreWare Internet Servicesで登録します。



補足

・ Wi-Fi Direct経由の通信には適用されません。

■ [ネットワーク設定] > [その他] >

【IEEE 802.1xを無効にする】



補足

・ この設定は、本機がLANケーブルで接続され、CentreWare Internet ServicesでIEEE802.1x認証が設定されているときに使用できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

IEEE 802.1x認証を無効にします。

■ [ネットワーク設定] > [その他] >

【ネットワーク設定の初期化】

不揮発性メモリー (NVM) に保存されている有線LAN設定を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、すべての有線LAN設定が工場出荷時の設定値に戻ります。

■ [ネットワーク設定] > [その他] >

【証明書をすべて削除】

本機に登録されている証明書をすべて削除します。証明書は本機の再起動後にすべて削除されます。

3.3.9 [アプリの初期値]

コピー／ファクス／スキャン／USBダイレクトプリント機能で使用する各設定の初期値を指定できます。

■[アプリの初期値] >

[コピー設定]

コピー機能で使用する設定の初期値を指定します。

■[アプリの初期値] > [コピー設定] >

[カラーバランス]

各色の強弱を、低／中／高の濃度域別に調整します。



参照

・上記以外の設定については、「[コピー] (P.47)」を参照してください。

■[アプリの初期値] >

[ファクス設定]

ファクス機能で使用する設定の初期値を指定します。



参照

・設定については、「[ファクス] (P.51)」を参照してください。

■[アプリの初期値] >

[スキャン設定]

スキャン機能で使用する設定の初期値を指定します。



参照

・設定については、「[スキャナー (ネットワーク)] (P.59)」を参照してください。

■[アプリの初期値] >

[ダイレクトプリント設定]

USBダイレクトプリントからのプリントで使用する設定の初期値を指定します。



参照

・設定については、「[USB] (P.54)」を参照してください。

3.3.10 [セキュリティ設定]

設定メニューや機能へのアクセス制限をかけるなど、セキュリティ関連の設定ができます。

■[セキュリティ設定] >

[パネルロック]

パスワードを使用して設定メニューへのアクセス制限をかけたり、使用するパスワードを変更したりします。

【パネルロック設定】	パスワードによるアクセス制限を有効にするかどうかを設定します。 アクセス制限の対象となる設定メニューは次のとおりです。 ・ [アドレス帳] ・ [レポート/リスト] ・ [一般] ・ [ネットワーク設定] ・ [アプリの初期値] ・ [セキュリティー設定] ・ [メンテナンス] ・ [高度な設定]
【暗証番号の変更】*	使用するパスワードを変更します。

* この設定は、[パネルロック設定] を有効にしたときに使用できます。

■【セキュリティー設定】>

【サービスロック】



補足

・ この設定は、[パネルロック設定] を有効にしたときに使用できます。この設定については、「[パネルロック] (P.81)」を参照してください。

本機の各機能を有効または無効にしたり、パスワードを使用して機能の使用制限をかけたりします。
[コピー] および [USBダイレクトプリント] では、カラーコピーやカラー印刷の制限をかけることができます。

【暗証番号の変更】*	[サービスロック] のパスワードを変更します。	
【コピー】	コピー機能の設定をします。	
【スキャナー (メール送信)】	スキャナー (メール送信) 機能の設定をします。	
【ファクス】	ファクス機能の設定をします。	
【ダイレクトファクス】	ダイレクトファクス機能の設定をします。	
【スキャナー (ネットワーク)】	スキャナー (ネットワーク) 機能の設定をします。	
【スキャナー (PC/WSD)】	スキャナー (PC保存) およびスキャナー (WSD) 機能の設定をします。	
【PCスキャン】	コンピューターからスキャンするときの設定をします。	
【スキャナー (USB保存)】	スキャナー (USB 保存) 機能の設定をします。	
【USBダイレクトプリント】	USBダイレクトプリント機能の設定をします。	
【USB設定】	【USB挿入時のメニュー表示】	USBメモリーを本機に差し込んだときに [USB] 画面を表示するかどうかを設定します。

* この設定は、[暗証番号でロック] または [カラーのみ暗証番号でロック] を有効にしたときに使用できます。

■ [セキュリティ設定] >

[セキュリティファクス受信]



補足

- ・ この設定は、[パネルロック設定] を有効にしたときに使用できます。この設定については、「[パネルロック] (P.81)」を参照してください。
- ・ この設定が有効の場合でも、[ファクス受信転送設定] が [メール転送]、[プリント+メール転送]、[サーバー転送]、または [プリント+サーバー転送] に設定されているときは、受信ファクスは本機のメモリーに蓄積され、指定された宛先に転送されます。[ファクス受信転送設定] については、「[ファクス受信転送設定] (P.72)」を参照してください。

受信ファクスを出力するときにパスワードを要求する設定にしたり、パスワードを変更したりします。

[セキュリティファクス受信]	受信ファクスを出力するときにパスワードを要求するかどうかを設定します。
----------------	-------------------------------------

[暗証番号の変更] *	使用するパスワードを変更します。
-------------	------------------

* この設定は、[セキュリティファクス受信] を有効にしたときに使用できます。

■ [セキュリティ設定] >

[プリント集計管理]

プリントの制限に関する設定をします。

■ [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] >

[プリント集計管理]

ユーザーごとにプリントの利用を制限したり、プリントの利用量を集計したりします。



参照

- ・ 本機へのユーザー登録やプリントの利用制限の方法については、「登録ユーザーだけにプリントを許可する (P.177)」または「登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する (P.179)」を参照してください。

■ [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] >

[未認証ユーザーのプリント]

[プリント集計管理] を有効にすると、アカウント情報（ユーザー名とパスワード）を持たないジョブはプリントできません。アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する場合は、本機能を有効にします。

アカウント情報を持たないジョブとは、次のとおりです。

- ・ 他社製のプリンタードライバーやユーティリティで作成されたジョブ
- ・ 次の機能を使って送信されたジョブ
 - USB ダイレクトプリント
 - AirPrint
 - Google クラウド プリント
 - Mopria プリントサービス



補足

- ・ 弊社のプリンタードライバーやアプリケーションを使用した場合でも、プリンタードライバーやアプリケーションの認証情報の設定を無効にすると、アカウント情報を持たないジョブになります。

■ [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] >

【強制白黒プリント】

- ・ [プリント集計管理] が有効の場合

カラープリントを制限されたユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。
[未認証ユーザーのプリント] が有効のときは、アカウント情報を持たないカラープリントジョブも強制的に白黒でプリントします。



補足

- ・ カラープリントを制限されたユーザーとは、CentreWare Internet Servicesの [カラープリントモード制限] が [白黒のみ許可] に設定されたユーザーです。[強制白黒プリント] を無効にした場合、カラープリントを制限されたユーザーのカラープリントジョブはキャンセルされます。詳しくは、「白黒プリントだけを許可する (P.179)」を参照してください。
- ・ [プリント集計管理] が無効の場合
すべてのユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。

■ [セキュリティ設定] >

【メール送信者の編集】

メール送信時に差出人名の編集を許可するかどうかを設定します。

■ [セキュリティ設定] >

【送信時の宛先確認】

ファクス送信時やメール送信時に宛先の確認画面を表示させるかどうかを設定します。



補足

- ・ [する] に設定すると、指定できる宛先はアドレス帳の宛先に制限されます。メールアドレスやファクス番号を直接入力して指定することはできません。

[しない]	宛先の確認画面を表示しません。
[する]	宛先の確認画面を表示してからジョブを送信します。

■ [セキュリティ設定] >

【メール送信宛先制限】

メールの送信先を、指定したドメインのアドレスに限定するかどうかを設定します。



補足

- ・ 送信先ドメインはCentreWare Internet Servicesの [SMTPドメイン制限の設定] から設定します。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

■ [セキュリティ設定] >

【ソフトウェアダウンロード】

ファームウェア更新ファイルのダウンロード機能を有効にするかどうかを設定します。

■ [セキュリティ設定] >

【認証失敗アクセス拒否】



補足

- ・ この設定は、[パネルロック設定] を有効にしたときに使用できます。この設定については、「[パネルロック] (P.81)」を参照してください。

ログインの試行回数を設定します。対象となるログイン先メニューは、[パネルロック]、[サービスロック]、および [セキュリティファクス受信] です。

3.3.11 [メンテナンス]

定着ユニットの調整や転写ユニットの清掃など、メンテナンスに関する設定ができます。

■[メンテナンス] >

[用紙種類調整]

用紙種類を設定します。

■[メンテナンス] >

[1次転写電圧オフセット調整]

出力結果に文字や画像の残像（ゴースト）が現れたときに転写電圧を調整します。

[ブラックオフセット調整]	出力結果にかすかに黒い残像が現れたときに、値を小さくします。
[カラーオフセット調整]	出力結果にかすかに黄や赤、青の色が付いた残像が現れたときに、値を小さくします。

■[メンテナンス] >

[2次転写電圧オフセット調整]

用紙種類ごとに転写ロール（BTR）の転写電圧を調整します。出力結果の色がまだらになる場合は、電圧を上げます。白く抜けてしまう場合は、電圧を下げます。

■[メンテナンス] >

[定着ユニット調整]

用紙種類ごとに定着ユニットの温度調整をします。用紙がカールする場合は、温度を下げます。用紙にトナーが正しく定着しない場合は、温度を上げます。

■[メンテナンス] >

[カラーレジ調整]

カラーレジストレーションを調整します。本機の設置時や移動時などに実施します。

■[メンテナンス] >

[自動階調補正]

コピーやプリント機能などでキャリブレーションや設定をします。この機能は印刷色、環境や用紙などの一貫性を保つためのものです。

■[メンテナンス] >

[現像機/転写ユニットクリーニング]

現像機と転写ユニットを清掃します。出力結果がぼやけているときに実施します。

■[メンテナンス] >

[トナーリフレッシュ]

トナーと現像剤のバランスを適正にします。出力結果がぼやけているときに実施します。



補足

- ・この機能はトナーを使用するため、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルの寿命が縮まることがあります。

■ [メンテナンス] >

【NVMの初期化】

不揮発性メモリー (NVM) を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、メニューの値が工場出荷時の設定値に戻ります。

【ファクス設定】	本機に登録されているファクス番号、発信元名、および受信ファクス転送時の転送先番号／転送先メールアドレス／転送先サーバーアドレスを削除します。
【スキャン設定】	本機に登録されているサーバーアドレスを削除します。
【ユーザー情報】	[ホーム] 画面と機能ボタンの状態を工場出荷時の状態に戻します。
【アプリ情報】	追加したアプリを削除します。
【システム設定】	システム設定を工場出荷時の状態に戻します。
【アドレス帳】	アドレス帳に登録されている宛先を削除します。



補足

・サーバーアドレスは削除されません。

■ [メンテナンス] >

【プリント用カウンターの初期化】

集計したプリント数を初期化します。

■ [メンテナンス] >

【蓄積ジョブの削除】



補足

・この設定は、[RAMディスク] を有効にしたときに使用できます。詳しくは、「[RAMディスク] (P.91)」を参照してください。

蓄積プリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。

【すべての文書】	蓄積プリント機能により保存されているプリントジョブをすべて削除します。
【セキュリティープリント】	セキュリティープリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。
【サンプルプリント】	サンプルプリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。

■ [メンテナンス] >

【カスタムトナーモード】

非純正トナーカートリッジを使用するかどうかを設定します。



注記

・非純正トナーカートリッジを使用すると、本機の機能を十分に利用できないことがあります。非純正トナーカートリッジを使用して発生した不具合については、弊社品質保証の対象外となります。

■ [メンテナンス] >

【高地使用設定】

本機の設置場所の高度を設定します。

高度を正しく設定することで印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。

■ [メンテナンス] >

【ジョブ履歴の削除】

本機で処理されたジョブの履歴データをすべて削除します。

3.3.12 【高度な設定】

使用環境やお好みに応じて各設定を変更できます。

■ [高度な設定] >

【PCL 設定】

Printer Control Language (PCL) に関する設定をします。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【トレイ選択】

用紙トレイを設定します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【出力用紙サイズ】

用紙サイズを設定します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【原稿の向き】

原稿の向きを設定します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【両面】

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。両面プリントする場合は、長辺とじまたは短辺とじを設定します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【フォント設定】

本機の常駐フォントからデフォルトのフォントを設定します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【シンボル設定】

指定フォントのシンボルセットを設定します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【フォントサイズ】

プロポーショナルフォントのフォントサイズを設定します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【フォントピッチ】

等幅フォントのフォントピッチを設定します。フォントピッチは横1インチ内にプリントされる文字数を表します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【フォーム行数】

1 ページあたりのプリント行数を設定します。行間のスペースは、[出力用紙サイズ] および [原稿の向き] に基づいて設定されます。あらかじめ用紙サイズと原稿の向きを設定してください。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【部数】

プリント部数を設定します。



補足

- ・ 特定のプリントジョブに対して部数を設定する場合は、プリンタードライバーから値を設定してください。プリンタードライバーで設定した値は操作パネルで設定した値よりも常に優先されます。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【イメージエンハンス】

画像処理機能を有効にするかどうかを設定します。設定を有効にすると、黒と白の境界線が滑らかになり、縁のギザギザが低減して見た目が向上します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【Hex Dump】

トラブルの原因を特定しやすくします。本機に送られたすべてのデータが、16進数と文字でプリントされます。制御コードは実行されません。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【トナー節約】

プリント時にトナーを節約するかどうかを設定します。通常のプリントに比べて印字品質は低下します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【行末処理】

制御文字コマンドを追加します。

【しない】	制御文字コマンドは追加されません。 CR=CR、LF=LF、FF=FF
【LFを追加】	LF コマンドが追加されます。 CR=CR-LF、LF=LF、FF=FF
【CRを追加】	CR コマンドが追加されます。 CR=CR、LF=CR-LF、FF=CR-FF
【CR-XX】	CR コマンドと LF コマンドが追加されます。 CR=CR-LF、LF=CR-LF、FF=CR-FF

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【カラーモード】

カラーモードを設定します。

■ [高度な設定] > [PCL 設定] >

【白紙節約】

何もイメージがない白紙ページはプリントせず、イメージがあるページだけプリントするかどうかを設定します。

■ [高度な設定] >

【PDF設定】

PDFファイルのプリント設定をします。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【部数】

プリント部数を設定します。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【両面】

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。両面プリントする場合は、長辺とじまたは短辺とじを設定します。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【プリントモード】

プリントモードを設定します。

【標準】	標準サイズの文字を含む文書に使用します。
【高画質】	小さい文字や細い線を含む文書、ドットインパクトプリンターを使った文書をプリントする場合に使用します。
【高速】	【標準】より速くプリントできますが、印字品質は低下します。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【PDFパスワード】

パスワードで保護されたPDFをプリントするためのパスワードを設定します。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【ソート】

PDFファイルを複数部数プリントするとき、部単位に（1部ごとに）仕分け（ソート）してプリントするかどうかを設定します。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【出力用紙サイズ】

用紙サイズを設定します。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【レイアウト】

レイアウトを設定します。

【用紙サイズに合わせる】	本機で設定した用紙サイズに合わせてプリントします。
【等倍】	文書と同じサイズでプリントします。
【製本】	向きを合わせて、両面にプリントします。
【2アップ】	1枚の用紙に2ページ分を割り当ててプリントします。
【4アップ】	1枚の用紙に4ページ分を割り当ててプリントします。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【PDFデフォルトカラー】

カラーモードを設定します。

■ [高度な設定] > [PDF 設定] >

【ジョブ区切りの検出】

PDF ファイルのプリントが正常に終了したことを検知するかどうかを設定します。

■ [高度な設定] >

【USBポート設定】

USB インターフェイスコネクタに関する設定をします。

■ [高度な設定] > [USB ポート設定] >

【ポート設定】

USB インターフェイスコネクタの使用を有効にするかどうかを設定します。

■ [高度な設定] > [USB ポート設定] >

【ポート固定】

ソフトウェアインストール時に指定したポートを固定して使用するかどうかを設定します。

■ [高度な設定] > [USB ポート設定] >

【自動排出時間設定】

コンピュータからデータを受信するまでのプリンターが待機する時間を設定します。設定した時間内にプリントされなかった場合、プリントジョブは中止されます。

■ [高度な設定] >

【コピー設定】

コピー機能の応用設定をします。

■ [高度な設定] > [コピー設定] >

【地色除去レベル】

原稿の背景にある色の濃度を調整します。

■ [高度な設定] >

【スキャン設定】

スキャン機能の応用設定をします。

■ [高度な設定] > [スキャン設定] >

【地色除去レベル】

原稿の背景にある色の濃度を調整します。

■ [高度な設定] > [スキャン設定] >

【TIFF形式】

TIFF のファイル形式を設定します。

■ [高度な設定] > [スキャン設定] >

【画質/ファイルサイズ】

ファイルの圧縮率を設定します。

■ [高度な設定] >

【出力設定】

本機からの出力に関する設定をします。

■ [高度な設定] > [出力設定] >

【RAMディスク】

蓄積プリント機能を利用する場合に、本機能を有効にし、データ格納のためのディスクサイズを決定します。

■ [高度な設定] > [出力設定] >

【IDプリント】

ユーザー IDをプリントするかどうかと、プリントする場合の位置を設定します。

■ [高度な設定] > [出力設定] >

【テキストプリント】

本機でサポートされていないページ記述言語（PDL）データをテキストとしてプリントするかどうかを設定します。

■ [高度な設定] > [出力設定] >

【用紙の置き換え】

指定したトレイにセットされている用紙が現在のジョブの用紙サイズの設定と一致しない場合に、異なるサイズの用紙を使用するかどうかを設定します。

【しない】	異なるサイズの用紙は使用しません。
【より大きいサイズ】	大きいサイズの用紙で代用します。大きいサイズの用紙が無い場合は、近いサイズの用紙で代用します。
【最も近いサイズ】	近いサイズの用紙で代用します。
【手差しトレイを選択】	手差しトレイの用紙を使用します。

■ [高度な設定] > [出力設定] >

【A4/レター出力用紙切り替え】

A4サイズの用紙が使用できなかったときにレターサイズの用紙で代用してプリントするかどうか、反対にレターサイズをA4サイズで代用してプリントするかどうかを設定します。

■ [高度な設定] > [出力設定] >

【バナーシート出力設定】

バナーシートの挿入先と給紙先トレイを設定します。

【挿入位置】	【挿入しない】	バナーシートを挿入しません。
	【先頭】	バナーシートを出力紙の最初に挿入します。
	【最終】	バナーシートを出力紙の最後に挿入します。
	【先頭と最終】	バナーシートを出力紙の最初と最後にそれぞれ挿入します。
【トレイ選択】	【手差し】	バナーシートに使う用紙の給紙先を手差しトレイに設定します。
	【トレイ1】	バナーシートに使う用紙の給紙先をトレイ1に設定します。
	【トレイ2】*	バナーシートに使う用紙の給紙先をトレイモジュール（トレイ2）（オプション）に設定します。

* トレイモジュール（トレイ2）（オプション）が装着されているときに使用できます。

■ [高度な設定] > [出力設定] >

【レポート両面プリント】

レポートを出力するときに用紙の両面に出力するかどうかを設定します。

■ [高度な設定] > [出力設定] >

【レターヘッド両面プリント】

レターヘッドの両面にプリントするかどうかを設定します。

■ [高度な設定] >

【トナー残量警告メッセージ】

トナー残量が少なくなったときに警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

■ [高度な設定] >

【ドラムカートリッジ寿命時の動作】

ドラムカートリッジが交換時期になったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。



- ・ドラム交換のメッセージが表示される前にあらかじめ設定しておく必要があります。ドラム交換のメッセージが表示されたあとに設定は変更できません。

【停止する】	ドラムカートリッジの交換時期になると、本機は停止します。
【継続する】	ドラムカートリッジの交換時期になっても、本機は停止しません。



- ・印字品質の保証外となるため、[ホーム] 画面の  をタップして [通知] に「ブラックドラムカートリッジ交換」*とメッセージが表示されたら、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。
- ・「ブラックドラムカートリッジを今すぐ交換してください」*とメッセージが表示されると、新しいドラムカートリッジを交換するまで印刷できません。

* メッセージは、ブラックドラムカートリッジの場合を例にしています。



- ・ドラムカートリッジの交換については、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。

■ [高度な設定] >

【ジョブ履歴レポート】

ジョブの処理が20件終了するごとに履歴レポートを出力するかどうかを設定します。



- ・レポートは [レポート/リスト] メニューから出力することもできます。

■ [高度な設定] >

【LDAPアドレス帳】

LDAPサーバー内に登録されているファクス番号とメールアドレスを、本機から検索できるようにするかどうかを設定します。



- ・本機からLDAPサーバーにアクセスするには、CentreWare Internet Servicesの設定が必要です。詳しくは、「LDAPサーバーのアドレス帳を使用する (P.171)」を参照してください。

【利用しない】	ファクス番号とメールアドレスのいずれも検索できません。
【利用する】	ファクス番号とメールアドレスの両方を検索できます。

【利用する(ファクスのみ)】	ファクス番号だけを検索できます。
【利用する(メールのみ)】	メールアドレスだけを検索できます。

3.4 節電機能について

節電機能を利用すると、電力消費量を抑えることができます。

3.4.1 節電状態に移行する

本機は次の場合に節電状態になります。

- ・ 一定時間操作をしなかったとき
 - ・ 電源/節電 ボタンを押して [スリープモード] を選んだとき
- 節電状態になると、電源/節電 ボタンがゆっくり点滅します。

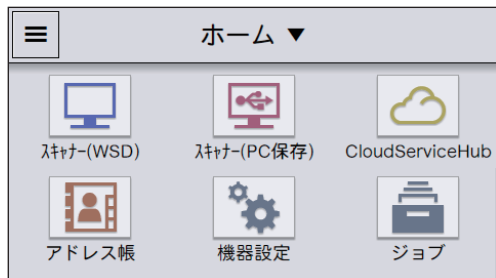
3.4.2 節電機能の種類

低電力モードとスリープモードがあります。

本機はまず低電力モードに入ります。そのあと、設定時間が経過すると、スリープモードに移行します。

3.4.3 節電状態に移行する時間を変更する

1. 画面左下のメニューボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [一般] > [節電設定] をタップします。
4. [スリープモード移行時間] または [低電力モード移行時間] をタップします。
5. 数値を設定します。
6. [OK] をタップします。



・ 詳しくは、「[節電設定] (P.70)」を参照してください。

3.4.4 節電状態から復帰する

節電状態から復帰するには、電源/節電 ボタンを押します。

3.5 用紙について

3.5.1 弊社推奨の用紙

より鮮明にコピーやプリントをするためには規格に合った用紙を使用してください。弊社では次の標準紙を推奨しています。

種類	用紙名	用紙質量 (g/m ²)
普通紙	FUJI XEROX P	64
普通紙	FUJI XEROX C ²	70

その他の用紙については、お買い求めの販売店またはサービス窓口へお問い合わせください。



注記

- ・水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくはお買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

3.5.2 各トレイで使用できる用紙

用紙種類

用紙の種類	用紙質量 (g/m ²)	手差しトレイ	トレイ1	トレイモジュール (トレイ2)	自動両面
普通紙	60～90	○	○	○	○
上質紙	91～105	○	○	○	○
厚紙1	106～176	○	○	○	○
厚紙2	177～220	○	○	○	×
厚紙 (特殊)	-	○	×	×	×
コート紙1	105	○	○	○	○
コート紙2	106～176	○	○	○	○
コート紙3	177～220	○	○	×	×
ラベル紙	-	○	○	○	×
封筒	-	○	○	×	×
再生紙	60～90	○	○	○	○
レターヘッド	60～90	○	○	○	○

用紙の種類	用紙質量 (g/m ²)	手差しトレイ	トレイ1	トレイモ ジュール (トレイ2)	自動両面
プレプリント紙	60～90	○	○	○	○
穴あき紙	60～90	○	○	○	○
色紙	60～90	○	○	○	○
郵便はがき	-	○	○	×	×

○：使用可 ×：使用不可



補足

・自動両面機能は質量が64～176 g/m²の用紙で使用できます。

用紙サイズ

●定形サイズ

用紙のサイズ	向き	手差しトレイ	トレイ1	トレイモ ジュール (トレイ2)	自動両面
A4 (210 x 297 mm)	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
B5 (182 x 257 mm)	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
A5 (148 x 210 mm)	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	○	○	×	×
A6 (105 x 148 mm)	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
8.5 x 11" (レター)	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
7.25 x 10.5"	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
8.5 x 13"	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
8.5 x 14" (リーガル)	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
郵便はがき	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
往復はがき	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
封筒洋形2号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×

用紙のサイズ	向き	手差しトレイ	トレイ1	トレイモジュール (トレイ2)	自動両面
封筒洋形3号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
封筒洋形4号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
封筒洋長形3号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
封筒長形3号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×

○：使用可 ×：使用不可

●ユーザー定義サイズ

手差しトレイ	よこ：76.2～215.9 mm たて：127～355.6 mm
トレイ1	よこ：76.2～215.9 mm たて：148～355.6 mm
トレイモジュール (トレイ2)	よこ：76.2～215.9 mm たて：190.5～355.6 mm

ユーザー定義用紙を設定した場合、自動両面機能は次の用紙サイズと用紙質量のときに利用できます。

よこ：139.7～215.9 mm

たて：210～355.6 mm

用紙質量：64～176 g/m²

使用できない用紙

故障の原因となるので、次の用紙は使用しないでください。

- ・ 折り目やしわが入った用紙
- ・ 湿気を含んだ用紙、湿気で波打った用紙
- ・ カールした用紙
- ・ 使用後（一部のラベルを剥がした後）のラベル紙
- ・ 本機以外のプリンターやコピー機で一度プリントした用紙
- ・ OHPフィルム
- ・ バックライトフィルム（電飾フィルム）
- ・ 水転写紙
- ・ インクジェット用紙
- ・ 感熱紙、熱転写紙
- ・ 布地転写用紙
- ・ ベタ塗りの裏紙
- ・ ノーカーボン紙
- ・ 横目用紙のような、コシの弱い用紙
- ・ 凹凸処理を施した紙（エンボス紙）
- ・ ミシン目のある用紙

その他にも、使用できない用紙があります。詳しくはお買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

3.5.3 用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

- ・ 用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- ・ 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- ・ 用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- ・ 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

- ・ 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- ・ 折り目、しわが入った用紙は使用しないでください。
- ・ 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
- ・ サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ・ ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

3.6 用紙をセットする

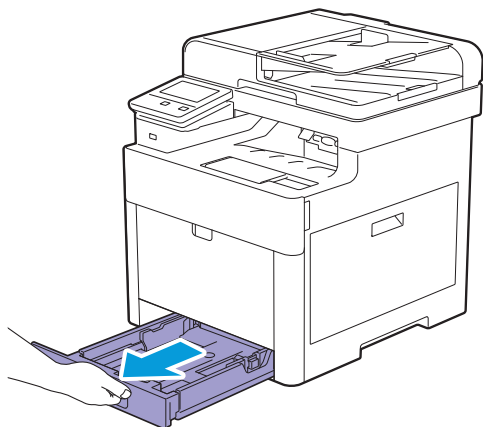
3.6.1 トレイ1とトレイモジュール（トレイ2）（オプション）に用紙をセットする



注記

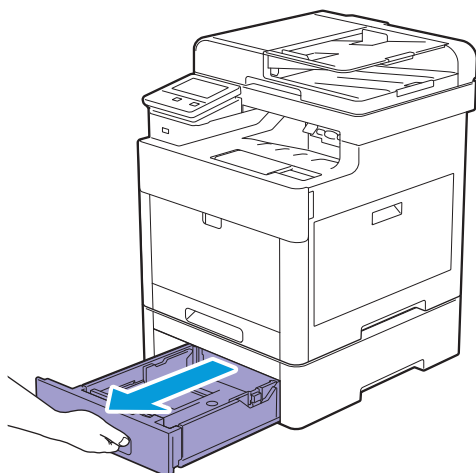
・プリント・コピー中は、使用中の用紙トレイを引き出さないでください。

1. 本機からトレイを引き出します。

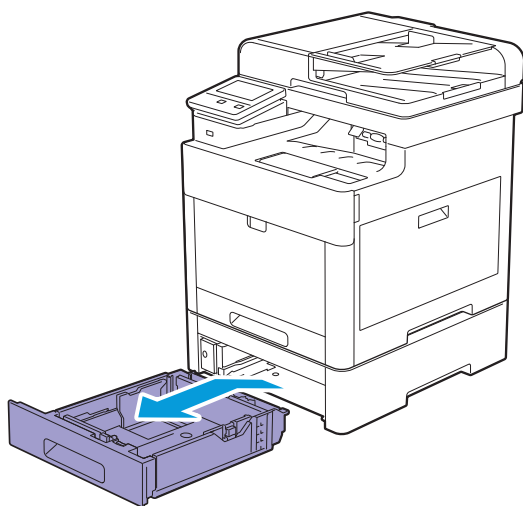


- ・ トレイモジュール（トレイ2）（オプション）の場合

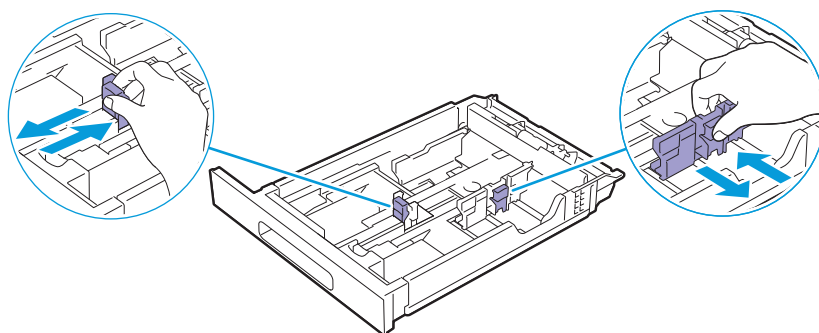
a トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のトレイを、途中まで引き出します。



b トレイを両手で支え、トレイ先端を少し上げて完全に引き出します。

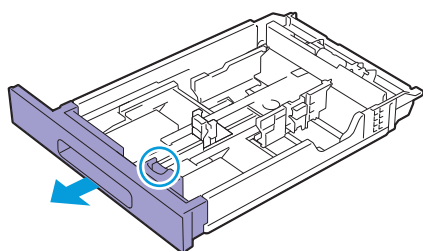


2. 用紙ガイドレバーを用紙サイズに合った位置まで移動します。

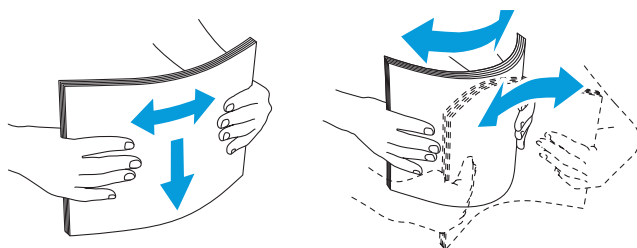


 補足

・リーガルサイズ用の紙をセットするときは、トレイ前面のレバーを押しながらトレイを引き出してください。



3. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。



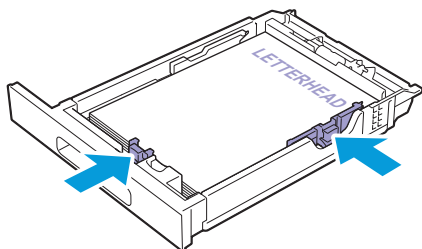
4. コピーまたはプリントする面を上にして、用紙トレイに用紙をセットします。

！ 注記

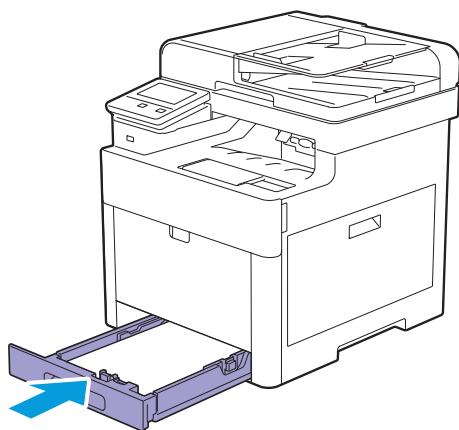
- ・ 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

💡 補足

- ・ 非定形サイズの下紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドレバーの位置を微調整します。
- ・ コート紙の場合は、1枚ずつセットしてください。
- ・ レターヘッド、プレプリント紙または穴あき紙をセットする場合は、上辺が先に本機に入るように用紙をセットします。

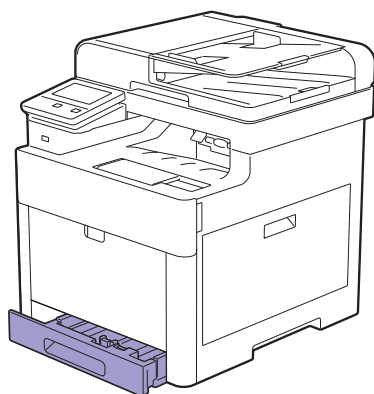


5. 用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



💡 補足

- ・ トレイ前面を引き出している場合は、トレイが突き出た状態になります。



6. 操作パネルに用紙設定画面が表示されたら、画面左下の用紙サイズをタップします。

7. 用紙サイズを選びます。

8. 画面右下の用紙種類をタップします。

9. 用紙種類を選び、[OK] をタップします。

3.6.2 手差しトレイに用紙をセットする

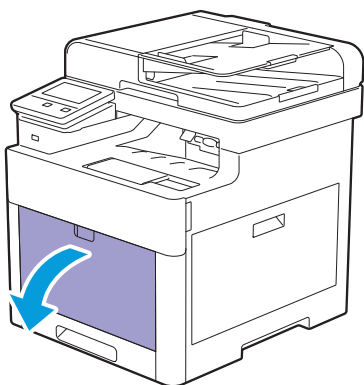
❗ 注記

- ・手差しトレイからコピーやプリントをしているときに、手差しトレイに用紙を追加したり、用紙を取り除いたりしないでください。紙詰まりの原因となります。
- ・手差しトレイの上に物を置かないでください。
- ・手差しトレイに強い力をかけたり、下に押したりしないでください。

💡 補足

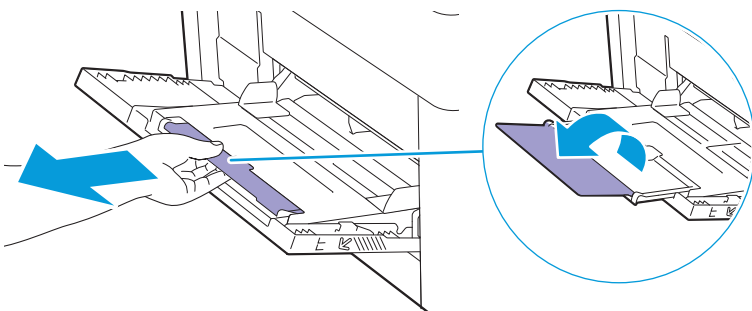
- ・用紙が詰まる場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。

1. 手差しトレイを開きます。

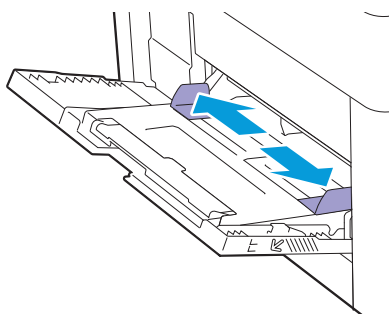


💡 補足

- ・必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。



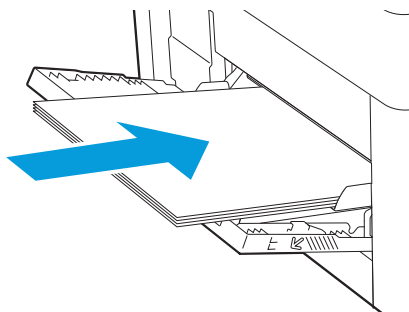
2. 用紙ガイドレバーをセットする用紙のサイズに合わせます。



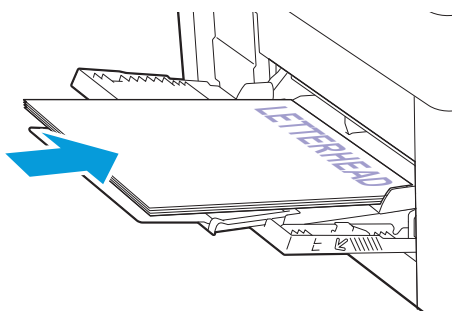
3. コピーまたはプリントする面を上にして、用紙をそろえた状態で先端が軽く突き当たるまで差し込みます。

 補足

- ・ 非定形サイズの下紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドレバーの位置を微調整します。
- ・ コート紙の場合は、1枚ずつセットしてください。



- ・ レターヘッド、プレプリント紙、または穴あき紙をセットする場合は、上辺が先に本機に入るように用紙をセットします。



- 4. 操作パネルに用紙設定画面が表示されたら、画面左下の用紙サイズをタップします。**
- 5. 用紙サイズを選びます。**
- 6. 画面右下の用紙種類をタップします。**
- 7. 用紙種類を選び、[OK] をタップします。**

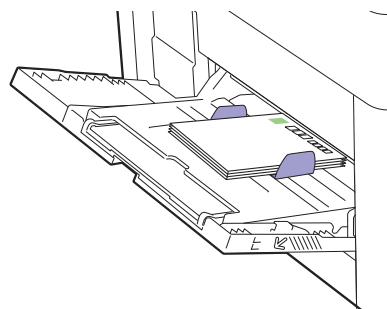
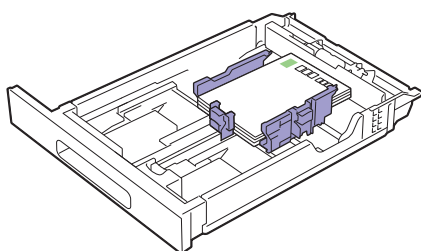
3.6.3 はがき、往復はがきをセットする

！ 注記

- ・ はがきや往復はがきは、手差しトレイおよびトレイ1にだけセットできます。
- ・ はがきや往復はがきの種類によっては、用紙送りローラーに汚れが付着し、紙詰まりを起こしたり斜めに印字されたりする場合があります。この場合は、用紙送りローラーを清掃してください。清掃については、「用紙送りローラーの清掃 (P.208)」を参照してください。
- ・ はがきは、幅が同一のものをセットしてください。幅が不揃いのはがきが混在すると、斜めに印字される場合があります。
- ・ 折り目が大きい往復はがきの場合は、斜めに印字されることがあります。

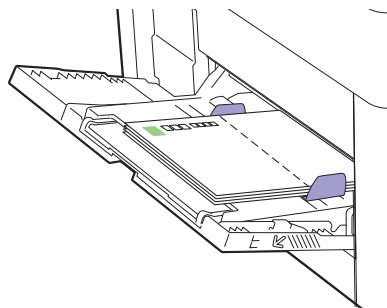
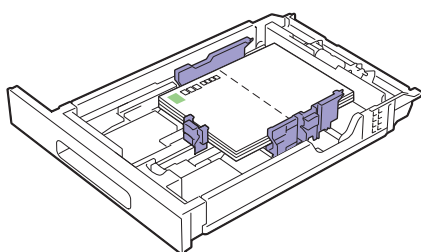
はがきをセットする

はがきをよくさばいてから、コピーまたはプリントする面を上にして、はがきの上辺が先に本機に入るようにセットします。



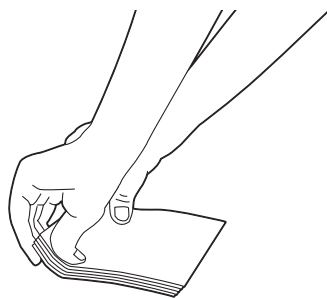
往復はがきをセットする

往復はがきをよくさばいてから、コピーまたはプリントする面を上にして、往復はがきの右辺が先に本機に入るようにセットします。



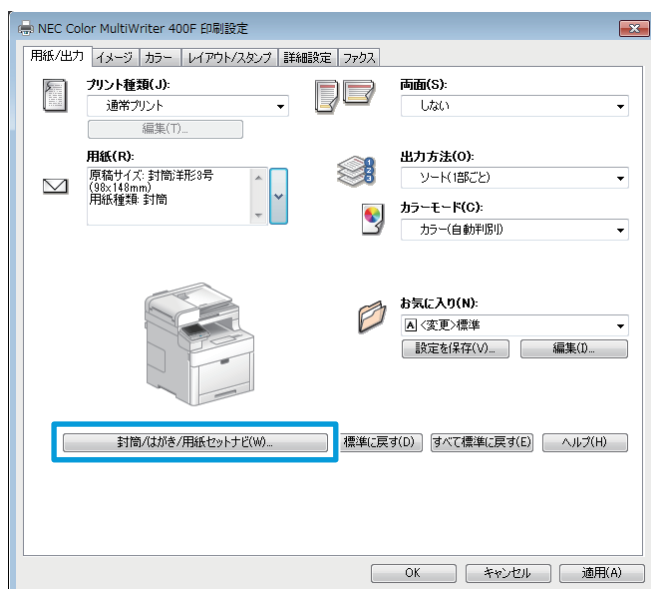
●両面にコピーやプリントするときは

はがきや往復はがきの両面にコピーまたはプリントするときは、片面にコピーまたはプリントしたあと、はがきや往復はがきの端にできた反りを平らにならしてからうら面をセットします。反りを直さずにセットすると、はがきや往復はがきが正しく給紙されない場合があります。



💡 補足

- ・ PCLドライバーをお使いの場合に、はがきや往復はがきの反りを直してもうまく給紙できないときは、[封筒/はがき/用紙セットナビ] を使ってプリントしてください。



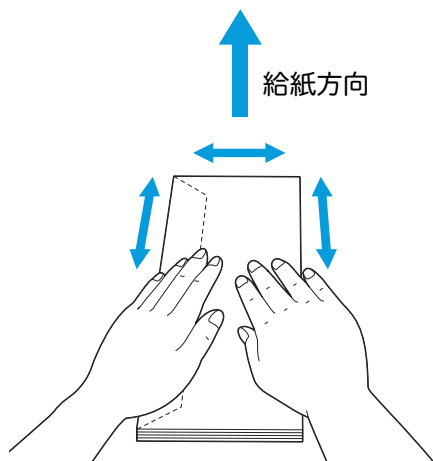
3.6.4 封筒をセットする

！ 注記

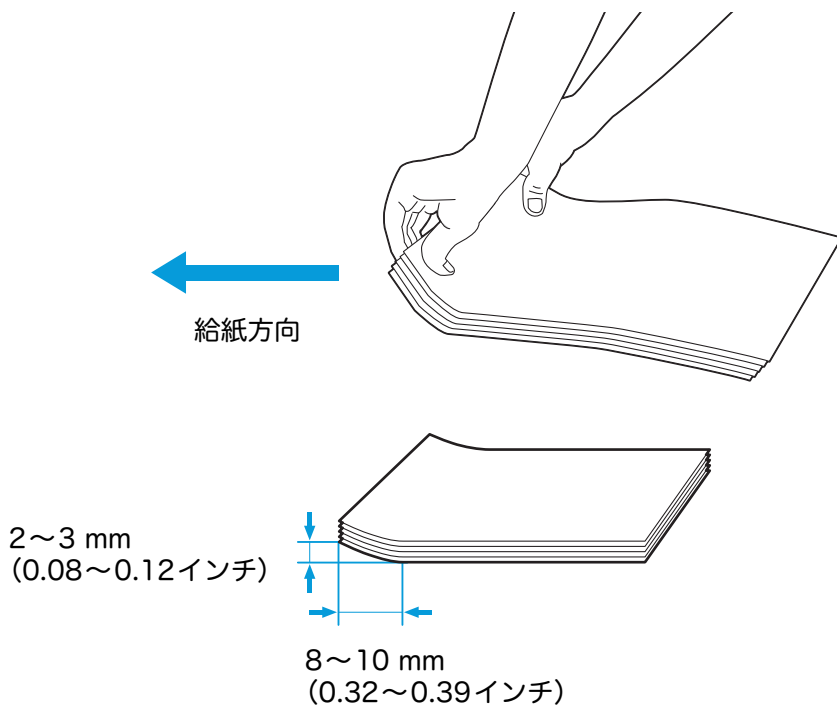
- ・ 封筒は、手差しトレイおよびトレイ1にだけセットできます。

💡 補足

- ・ 開封したての新しい封筒を使用してください。
封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙詰まりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかり押さえて平らにしてください。

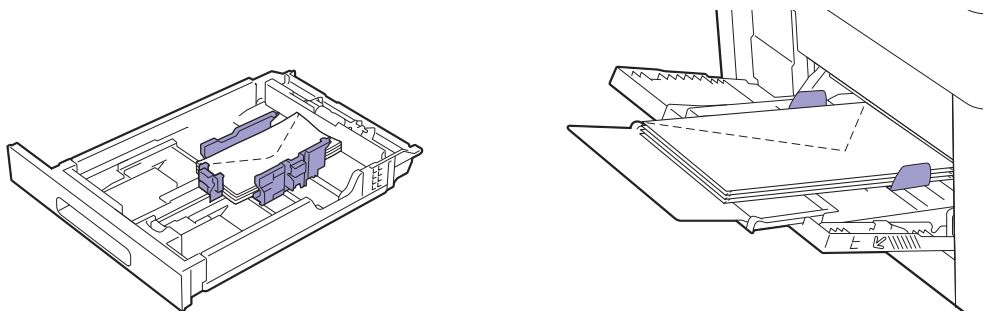


- ・ 異なるサイズの封筒を同時にセットしないでください。
- ・ トレイに設定できる封筒の高さ（枚数）は、次のとおりです。
 - トレイ1：約 27.5 mm（1.08インチ）（20 枚）
 - 手差しトレイ：約 5 mm（0.19インチ）（5 枚）
- ・ 封筒が正しく給紙されない場合は、封筒の端を図のようにカールさせてください。カール幅は2～3 mm（0.08～0.12インチ）をおすすめします。カールさせる領域は、封筒の先端から8～10 mm（0.32～0.39インチ）です。カールをつけすぎたり、しわをつけたりしないようにしてください。



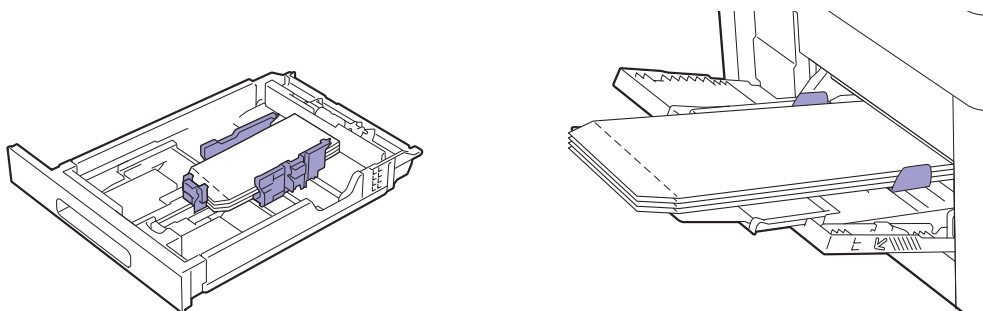
洋形2号、洋形3号、洋形4号、または洋長形3号

コピーまたはプリントする面を上にして封筒のフラップを閉じ、フラップが用紙トレイの左側を向くようにセットします。



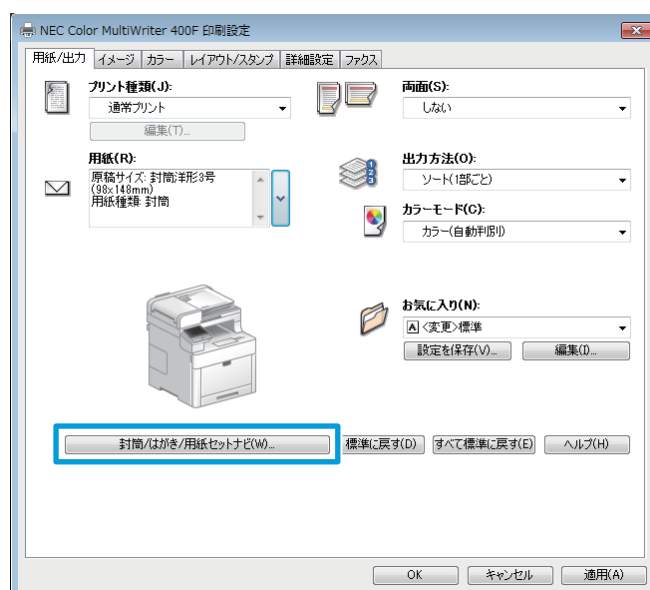
長形3号

コピーまたはプリントする面を上にして封筒をセットします。封筒の底辺が先に本機に入るようにセットします。



補足

- ・ PCLドライバーをお使いの場合は、[封筒/はがき/用紙セットナビ] を使って封筒にプリントできます。PCLドライバーのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.26)」を参照してください。



3.7 原稿をセットする

自動原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットします。

自動原稿送り装置

- ・ 1枚もの
- ・ 複数枚の原稿

原稿ガラス

- ・ 1枚もの
- ・ 本などの冊子

原稿をセットする手順には、次の2つの方法があります。

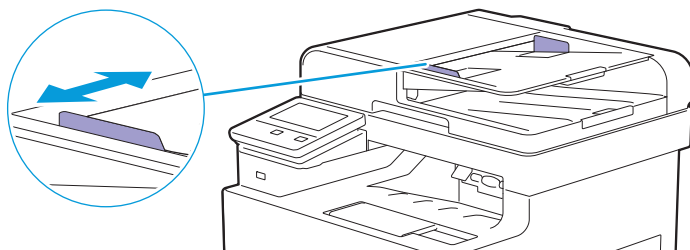
3.7.1 自動原稿送り装置にセットする

自動原稿送り装置には、最小が139.7 × 139.7 mm（定形サイズの場合は、A5）、最大が215.9 × 355.6 mm（定形サイズの場合は、8.5 × 14インチ（リーガル））の1枚もの、または複数枚の原稿をセットできます。

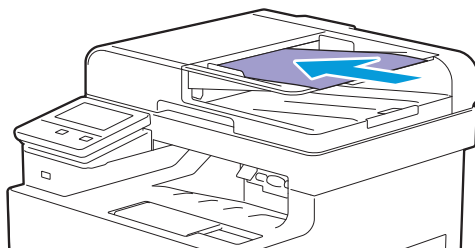
！ 注記

- ・ 折り目、しわのある原稿、切り貼り原稿、カール紙、裏カーボン紙は、紙詰まりの原因になりますので、原稿ガラスにセットしてください。

1. 原稿をセットする前に、クリップやホチキスを外します。
2. 原稿ガイドを移動して、セットする用紙のサイズに合わせます。



3. コピーまたはスキャンする面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、自動原稿送り装置の中央にセットします。



！ 注記

- ・ 原稿上限線（「MAX」の位置）を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

💡 補足

- ・ 大きなサイズの原稿をセットするときは、延長原稿送りトレイを使用します。

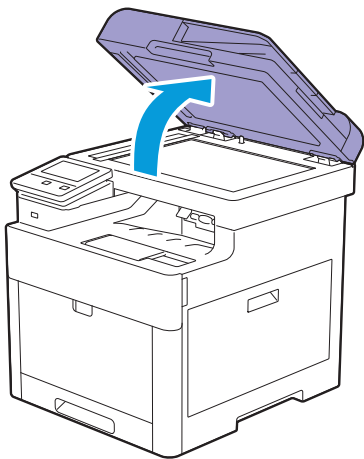
3.7.2 原稿ガラスにセットする

原稿ガラスには、最大で215.9 × 297 mm（定形サイズの場合は、A4）までの1枚もの、または本などの原稿をセットできます。

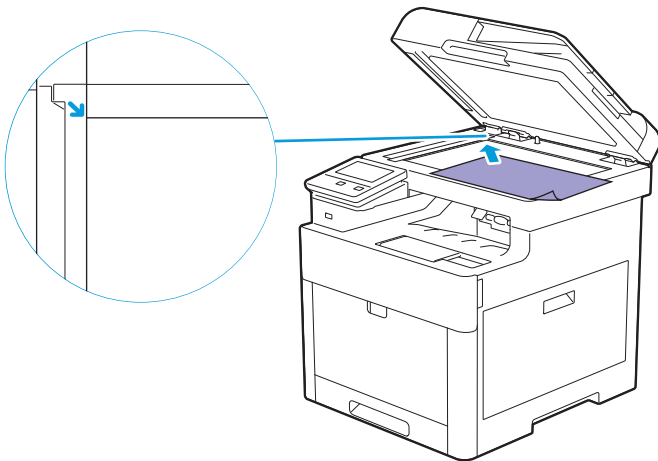


- ・ 原稿ガラスを使用した場合、作業終了後に、原稿カバーを閉じてください。
- ・ 自動原稿送り装置に原稿がセットされていないことを確認してください。自動原稿送り装置にセットされている原稿は、原稿ガラスの原稿より優先して読み込まれます。

1. 原稿カバーを開きます。



2. コピーまたはスキャンする面を下に向けて、原稿ガラスの左奥の角に合わせて原稿をセットします。



3. 原稿カバーを閉じます。

4 プリント

4.1	コンピューターからプリントする	111
4.2	プリントを中止する	112
4.3	カラープリントジョブを白黒でプリントする	113
4.4	蓄積プリント	114
4.5	USB メモリーのファイルをプリントする (USB ダイレクトプリント)	116

4.1 コンピューターからプリントする



- ・プリンタードライバーの設定内容は、操作パネルの設定より優先されます。プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ・USB接続でAirPrint機能を使う場合は、CentreWare Internet Servicesで「USBポート起動」を選びます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

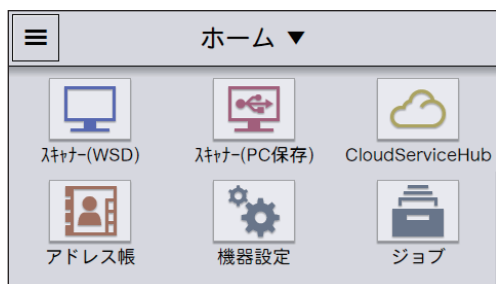
ここでは代表的なプリント手順を説明します。

- 1.** プリントするファイルを開きます。
- 2.** [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。
- 3.** [プリンターの選択] から本機を選びます。
- 4.** [印刷] をクリックします。

4.2 プリントを中止する

4.2.1 操作パネルで中止する

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [すべて表示] > [プリント] をタップし、取り消すプリント文書を選びます。
4. [中止] をタップします。

4.2.2 コンピューターで中止する



- ・プリントの中止については、お使いのOS（オペレーティングシステム）のヘルプを参照してください。

4.3 カラープリントジョブを白黒でプリントする

すべてのユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。

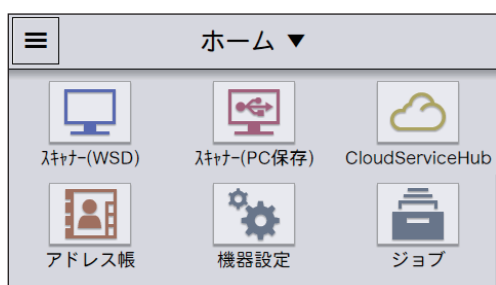


補足

- ・プリント集計管理機能を使って、ユーザーごとにカラープリントを制限することもできます。詳しくは、「プリント集計管理 (P.176)」を参照してください。

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] をタップします。

4. [プリント集計管理] > [しない] をタップします。

5. [強制白黒プリント] > [する] をタップします。

6. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

7. プリントを実行します。



参照

- ・プリントの方法については、「コンピューターからプリントする (P.111)」を参照してください。

4.4 蓄積プリント

4.4.1 概要

プリント文書を一時的に本機内に蓄積して、操作パネルからプリントを開始します。文書にパスワードを付けて機密文書などを管理できるセキュリティープリントと、複数部をプリントする場合に便利なサンプルプリントがあります。

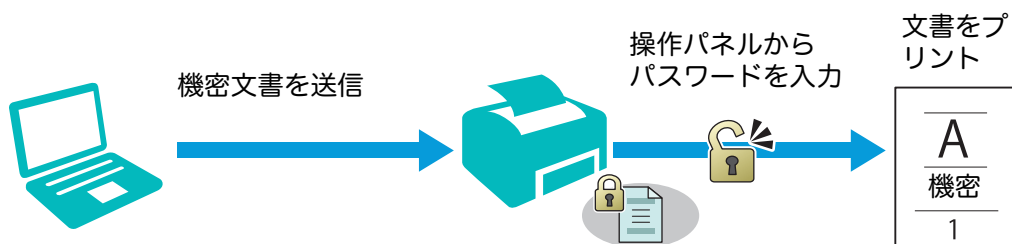


補足

- ・ 本機の電源を切ると、本機に蓄積された文書は消去されます。
- ・ 蓄積プリント機能は、次の2つの条件が満たされている場合に使用できます。
 - 本機の設定メニューで、[RAMディスク] が [有効] に設定されているとき
 - Windows® の場合は、プリンタードライバーで [RAM ディスク] が [あり] に設定されているとき
 - Mac の場合は、プリンタードライバーで [ストレージ] が [オン] に設定されているとき

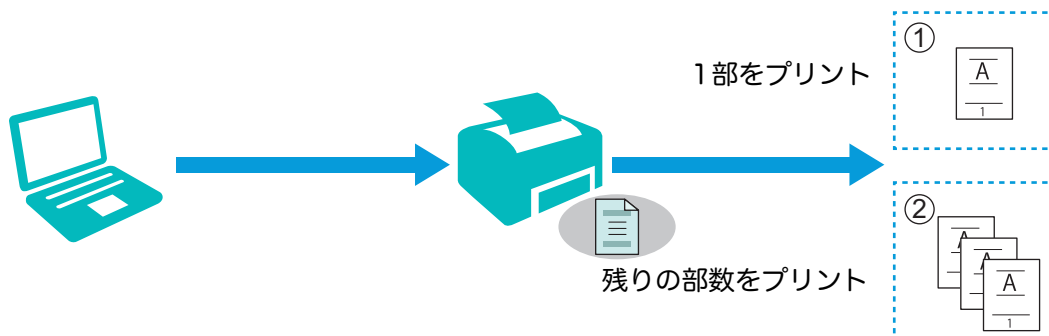
セキュリティープリント

プリント文書にパスワードを設定して本機に保存します。操作パネルでパスワードを入力したときだけプリントできるので、機密文書をプリントする場合に便利です。



サンプルプリント

複数部をプリントするときに、1部だけ試しにプリントできる機能です。



4.4.2 蓄積プリントをする



補足

- ・ 蓄積プリント機能は、メモリー容量を超える大容量のデータをプリントする場合には使えません。

プリンタードライバーで設定する

蓄積プリント機能を使う場合は、プリンタードライバーの［用紙/出力］タブで、［プリント種類］から、［セキュリティープリント］または［サンプルプリント］を選びます。

参照

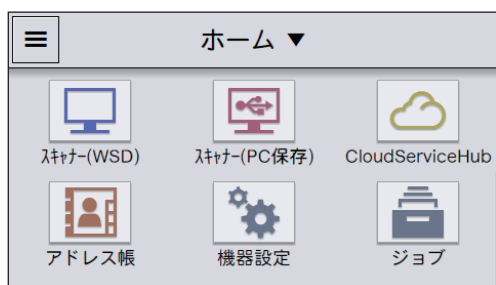
- ・プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ・セキュリティープリントには、パスワードを設定する必要があります。
- ・本機の電源を切ると、本機に蓄積されたプリント文書は削除されます。

蓄積ジョブをプリントする

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [蓄積プリントジョブ] をタップし、目的のフォルダーを選びます。

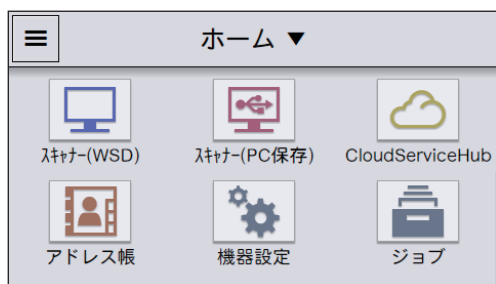
補足

- ・［セキュリティープリント］を選んだ場合は、パスワードを入力します。

4. プリントする文書を選び、プリント部数を設定します。
5. [プリント] をタップします。

蓄積ジョブを削除する

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [蓄積プリントジョブ] をタップし、目的のフォルダーを選びます。

補足

- ・［セキュリティープリント］を選んだ場合は、パスワードを入力します。

4. 削除する文書の  をタップします。
5. [はい] をタップします。

4.5 USBメモリーのファイルをプリントする（USBダイレクトプリント）

コンピューターを使わずにUSBメモリーに保存したファイルをプリントできます。



注記

- ・プリント中に本機からUSBメモリーを取り外さないでください。



補足

- ・[プリント集計管理] が有効のとき、この機能を使用するには[未認証ユーザーのプリント] を有効にする必要があります。詳しくは、「[未認証ユーザーのプリント] (P.83)」を参照してください。

4.5.1 使用できる USB メモリーとプリントできるファイルについて

使用できるUSBメモリー

次のUSBメモリーが使用できます。

- ・ USB 2.0/USB 1.1
- ・ Type-A コネクター
- ・ FAT16/FAT32



補足

- ・この機能は、ソフトウェアによって暗号化されたUSBメモリーでは利用できません。

プリントできるファイル

次の形式のファイルは、USBメモリーから直接プリントできます。

- ・ PDF
- ・ TIFF
- ・ JPEG



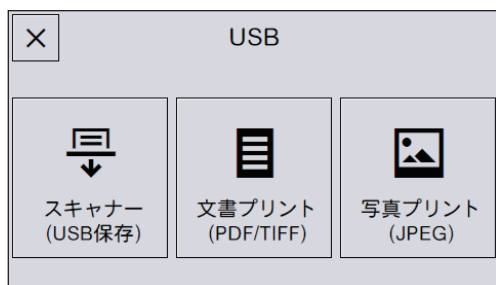
補足

- ・本機のスキャナー（USB保存）機能を使って作成されていないファイルはプリントできない場合があります。

4.5.2 USBメモリーのファイルをプリントする

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。
2. USBメモリーを本機のUSBポートに差し込みます。

3. [文書プリント(PDF/TIFF)] または [写真プリント(JPEG)] をタップします。



4. プリントするファイルを選び、[OK] をタップします。



補足

- ・ PDF、TIFFは10ファイルまで、JPEG は100ファイルまで選ぶことができます。ファイルの表示順にプリントします。

5. ⚙️ をタップし、必要に応じてプリント設定を変更します。



参照

- ・ 詳しくは、「[USB] (P.54)」を参照してください。

6. [プリント] をタップします。



注記

- ・ USBメモリーへのアクセス中は、USBメモリーを取り外さないでください。USBメモリー内のデータまたはUSBメモリーが、破損して使用できなくなるおそれがあります。

7. 本機がUSBメモリーにアクセスしていないことを確認してから、USBメモリーを取り外します。

5 コピー

5.1	コピーの基本操作.....	119
5.2	ID カードをコピーする	121
5.3	コピー設定を変更する	122

5.1 コピーの基本操作

5.1.1 原稿送り装置を使う

1. 原稿をセットします。



参照

・原稿のセット方法については、「自動原稿送り装置にセットする (P.108)」を参照してください。

2. 〈ホーム〉ボタンを押します。

3. [コピー] をタップします。



4. をタップし、必要に応じてコピー設定を変更します。



参照

・コピー設定については、「[コピー] (P.47)」を参照してください。

5. キーパッドで数字をタップし、コピー部数を設定します。

6. [スタート] をタップします。



補足

・原稿を読み込んでいるとき [中止] をタップすると、コピーを中止できます。

5.1.2 原稿ガラスを使う



補足

・原稿ガラスからコピーする場合は、自動原稿送り装置の原稿を取り除きます。

1. 原稿をセットします。



参照

・原稿のセット方法については、「原稿ガラスにセットする (P.109)」を参照してください。

2. 〈ホーム〉ボタンを押します。

3. [コピー] をタップします。



4. ⚙️ をタップし、必要に応じてコピー設定を変更します。



参照

・コピー設定については、「[コピー] (P.47)」を参照してください。

5. キーパッドで数字をタップし、コピー部数を設定します。

6. [スタート] をタップします。



補足

・原稿を読み込んでいるときに [中止] をタップすると、コピーを中止できます。

5.2 IDカードをコピーする

IDカードの両面を、1枚の用紙の片面に原寸大でコピーできます。

1. 原稿ガラスにIDカードをセットします。



・セット方法については、「原稿ガラスにセットする (P.109)」を参照してください。

2. 𐀀〈ホーム〉ボタンを押します。

3. [IDカードコピー] をタップします。



4. ⚙️ をタップし、必要に応じてコピー設定を変更します。



・コピー部数を設定するには、[部数] 横の+または-をタップします。または、[部数] をタップしてキーボードで入力します。



・コピー設定については、「[IDカードコピー] (P.49)」を参照してください。

5. [スタート] をタップします。

IDカードのおもて面の読み込みが完了すると、カードを裏返すように促すメッセージが表示されます。

うら面をコピーするには、画面の指示に従って操作します。

5.3 コピー設定を変更する

1. 𐄂 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [アプリの初期値] > [コピー設定] をタップします。
4. 設定する項目をタップします。



参照

・ 設定については、「[コピー設定] (P.81)」を参照してください。

5. 任意の項目を設定します。
6. 必要に応じて手順4と5を繰り返します。

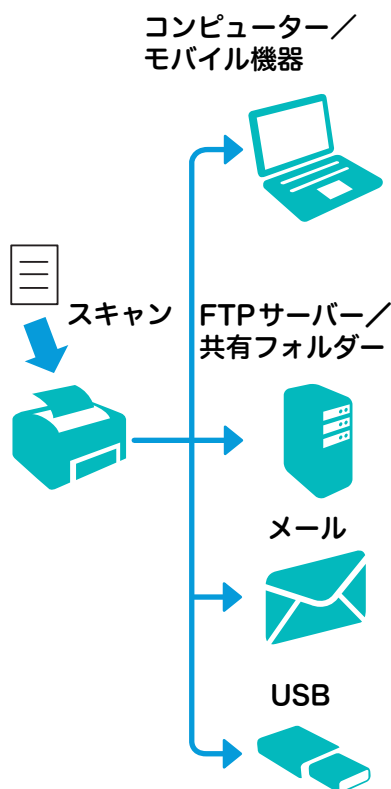
6 スキャン

6.1	概要.....	124
6.2	本機の操作パネルを使ってスキャンする	125
6.3	コンピューターからスキャンする	134
6.4	スキャン設定を変更する.....	138

6.1 概要

本機ではさまざまな方法を使って原稿をスキャンできます。本機から操作する方法とコンピューターやモバイル機器から操作する方法の、2通りに分けられます。

本機が対応するスキャン方法の概要は次のとおりです。



本機からの操作

「USB接続したコンピューターに保存する（スキャナー（PC保存）（Windows®のみ）（P.125）」
「ネットワーク接続したコンピューターに保存する（スキャナー（WSD）（P.126）」

コンピューター／モバイル機器からの操作

「コンピューターからスキャンする（P.134）」
「スマートフォン／タブレットからのプリント、スキャン（P.151）」

本機からの操作

「SMB/FTP接続したコンピューターまたはサーバーに保存する（スキャナー（ネットワーク）（P.127）」

本機からの操作

「スキャンしたデータをメールで送信する（スキャナー（メール送信）（P.131）」

本機からの操作

「スキャンしたデータをUSBメモリーに保存する（スキャナー（USB保存）（P.130）」

6.2 本機のお操作パネルを使ってスキャンする

6.2.1 スキャンしたデータをコンピューターに保存する

USB接続したコンピューターに保存する（スキャナー（PC保存））（Windows®のみ）



補足

- ・お使いのコンピューターにスキャナードライバーおよびPrint & Scan Hubをインストールする必要があります。ソフトウェアのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.26)」を参照してください。
- ・スキャンしたデータは「ピクチャ」フォルダーに保存されます。Print & Scan Hubでデータの保存先を変更できます。

1. 原稿をセットします。

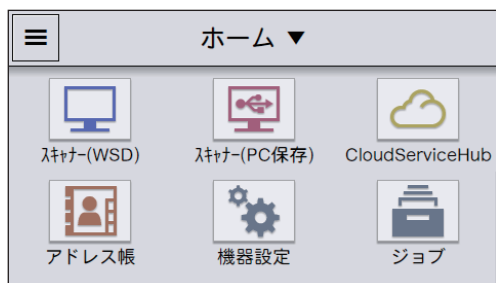


参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. 𠂆〈ホーム〉ボタンを押します。

3. 「スキャナー (PC保存)」をタップします。



4. 「ファイル形式」の下にあるボタンをタップし、スキャンする原稿の変換先ファイル形式を選びます。

5. ⚙️をタップし、必要に応じてスキャン設定をします。



参照

- ・設定については、「「スキャナー (PC保存)」 (P.61)」を参照してください。

6. 「スタート」をタップします。



補足

- ・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

ネットワーク接続したコンピューターに保存する（スキャナー（WSD））

本機がコンピューターにWeb Services on Devices (WSD)でネットワーク接続されている場合は、スキャンしたデータをコンピューターに送信できます。



補足

- ・この機能は次のOSに対応しています。
 - Windows Vista®
 - Windows® 7
 - Windows® 8.1
 - Windows Server® 2012
 - Windows Server® 2012 R2

●Web Services on Devices (WSD)を設定する

本機の設定を確認する

この方法でスキャンするには、[WSDスキャン] が有効になっていることを確認してください。



参照

- ・設定については、「[プロトコル] (P.79)」を参照してください。

コンピューターを設定する

ここでは、Windows® 7を例に手順を説明します。

1. [スタート] > [コントロールパネル] > [デバイスの追加] をクリックします。
2. 本機を選び、[次へ] をクリックします。
3. 画面の指示に従って操作します。
本機とコンピューターがWeb Services on Devices (WSD)に接続されます。

●スキャンしたデータをコンピューターに保存する

1. 原稿をセットします。



参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. 𠂇〈ホーム〉ボタンを押します。
3. [スキャナー (WSD)] をタップします。



4. [転送先の選択] をタップします。
5. スキャンする原稿の送信先コンピューター名をタップします。
6. [イベント] の下にあるボタンをタップし、スキャン後の処理操作を選びます。
7. [スタート] をタップします。

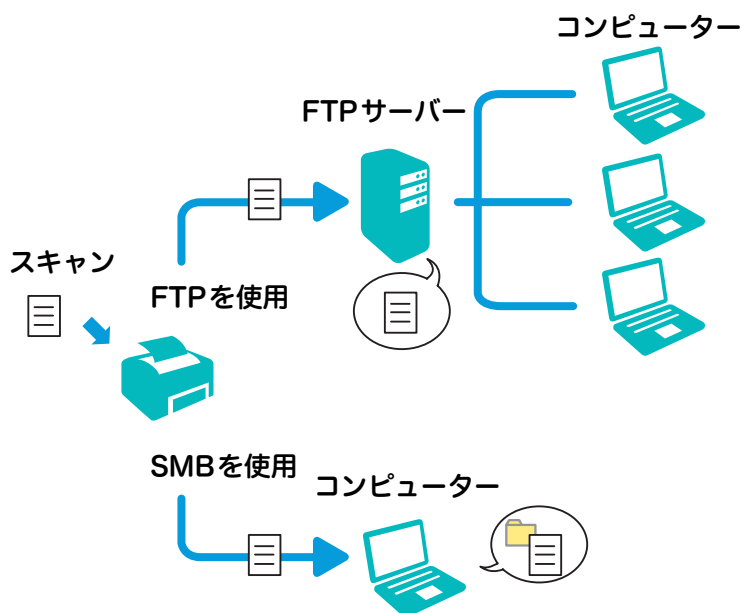


補足

- ・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

SMB/FTP接続したコンピューターまたはサーバーに保存する (スキャナー (ネットワーク))

スキャナー (ネットワーク) 機能を使用すると、スキャンしたデータをコンピューターの共有フォルダーやFTPサーバーに保存できます。



●FTPサーバーに保存するには

事前準備から保存操作までの作業フローは次のとおりです。

1. FTPサーバーのアドレスをアドレス帳に登録します。



・登録手順についてはCentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

2. スキャンしたデータをFTPサーバーに保存します。



・「スキャンしたデータを保存する (P.130)」を参照してください。

●SMBで共有フォルダーに保存するには

事前準備から保存操作までの作業フローは次のとおりです。

1. ユーザーアカウントを設定します。



・「ユーザーアカウントを設定する (SMBのみ) (P.128)」を参照してください。

2. 共有フォルダーを作成します。



・「共有フォルダーを作成する (SMBのみ) (P.128)」を参照してください。

3. 共有フォルダーのアドレスをアドレス帳に登録します。



・登録手順についてはCentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

4. スキャンしたデータを共有フォルダーに保存します。



・「スキャンしたデータを保存する (P.130)」を参照してください。

●ユーザーアカウントを設定する（SMBのみ）

スキャンしたデータをSMBの共有フォルダーに保存するには、コンピューターに共有フォルダーを作成しておく必要があります。共有フォルダーを作成するには、ユーザーアカウントとパスワードが必要です。



補足

- ・ JIS第一水準漢字および第二水準漢字以外の文字は、ユーザーアカウント、パスワード、共有名に使用できない場合があります。



参照

- ・ ユーザーアカウントとパスワードについては、お使いのコンピューターのヘルプを参照してください。

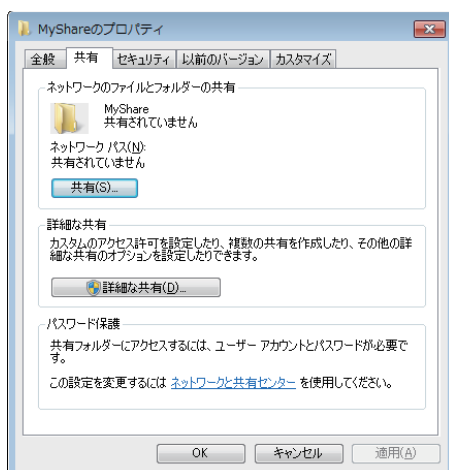
●共有フォルダーを作成する（SMBのみ）

本機からスキャンしたデータの保存先共有フォルダーを作成します。

Windows® の場合

ここでは、Windows® 7およびWindows® 10を例に手順を説明します。

1. コンピューター上の任意の場所にフォルダーを作成します。
2. フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
3. [共有] タブ> [詳細な共有] をクリックします。

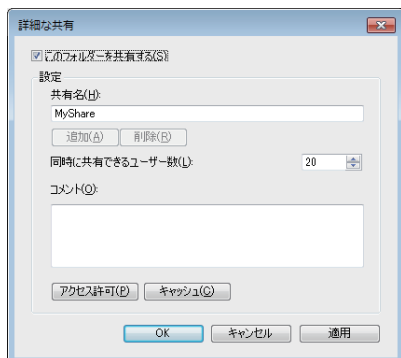


4. [このフォルダーを共有する] にチェックマークを付けます。
5. [共有名] に共有名を入力します。



補足

- ・ 共有名はこのあとの設定手順で必要になります。

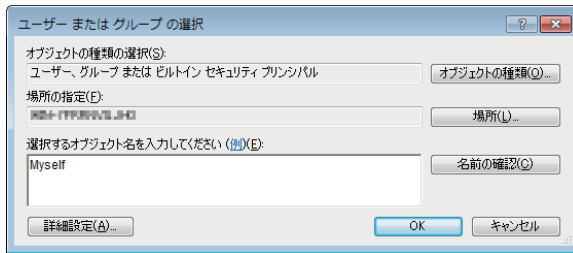


6. [アクセス許可] をクリックしてフォルダーの書き込み許可を有効にします。

7. [追加] をクリックします。

8. 次のいずれかの操作をしてユーザーログイン名を選びます。

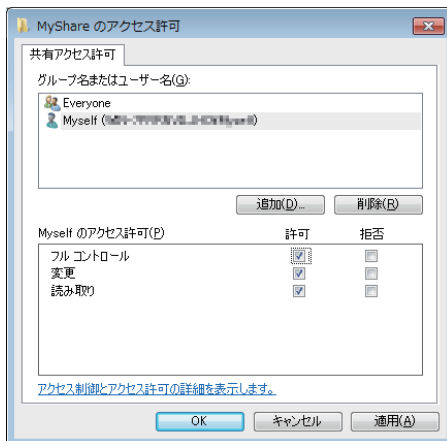
- ・ [詳細設定] をクリックし、ユーザーログイン名を検索します。
- ・ [選択するオブジェクト名を入力してください] にユーザーログイン名を入力し、[名前の確認] をクリックします。



9. [OK] をクリックします。

10. 選んだユーザーログイン名をクリックし、[フルコントロール] の [許可] にチェックマークを付けます。

フォルダーへのアクセス許可が設定されます。



11. [OK] をクリックします。

共有フォルダーの作成が完了したら、アドレス帳に宛先を登録します。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

Macの場合

ここでは、OS X 10.11 を例に手順を説明します。

1. コンピューター上の任意の場所にフォルダーを作成します。

2. 手順1で作成したフォルダー> [ファイル] > [情報を見る] をクリックします。

3. [共有フォルダ] にチェックマークを付けます。

4. [システム環境設定] ウィンドウを開き、[共有] をクリックします。

5. [ファイル共有] にチェックマークを付け、[オプション] をクリックします。

6. [SMBを使用してファイルやフォルダを共有] と使用するアカウント名にチェックマークを付けます。

7. [完了] をクリックします。

共有フォルダーの作成が完了したら、アドレス帳に宛先を登録します。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

●スキャンしたデータを保存する

FTPサーバーやSMBの共有フォルダーの宛先はアドレス帳にあらかじめ登録が必要です。

1. 原稿をセットします。



参照

・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. 𠂆〈ホーム〉ボタンを押します。

3. [スキャナー (ネットワーク)] をタップします。



4. 宛先をタップします。

5. [ファイル形式] の下にあるボタンをタップし、スキャンする原稿の変換先ファイル形式を選びます。

6. ⚙️ をタップし、必要に応じてスキャン設定をします。



参照

・設定については、「[スキャナー (ネットワーク)] (P.59)」を参照してください。

7. [スタート] をタップします。



補足

・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

6.2.2 スキャンしたデータを USB メモリーに保存する (スキャナー (USB 保存))

スキャナー (USB 保存) 機能を使用すると、スキャンしたデータを本機に接続したUSBメモリーに直接保存できます。



参照

・本機で使えるUSBメモリーについては、「使用できるUSBメモリー (P.116)」を参照してください。

1. 原稿をセットします。



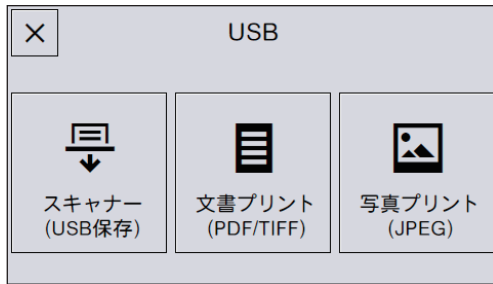
参照

・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. 𠂆〈ホーム〉ボタンを押します。

3. USBメモリーを本機前面のUSBポートに差し込みます。

4. [スキャナー (USB保存)] をタップします。



5. [フォルダ] をタップし、スキャンする原稿の保存先フォルダーを選びます。

6. [ファイル形式] の下にあるボタンをタップし、スキャンする原稿の変換先ファイル形式を選びます。

7. [設定] をタップし、必要に応じてスキャン設定をします。



・設定については、「[USB] (P.54)」を参照してください。

8. [スタート] をタップします。



・USBメモリーへのアクセス中はメモリーを取り外さないでください。メモリー内のデータまたはメモリーが破損して使用できなくなるおそれがあります。



・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

9. USBメモリーへのアクセス中でないことを確認してからメモリーを取り外します。

6.2.3 スキャンしたデータをメールで送信する (スキャナー (メール送信))

スキャナー (メール送信) 機能を使用すると、スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして送信できます。

事前準備から送信操作までの作業フローは次のとおりです。

1. 使用するメールアカウント情報を用意します。



・「メールアカウント情報を収集する (P.131)」を参照してください。

2. DNSサーバーの設定を本機に登録します。



・「DNSサーバーのアドレスを設定する (P.132)」を参照してください。

3. メールサーバーの設定を本機に登録します。



・「メールサーバーにアクセスするために必要な情報を設定する (P.132)」を参照してください。

メールアカウント情報を収集する

本機からメールを送信するには、次の情報が必要です。

- ・ メールアカウント (ユーザーアカウント)
- ・ メールサーバーの情報

DNSサーバーのアドレスを設定する

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



- ・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある[TCP/IP] をクリックします。

4. 次のいずれかの操作をします。

- ・ TCP/IP設定をDHCPで設定する場合
[DNS] の下の [DHCP からアドレスを取得] にある [有効] にチェックマークを付けます。
- ・ TCP/IP設定を手動で設定する場合
[DNS] の下の [DNS サーバーアドレス] を設定します。

5. [新しい設定を適用する] をクリックします。

メールサーバーにアクセスするために必要な情報を設定する

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

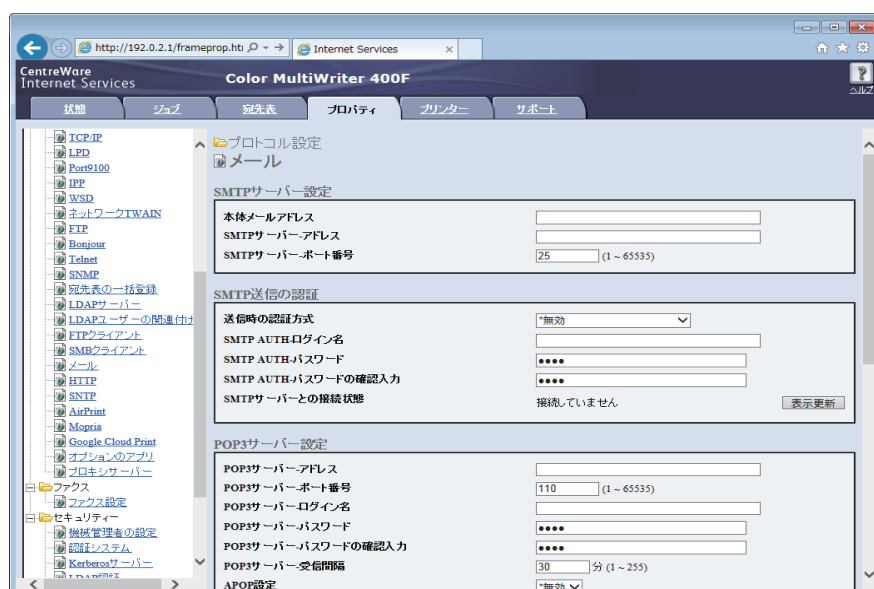


- ・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある[メール] をクリックします。

4. サーバーの設定をします。



- ・ 設定方法については、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

5. [新しい設定を適用する] をクリックします。



- ・ SSL/TLS通信でメールを送信する場合は、本機にSSL/TLS通信の設定をしてください。詳しくは、「暗号化機能を使う (P.187)」を参照してください。

スキャンしたデータを送信する

1. 原稿をセットします。



・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. 𠂇〈ホーム〉ボタンを押します。

3. [スキャナー (メール送信)] をタップします。



4. 相手のメールアドレスを入力します。



・アドレス帳やLDAPサーバーを使用してメールアドレスを指定することもできます。詳しくは、「アドレス帳 (P.167)」を参照してください。

5. 𠂇の横にあるボタンをタップし、スキャンする原稿の変換先ファイル形式を選びます。

6. ⚙️ をタップし、必要に応じてスキャン設定をします。



・設定については、「[スキャナー (メール送信)] (P.53)」を参照してください。

7. [送信] をタップします。



・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

6.3 コンピューターからスキャンする

6.3.1 Windows®

Print & Scan Hubでスキャンする

本機のソフトウェアであるPrint & Scan Hubを使って原稿をスキャンできます。



参照

- ・ Print & Scan Hub をインストールする必要があります。詳しくは、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.26)」を参照してください。

1. 原稿をセットします。



参照

- ・ 原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. コンピューターを起動し、[スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。

3. [機器の一覧] から本機を選びます。



4. [スキャン] をクリックします。

5. 必要に応じて [スキャン設定] でスキャン設定をします。

6. [スキャン] をクリックしてスキャンします。

7. 必要に応じて [編集] でスキャンしたデータを編集します。

8. [保存設定] で、スキャンしたデータの保存ファイル形式、ファイル名、および保存先を設定します。

9. [保存] をクリックします。

Web Services on Devices (WSD)でスキャンする

本機がコンピューターにWeb Services on Devices (WSD)でネットワーク接続されている場合は、コンピューターから原稿をスキャンできます。



補足

- ・この機能は次のOSに対応しています。
 - Windows Vista®
 - Windows® 7
 - Windows® 8.1
 - Windows Server® 2012
 - Windows Server® 2012 R2

●コンピューターからスキャンするために必要な作業



参照

- ・必要な作業については、「Web Services on Devices (WSD)を設定する (P.126)」を参照してください。

●コンピューターからスキャンする

ここでは、Windows® 7を例に手順を説明します。

1. 原稿をセットします。



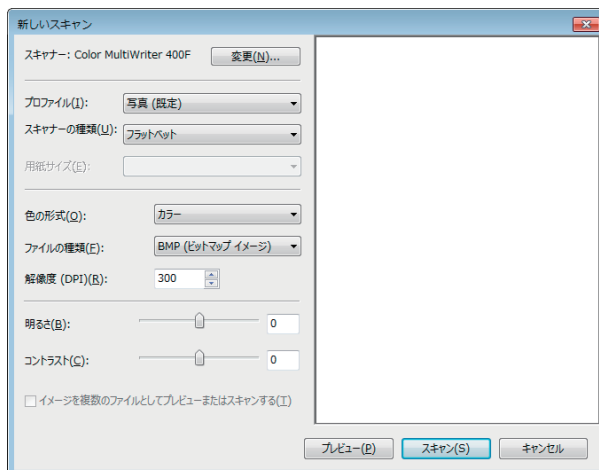
参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. コンピューターを起動し、[スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

3. 本機のアイコンを右クリックし、[スキャンの開始] を選びます。

4. 必要に応じてスキャン設定をし、[スキャン] をクリックします。



補足

- ・Windows Vista® の場合は、Microsoft® フォトギャラリーなどの描画用ソフトウェアを使い、Web Services on Devices (WSD)で本機に接続したあと、スキャン操作を開始してください。

5. 画面の指示に従ってスキャンしたデータを保存します。

Windows® Image Acquisition (WIA) ドライバーでスキャンする

Windows® Image Acquisition (WIA)は、Windows® XP以降のOSで提供されている標準コンポーネントの1つです。Windows® Image Acquisition (WIA)ドライバーがあれば、Windows® フォトギャラリーやMicrosoft® ペイントなどのMicrosoft® ソフトウェアを使って原稿をスキャンできます。

💡 補足

- ・お使いのコンピュータにスキャナードライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.26)」を参照してください。

1. 原稿をセットします。

📖 参照

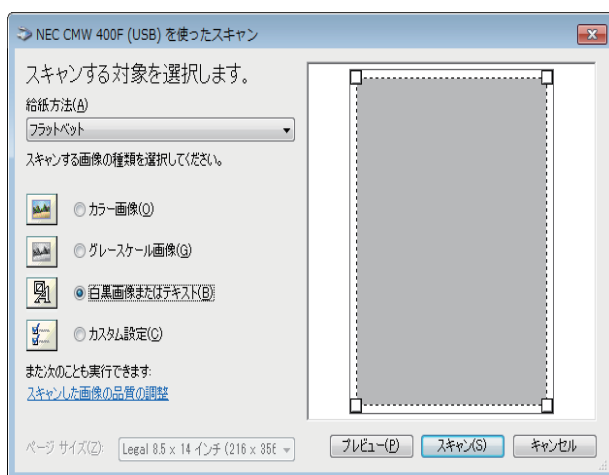
- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. コンピューターを起動し、Windows® のMicrosoft® ペイントなどの描画用ソフトウェアを起動します。

💡 補足

- ・Windows Vista®またはWindows Server® 2008の場合は、Microsoft® ペイントの代わりにWindows® フォトギャラリーをお使いください。
- ・Windows Vista®, Windows® 7、Windows® 8.1、およびWindows® 10上で動作するWindows® FAXとスキャンなど、Windows® Image Acquisition (WIA) 2.0対応ソフトウェアを使用する場合は、[フィーダー (両面スキャン)] を選ぶと両面スキャンできます。

3. > [カメラまたはスキャナーから取り込み] をクリックします。



4. スキャンする画像の種類を選び、[スキャンした画像の品質の調整] をクリックします。

5. プロパティ設定を指定し、[OK] をクリックします。

6. [スキャン] をクリックします。

TWAIN ドライバーでスキャンする

TWAIN ドライバーを使用すると、スキャンしたデータをAdobe® Photoshop®などのソフトウェアに取り込むことができます。

💡 補足

- ・お使いのコンピュータにスキャナードライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.26)」を参照してください。

ここでは、TWAINに対応する代表的なソフトウェアを使った手順を例に説明します。

1. 原稿をセットします。



参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. コンピューターを起動し、Adobe® Photoshop® など TWAIN に対応する画像用ソフトウェアを起動します。

3. ソフトウェアの TWAIN メニューからスキャナーを選び、必要な設定をしたあと、スキャン操作を開始します。



参照

- ・ソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

6.3.2 Mac

Mac に標準搭載されているアプリケーションのイメージキャプチャを使って原稿をスキャンできます。



補足

- ・Mac でスキャンする場合は、CentreWare Internet Services で、[AirPrint] の [AirPrint ポート起動] にチェックマークが付いていることを確認してください。また、本機と Mac を USB で接続しているときは、[AirPrint] の [USB ポート起動] にチェックマークを付けます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

ここでは、OS X 10.11 を例に手順を説明します。

1. 原稿をセットします。



参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. コンピューターを起動し、イメージキャプチャを起動します。

3. 画面左の領域にある [デバイス] または [共有] から本機の名前をクリックします。



補足

- ・本機の名前が表示されない場合は、[デバイス] または [共有] の右側にポインターを合わせ、[表示] をクリックします。

4. 必要に応じてスキャン設定をします。

5. [スキャン] をクリックします。



参照

- ・イメージキャプチャの使用方法については、イメージキャプチャのヘルプを参照してください。

6.4 スキャン設定を変更する

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [アプリの初期値] > [スキャン設定] をタップします。
4. 設定する項目をタップします。



参照

・設定については、「[スキャン設定] (P.81)」を参照してください。

5. 任意の項目を設定します。
6. 必要に応じて手順4と5を繰り返します。

7 ファクス

7.1	ファクスを送信する	140
7.2	ファクスを受信する	146
7.3	ファクス設定を変更する	150

7.1 ファクスを送信する

参照

- ・ファクスの送信結果は、[ジョブ] 画面またはレポートで確認できます。詳しくは、「[ジョブ] (P.65)」または「[モニターレポート] (P.74)」を参照してください。

7.1.1 ファクス送信の基本操作

1. 原稿をセットします。

参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. 𠂇〈ホーム〉ボタンを押します。

3. [ファクス] をタップします。



4. ⚙️ をタップし、必要に応じてファクス設定をします。

参照

- ・設定については、「[ファクス] (P.51)」を参照してください。

5. 相手先のファクス番号を入力します。

補足

- ・📞 をタップすると最後にダイヤルしたファクス番号が表示されます。
- ・アドレス帳やLDAPサーバーを使用してファクス番号を指定することもできます。詳しくは、「アドレス帳 (P.167)」を参照してください。

6. [送信] をタップします。

補足

- ・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。
- ・ファクスの送信を中止するには、送信中に [中止] をタップします。
- ・自動リダイヤル機能が有効な場合は、相手先が話し中のときや送信時に応答がないときに、指定した時間ごとに自動的にリダイヤルします。自動リダイヤルの設定については、「[リダイヤル設定] (P.73)」を参照してください。

7.1.2 オンフック機能を使って送信する

1. 原稿をセットします。

参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. 𠂇〈ホーム〉ボタンを押します。

3. [ファクス] をタップします。



4. ⚙️ をタップし、必要に応じてファクス設定をします。



・設定については、「[ファクス] (P.51)」を参照してください。

5. 🔊 をタップします。

6. 相手先のファクス番号を入力します。

7. [送信] をタップします。



- ・ファクスの送信を中止するには、送信中に [中止] をタップします。
- ・オンフック機能を使って送信する場合は、自動リダイヤル機能は使用できません。

7.1.3 時刻を指定して送信する

ファクスの送信時刻を指定できる機能です。通信料金の安い深夜の時間帯を指定するなど、通信コストを削減するために活用できます。



・ファクス送信が完了すると、メモリー内のデータは消去されます。

1. 原稿をセットします。



・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。

2. ⏏️ 〈ホーム〉 ボタンを押します。

3. [ファクス] をタップします。



4. ⚙️ > [時刻指定送信] > [時刻指定] をタップします。

5. 送信開始時刻を入力し、[OK] をタップします。

6. 必要に応じてその他のファクス設定をします。



・設定については、「[ファクス] (P.51)」を参照してください。

7. 相手先のファクス番号を入力します。



補足

- ・  をタップすると最後にダイヤルしたファクス番号が表示されます。
- ・ アドレス帳やLDAPサーバーを使用してファクス番号を指定することもできます。詳しくは、「アドレス帳 (P.167)」を参照してください。

8. [送信] をタップします。



補足

- ・ 次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

7.1.4 コンピューターからファクスを送信する (ダイレクトファクス)

アプリケーションソフトウェアで作成した文書を、プリントする場合と同じ操作で、コンピューターから直接ファクス送信できます。この機能を「ダイレクトファクス」といいます。



補足

- ・ ダイレクトファクスではモノクロファクスだけ送信できます。

Windows® の場合

PCLドライバーを使って、コンピューターからファクスを送信できます。



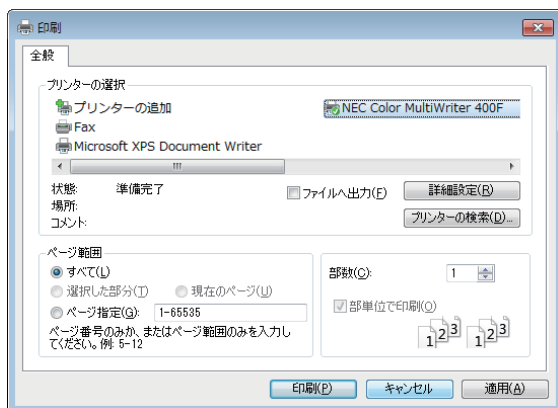
参照

- ・ ドライバーのインストールについては、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.26)」を参照してください。

1. ファクスするファイルを開きます。

2. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。

3. 本機を選び、[詳細設定] をクリックします。



4. [プリント種類] から、[ファクス] を選びます。

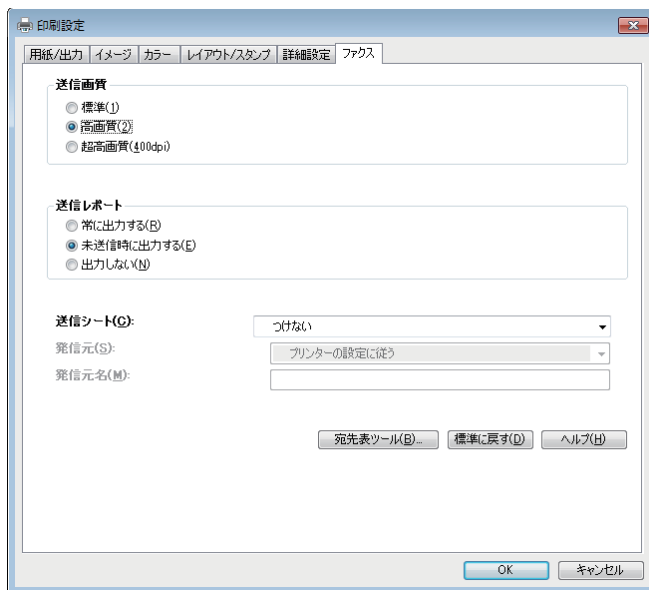
5. [ファクス] タブをクリックします。

6. ファクスの送信設定をします。



参照

- ・ 設定方法については、PCLドライバーのヘルプを参照してください。



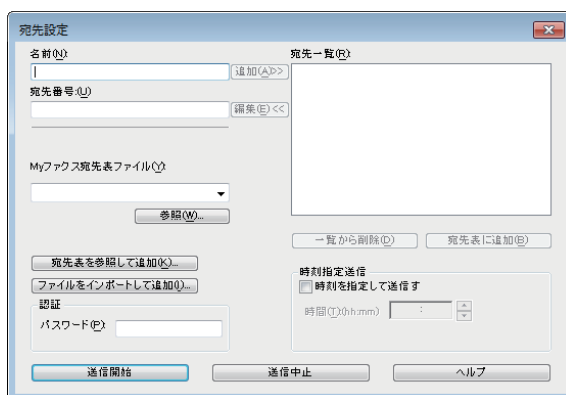
7. [OK] をクリックして [印刷設定] ダイアログボックスを閉じ、[印刷] をクリックします。

8. 宛先を指定します。



参照

- ・ 宛先の指定方法については、PCLドライバーのヘルプを参照してください。



9. [送信開始] をクリックします。

Macの場合

AirPrint機能を使って、コンピューターからファクスを送信できます。



補足

- ・ Macでファクスする場合は、CentreWare Internet Servicesで、[モバイルプリント] から、[AirPrint™] の [有効] にチェックマークが付いていることを確認してください。また、本機とMacをUSBで接続しているときは、[AirPrint™] の [USB接続] にチェックマークを付けます。詳しくは、CentreWare InternetServicesヘルプを参照してください。

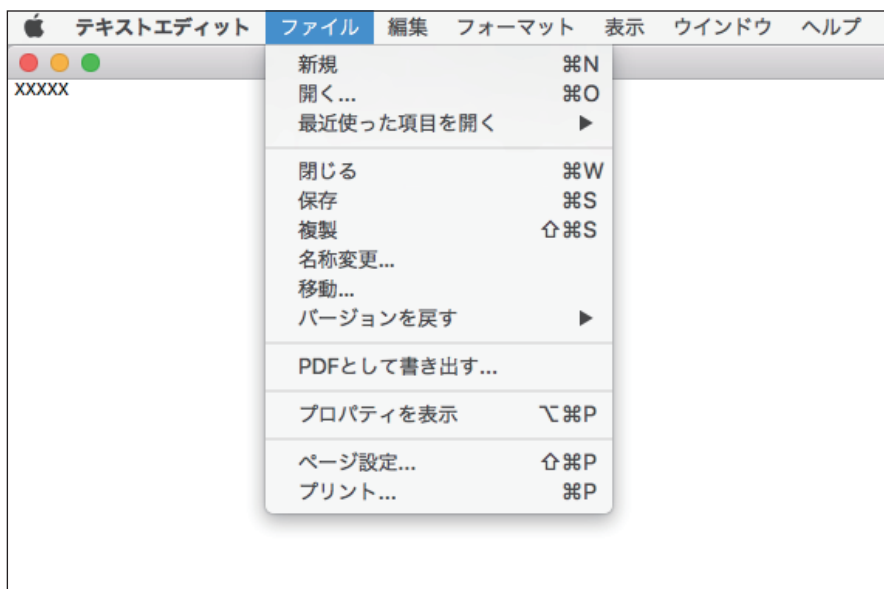
ここでは、macOS 10.12を例に手順を説明します。

1. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。

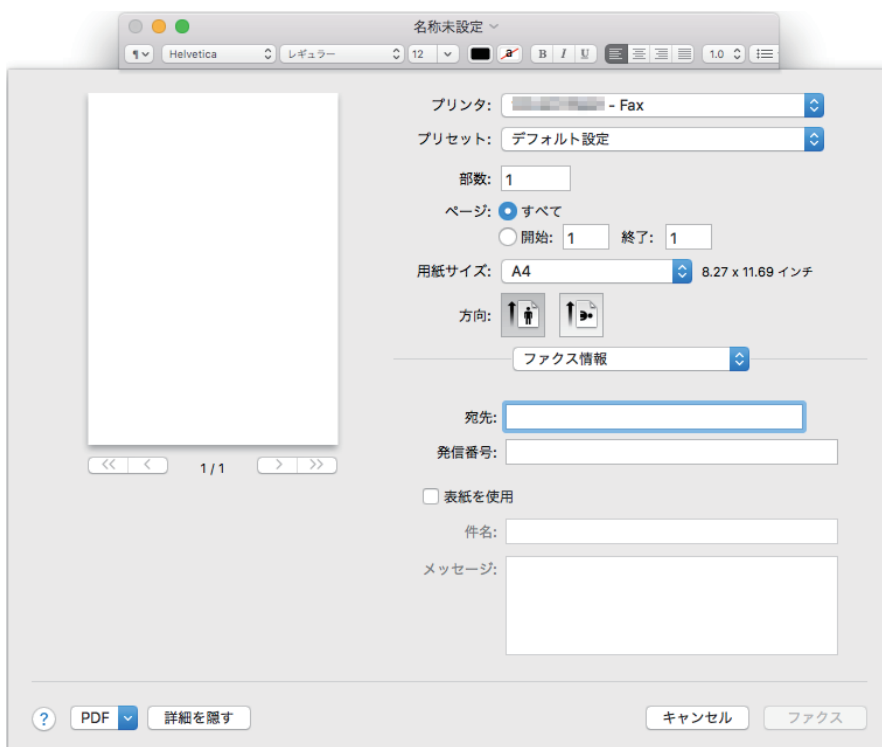
2. 本機とMacを有線LANまたは無線LANで接続している場合は、[+] をクリックして、[プリンタまたはスキャナを追加] をクリックします。
本機とMacをUSBで接続している場合は、[ファクス] に本機が表示されていることを確認し、手順5に進みます。
3. 本機を選び、[ドライバ] から [AirPrint] を選びます。
4. [追加] をクリックします。
5. ファクスするファイルを開きます。
6. [ファイル] メニューから [プリント] を選びます。

参照

- ・ アプリケーションによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



7. [プリンタ] から本機を選び、[宛先] に相手先のファクス番号を入力します。



8. [ファクス] をクリックします。

7.2 ファクスを受信する

補足

- ・メモリーがいっぱいのときは、ファクスを自動受信できません。メモリーから不要なファクス文書を削除してください。
- ・本機は複数のジョブを同時に処理できるため、コピーやプリント中にファクスを受信できます。コピーやプリント中、または用紙切れやトナー切れの場合にファクスを受信したときは、受信したファクスはいったんメモリーに保存されます。コピーやプリントが終了、または消耗品を補充すると、メモリー内のファクスは自動的に出力されます。

7.2.1 自動で受信する

ファクスを自動受信するには、ファクス受信モードを〔自動受信 ファクス〕、〔自動受信 電話/ファクス〕、または〔自動受信 留守電/ファクス〕に設定します。工場出荷時は〔自動受信 ファクス〕に設定されています。

参照

- ・ファクス受信モードについては、「〔受信モード〕 (P.72)」を参照してください。

補足

- ・〔自動受信 電話/ファクス〕または〔自動受信 留守電/ファクス〕を使用するには、本機背面の〈PHONE〉コネクタに外付け電話機または留守番電話機を接続します。詳しくは、「本機を電話回線に接続する (P.35)」を参照してください。

7.2.2 手動で受信する

ファクスを手動受信するには、ファクス受信モードを〔手動受信〕に設定します。

参照

- ・ファクス受信モードについては、「〔受信モード〕 (P.72)」を参照してください。

補足

- ・〔手動受信〕を使用するには、本機背面の〈PHONE〉コネクタに外付け電話機を接続します。詳しくは、「本機を電話回線に接続する (P.35)」を参照してください。

リモート受信を使用する

外付け電話機から所定の受信番号を入力すると、ファクスを手動受信できます。わざわざ本機の所に行って受信操作をする必要がありません。

補足

- ・この機能を使用するには、〔リモート受信〕を〔する〕に設定してください。詳しくは、「〔リモート受信〕 (P.73)」を参照してください。
- ・お使いになる外付け電話機のダイヤル方式をプッシュ信号に設定してください。

1. 外付け電話機が鳴ったら、受話器を取ります。
2. ファクス音が聞こえたら、電話機からリモート受信番号を入力します。

補足

- ・リモート受信番号を入力するときはゆっくりと押してください。番号を入力しても相手機のファクス音がまだ聞こえる場合は、2桁の番号をもう一度入力してください。
- ・工場出荷時のリモート受信番号は00に設定されています。2桁の番号はお好みに応じて変更できます。この設定については、「〔リモート受信〕 (P.73)」を参照してください。

3. 受話器を元に戻します。

オフフック機能を使って受信する

1. 外付け電話機が鳴ったら、受話器を取ります。
2. ファクス音が聞こえたら、 〈ホーム〉 ボタンを押します。
3. [ファクス] をタップします。



4. [受信] をタップします。
5. 受話器を元に戻します。

オンフック機能を使って受信する

1. 外付け電話機が鳴ったら、 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [ファクス] をタップします。



3.  をタップします。
4. [受信] をタップします。

7.2.3 セキュリティー受信モードを使う

受信したファクスを第三者から閲覧されないように設定する機能です。セキュリティー受信モードを起動すると、受信するファクスはすぐには出力されず、本機のメモリーにいったん保存されます。保存されているファクスは受信モードを解除するとすべて出力されます。



補足

- ・セキュリティー受信モードを起動するには、[パネルロック] を有効にする必要があります。この設定については、「パネル操作を制限する (P.45)」を参照してください。

セキュリティー受信モードを設定する

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティー設定] をタップします。
4. [パネルロック] のパスワードを入力し、[OK] をタップします。
5. [セキュリティーファクス受信] をタップします。
6. 𠂇 をタップしてチェックマークを表示します。
7. 4桁のパスワードを入力し、[OK] をタップします。

セキュリティー受信モードでファクスを受信すると、受信したファクスはメモリーに保存されます。このとき、[ジョブ] 画面の [セキュリティーファクスをプリント] には、メモリー内にファクスが保存されていることを示す 𠂇 が表示されます。

受信したファクスを出力する

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [セキュリティーファクスをプリント] をタップします。
4. 4桁のパスワードを入力し、[OK] をタップします。

7.2.4 ポーリング受信をする

相手機にセットされているファクス文書を本機からの操作でいつでも好きなときに受信できます。

1. 𠂇〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ファクス] をタップします。



3. ⚙ をタップします。
4. [ポーリング受信] の 𠂇 をタップしてチェックマークを表示します。
5. < をタップします。
6. 相手先のファクス番号を入力します。
7. [スタート] をタップします。

7.3 ファクス設定を変更する

ファクス送信時の初期値を設定できます。

1. ☰ 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [アプリの初期値] > [ファクス設定] をタップします。
4. 設定する項目をタップします。



参照

・ 設定については、「[ファクス設定] (P.81)」を参照してください。

5. 任意の項目を設定します。
6. 必要に応じて手順4と5を繰り返します。

8 スマートフォン／タブレットからのプリント、スキャン

- 8.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する152
- 8.2 Print Utility を使ってプリント、スキャンする156
- 8.3 その他のサービスを利用する157

8.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する

スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、ウェブページやメールなどを素早く簡単にプリントまたはスキャンできます。

次のいずれかの方法で、本機をスマートフォン／タブレットと接続します。

- ・ Wi-Fi 接続
本機とスマートフォン／タブレットを無線LANアクセスポイント経由で接続します。
- ・ Wi-Fi Direct 接続
無線LANアクセスポイントを経由せず、本機とスマートフォン／タブレットを直接接続します。

8.1.1 Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. 本機が無線LANに接続されていることを確認します。



・ 接続方法については、「無線LANで接続する (P.23)」を参照してください。

スマートフォン／タブレットの設定



・ 操作方法はスマートフォン／タブレットの機種によって異なります。詳しくは、お使いのスマートフォン／タブレットの取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン／タブレットのWi-Fi 機能を有効にします。
2. 本機が接続しているネットワーク (SSID) を選びます。
3. 暗号化キーを入力し、接続を完了します。



・ 暗号化キーは無線LANアクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

8.1.2 Wi-Fi Direct で接続する



・ スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器は同時に3台まで接続できます。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Directを使用するには、はじめに本機の操作パネルでWi-Fi Directを設定します。次に本機のSSIDをモバイル機器上の画面で選び、該当するパスフレーズを入力すると、Wi-Fi Direct経由で本機に接続できます。

●本機の設定をする

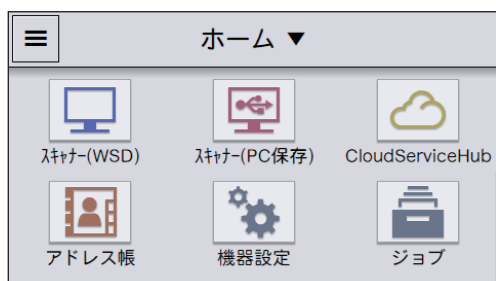


補足

- ・ CentreWare Internet Services を使って設定することもできます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・ Wi-Fi Direct は IPv6 やアドホック環境では使用できません。

1. 〈ホーム〉 ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] をタップします。

4. [Wi-Fi Direct] の をタップしてチェックマークを表示します。

5. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

6. 本機の再起動後に、[機器設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] > [グループ設定] > [グループオーナー] をタップします。

7. [接続中の機器] をタップします。

8. 画面に表示されているモバイル機器数が2台以下であることを確認し、 をタップします。



補足

- ・ 接続しているモバイル機器数が3台のときは、Wi-Fi Direct ネットワークに追加接続できません。現在接続しているすべてのモバイル機器をネットワークから切断してください。詳しくは、「Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する (P.154)」を参照してください。

9. [SSID] をタップします。

10. 必要に応じて本機のSSIDを変更し、[OK] をタップします。



補足

- ・ SSID を変更すると、手順8で表示されたモバイル機器の接続は切断されます。

11. [パスフレーズ] をタップします。

12. パスフレーズを確認し、 をタップします。



補足

- ・ [パスフレーズ] メニューの下にある [パスフレーズをプリント] をタップすると、本機のSSIDとパスフレーズが記載されたシートをプリントできます。

●本機とモバイル機器を接続する



参照

- ・ 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

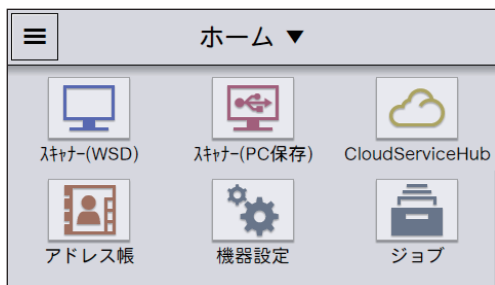
1. スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器の無線LAN機能を有効にします。

2. 本機のSSIDを選びます。

3. パスフレーズを入力します。

Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] > [接続中の機器] をタップします。



・ [接続中の機器] は、スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器が本機にWi-Fi Directで接続されているときに表示されます。

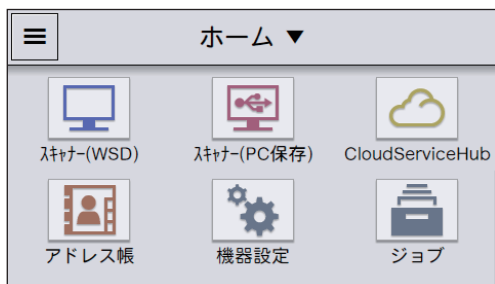
4. [すべて切断] をタップします。
5. [今すぐ切断] または [切断してパスフレーズをリセット] をタップします。
6. 実行確認のメッセージが表示されるので、[はい] をタップします。

パスフレーズを初期化する



・ パスフレーズを初期化するとモバイル機器は切断されます。

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] をタップします。
4. [パスフレーズ] をタップします。
5. [パスフレーズをリセット] > [はい] をタップします。
モバイル機器の接続が切断され、新しいパスフレーズが表示されます。

PINコードを初期化する

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] > [WPSの設定] をタップします。
4. [PINコード方式] > [PINコードをリセット] をタップします。

8.2 Print Utilityを使ってプリント、スキャンする

Print Utilityはスマートフォン／タブレット用の無料アプリケーションです。スマートフォン／タブレットからプリントしたり、原稿をスキャンしたりできます。NFC機能を搭載するAndroid機器をお使いの場合は、本機のNFCリーダーにAndroid機器をかざすだけでプリントやスキャンを開始できます。

詳しくは、次のURLを参照してください。

- ・ iOSの場合：https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_ios/
- ・ Androidの場合：https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_and/

8.3 その他のサービスを利用する

8.3.1 AirPrint



AirPrintは、Apple Inc.が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad/iPhoneなどのiOS搭載機器やMacのコンピュータから指示した文書を、お使いの機械でプリントできます。



補足

- ・[プリント集計管理] が有効のとき、この機能を使用するには[未認証ユーザーのプリント]を有効にする必要があります。詳しくは、「[未認証ユーザーのプリント] (P.83)」を参照してください。

AirPrintの設定を有効にする



補足

- ・初期設定は有効になっています。

1. 本機がネットワークに接続されていることを確認します。
2. CentreWare Internet Servicesを起動します。



参照

- ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

3. [プロパティ] タブをクリックします。
4. 画面左の領域にある[AirPrint] をクリックします。



5. [AirPrintポート起動] にチェックマークを付けます。
6. [新しい設定を適用する] をクリックします。
7. [再起動] をクリックします。

AirPrintでプリントする

ここでは、iOS 9を使った手順を例に説明します。

1. プリントするメール、写真、ウェブページ、または文書を開きます。
2. のアイコンをタップします。
3. [プリント] をタップします。
4. 本機を選び、プリント設定をします。
5. [プリント] をタップします。

8.3.2 Google クラウド プリント

Google クラウド プリントは、Google Inc.が提供するプリントサービスです。本機をGoogle クラウド プリントに登録すると、Google クラウド プリントに対応したアプリケーションからプリントできます。



補足

- ・ Google クラウド プリントはIPv4接続にだけ対応しています。
- ・ 本機をプロキシサーバー経由でネットワークに接続している場合は、CentreWare Internet Servicesから[プロキシサーバー]を設定する必要があります。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。
- ・ [プリント集計管理] が有効のとき、この機能を使用するには[未認証ユーザーのプリント]を有効にする必要があります。詳しくは、「[未認証ユーザーのプリント] (P.83)」を参照してください。



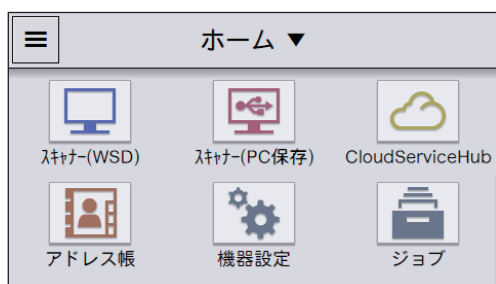
参照

- ・ Google クラウド プリントについては、「<https://www.google.com/cloudprint/learn/>」を参照してください。

本機でGoogle クラウド プリントを使うために必要な作業

Google クラウド プリントを使用するには、次の準備をする必要があります。

- ・ Googleアカウントを取得する
 - ・ 本機の操作パネルからGoogle クラウド プリントを有効にする
- 1  〈ホーム〉ボタンを押します。
 - 2 [機器設定] をタップします。



- 3 [ネットワーク設定] > [プロトコル] をタップします。
- 4 [Google Cloud Print] の  をタップしてチェックマークを表示します。
- 5 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

Google クラウド プリントに本機を登録する

CentreWare Internet ServicesまたはGoogle Chromeを使ってGoogle クラウド プリントに本機を登録します。

●CentreWare Internet Servicesを使って登録する場合

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



- ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある [Google Cloud Print] をクリックします。



4. [Google Cloud Printに登録] をクリックします。

Google クラウド プリント登録サイトの URLが記載された用紙がプリントされます。

5. 用紙に記載されたURLをWebブラウザに入力し、Google クラウド プリントの登録サイトにアクセスします。



- ・用紙に記載されたQRコードを読み取って登録サイトにアクセスすることもできます。

6. ログイン画面で、お使いのGoogleアカウントを入力してログインします。

7. [プリンタ登録を完了] > [プリンタの管理] をクリックします。

本機が [プリンタ] リストに表示され、Google クラウド プリントサービスが利用可能になります。

●Google Chromeを使って登録する場合



- ・Bonjourが有効になっている必要があります。設定については、「[プロトコル] (P.79)」を参照してください。

1. Google Chromeを起動します。

2. 画面右上にある ≡ をクリックし、[設定] を選びます。

3. ページ下部にある [詳細設定を表示] をクリックします。

4. [Googleクラウドプリント] > [管理] をクリックします。



- ・[新しいデバイス] の下にChromeへのログインを促すメッセージが表示されたら、[ログイン] をクリックしてChromeにログインします。

5. 登録するプリンターの「登録」をクリックします。
6. 登録の確認ウィンドウが表示されたら、「登録」をクリックします。
7. 本機の画面の指示に従って操作します。
8. Google Chromeの「マイデバイス」に本機の名前が表示されることを確認します。



補足

- ・「マイデバイス」に本機の名前が表示されるまで5分以上かかることがあります。

Google クラウドプリントへの登録を解除する

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



参照

- ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. 「プロパティ」タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある「Google Cloud Print」をクリックします。
4. 「登録を解除」をクリックします。

Google クラウド プリントでプリントする



参照

- ・Google クラウド プリントを使ってプリントできるアプリケーションや、プリントの手順については、「<https://www.google.com/cloudprint/learn/>」を参照してください。

8.3.3 Mopria プリントサービス

MopriaプリントはAndroid搭載のスマートフォンやタブレット（Android 4.4以降）から、Mopria認証を受けたプリンターに接続してプリントできるサービスで、特別な設定をすることなく利用できます。

はじめにGoogle Playストアから、Mopriaプリントサービスのアプリケーションを、お使いのAndroid機器にダウンロードしてインストールします。

プリント時はモバイル機器を本機と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct機能を使って本機に接続します。



補足

- ・「プリント集計管理」が有効のとき、この機能を使用するには「未認証ユーザーのプリント」を有効にする必要があります。詳しくは、「「未認証ユーザーのプリント」 (P.83)」を参照してください。

本機にMopriaプリントサービスを設定する

1. 本機がネットワークに接続されていることを確認します。
2. CentreWare Internet Servicesを起動します。



参照

- ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

3. 「プロパティ」タブをクリックします。

4. 画面左の領域にある【Mopria】をクリックします。



5. 【有効】をクリックします。

Mopriaプリントサービスでプリントする



参照

・ 詳しくは、「<http://jp.mopria.org/>」を参照してください。

9 便利な使いかた

9.1	CentreWare Internet Services.....	163
9.2	本機のソフトウェア	166
9.3	アドレス帳.....	167

9.1 CentreWare Internet Services

CentreWare Internet Servicesは、Webブラウザを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP環境で、本機とネットワーク接続されたコンピュータで使用できます。

CentreWare Internet Servicesで使える主な機能は、次のとおりです。

タブ名	主な機能
状態	用紙トレイ、排出トレイ、および消耗品の状態を確認できます。
ジョブ	ジョブ一覧やジョブ履歴を確認できます。
宛先表	宛先の追加、編集、削除ができます。
プロパティ	本機の各種設定内容の確認と変更ができます。
プリンター	プリンターの認証機能を使用したユーザー制限の設定ができます。
サポート	サポート情報を表示できます。



補足

- 一部の設定は、[新しい設定を適用する] をクリックしたあとに、本機をCentreWare Internet Servicesから再起動するか、または手動で電源を入れなおすと有効になります。



参照

- CentreWare Internet Servicesから設定できる項目については、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

9.1.1 Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Servicesを使用する前に、Webブラウザで次の設定をしてください。

Internet Explorer 11 を例に説明します。

インターネット一時ファイルの設定をする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [全般] タブで、[閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。
[Webサイトデータの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [インターネット一時ファイル] タブで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] から [Webサイトを表示するたびに確認する] または [Internet Explorerを開始するたびに確認する] を選びます。
4. [OK] をクリックします。
[Webサイトデータの設定] ダイアログボックスが閉じます。
5. [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

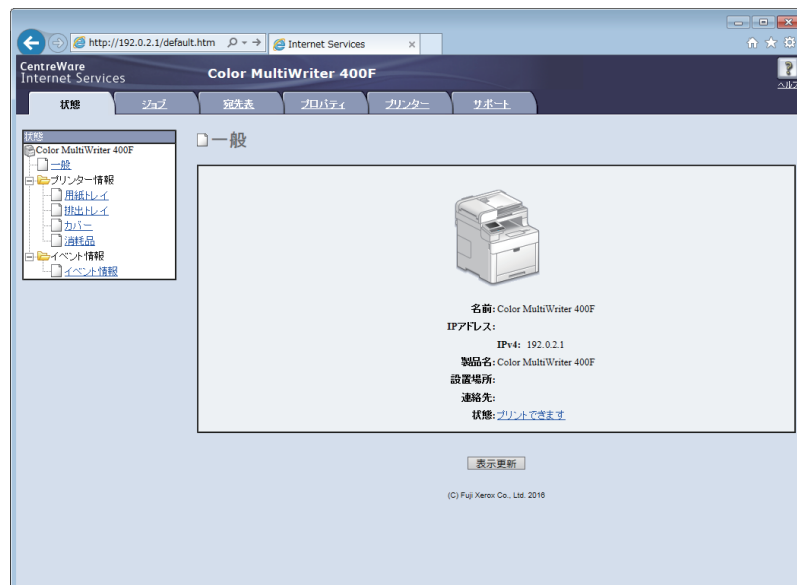
本機のIPアドレスについて、プロキシサーバーを使用しないように設定する

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。

2. [接続] タブで、[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] の [LANの設定] をクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [プロキシサーバー] を、次のどちらかに設定します。
 - ・ [LANにプロキシサーバーを使用する] のチェックマークを外す。
 - ・ [詳細設定] をクリックし、[例外] に本機のIPアドレスを入力して [OK] をクリックする。
4. [OK] をクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが閉じます。
5. [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

9.1.2 CentreWare Internet Services を起動する

CentreWare Internet Servicesを起動するには、本機のIPアドレスをWebブラウザに入力します。



本機のIPアドレスがわからない場合は、操作パネルでIPアドレスを確認するか、システム設定リストを出力して確認してください。IPアドレスの確認方法については、「ネットワーク設定を確認する (P.34)」を参照してください。

9.1.3 ユーザー認証とセキュリティ

CentreWare Internet Servicesを使用するときに、ユーザー名とパスワードを求められたり、「証明書」が必要になったりすることがあります。

ユーザー認証する

〔プロパティ〕 タブの 〔セキュリティ〕 の 〔機械管理者の設定〕 を 〔有効〕 にした場合は、一部の設定を変更するときに、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。本機に登録した機械管理者のログインIDとパスワードを入力してください。

送信を暗号化する

〔プロパティ〕 タブの 〔セキュリティ〕 で証明書を作成して 〔SSL/TLSサーバー通信〕 を 〔有効〕 にした場合は、本機とWebブラウザーの間で送信するデータが暗号化されます。また、CentreWare Internet Servicesを使用するときに、証明書が必要になることがあります。

9.2 本機のソフトウェア

9.2.1 概要

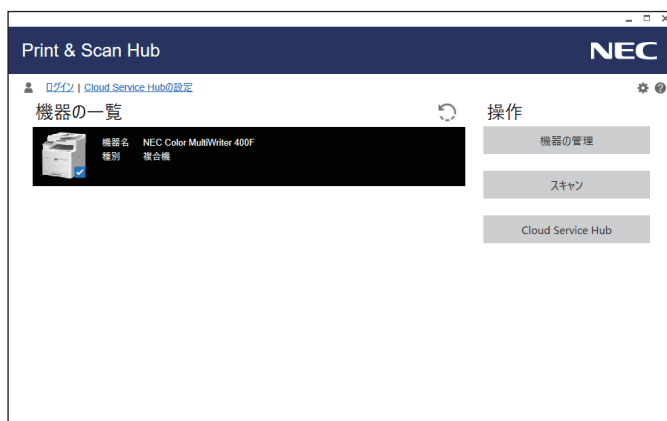
付属の「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクを使って、次のソフトウェアをインストールできます。

Print & Scan Hub (Windows®)

Print & Scan Hubは、次の機能を提供するソフトウェアです。

- ・ 本機や本機の消耗品の状態を表示する機能
- ・ スキャン機能、スキャン画像を編集する機能

Print & Scan Hubを起動するには、[スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows®)

PC上のファイルを直接プリンターに送って印刷するためのソフトウェアです。PDFファイルやTIFFファイルを印刷することができます。

ContentsBridge Utilityを起動するには、[スタート] > [ContentsBridge Utility] をクリックします。

宛先表ツール (Windows®)

宛先表ツールを使うと、ファクス番号やメールアドレスなどの連絡先情報を登録できます。

宛先表ツールを起動するには、[スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Color MultiWriter 400F] > [宛先表ツール] をクリックします。

9.2.2 ソフトウェアをアップデートする

最新版のソフトウェアおよびファームウェアは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次のURLにアクセスして、ダウンロードしてください。

<http://jpn.nec.com/printer/laser/download/>

9.3 アドレス帳

アドレス帳は宛先を登録しておくための機能です。ファクス番号やメールアドレスのほか、SMBやFTPサーバーのアドレスを登録できます。また、LDAPサーバーがあれば、サーバー内のファクス番号やメールアドレスを検索して送信時に指定することもできます。

9.3.1 アドレス帳で使用できる機能

アドレス帳には次の宛先機能があります。

- ・ 個人宛先
通常はこの機能を使って宛先を登録します。ファクス番号とメールアドレスを1つの宛先に登録できます。
- ・ グループ宛先
アドレス帳に登録された複数の宛先を、1つのグループとしてまとめることができます。同一の原稿を一度に複数の宛先に送信するときに使うと便利な機能です。



補足

- ・ サーバーのアドレスはグループ宛先として登録できません。

9.3.2 アドレス帳に宛先を登録する

本機の操作パネル、CentreWare Internet Services、または宛先表ツールを使用して登録します。

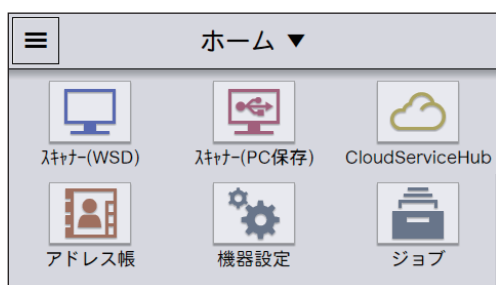


補足

- ・ サーバーのアドレスは、CentreWare Internet Servicesまたは宛先表ツールからのみ登録できます。
- ・ CentreWare Internet Servicesからの登録手順については、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。
- ・ 宛先表ツールからの登録手順については、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

個人宛先を登録する

1. 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [アドレス帳] をタップします。



3. > [宛先を登録] をタップします。
4. [名前] をタップします。
5. 宛先名を入力し、[確定] > [OK] をタップします。



補足

- ・ [名前] を入力すると、[インデックスキー] 欄に索引名が自動的に入力されます。索引名を変更する場合は、この入力欄をタップします。
- ・ アドレス帳には登録した宛先が索引名順に表示されます。

6. [メールアドレスを入力してください。] をタップします。
メールアドレスを登録しない場合は、手順8に進みます。
7. メールアドレスを入力し、[OK] をタップします。
8. [ファクス番号を入力してください。] をタップします。
ファクス番号を登録しない場合は、手順10に進みます。
9. ファクス番号を入力し、[OK] をタップします。
10. 宛先をお気に入りとして登録する場合は、★ をタップします。登録しない場合は、次の手順に進みます。



補足

・お気に入りに登録すると、アドレス帳のお気に入りリストから宛先を素早く簡単に探せます。

11. [OK] をタップします。

グループ宛先を登録する

1. ≡ 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [アドレス帳] をタップします。



3. + > [グループを登録] をタップします。
4. [メール] または [ファクス] をタップしてグループ宛先の種類を選びます。
5. [グループ名を入力してください] をタップします。
6. グループ名を入力し、[確定] > [OK] をタップします。



補足

・[名前] を入力すると、[インデックスキー] 欄に索引名が自動的に入力されます。索引名を変更する場合は、この入力欄をタップします。
・アドレス帳には登録したグループ宛先が索引名順に表示されます。

7. [メンバーを追加] をタップします。
8. グループ宛先に登録するすべての宛先をタップし、[OK] をタップします。
9. 宛先をお気に入りとして登録する場合は、★ をタップします。登録しない場合は、次の手順に進みます。



補足

・お気に入りに登録すると、アドレス帳のお気に入りリストから宛先を素早く簡単に探せます。

10. [OK] をタップします。

9.3.3 アドレス帳から宛先を指定する

アドレス帳からファクスやメールの宛先を指定する方法を説明します。



補足

- ・サーバーアドレスの指定方法については、「スキャンしたデータを保存する (P.130)」を参照してください。

1. 〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ファクス] または [スキャナー (メール送信)] をタップします。



3. をタップします。
4. 宛先をタップします。



補足

- ・ は個人宛先、 はグループ宛先です。
- ・ 次のキーを使用すると宛先の検索がしやすくなります。
 - : お気に入りとして登録した宛先だけを表示します。
 - : 検索文字列を入力して宛先を検索できます。

5. [送信] または [OK] をタップします。

9.3.4 アドレス帳の宛先を編集／削除する

アドレス帳に登録されている宛先を編集または削除する方法を説明します。

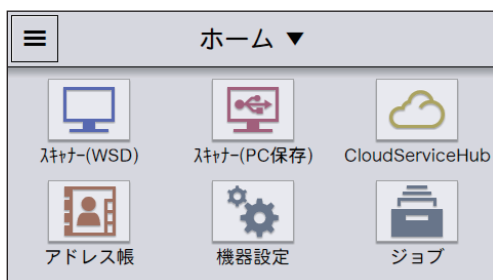


補足

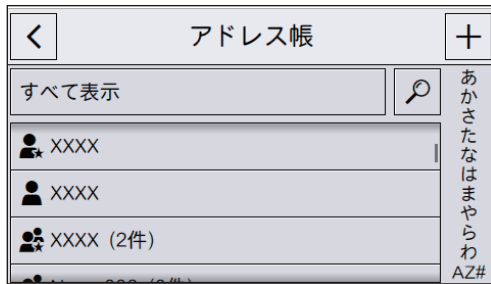
- ・サーバーのアドレスは、CentreWare Internet Servicesまたは宛先表ツールで編集／削除してください。
- ・CentreWare Internet Servicesでの編集／削除の手順については、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。
- ・宛先表ツールでの編集／削除の手順については、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

個人宛先を編集／削除する

1. 〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [アドレス帳] をタップします。



3. 編集または削除する個人宛先をタップします。



補足

- ・ 個人宛先、グループ宛先です。

4. 個人宛先を編集する場合は「編集」をタップします。 個人宛先を削除する場合は「宛先を削除」をタップし、手順6に進みます。



5. 任意の項目をタップして編集します。



補足

- ・ 宛先をお気に入りとして登録する場合は、★ をタップします。
- ・ メールアドレスまたはファクス番号を削除する場合は、🗑️ をタップします。

6. [OK] をタップします。

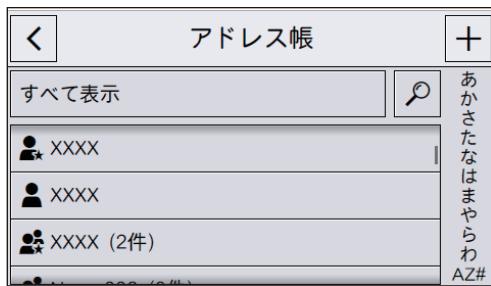
グループ宛先を編集／削除する

1. 𠂇 (ホーム) ボタンを押します。

2. 「アドレス帳」をタップします。



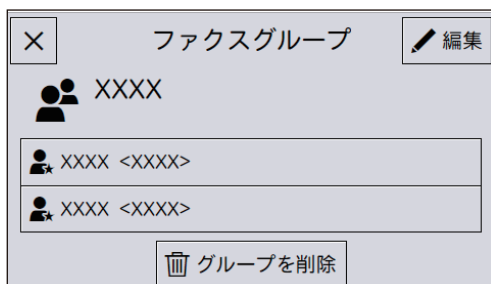
3. 編集または削除するグループ宛先をタップします。



補足

- ・ は個人宛先、 はグループ宛先です。

4. グループ宛先を編集する場合は【編集】をタップします。 グループ宛先を削除する場合は【グループを削除】をタップし、手順6に進みます。



5. 任意の項目をタップして編集します。



補足

- ・ 宛先をお気に入りとして登録する場合は、★ をタップします。
- ・ 個人宛先をグループ宛先から削除する場合は、 をタップします。
- ・ グループ宛先に個人宛先を追加する場合は、次の手順を実行します。
 - 1 [メンバーを追加] をタップします。
 - 2 追加する個人宛先をタップしてチェックマークを付けます。
 - 3 [OK] をタップします。

6. [OK] をタップします。

9.3.5 LDAP サーバーのアドレス帳を使用する

LDAPサーバーに登録されているファクス番号やメールアドレスを検索して宛先に指定できます。本機からLDAPサーバーにアクセスするには、CentreWare Internet Servicesからサーバーの設定を本機に登録する必要があります。



補足

- ・ LDAPサーバーの設定を登録するときは、システム管理者にお問い合わせください。

LDAPサーバーにアクセスするために必要な作業

CentreWare Internet Servicesを使用して次の項目を設定します。

- ・ 認証方式
- ・ LDAPサーバーのアドレス

- ・ LDAPサーバーの属性名

参照

- ・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

● 認証方式を設定する

1. [プロパティ] タブをクリックします。
2. 画面左の領域にある [認証システム] をクリックします。



3. [認証方式の設定] の [認証システム設定] から認証方式として [LDAP] を選び、[新しい設定を適用する] をクリックします。

補足

- ・ アクセス先のサーバーがKerberos認証を使用している場合は、認証方式として [Kerberos (Windows)] を選んでください。また、Kerberosサーバーに関する設定情報を、画面左の領域にある [Kerberosサーバー] に入力してください。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

4. [再起動] をクリックします。

● LDAPサーバーのアドレスを設定する

補足

- ・ アクセス先のサーバーがSSL/TLS通信で運用されている場合は、本機にSSL/TLS通信の設定をしてください。詳しくは、「暗号化機能を使う (P.187)」を参照してください。

1. [プロパティ] タブをクリックします。

2. 画面左の領域にある「LDAPサーバー」をクリックします。



3. サーバーの設定をします。



・設定方法については、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

4. [新しい設定を適用する] をクリックします。

5. [再起動] をクリックします。

●LDAPサーバーの属性名を設定する

1. [プロパティ] タブをクリックします。

2. 画面左の領域にある「LDAPユーザーの関連付け」をクリックします。



3. LDAPサーバーで使用されている属性名を設定します。



・サーバー側で属性名に変更を加えていない場合は、あらかじめ入力されている設定を使用してください。

4. [新しい設定を適用する] をクリックします。

5. [再起動] をクリックします。

LDAPサーバーのアドレス帳を使用する



補足

- ・ LDAPサーバーから宛先を指定するには、[LDAPアドレス帳] を有効にする必要があります。詳しくは、「[LDAPアドレス帳] (P.92)」を参照してください。

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [ファクス] または [スキャナー (メール送信)] をタップします。



3. 𠂇 > 🔍 をタップします。



補足

- ・ [アドレス帳の選択] 画面が表示された場合は、[LDAPアドレス帳] をタップします。

4. 検索文字列を入力し、[確定] をタップします。
5. [検索] をタップします。
6. 宛先をタップします。
7. [ファクス] の場合：
[送信] をタップします。
[スキャナー (メール送信)] の場合：
[OK] > [送信] をタップします。

10 セキュリティー機能

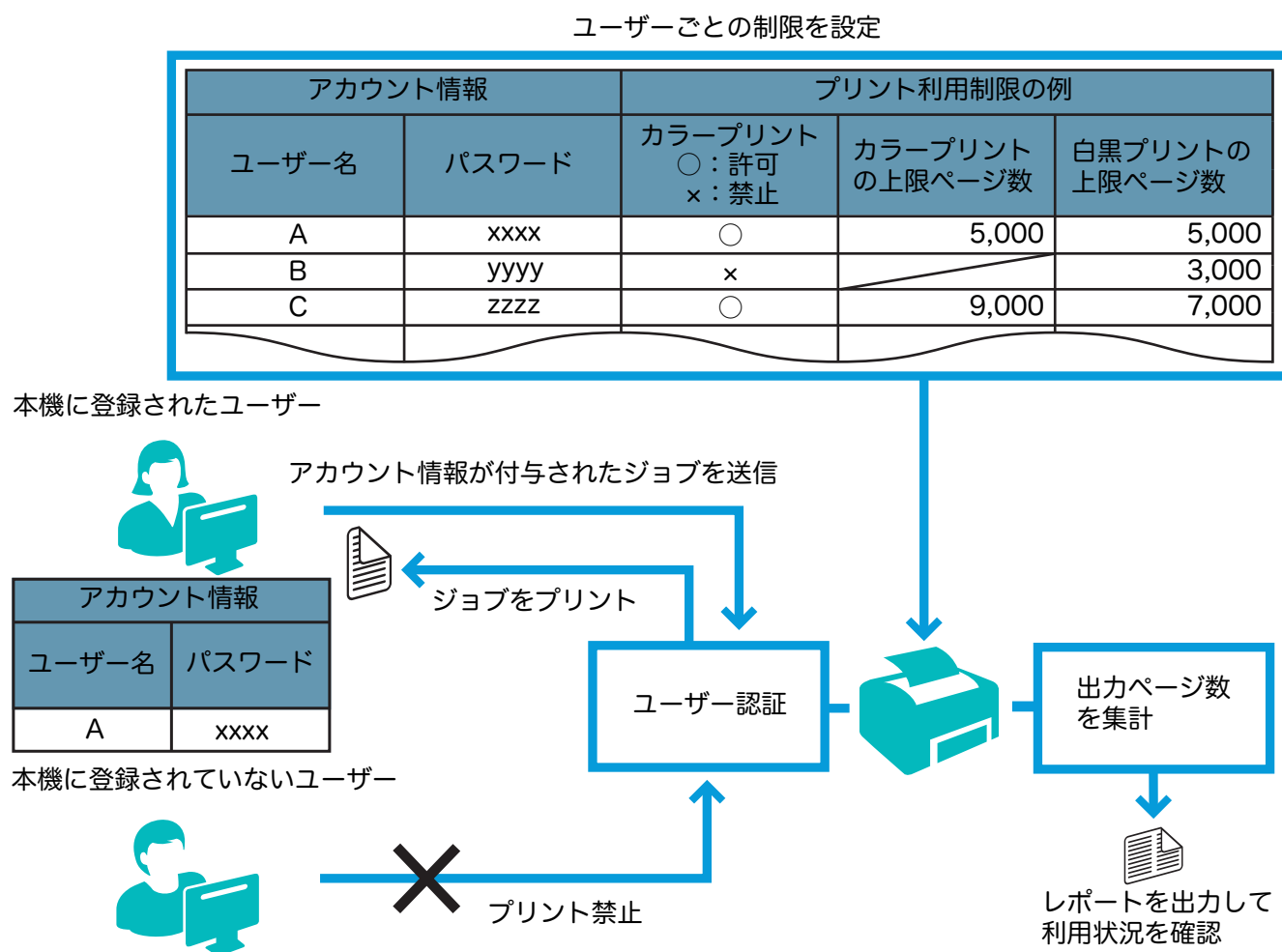
10.1	プリント集計管理.....	176
10.2	暗号化機能を使う.....	187

10.1 プリント集計管理

10.1.1 概要

プリント集計管理機能を有効にすると、ユーザー認証機能が有効になり、本機に登録されたユーザー（登録ユーザー）だけがプリントできるようになります。登録ユーザーごとにプリントの利用を制限したり、プリントの利用量を集計したりすることもできます。登録ユーザーは、アカウント情報が設定された弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションからプリントする必要があります。

次の図は、プリント集計管理の機能概要を示しています。



プリント集計管理には、次の機能があります。

- ・ 登録ユーザーだけにプリントを許可する (P.177)
- ・ 登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する (P.179)
 - － 白黒プリントだけを許可する (P.179)
 - － カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する (P.182)
- ・ アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する (P.185)
 - － カラー／白黒プリントを許可する (P.185)
 - － 白黒プリントだけを許可する (P.186)
- ・ プリントの利用状況を確認する (P.186)

10.1.2 登録ユーザーだけにプリントを許可する プリンタードライバー／アプリケーションの認証情報の設定

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。

ここでは、Window[®] 7およびWindows[®] 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

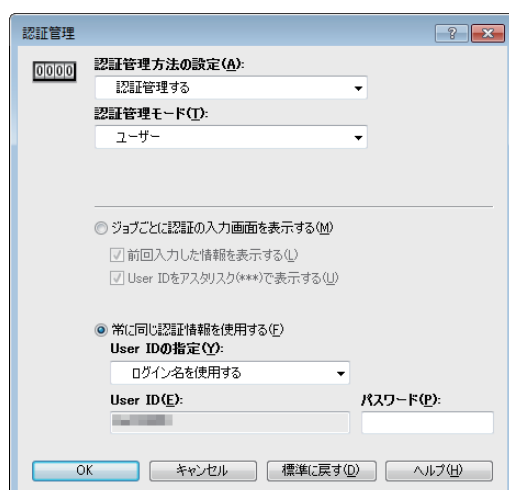
Windows[®] 10の場合は、スタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。

3. [プリンター構成] タブをクリックします。

4. [認証設定] をクリックします。

5. [認証管理方法の設定] で [認証管理する] を選びます。



6. [認証管理モード] を設定します。



参照

・ 設定項目については、PCLドライバーのヘルプを参照してください。

7. アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。

- ・ ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合
 - a [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選びます。
 - b 必要に応じて、[前回入力した情報を表示する] および [User IDをアスタリスク(***)で表示する] にチェックマークを付けます。
- ・ ユーザー名にWindows[®] のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合
 - a [常に同じ認証情報を使用する] を選びます。
 - b [User IDの指定] で [ログイン名を使用する] を選びます。
 - c [パスワード] を設定します。
- ・ ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合
 - a [常に同じ認証情報を使用する] を選びます。
 - b [User IDの指定] で [IDを入力する] を選びます。
 - c [User ID] および [パスワード] を設定します。

8. [OK] をクリックします。

9. [OK] をクリックします。

本機へのユーザー登録

[プリント集計管理] を有効にして、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報を本機に登録します。

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



- ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プリンター] タブをクリックします。

3. [プリント集計管理] の [有効] にチェックマークを付け、[新しい設定を適用する] をクリックします。



4. [再起動] をクリックします。

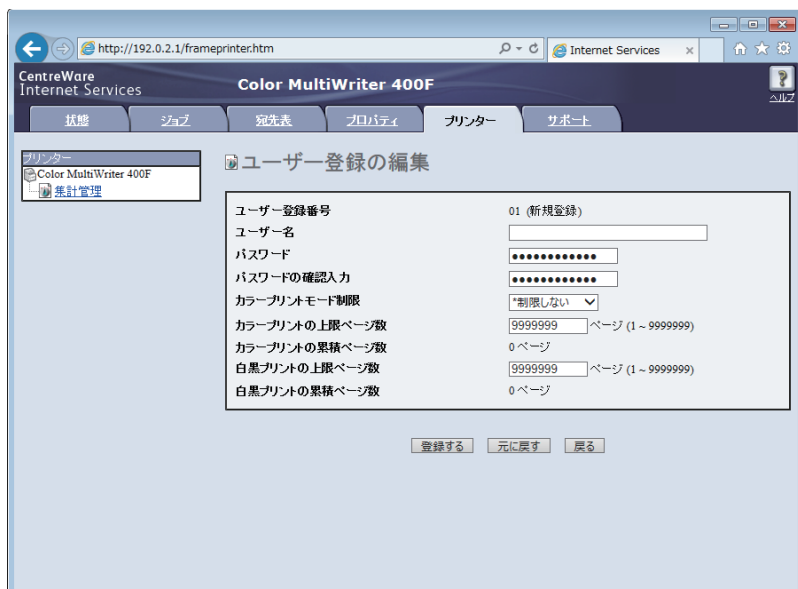
5. 本機の再起動後、Webブラウザの表示を更新します。

6. [ユーザー登録の編集] をクリックします。



7. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。

8. [ユーザー名] および [パスワード] に、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したアカウント情報を入力します。



9. [パスワードの確認入力] にパスワードを再度入力します。

10. [登録する] をクリックします。

10.1.3 登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する

設定できる制限は次のとおりです。

- ・ 白黒プリントだけを許可する (P.179)
- ・ カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する (P.182)

白黒プリントだけを許可する

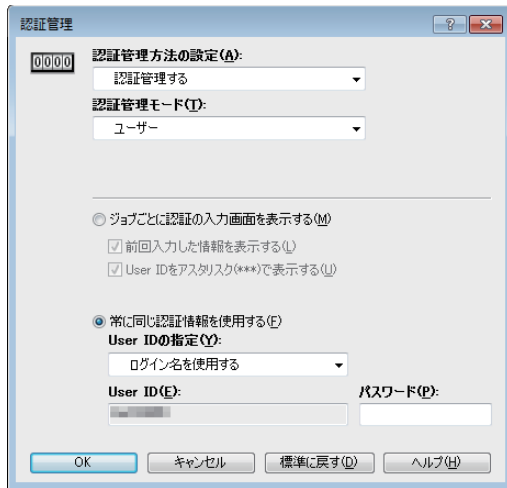
●プリンタードライバー／アプリケーションの認証情報の設定

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。

ここでは、Window[®] 7およびWindows[®] 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
Windows[®] 10の場合は、スタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
3. [プリンター構成] タブをクリックします。
4. [認証設定] をクリックします。

5. [認証管理方法の設定] で [認証管理する] を選びます。



6. [認証管理モード] を設定します。



参照

- ・ 設定項目については、PCLドライバーのヘルプを参照してください。

7. アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。

- ・ ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合
 - a [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選びます。
 - b 必要に応じて、[前回入力した情報を表示する] および [User IDをアスタリスク(***)で表示する] にチェックマークを付けます。
- ・ ユーザー名にWindows®のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合
 - a [常に同じ認証情報を使用する] を選びます。
 - b [User IDの指定] で [ログイン名を使用する] を選びます。
 - c [パスワード] を設定します。
- ・ ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合
 - a [常に同じ認証情報を使用する] を選びます。
 - b [User IDの指定] で [IDを入力する] を選びます。
 - c [User ID] および [パスワード] を設定します。

8. [OK] をクリックします。

9. [OK] をクリックします。

●本機へのユーザー登録とプリントの利用制限の設定

[プリント集計管理] を有効にして、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報を本機に登録し、プリントの利用制限を設定します。

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



参照

- ・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プリンター] タブをクリックします。

3. [プリント集計管理] の [有効] にチェックマークを付け、[新しい設定を適用する] をクリックします。



4. [再起動] をクリックします。
5. 本機の再起動後、Webブラウザの表示を更新します。
6. [ユーザー登録の編集] をクリックします。



7. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。

8. [ユーザー名] および [パスワード] に、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したアカウント情報を入力します。



9. [パスワードの確認入力] にパスワードを再度入力します。

10. [カラープリントモード制限] で [白黒のみ許可] を選びます。

11. [登録する] をクリックします。



補足

- ・ [白黒のみ許可] が設定されたユーザーのカラープリントジョブはキャンセルされます。ジョブをキャンセルせずに白黒でプリントする場合は、次の手順に従って [強制白黒プリント] を有効にします。

1. ① (ホーム) ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。
3. [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] をタップします。
4. [強制白黒プリント] > [する] をタップします。
5. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する

カラーまたは白黒でプリントできるページ数の上限を設定します。

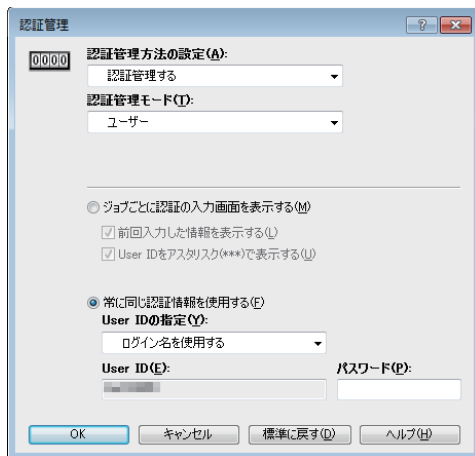
●プリンタードライバー／アプリケーションの認証情報の設定

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。

ここでは、Window[®] 7およびWindows[®] 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
Windows[®] 10の場合は、スタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
3. [プリンター構成] タブをクリックします。
4. [認証設定] をクリックします。

5. [認証管理方法の設定] で [認証管理する] を選びます。



6. [認証管理モード] を設定します。



参照

- ・ 設定項目については、PCLドライバーのヘルプを参照してください。

7. アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。

- ・ ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合
 - a [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選びます。
 - b 必要に応じて、[前回入力した情報を表示する] および [User IDをアスタリスク(***)で表示する] にチェックマークを付けます。
- ・ ユーザー名に Windows® のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合
 - a [常に同じ認証情報を使用する] を選びます。
 - b [User IDの指定] で [ログイン名を使用する] を選びます。
 - c [パスワード] を設定します。
- ・ ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合
 - a [常に同じ認証情報を使用する] を選びます。
 - b [User IDの指定] で [IDを入力する] を選びます。
 - c [User ID] および [パスワード] を設定します。

8. [OK] をクリックします。

9. [OK] をクリックします。

●本機へのユーザー登録とプリントの利用制限の設定

[プリント集計管理] を有効にして、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報を本機に登録し、プリントの利用制限を設定します。

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



参照

- ・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プリンター] タブをクリックします。

3. [プリント集計管理] の [有効] にチェックマークを付け、[新しい設定を適用する] をクリックします。



4. [再起動] をクリックします。
5. 本機の再起動後、Webブラウザの表示を更新します。
6. [ユーザー登録の編集] をクリックします。



7. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。

8. [ユーザー名] および [パスワード] に、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したアカウント情報を入力します。

9. [パスワードの確認入力] にパスワードを再度入力します。

10. [カラープリントの上限ページ数] および [白黒プリントの上限ページ数] に任意の数値を入力します。

11. [登録する] をクリックします。

10.1.4 アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する

[プリント集計管理] が有効のとき、アカウント情報（ユーザー名とパスワード）を持たないジョブはプリントできません。プリントを許可したい場合は、[未認証ユーザーのプリント] を有効にします。白黒プリントだけを許可することもできます。

アカウント情報を持たないジョブとは、次のとおりです。

- ・ 他社製のプリンタードライバーやユーティリティで作成されたジョブ
- ・ 次の機能を使って送信されたジョブ
 - USB ダイレクトプリント
 - AirPrint
 - Google クラウド プリント
 - Mopria プリントサービス



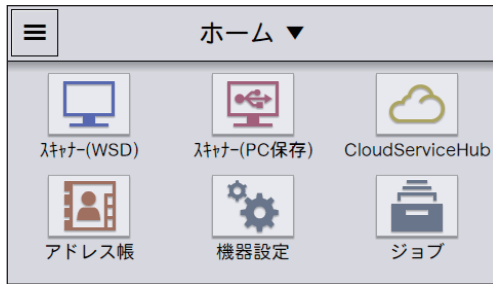
補足

- ・ 弊社のプリンタードライバーやアプリケーションを使用した場合でも、プリンタードライバーやアプリケーションの認証情報の設定を無効にすると、アカウント情報を持たないジョブになります。

カラー／白黒プリントを許可する

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] をタップします。

4. [プリント集計管理] をタップします。

5. [未認証ユーザーのプリント] > [許可] をタップします。

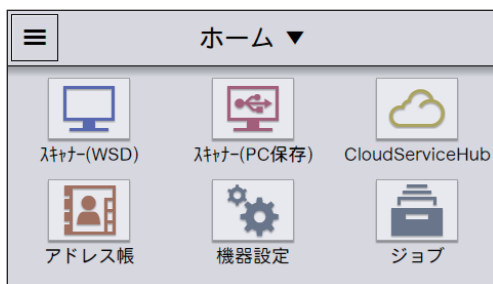
6. [強制白黒プリント] > [しない] をタップします。

7. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

白黒プリントだけを許可する

1. 𠂇 (ホーム) ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] をタップします。

4. [プリント集計管理] をタップします。

5. [未認証ユーザーのプリント] > [許可] をタップします。

6. [強制白黒プリント] > [する] をタップします。

7. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

10.1.5 プリントの利用状況を確認する

レポートを出力して、プリントの利用制限の設定状況と出力したページ数の合計を確認できます。



参照

- ・ レポートの出力方法については、「ユーザー別に確認する (P.217)」を参照してください。

10.2 暗号化機能を使う

暗号化機能を使うと、データを暗号化して通信できるようになり、データの盗聴や改ざんを防止できます。本機で暗号化機能を使うには、電子証明書が必要になります。



補足

- ・本機で利用できる電子証明書は次のとおりです。
 - CentreWare Internet Servicesを使って作成した自己証明書
 - 認証局（CA）によって署名された証明書
- ・本機にインポートできる電子証明書の規格は次のとおりです。
 - PKCS#12（DER形式）
 - PKCS#7（DER形式）（CSR用）

暗号化機能の設定にはCentreWare Internet Servicesを使います。

10.2.1 事前準備をする

SSL/TLSサーバー通信を有効にする

電子証明書を使った暗号化機能を使う前に、SSL/TLSサーバー通信を有効にします。

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



- ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する（P.164）」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある[SSL/TLSサーバー通信]をクリックします。

4. [SSL/TLSサーバー通信]の[有効]にチェックマークを付け、[新しい設定を適用する]をクリックします。



5. [再起動] をクリックします。

電子証明書を設定する

CentreWare Internet Servicesを使って作成した自己証明書と認証局（CA）によって署名された証明書で設定手順が異なります。

●自己証明書を作成して使う場合

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある [SSL/TLSサーバー通信] をクリックします。

4. [自己証明書の生成] をクリックします。

5. [デジタル署名の方式] からデジタル署名の方式を選びます。



6. [公開キーのサイズ] の一覧から公開キーのサイズを選びます。

7. [有効期間] に証明書の有効期間を設定します。

8. [証明書の生成] をクリックします。

●認証局（CA）によって署名された証明書を使う場合

認証局（CA）によって署名された証明書を使う場合は、証明書署名要求（CSR）を作成し、認証局（CA）から証明書を受け取ります。

証明書署名要求（CSR）を作成する

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある [SSL/TLSサーバー通信] をクリックします。

4. [証明書署名要求（CSR）の生成] をクリックします。

5. 各項目を設定します。



6. [新しい設定を適用する] をクリックします。

7. [エクスポート] をクリックします。

CSRがコンピューターに保存されます。

！ 注記

- ・ CSRをエクスポートしたあと、証明書のインポートが終わるまでの間に、新しく CSRをエクスポートしないでください。CSRに対応した秘密鍵が本機に保存されているため、新しく CSRを再生成すると証明書との整合がとれなくなり、正しくインポートできなくなります。

8. CSRを認証局 (CA) に送付して、CA 署名証明書を受け取ります。

💡 補足

- ・ CSRの送付方法については、ご利用の認証局 (CA) に従ってください。

認証局 (CA) によって署名された証明書をインポートする

！ 注記

- ・ 電子証明書ファイルをインポートする前に、電子証明書ファイルのバックアップをとってください。

💡 補足

- ・ 電子証明書は必ず Internet Explorer® でインポートしてください。
- ・ PKCS#12形式の証明書のインポート後、エクスポートを実行しても秘密鍵はエクスポートされません。

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

📖 参照

- ・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある [SSL/TLSサーバー通信] をクリックします。

4. [証明書のインポート] をクリックします。

5. インポートする証明書ファイルに対応するパスワードを入力します。

💡 補足

- ・ PKCS#7形式 (ファイル名の拡張子がp7bになっているもの) の証明書をインポートするときはパスワードの入力は不要です。

6. 確認用のパスワードを再入力します。

7. [ファイルを選択] をクリックし、インポートするファイルを選びます。

8. [インポート] をクリックします。

利用する証明書を選ぶ

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

参照

・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある [SSL/TLSサーバー通信] をクリックします。

4. [証明書管理] をクリックします。



5. [カテゴリ] と [証明書の目的] を選びます。

参照

・ 詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

6. [証明書の一覧表示] をクリックします。

7. 利用する証明書を選びます。

補足

・ 選んだ証明書の [有効性] 列に [*有効] が表示されていることを確認します。

8. [証明書の詳細] をクリックします。

9. 内容を確認し、画面右上にある [証明書の選択] をクリックします。

10. [再起動] をクリックします。

参照

・ 電子証明書の削除やエクスポートについては、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

10.2.2 暗号化機能を設定する

次の暗号化機能を利用できます。

- ・ HTTP通信/IPP印刷の暗号化
- ・ SMTP通信の暗号化
- ・ LDAP通信の暗号化
- ・ WPA-Enterpriseでの無線LAN接続

HTTP通信/IPP印刷の暗号化

Webブラウザと本機の通信を暗号化した場合は、Webブラウザのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

- ・ IPアドレスの入力例
https://192.0.2.1/ (IPv4の場合)
https://[2001:DB8::1234]/ (IPv6の場合)
- ・ インターネットアドレスの入力例
https://myhost.example.com/

IPPの通信（インターネット印刷）を暗号化する場合は、お使いのコンピューターに本機を追加するときに、本機のURLとして、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

SMTP通信の暗号化

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



- ・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある[SSL/TLSサーバー通信]をクリックします。
4. [SMTP - SSL/TLS通信] から接続方法を選びます。
5. [新しい設定を適用する] をクリックします。

LDAP通信の暗号化

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



- ・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある[SSL/TLSサーバー通信]をクリックします。
4. [LDAP - SSL/TLS通信] の[有効]にチェックマークを付けます。
5. [新しい設定を適用する] をクリックします。

WPA-Enterpriseでの無線LAN接続

●EAP-TLSの場合

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある [Wi-Fi] をクリックします。
4. [セキュリティ] の [暗号化方式] から、[WPA2-Enterprise-AES] を選びます。



・ [通信方式] で [インフラストラクチャーモード] が設定されているときに使用できます。

5. [WPA-Enterprise] の [Identity] を設定します。
6. [WPA-Enterprise] の [EAP認証方式] から、[EAP-TLS] を選びます。
7. [新しい設定を適用する] をクリックします。

●PEAPV0 MS-CHAPV2／EAP-TTLS PAP／EAP-TTLS CHAPの場合

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。



・ CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.164)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある [Wi-Fi] をクリックします。
4. [セキュリティ] の [暗号化方式] から、[WPA2-Enterprise-AES] を選びます。
5. [WPA-Enterprise] の [Identity]、[ユーザー名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定します。
6. [WPA-Enterprise] の [EAP認証方式] で、[PEAPV0 MS-CHAPV2]、[EAP-TTLS PAP]、または [EAP-TTLS CHAP] を選びます。
7. [新しい設定を有効にする] をクリックします。

11 日常管理

11.1	消耗品を交換する.....	194
11.2	清掃する	204
11.3	出力したページ数を確認する	217

11.1 消耗品を交換する

⚠ 警告

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。
掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。
大量にこぼれた場合、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
- トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
- トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

⚠ 注意

- ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

11.1.1 トナーカートリッジを交換する

概要

トナーの残量によって、次のようなメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージは、ブラックトナーカートリッジの場合を例にしています。

メッセージ	残り印字可能ページ数 ^{*2}	本機の状態および処置
「ブラックトナーカートリッジの予備を用意」 ^{*1}	同梱トナーカートリッジ 約 160 ページ トナーカートリッジ 約 600 ページ 大容量トナーカートリッジ 約 1,200 ページ	トナー残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを用意してください。
「ブラックトナー交換」	-	トナーカートリッジが空になっています。新しいトナーカートリッジに交換してください。

^{*1} 純正トナーカートリッジをお使いの場合にだけメッセージが表示されます。

^{*2} 印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

！ 注記

- ・ トナーがこぼれるおそれがありますので、使用済みトナーカートリッジを床やテーブルに置く場合は、トナーカートリッジの下に紙を敷いてください。
- ・ 本機から取り外した古いトナーカートリッジは、再度使用しないでください。印字品質が低下する場合があります。
- ・ 使用済みトナーカートリッジは、振ったり衝撃を与えたりしないでください。残っているトナーがこぼれるおそれがあります。
- ・ トナーカートリッジは、パッケージから取り出してから1年以内に使い切ることをおすすめします。

💡 補足

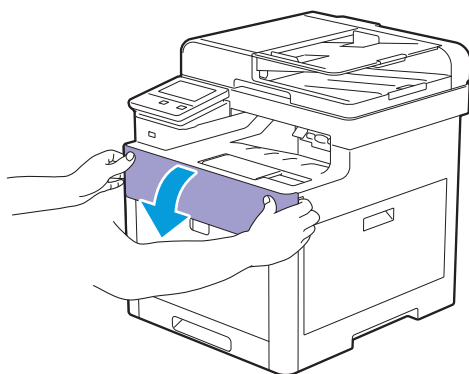
- ・ カラートナーが無くなっても、モノクロでプリントやコピーができます。ただし、できるだけ早めにトナーカートリッジを交換することをおすすめします。

トナーカートリッジを交換する

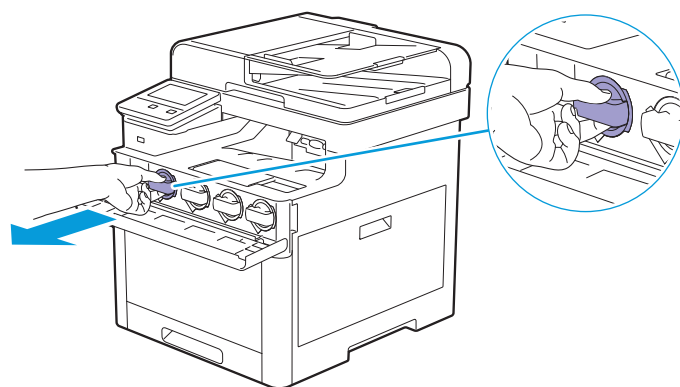
💡 補足

- ・ トナーカートリッジを取り出す前に、必ず手差しトレイからすべての用紙を取り除き、手差しトレイを閉じてください。

1. フロントカバーを開きます。



2. 交換するトナーカートリッジの取っ手を持ち、引き出します。

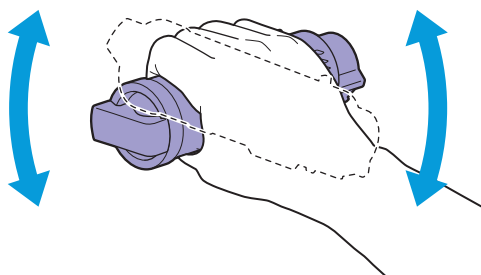


！ 注記

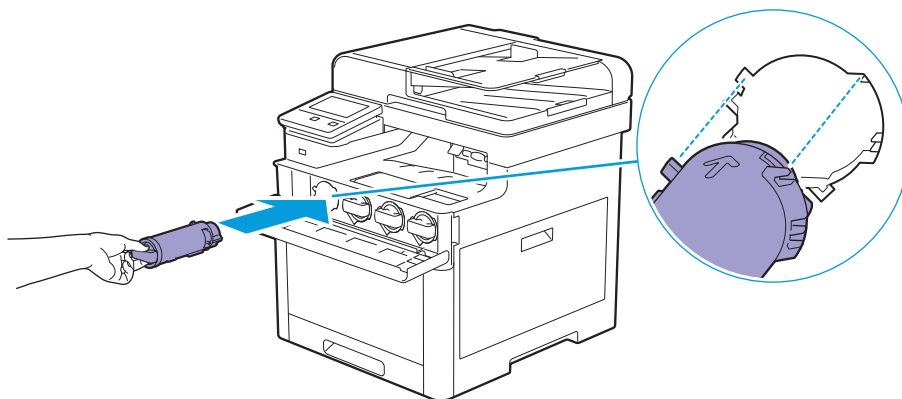
- ・ 使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

3. 取り出したトナーカートリッジと同じ色の、新しいトナーカートリッジを用意します。

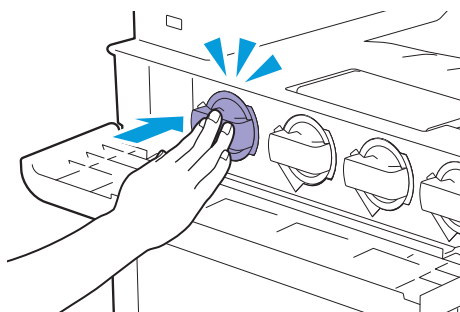
4. トナーが均等になるように、新しいトナーカートリッジを6回振ります。



5. トナーカートリッジを、カートリッジスロットの溝に合わせて差し込みます。



6. カチッと音がするまで押し込みます。



7. フロントカバーを閉じます。

11.1.2 ドラムカートリッジを交換する

注記

- ・ドラムカートリッジは強い光にさらさないでください。印字品質が低下するおそれがあります。新しいドラムカートリッジは、開封して3分以内に装着し、右サイドカバーを閉じてください。

概要

ドラムカートリッジの交換時期になると、次のようなメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。

メッセージは、ブラックドラムカートリッジの場合を例にしています。

メッセージ	残り印字可能ページ数 ^{*1}	本機の状態および処置
「ブラックドラムカートリッジの予備を用意」	約 10,000 ページ	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを用意してください。
「ブラックドラムカートリッジ交換」	-	ドラムカートリッジの交換時期になりました。本機が停止します。新しいドラムカートリッジに交換してください。

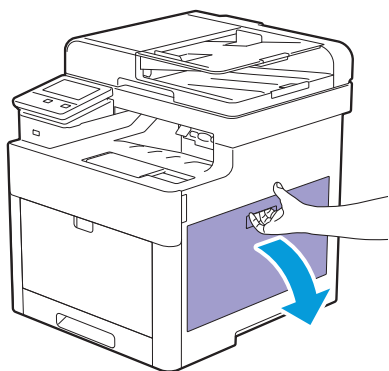
^{*1} 印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

補足

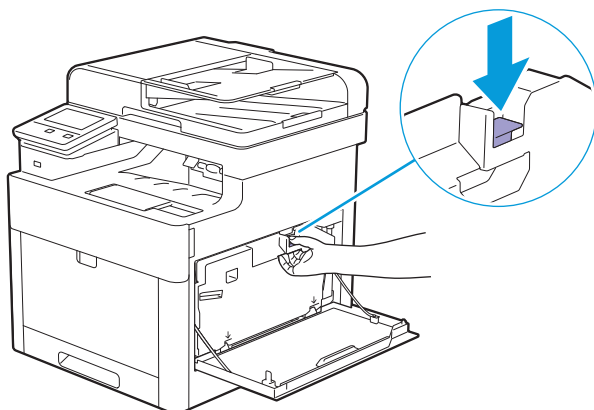
- ・事前に [ドラムカートリッジ寿命時の動作] を [継続する] に設定しておくことで、ドラムカートリッジの交換時期になっても本機を停止させずに操作を続けることができます。ただし、印字品質の保証外となるため、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。設定については、「[ドラムカートリッジ寿命時の動作] (P.92)」を参照してください。

ドラムカートリッジを交換する

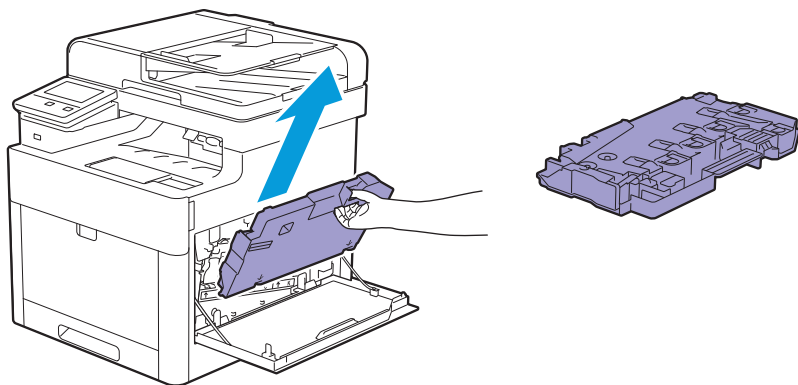
1. 右サイドカバーを開きます。



2. レバーを押し下げ、トナー回収ボトルのロックを外します。

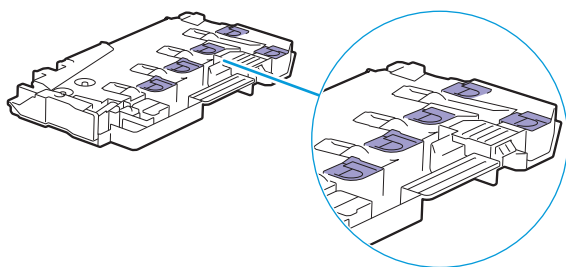


3. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。

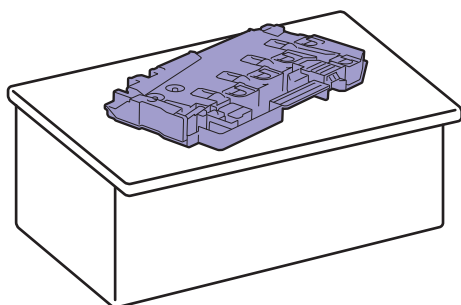


！ 注記

- ・ トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
- ・ トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。

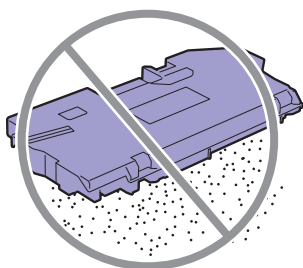


4. 取り出したトナー回収ボトルを、本機に接していた面を上に向けて、平らな場所に置きます。

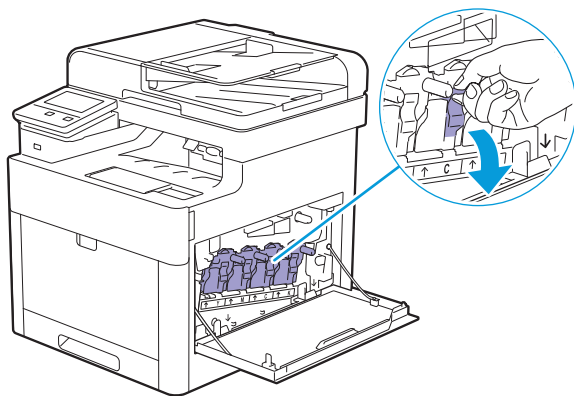


！ 注記

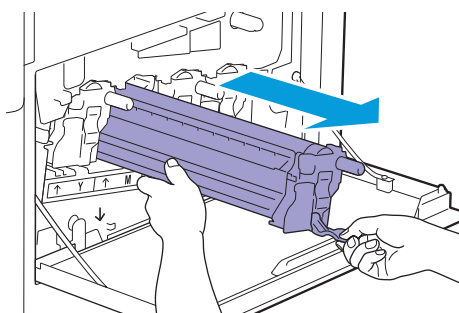
- ・ 本機に接していた面を下に向けて置かないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。



5. 交換するドラムカートリッジのレバーを押し下げます。

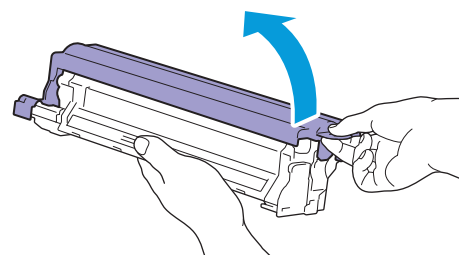


6. レバーを引っ張ってドラムカートリッジを途中まで引き出し、もう一方の手で下から支えながら完全に引き出します。

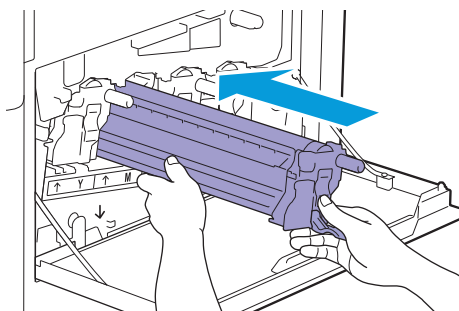


7. 交換する色の新しいドラムカートリッジを開封します。

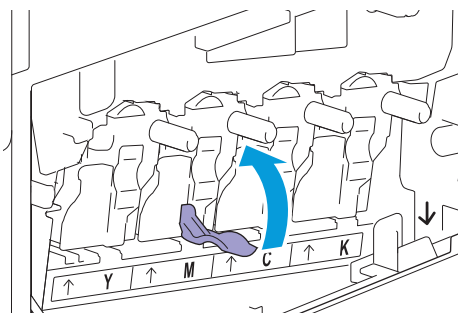
8. ドラムカートリッジからオレンジ色の保護カバーを取り外します。



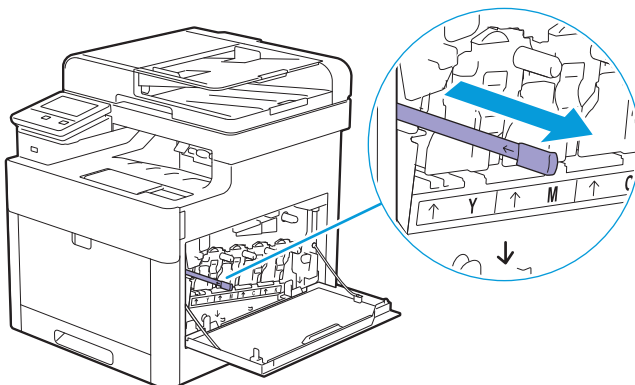
9. ドラムカートリッジをカートリッジスロットにセットし、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



10. ドラムカートリッジのレバーを引き上げます。



11. 本機内部から清掃棒を取り出します。

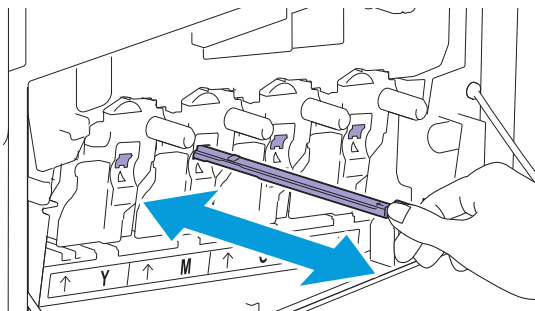


12. ドラムカートリッジの穴に、清掃棒を止まるまで差し込んでから、引き抜きます。

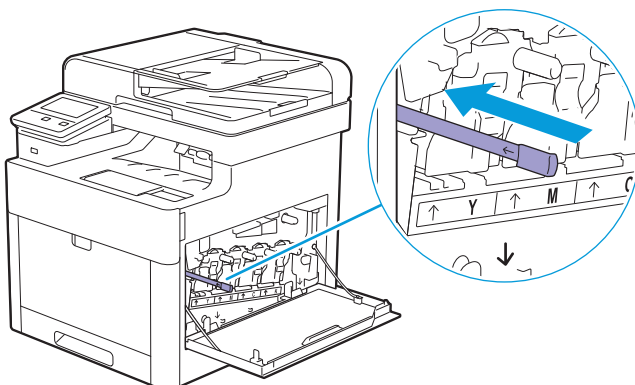


補足

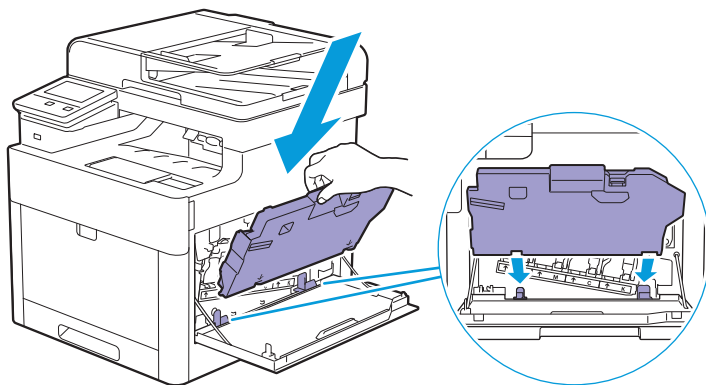
- ・パッドの付いた面を上にして、清掃棒を差し込んでください。
- ・清掃棒を何度も出し入れする必要はありません。



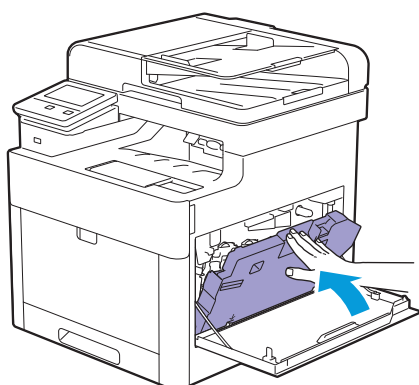
13. 清掃棒を所定の位置に戻します。



- 14.** トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。



- 15.** トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



- 16.** 右サイドカバーを閉じます。

11.1.3 トナー回収ボトルを交換する

概要

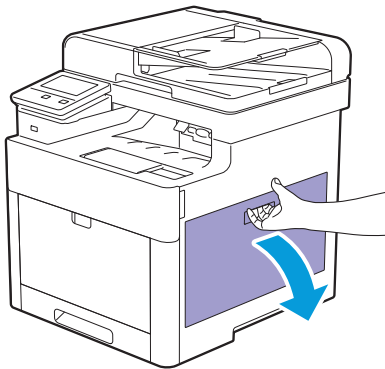
トナー回収ボトルの交換時期になると、次のようなメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。

メッセージ	残り印字可能ページ数 ^{*1}	本機の状態および処置
「トナー回収ボトルを準備してください。」	約 3,000 ページ	トナー回収ボトルの交換時期が近づいています。新しいトナー回収ボトルを用意してください。
「トナー回収ボトル交換」	-	トナー回収ボトルの交換時期になりました。新しいトナー回収ボトルに交換してください。

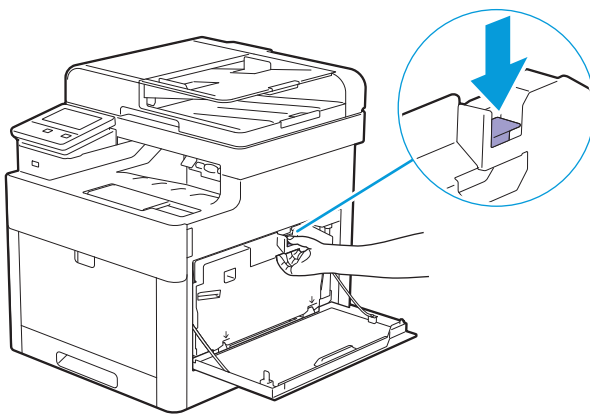
^{*1} 印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

トナー回収ボトルを交換する

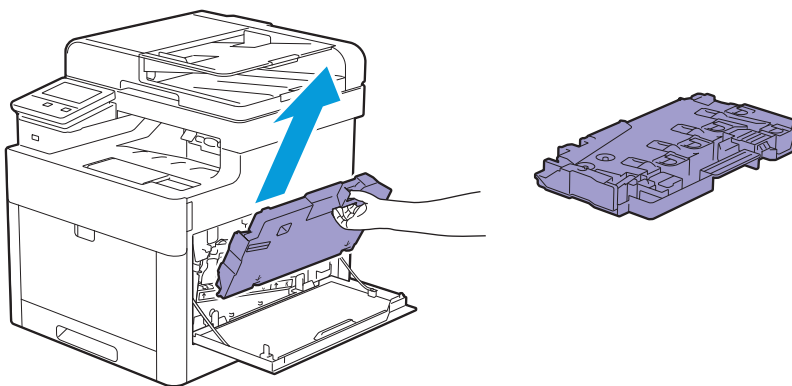
1. 右サイドカバーを開きます。



2. レバーを押し下げ、トナー回収ボトルのロックを外します。

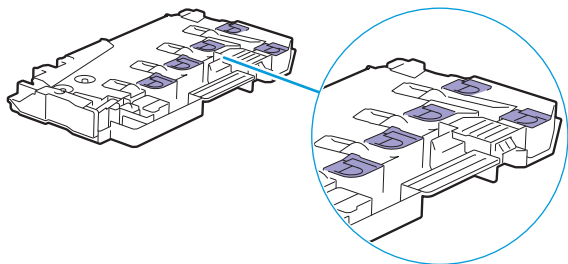


3. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。

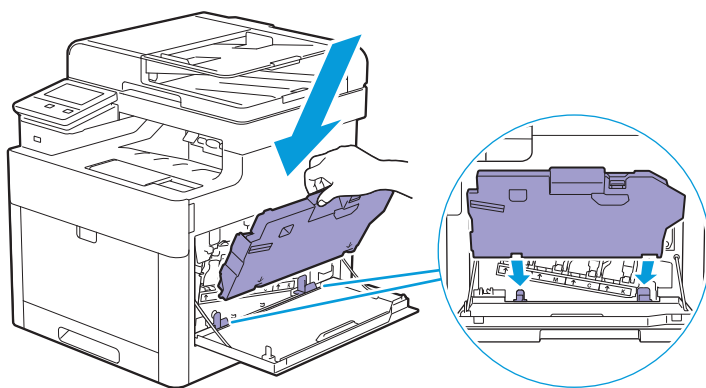


！ 注記

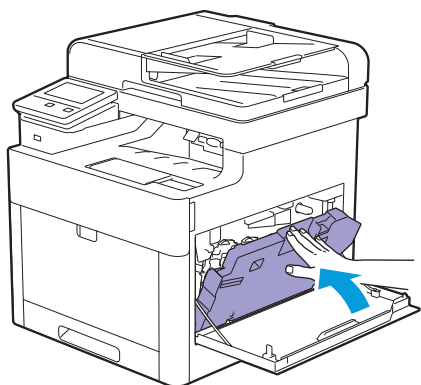
- ・ トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
- ・ トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。



4. 新しいトナー回収ボトルに付属しているビニール袋に、使い終わったトナー回収ボトルを入れます。
5. 新しいトナー回収ボトルを箱から取り出します。
6. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。



7. トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



8. 右サイドカバーを閉じます。

11.2 清掃する

11.2.1 本体外部を清掃する

注記

- ・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。

注記

- ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

- ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

11.2.2 タッチパネルディスプレイを清掃する

1. 中性洗剤またはアルコールを染み込ませた柔らかい布で、液晶部だけを軽く拭きます。

注記

- ・中性洗剤または、アルコールを布に染み込ませる量は、液垂れしない程度にしてください。染み込ませる量が多すぎた場合は軽く絞ってから拭いてください。
- ・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- ・パネル部分を強い力で拭くと損傷のおそれがあります。軽く拭いてください。

11.2.3 本体内部を清掃する

カラートナー濃度（CTD）センサーの清掃

補足

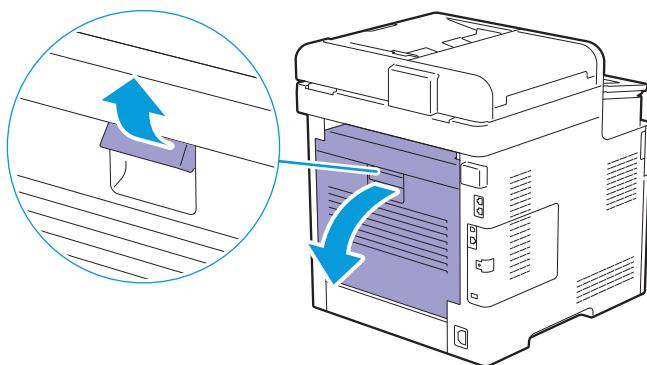
- ・タッチパネルディスプレイにカラートナー濃度（CTD）センサーのアラートが表示されたとき以外は、カラートナー濃度（CTD）センサーを清掃しないでください。

1. 本機の電源を切ります。

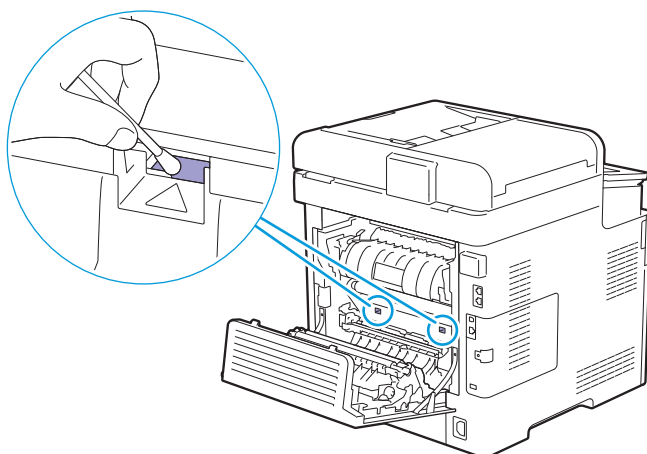
参照

- ・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。

2. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



3. カラートナー濃度（CTD）センサーを、乾いた清潔な綿棒で拭きます。

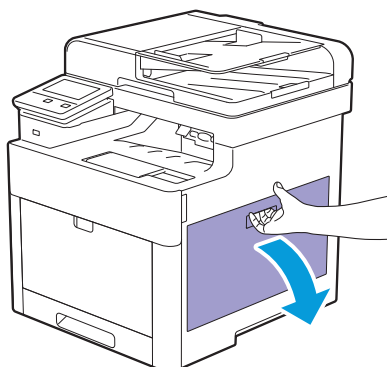


4. 背面カバーを閉じます。

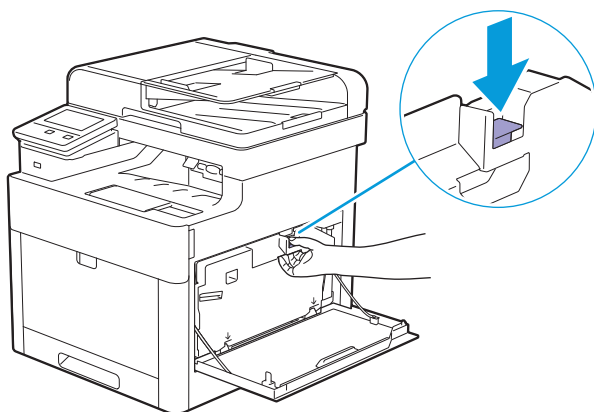
LEDプリントヘッドの清掃

本機の内部が汚れていると、印字品質が低下します。ドラムカートリッジを交換した場合は、清掃棒を使用して、定期的に本機の内部を清掃します。

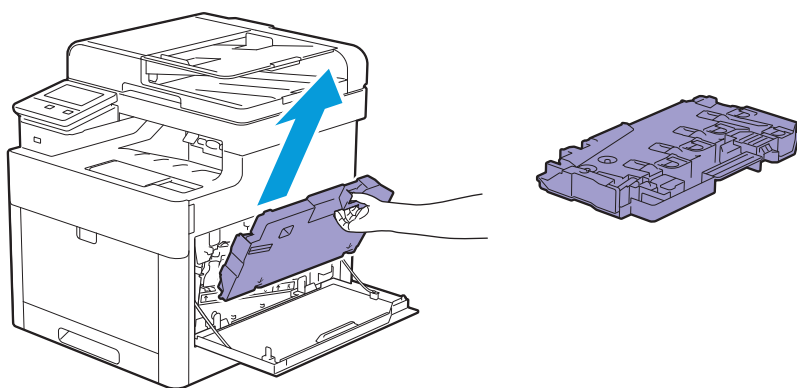
1. 右サイドカバーを開きます。



2. レバーを押し下げ、トナー回収ボトルのロックを外します。

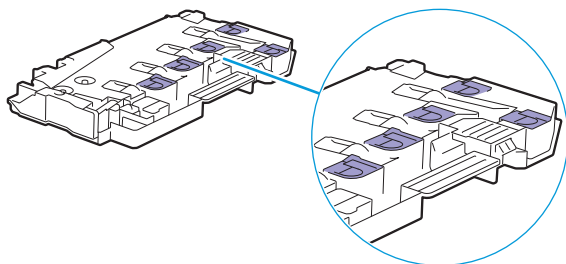


3. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。

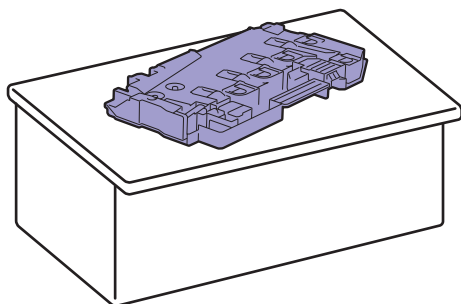


！ 注記

- ・ トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
- ・ トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。

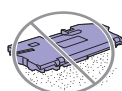


4. 取り出したトナー回収ボトルを、本機に接していた面を上に向けて、平らな場所に置きます。

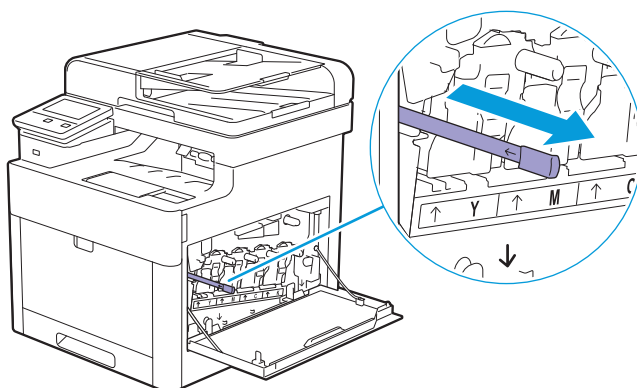


! 注記

- ・ 本機に接していた面を下に向けて置かないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。



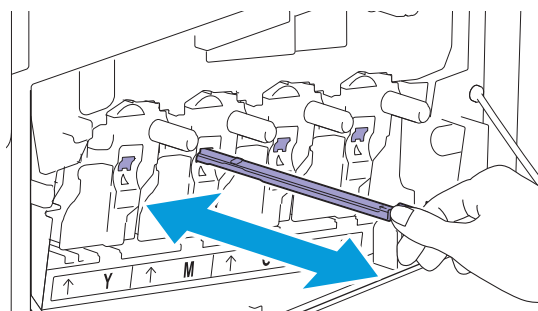
5. 本機内部から清掃棒を取り出します。



6. ドラムカートリッジの穴のいずれかに、清掃棒を止まるまで差し込んでから、引き抜きます。

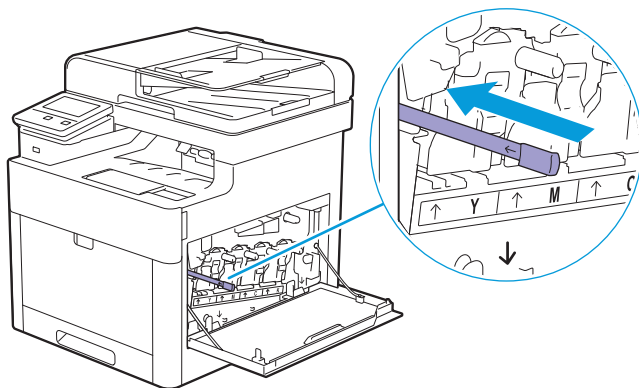
💡 補足

- ・ パッドの付いた面を上にして、清掃棒を差し込んでください。
- ・ 清掃棒を何度も出し入れする必要はありません。

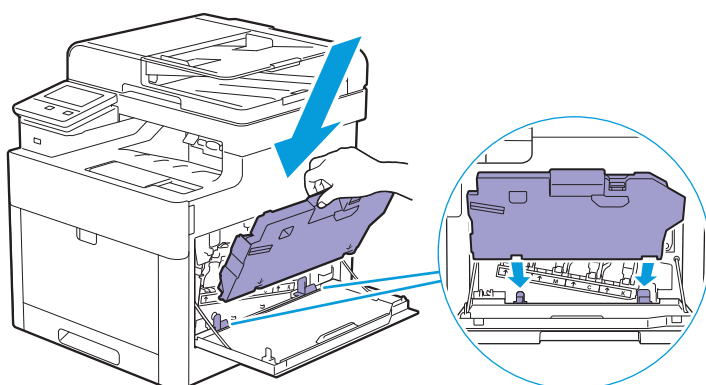


7. 残りの3つの穴に対しても、手順6を繰り返します。

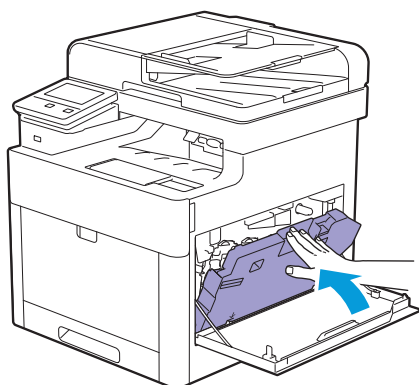
8. 清掃棒を所定の位置に戻します。



9. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。



10. トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



11. 右サイドカバーを閉じます。

用紙送りローラーの清掃

用紙送りが正しくないと、紙詰まりが起こります。トラブルを防ぐため、手差しトレイ、トレイ1、トレイモジュール（トレイ2）（オプション）の用紙送りローラーを、定期的に清掃します。

●手差しトレイの用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。



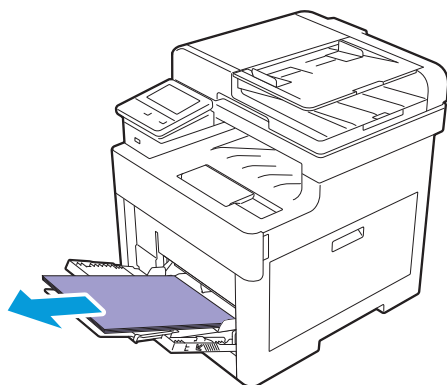
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。

2. 手差しトレイを開きます。

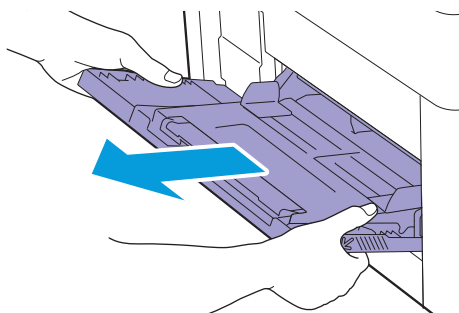


補足

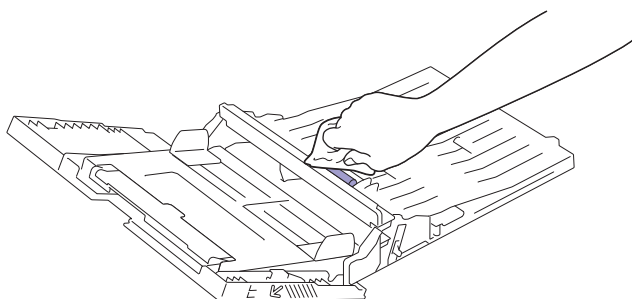
- ・用紙がセットされている場合は、用紙を取り除きます。



3. 手差しトレイの両側を持ち、引き出します。



4. 用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。

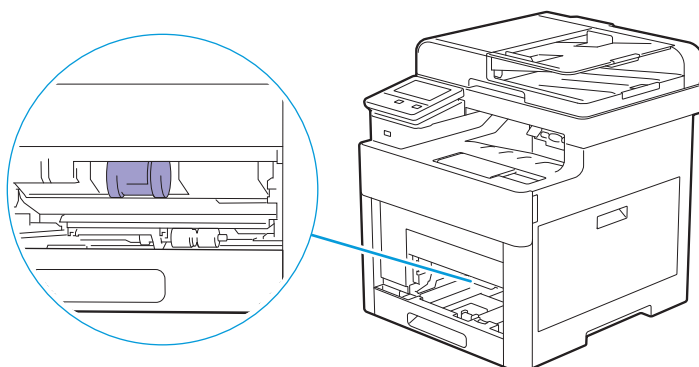


5. 本機内部の用紙送りローラーを水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。

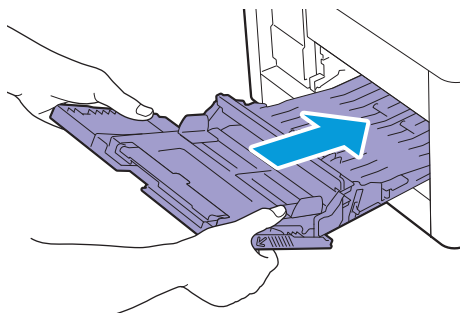


注記

- ・用紙送りローラーを無理に回転させないでください。本機が損傷するおそれがあります。



6. 手差しトレイを本機に差し込みます。



●トレイ1の用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。



参照

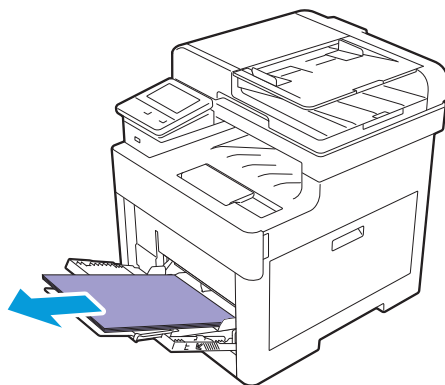
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。

2. 手差しトレイを開きます。

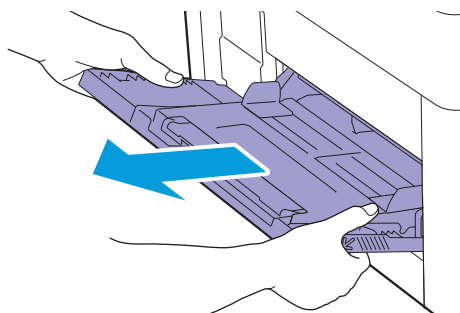


補足

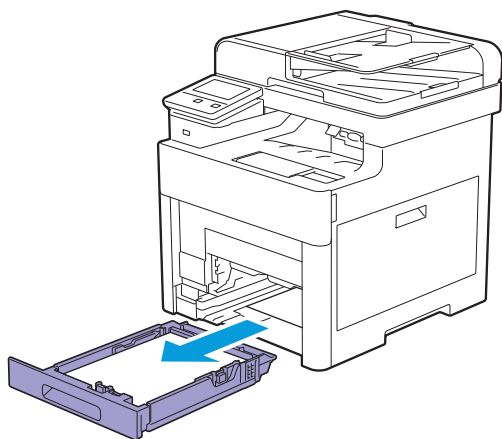
・用紙がセットされている場合は、用紙を取り除きます。



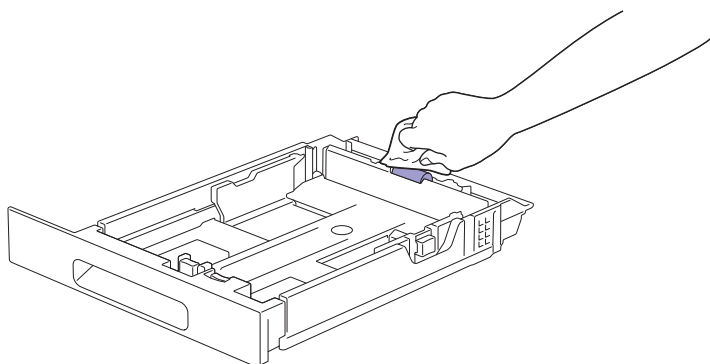
3. 手差しトレイの両側を持ち、引き出します。



4. 本機からトレイ1を引き出します。



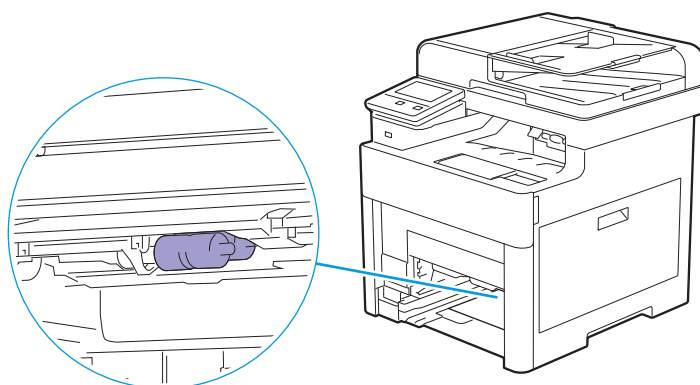
5. 用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。



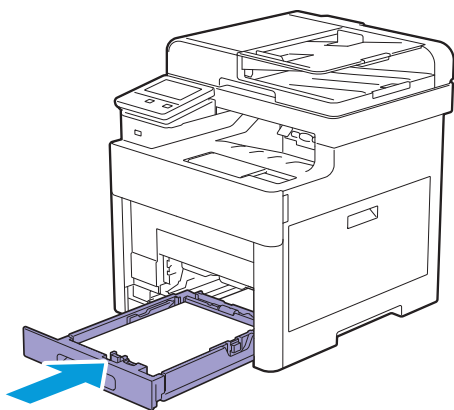
6. 本機内部の用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。

！ 注記

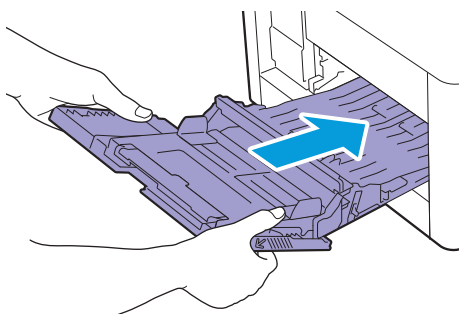
- ・ 本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- ・ 本機内部のほかの部品に触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。



7. トレイ1を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



8. 手差しトレイを本機に差し込みます。



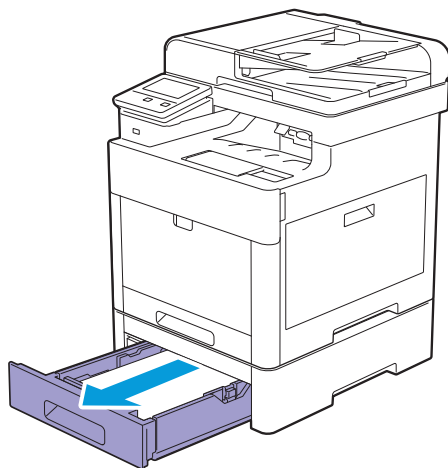
●トレイモジュール（トレイ2）（オプション）の用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。

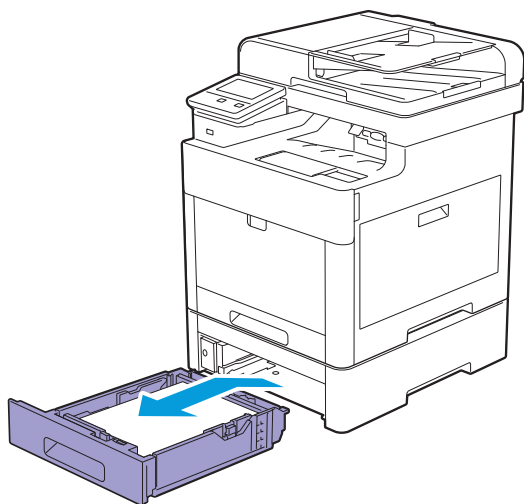


・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。

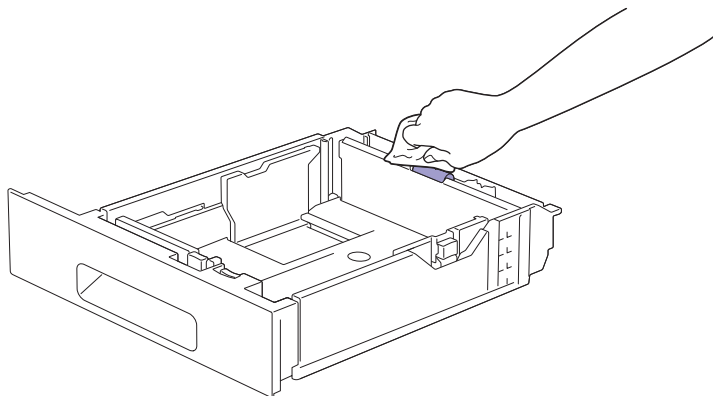
2. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のトレイを、途中まで引き出します。



3. トレイを両手で支え、トレイ先端を少し上げて完全に引き出します。



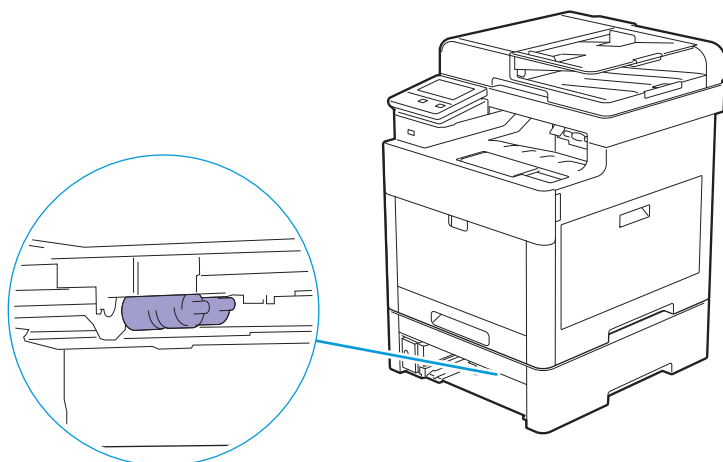
4. 用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。



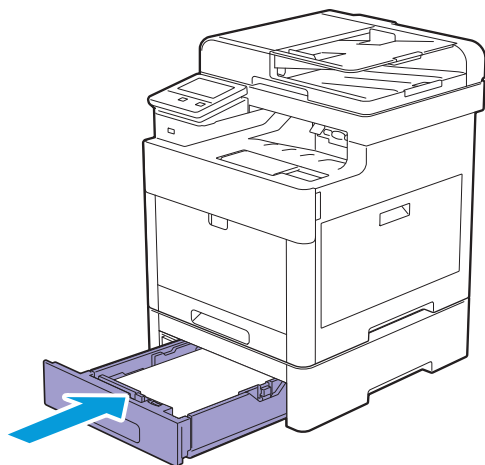
5. 本機内部の用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。

！ 注記

- ・ 本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- ・ 本機内部のほかの部品に触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。



6. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



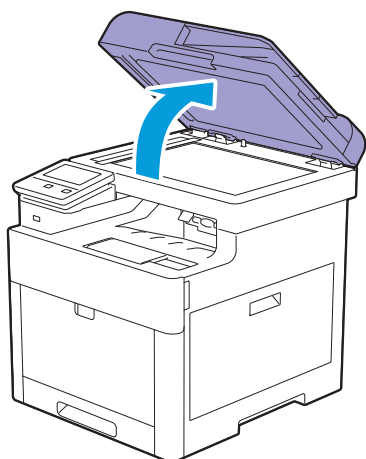
11.2.4 原稿ガラス、原稿読み取りガラス、原稿読み取りガラスカバー、原稿ガラスカバーを清掃する



補足

・定期的に清掃することをおすすめします。

1. 原稿カバーを開きます。

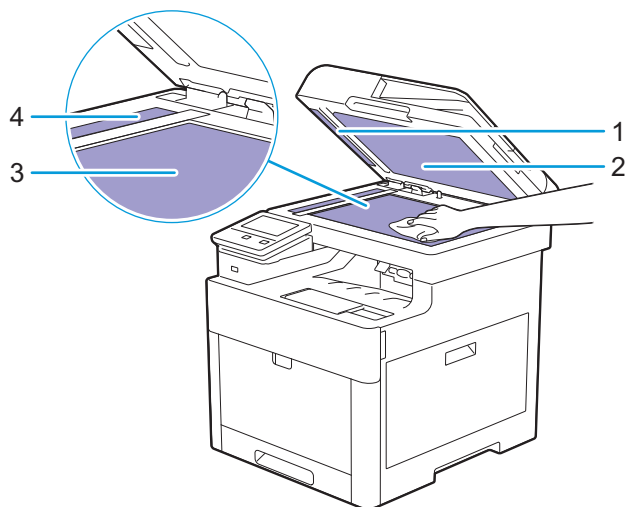


- 2. 原稿ガラス、原稿読み取りガラス、原稿読み取りガラスカバー、および原稿ガラスカバーの表面を水で湿らせた柔らかい布で拭きます。乾いた布またはペーパータオルで、完全に乾くまで水分を拭き取ります。**



補足

- ・ 原稿読み取りガラスカバーを傷つけないように注意してください。



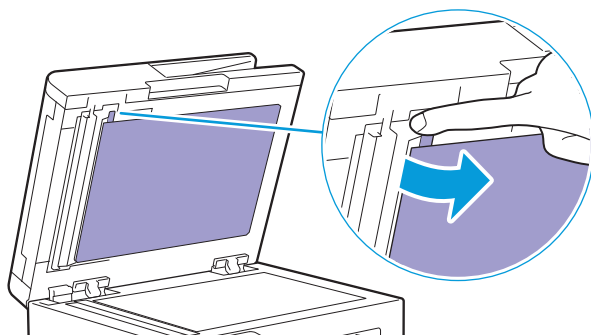
1 原稿読み取りガラスカバー

2 原稿ガラスカバー

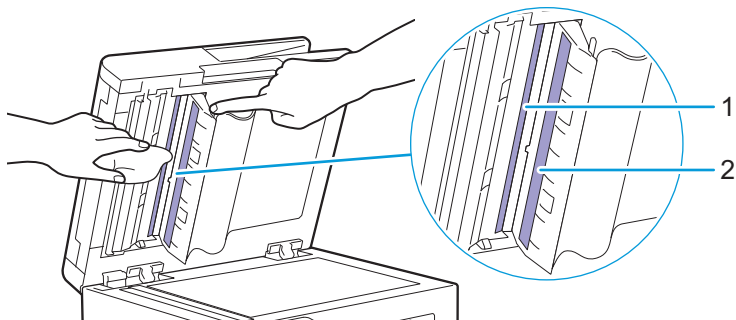
3 原稿ガラス

4 原稿読み取りガラス

- 3. つまみを引っ張り、シュートカバーを開きます。**



4. 両面センサーガラスと原稿読み取りガラスカバーの表面を水で湿らせた柔らかい布で拭きます。乾いた布またはペーパータオルで、完全に乾くまで水分を拭き取ります。



1 両面センサーガラス

2 原稿読み取りガラスカバー

5. シュートカバーを閉じます。

6. 原稿カバーを閉じます。

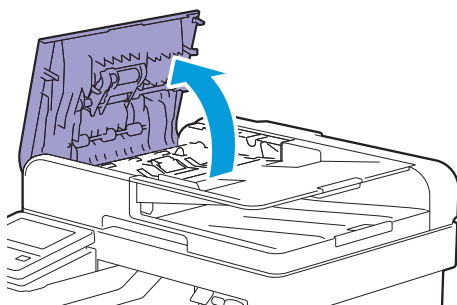
11.2.5 自動原稿送り装置のローラー部を清掃する



補足

・ 原稿送りローラーを定期的に清掃することをおすすめします。

1. 上カバーを開きます。

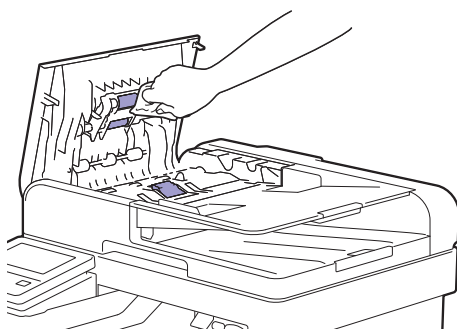


2. 原稿送りローラーを、乾いた柔らかい布またはペーパータオルで拭きます。



補足

・ 原稿送りローラーがインクで汚れると、自動原稿送り装置を通過した原稿が汚れてしまうことがあります。柔らかい布またはペーパータオルを中性洗剤または水で軽く湿らせ、汚れを拭き取ってください。



11.3 出力したページ数を確認する

出力したページ数の合計は、メーター別またはユーザー別に確認できます。片面出力は1ページとして、両面出力は2ページとしてカウントします。



補足

- ・ CentreWare Internet Services を使っても、出力ページ数を確認できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

11.3.1 メーター別に確認する

メーターは、カラーモードによって3つに分かれています。

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [メーター] をタップします。



参照

- ・ 各メーターについては、「[メーター] (P.69)」を参照してください。

11.3.2 ユーザー別に確認する

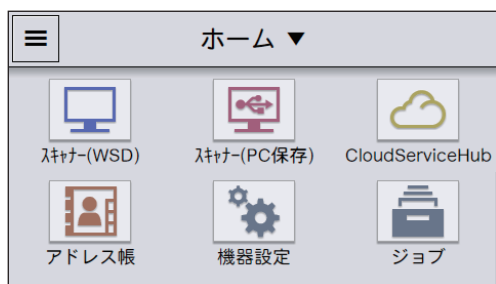
レポートを出力して確認します。



補足

- ・ [プリント集計管理] が無効のとき、用紙サイズ別に出力ページ数を確認できます。
- ・ [プリント集計管理] が有効のとき、アカウント情報を持たないジョブのプリントは [未認証ユーザー] としてレポートに記載されます。

1. 𠂇 〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [レポート/リスト] > [集計管理レポート] をタップします。

12 困ったときには

12.1	紙詰まりに対処する	219
12.2	トラブルを解決する	229
12.3	エラーコードが表示されたら	254
12.4	修理に出す前に	260

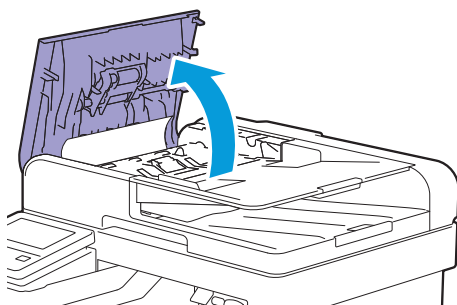
12.1 紙詰まりに対処する

12.1.1 原稿が詰まった場合

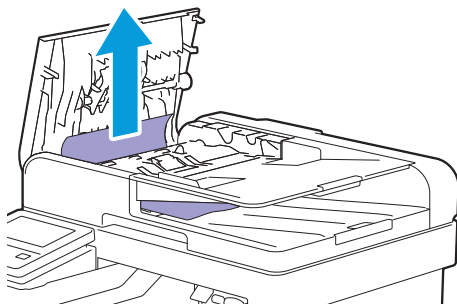
自動原稿送り装置の紙詰まりを取り除く

●原稿給紙エリアと原稿排出エリアの場合

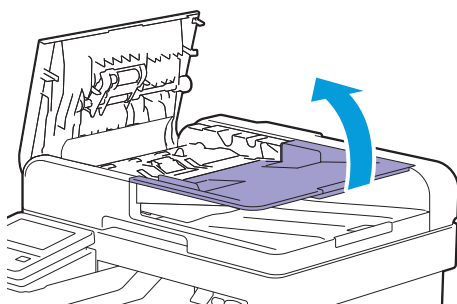
1. 自動原稿送り装置に残った原稿を取り除きます。
2. 上カバーを開きます。



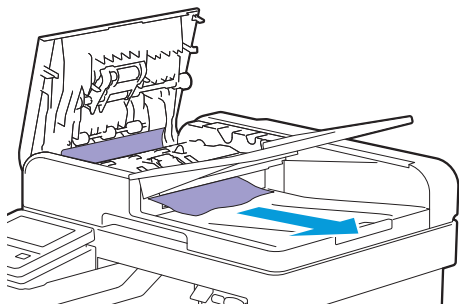
3. 詰まった原稿をゆっくりと引っ張って取り除きます。



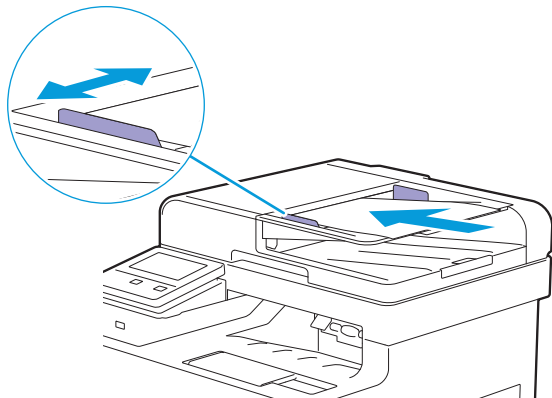
4. 原稿送りトレイを持ち上げます。



5. 原稿受けから、詰まった原稿を取り除きます。



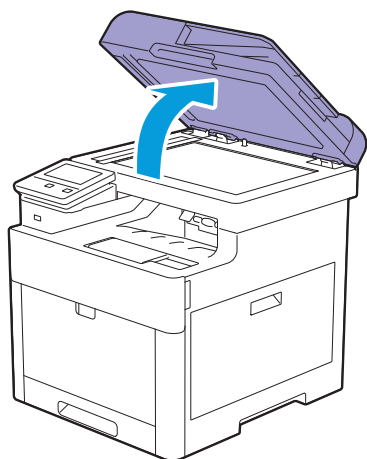
6. 上カバーを閉じ、原稿ガイドの位置を調整して原稿を戻します。



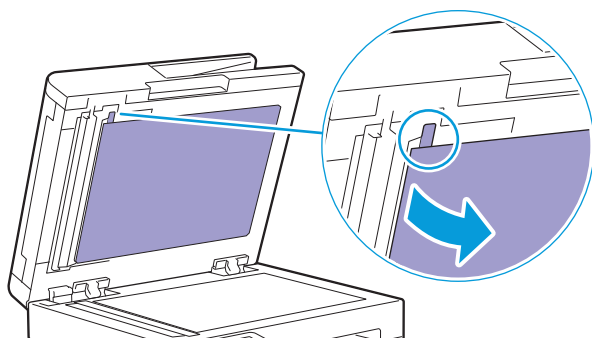
●シュートカバーの内側の場合

原稿受けに詰まった原稿を取り除けない、または詰まった原稿が見つからない場合は、シュートカバーを開きます。

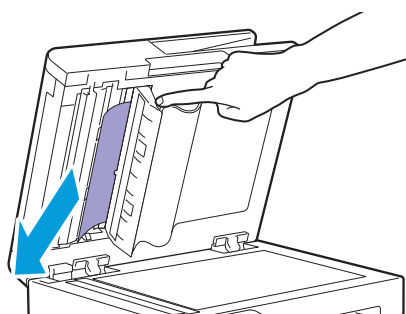
1. 原稿カバーを開きます。



2. つまみを引っ張り、シュートカバーを開きます。

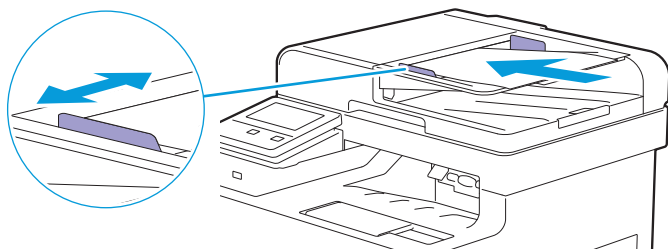


3. シュートカバーの内側から、原稿をゆっくりと引っ張って取り除きます。



4. シュートカバーを閉じます。

5. 原稿カバーを閉じ、原稿ガイドの位置を調整して原稿を戻します。



12.1.2 用紙が詰まった場合

手差しトレイとトレイ1の紙詰まりを取り除く



補足

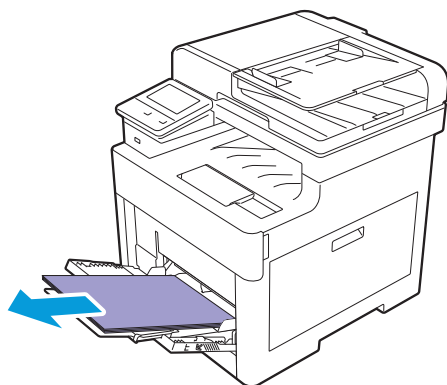
・ 操作パネルに表示されたエラーを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除く必要があります。

1. 手差しトレイを開きます。

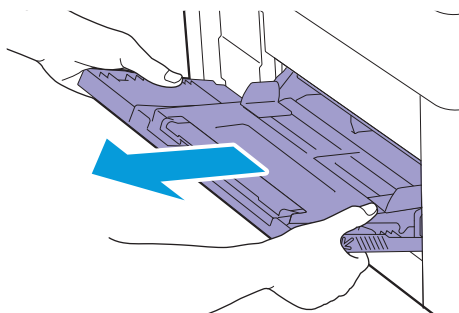


補足

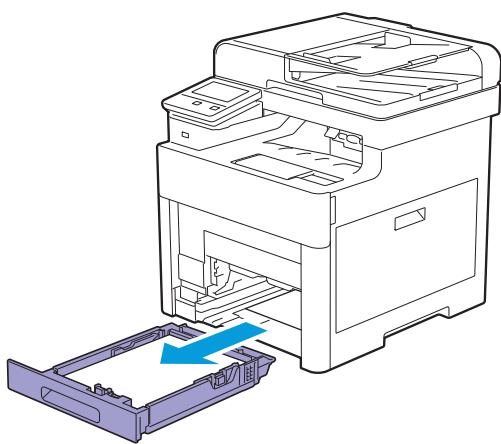
・手差しトレイが開いている場合は、手差しトレイに残った用紙を取り除きます。



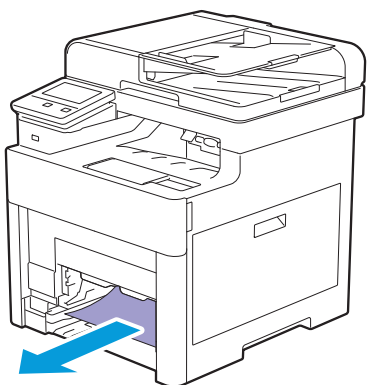
2. 手差しトレイの両側を持ち、引き出します。



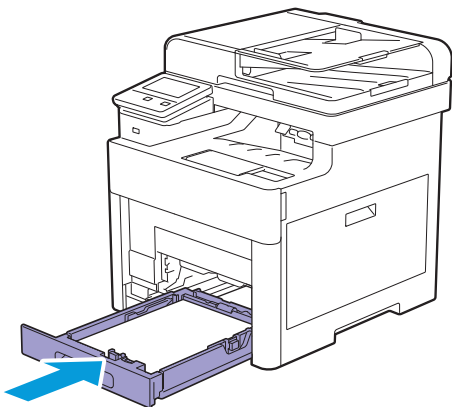
3. 本機からトレイ1を引き出します。



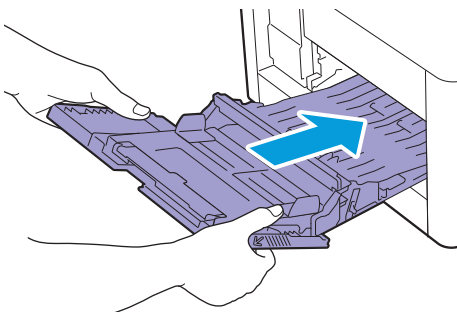
4. 詰まった用紙を取り除きます。



5. トレイ1を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



6. 手差しトレイを本機に差し込みます。



背面カバー内部の紙詰まりを取り除く

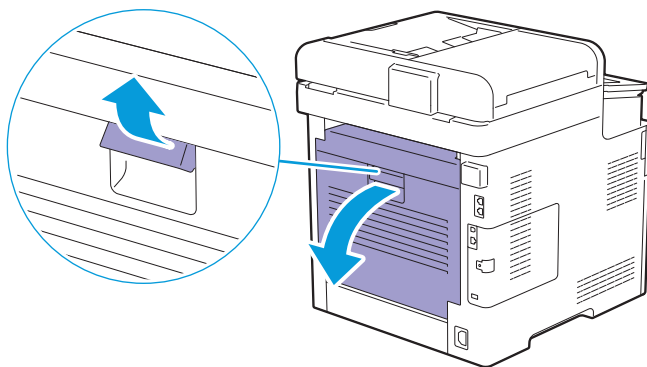


補足

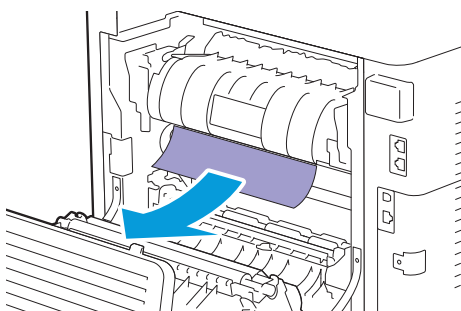
- ・ 操作パネルに表示されたエラーを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除く必要があります。

● 定着ユニットの場合

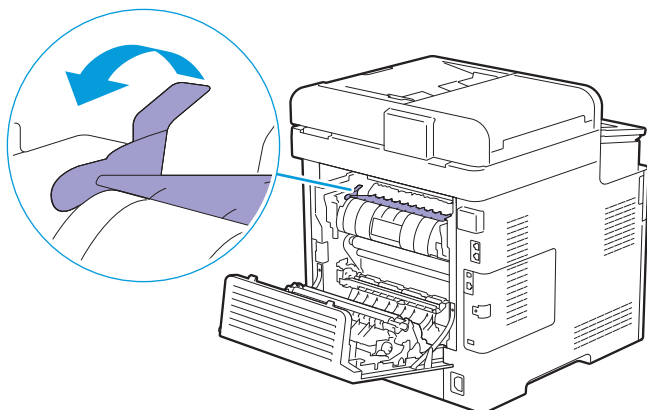
1. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



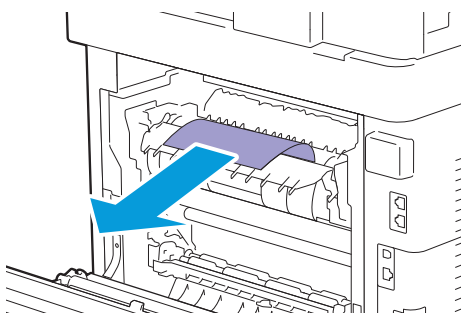
2. 定着ユニットの下から詰まった用紙を取り除きます。



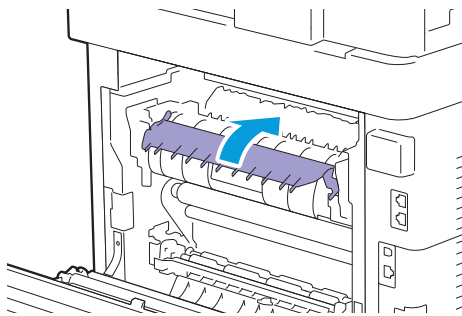
3. 定着ユニットの上のつまみを引っ張って開きます。



4. 詰まった用紙を取り除きます。



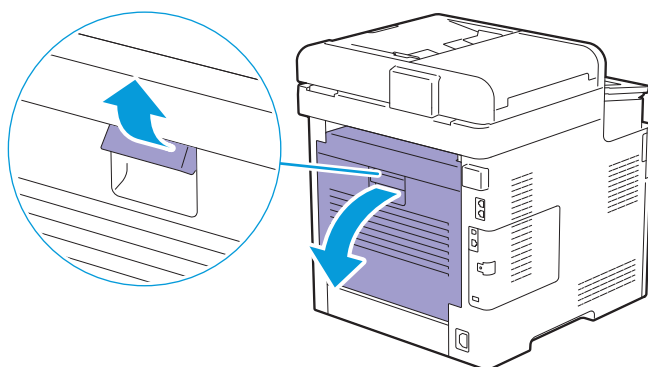
5. つまみを元の位置に戻して閉じます。



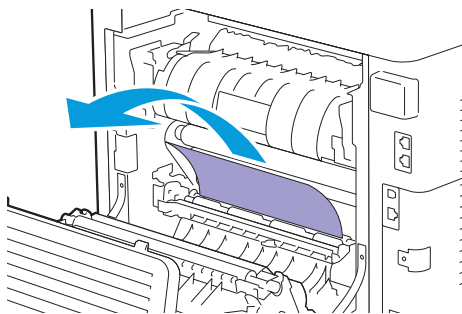
6. 背面カバーを閉じます。

● **ローラーの間の場合**

1. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



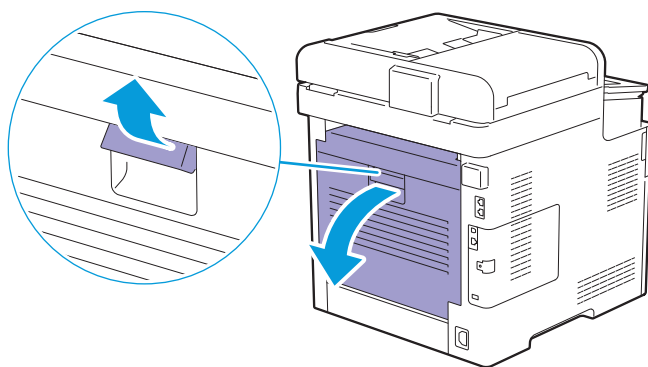
2. 詰まった用紙を取り除きます。



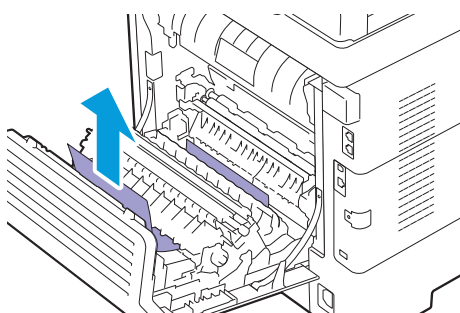
3. 背面カバーを閉じます。

●両面プリントユニットの場合

1. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



2. 詰まった用紙を取り除きます。

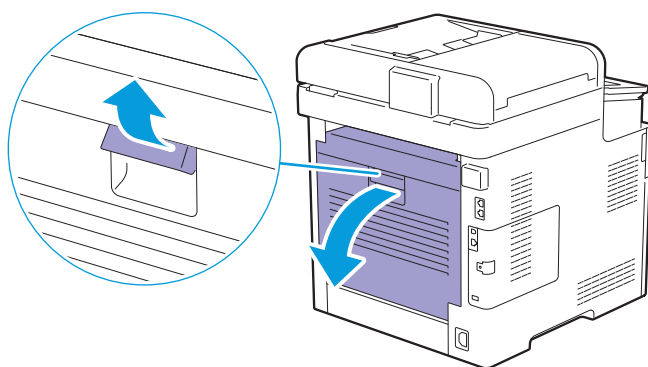


3. 背面カバーを閉じます。

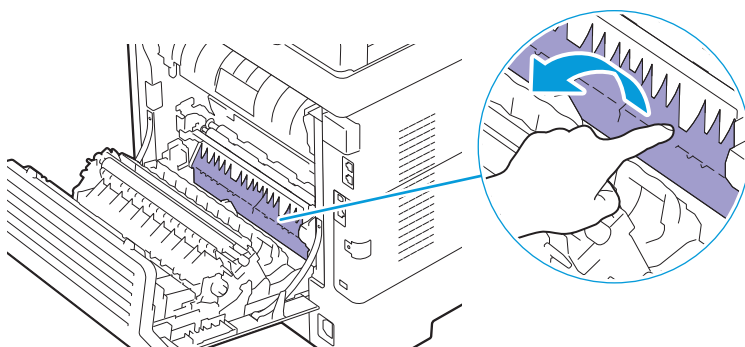
●背面シュートの場合

背面カバー内部の紙詰まりを知らせるエラーコードが表示されても、詰まった用紙が見つからない場合は、背面シュートの内側を確認します。

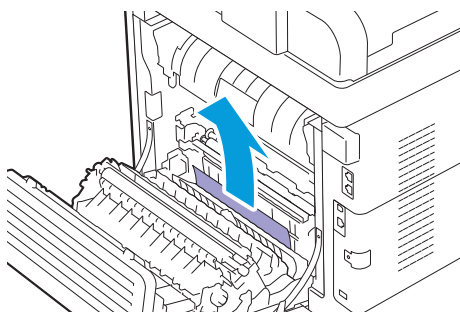
1. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



2. 背面シュートを開きます。



3. 詰まった用紙を取り除きます。



4. 背面カバーを閉じます。

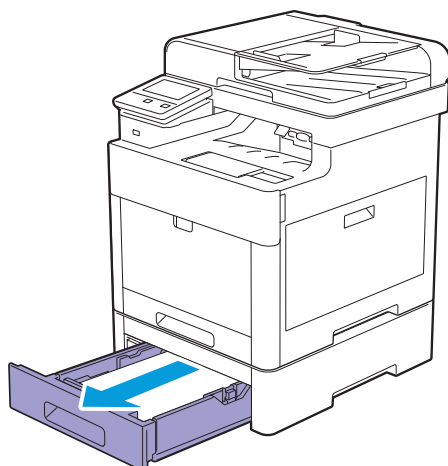
トレイモジュール (トレイ2) (オプション) の紙詰まりを取り除く



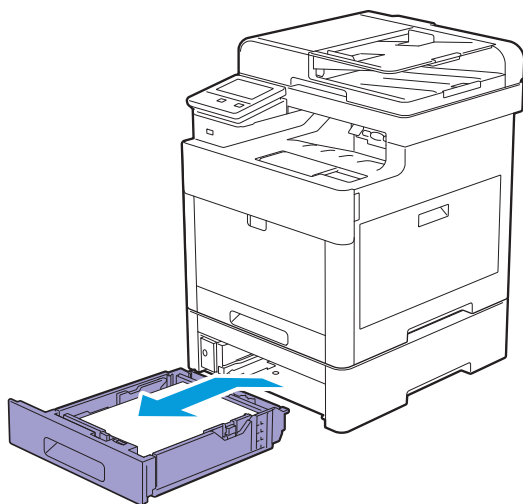
補足

・ 操作パネルに表示されたエラーを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除く必要があります。

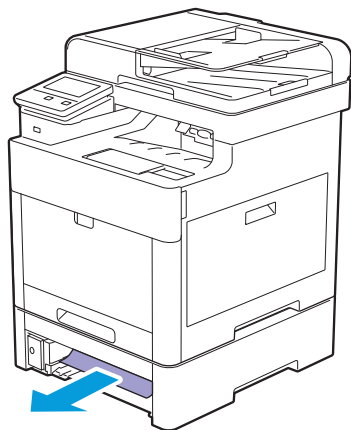
1. トレイモジュール (トレイ2) (オプション) のトレイを、途中まで引き出します。



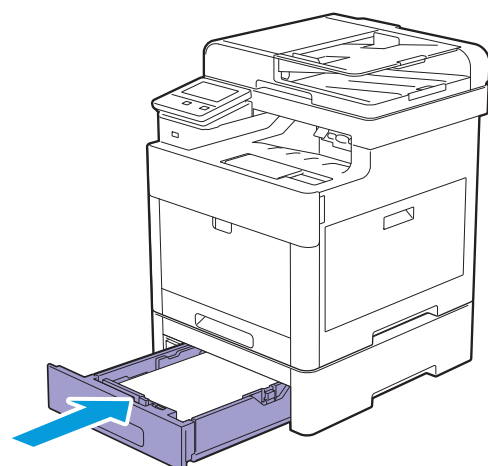
2. トレイを両手で支え、トレイ先端を少し上げて完全に引き出します。



3. 詰まった用紙を取り除きます。



4. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



12.2 トラブルを解決する

本機に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。

12.2.1 メニュー設定のトラブル

症状	処置
操作パネルから変更した設定が反映されない。	ソフトウェア、プリンタードライバー、プリンターユーティリティで設定します。操作パネルでの設定より優先されます。

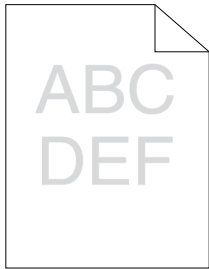
12.2.2 プリントのトラブル

症状	処置
プリントできない、または文字化けしている。	本機に用紙がセットされていることを確認します。
	正しいプリンタードライバーが使用されていることを確認します。
	正しいUSB ケーブルまたはLANケーブルが本機にしっかりと接続されていることを確認します。
	正しい用紙サイズが設定されていることを確認します。
	プリントスプーラーを使用している場合は、スプーラーが停止していないかを確認します。
用紙送りが失敗する、または用紙が重なって給紙される。	使用している用紙が本機の仕様に合っていることを確認します。
	 参照 ・詳しくは、「用紙について (P.95)」を参照してください。
	異なる種類の用紙が混入していないことを確認します。
	異なるサイズ of 用紙が混入していないことを確認します。
	用紙が反っていない（カールしていない）ことを確認します。
	用紙をセットする前に、用紙束の一番上と一番下の反った（カールした）紙を取り除きます。
	セットする前に、用紙をよくさばいてから用紙の四辺を整えます。
	用紙を裏返してプリントします。
	用紙が正しくセットされていることを確認します。
	 参照 ・詳しくは、「用紙をセットする (P.99)」を参照してください。
	用紙がトレイの用紙上限線を超えてセットされていないことを確認します。
	用紙をセットする際、手差しトレイに無理に押し込まないようにします。斜めになったり、曲がったりする可能性があります。
	用紙ガイドを正しくセットします。
	トレイ1、トレイモジュール（トレイ2）（オプション）、または手差しトレイがきちんと装着されていることを確認します。

症状	処置
	封筒をトレイ1から手差しトレイに変更してセットします。  参照 詳しくは、「封筒をセットする (P.106)」を参照してください。
	用紙種類に「厚紙2」を選んだ場合に用紙送りが失敗するときは、用紙種類を「厚紙(特殊)」に変更します。  参照 詳しくは、「手差しトレイに用紙をセットする (P.102)」を参照してください。
	トレイ1、トレイモジュール (トレイ2) (オプション)、または手差しトレイの用紙送りローラーを、柔らかい布で拭きます。  参照 詳しくは、「用紙送りローラーの清掃 (P.208)」を参照してください。
プリント後、封筒が折れている。	封筒が正しくセットされていることを確認します。  参照 詳しくは、「封筒をセットする (P.106)」を参照してください。
予期しない場所で改ページしている。	自動排出時間の設定を変更します。  参照 詳しくは、「[自動排出時間設定] (P.90)」を参照してください。
MultiWriter 共通ドライバーから蓄積プリントジョブを送信した場合に、本機側でジョブが中止される。	MultiWriter 共通ドライバーで設定したユーザー ID が8文字を超えている場合は、8文字以下に変更します。

12.2.3 画質のトラブル

プリントがうすい



症状	処置
プリントがうすい。	- 各トナーカートリッジのトナー残量を確認し、必要に応じて交換します。  参照 - トナー残量については、「[消耗品] (P.69)」を参照してください。  補足 - トナー残量は、CentreWare Internet ServicesまたはPrint & Scan Hubからも確認できます。CentreWare Internet Servicesについては、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。Print & Scan Hubについては、「Print & Scan Hub (Windows®) (P.166)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 - 弊社製以外のトナーカートリッジを使用している場合は、[カスタムトナーモード] を [有効] にします。  参照 - 詳しくは、「[カスタムトナーモード] (P.86)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 - プリンタードライバーのトナー節約モードを無効にします。  参照 - トナー節約モードについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。 - 用紙種類が正しく設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順5に進みます。 - 正しい用紙が使用されていることを確認します。  参照 - 詳しくは、「用紙について (P.95)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順6に進みます。 [現像機/転写ユニットクリーニング] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 - 詳しくは、「[現像機/転写ユニットクリーニング] (P.85)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順7に進みます。

症状	処置
	7 [トナーリフレッシュ] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 - 詳しくは、「[トナーリフレッシュ] (P.85)」を参照してください。  補足 - この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルの交換時期が早くなる場合があります。 トラブルが解決しない場合は、手順8に進みます。
	8 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

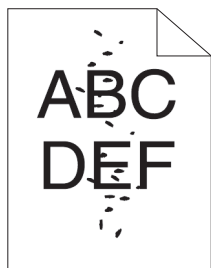
トナー汚れまたは印字はがれがある



症状	処置
トナー汚れまたは印字はがれがある。	1 用紙種類が正しく設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 正しい用紙が使用されていることを確認します。  参照 - 詳しくは、「用紙について (P.95)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 - 詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。 4 [現像機/転写ユニットクリーニング] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 - 詳しくは、「[現像機/転写ユニットクリーニング] (P.85)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順5に進みます。

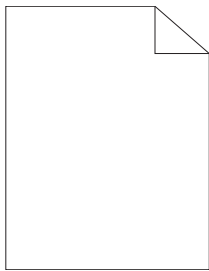
症状	処置
	5 [定着ユニット調整] を実行し、定着ユニットの温度を調整します。テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「[定着ユニット調整] (P.85)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

まばらな点／画像のぼやけがある

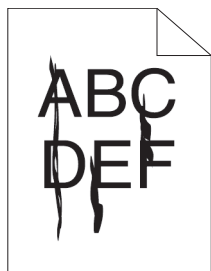


症状	処置
まばらな点やぼやけがある。	1 トナーカートリッジが正しく取り付けられているかを確認します。トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 ドラムカートリッジが正しく取り付けられているかを確認します。トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

何も印字されない



症状	処置
何も印字されない。	1 各トナーカートリッジのトナー残量を確認し、必要に応じて交換します。  参照 ・トナー残量については、「[消耗品] (P.69)」を参照してください。  補足 ・トナー残量は、CentreWare Internet ServicesまたはPrint & Scan Hubからも確認できます。CentreWare Internet Servicesについては、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。Print & Scan Hubについては、「Print & Scan Hub (Windows®) (P.166)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 弊社製以外のトナーカートリッジを使用している場合は、[カスタムトナーモード] を [有効] にします。  参照 ・詳しくは、「[カスタムトナーモード] (P.86)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 3 プリンタードライバーのトナー節約モードを無効にします。  参照 ・トナー節約モードについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。 4 用紙種類が正しく設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順5に進みます。 5 正しい用紙が使用されていることを確認します。  参照 ・詳しくは、「用紙について (P.95)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順6に進みます。 6 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。



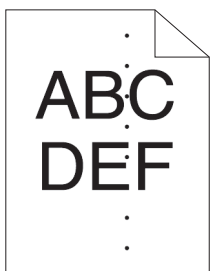
症状	処置
筋がでる。	1 各トナーカートリッジのトナー残量を確認し、必要に応じて交換します。  参照 ・トナー残量については、「[消耗品] (P.69)」を参照してください。  補足 ・トナー残量は、CentreWare Internet ServicesまたはPrint & Scan Hubからも確認できます。CentreWare Internet Servicesについては、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。Print & Scan Hubについては、「Print & Scan Hub (Windows®) (P.166)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 弊社製以外のトナーカートリッジを使用している場合は、[カスタムトナーモード] を [有効] にします。  参照 ・詳しくは、「[カスタムトナーモード] (P.86)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

一部または全部が黒く印字される



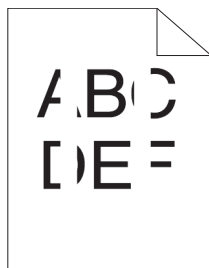
症状	処置
一部または全部が黒く印字される。	1 ドラムカートリッジが正しく取り付けられているかを確認します。トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 プリンタードライバーで、[カラーモード] を [カラー (自動判別)] に設定します。  参照 ・ カラーモードについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・ 詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

カラーの点が等間隔に印字される



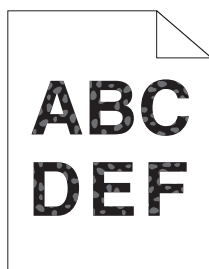
症状	処置
カラーの点が等間隔に印字される。	1 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・ 詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

たて方向に白抜けがある



症状	処置
たて方向に白抜けがある。	1 清掃棒を使ってプリンターの内部を清掃し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「LEDプリントヘッドの清掃 (P.205)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 ドラムカートリッジが正しく取り付けられているかを確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

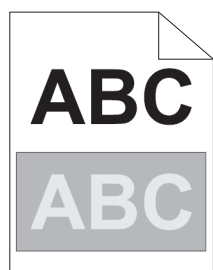
色がまだらになる

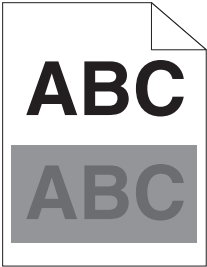
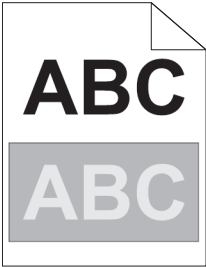


症状	処置
色がまだらになる。	1 正しい用紙が使用されていることを確認します。  参照 ・詳しくは、「用紙について (P.95)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。

症状	処置
	2 転写ロール（BTR）の転写電圧を上げます。  参照 詳しくは、「[2次転写電圧オフセット調整] (P.85)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

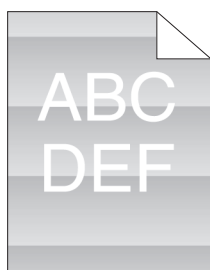
文字や画像の残像が写る



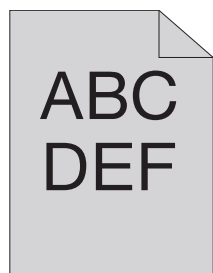
症状	処置
文字や画像の残像が写る。	1 残像の種類を特定します。 濃い残像が写る場合  薄い残像が写る場合  濃い残像が写る場合は、手順2aに進みます。 薄い残像が写る場合は、手順2bに進みます。 残像の種類が特定できない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。 2a 転写電圧を調整します。 a  〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [メンテナンス] > [1 次転写電圧オフセット調整] をタップします。 b [ブラックオフセット調整] または [カラーオフセット調整] をタップし、値を下げます。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。

症状	処置
	2b 転写電圧を調整します。 a  〈ホーム〉 ボタンを押し、[機器設定] > [メンテナンス] > [1 次転写電圧オフセット調整] をタップします。 b [ブラックオフセット調整] または [カラーオフセット調整] をタップし、値を上げます。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 正しい用紙が使用されていることを確認します。  参照 ・詳しくは、「用紙について (P.95)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。
	4 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

等間隔の濃度ムラがある

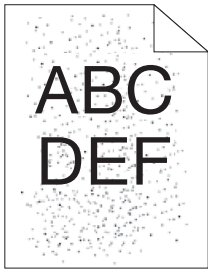


症状	処置
等間隔の濃度ムラがある。	1 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。



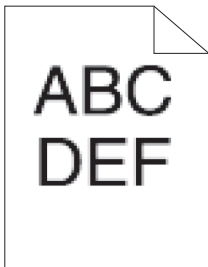
症状	処置
ぼやけている。	- 全体が薄く印字される場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。その他の場合は手順2に進みます。 [現像機/転写ユニットクリーニング] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 - 詳しくは、「[現像機/転写ユニットクリーニング] (P.85)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 [トナーリフレッシュ] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 - 詳しくは、「[トナーリフレッシュ] (P.85)」を参照してください。  補足 - この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルの交換時期が早くなることがあります。 トラブルが解決しない場合は、手順4aまたは4bに進みます。 - 弊社製以外のトナーカートリッジを使用している場合は、[カスタムトナーモード] を [有効] にします。  参照 - 詳しくは、「[カスタムトナーモード] (P.86)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順5に進みます。 - 弊社製のトナーカートリッジを使用している場合は、ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 - 詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。 - 弊社製のトナーカートリッジに交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 - 詳しくは、「トナーカートリッジを交換する (P.194)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

ビーズ状の小さな点がある



症状	処置
ビーズ状の小さな点がある。	1 本機が高度（標高）の高い場所に設置されている場合は、設置場所の高度を設定し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「[高地使用設定] (P.86)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

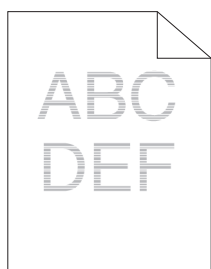
文字がギザギザになる



症状	処置
文字がギザギザになる。	PCLドライバーを例に説明します。 1 プリンタードライバーで、[スクリーン] を [精細度優先] に設定します。 a [詳細設定] タブで、[イメージ] の [スクリーン] を [精細度優先] に設定します。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 プリンタードライバーで、[印刷モード] を [高画質] に設定します。 a [カラー] タブで、[カラーモード] を [カラー (自動判別)] に設定します。 b [印刷モード] を [高画質] に設定します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。

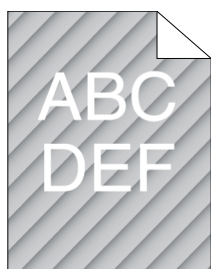
症状	処置
	3 プリンタードライバーの「ページ印刷モード」を有効にします。 a 「詳細設定」タブで、「イメージ」の「ページ印刷モード」を「する」に設定します。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。
	4 ダウンロードフォントを使用している場合は、本機、およびお使いのOSやアプリケーションに対応しているフォントであることを確認します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

縞模様が入る



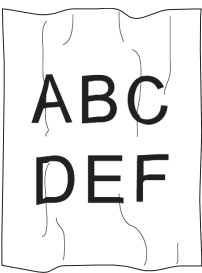
症状	処置
縞模様が入る。	1 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

斜線が入る



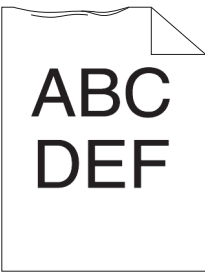
症状	処置
斜線が入る。	1 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.196)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

出力紙にしわができる／出力紙が汚れる



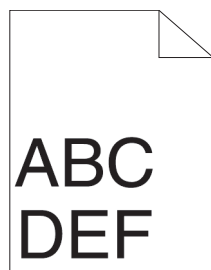
症状	処置
出力紙にしわができる。 出力紙が汚れる。	1 正しい用紙が使用されていることを確認します。  参照 ・詳しくは、「用紙について (P.95)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。 2 用紙ガイドを正しく調整します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 3 新しい用紙に交換します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

出力紙の先端に損傷がある



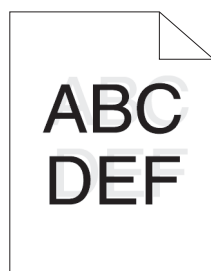
症状	処置
出力紙の先端に損傷がある。	1 用紙ガイドを正しく調整します。 トラブルが解決しない場合は、手順2aまたは手順2bに進みます。 2a 手差しトレイを使用している場合は、用紙を裏返します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。 2b 手差しトレイ以外のトレイを使用している場合は、用紙を交換します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。 3 用紙を交換します。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。 4 手差しトレイ以外のトレイを使用します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

印字位置がずれている



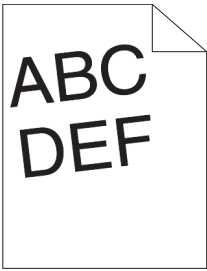
症状	処置
印字位置がずれている。	1 用紙ガイドを正しく調整します。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。
	2 手差しトレイ以外のトレイを使用します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 使用しているアプリケーションで余白が正しく設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

カラーレジストレーションが合っていない



症状	処置
カラーレジストレーションが合っていない。	1 プリンタードライバーで正しい用紙種類が設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。
	2 [カラーレジ調整] を実行します。  参照 ・詳しくは、「[カラーレジ調整] (P.85)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

斜めに印字される



症状	処置
斜めに印字される。	1 用紙ガイドを正しく調整します。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。
	2 手差しトレイ以外のトレイを使用します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 新しい用紙に交換します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

12.2.4 コピーのトラブル

症状	処置
自動原稿送り装置にセットした原稿がコピーできない。	上カバーをしっかりと閉じます。
自動原稿送り装置を使用してコピーすると、たての縞が写る。	原稿読み取りガラスを清掃します。  参照 ・詳しくは、「原稿ガラス、原稿読み取りガラス、原稿読み取りガラスカバー、原稿ガラスカバーを清掃する (P.214)」を参照してください。
	清掃棒でプリンターの内部を清掃します。  参照 ・詳しくは、「LEDプリントヘッドの清掃 (P.205)」を参照してください。
コピーがずれる、またはゆがむ。	自動原稿送り装置に原稿が正しくセットされていることを確認します。  参照 ・詳しくは、「自動原稿送り装置にセットする (P.108)」を参照してください。
	原稿ガラスに原稿が正しくセットされていることを確認します。  参照 ・詳しくは、「原稿ガラスにセットする (P.109)」を参照してください。

12.2.5 スキャンのトラブル

症状	処置
スキャナーが動作しない。	解像度を低く設定して、再度読み込みます。
	USBケーブルまたはLANケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。
	USBケーブルまたはLANケーブルが破損していないことを確認します。
	TWAINネットワーク、またはWindows® Image Acquisition (WIA) ドライバーを使用している場合は、本機のIPアドレスが正しく設定されていることを確認します。
原稿が自動原稿送り装置からうまく搬送されない、または重なって搬送される。	 参照 ・詳しくは、「ネットワーク設定を確認する (P.34)」を参照してください。
	イメージキャプチャのようなICA互換プログラムからスキャンする場合は、Macのスキャナー共有機能が無効になっていることを確認します。
	使用する原稿が本機の仕様に適合していることを確認します。
	 参照 ・詳しくは、「原稿をセットする (P.108)」を参照してください。
自動原稿送り装置に原稿が正しくセットされていることを確認します。	自動原稿送り装置に原稿が正しくセットされていることを確認します。
	 参照 ・詳しくは、「自動原稿送り装置にセットする (P.108)」を参照してください。
	セットした原稿の枚数が、自動原稿送り装置の積載上限値を超えていないことを確認します。
	原稿が反っていない（カールしていない）ことを確認します。
自動原稿送り装置を使用してスキャンするとたての縞が写る。	原稿をよくさばき、用紙の四辺を揃えてセットします。
	原稿読み取りガラスを清掃します。
	 参照 ・詳しくは、「原稿ガラス、原稿読み取りガラス、原稿読み取りガラスカバー、原稿ガラスカバーを清掃する (P.214)」を参照してください。
	原稿ガラスを使用してスキャンすると同じ場所に汚れが写る。
原稿ガラスを使用してスキャンすると同じ場所に汚れが写る。	原稿ガラスを清掃します。
	 参照 ・詳しくは、「原稿ガラス、原稿読み取りガラス、原稿読み取りガラスカバー、原稿ガラスカバーを清掃する (P.214)」を参照してください。
	画像がゆがむ。
	自動原稿送り装置に原稿が正しくセットされていることを確認します。
画像がゆがむ。	 参照 ・詳しくは、「自動原稿送り装置にセットする (P.108)」を参照してください。

症状	処置
	原稿ガラスに原稿が正しくセットされていることを確認します。  参照 詳しくは、「原稿ガラスにセットする (P.109)」を参照してください。
コンピューター画面に次のメッセージが表示される。 「スキャンできません。スキャン機能を使用できません。システム管理者にお問い合わせください。」 「デバイスから画像を読み込めません。デバイスがきちんと接続されているか確認し、再度操作します。」	[PCスキャン] の [サービスロック] が [有効] に設定されていることを確認します。  参照 詳しくは、「[サービスロック] (P.82)」を参照してください。 本機の電源が入っていることを確認します。 USBケーブルまたはLANケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。
スキャナー（メール送信）機能で、メールが送信できない。	メールアドレスが正しいか確認します。 アドレス帳に登録されているメールアドレスが正しいか確認します。  参照 詳しくは、「アドレス帳に宛先を登録する (P.167)」を参照してください。
TWAINまたはWindows® Image Acquisition (WIA)が Windows Server® 2008およびWindows Server® 2008 R2のコンピューターで動作しない。	コンピューターにデスクトップ エクスペリエンスをインストールします。  参照 デスクトップ エクスペリエンスについては、Microsoft® Technetを参照してください。
TWAINまたはWindows® Image Acquisition (WIA)が Windows Server® 2012およびWindows Server® 2012 R2のコンピューターで動作しない。	コンピューターにデスクトップ エクスペリエンスをインストールします。  参照 デスクトップ エクスペリエンスについては、Microsoft® Technetを参照してください。

12.2.6 ファクスのトラブル

症状	処置
ダイヤル音が聞こえない。	本機が電話回線に正しく接続されていることを確認します。  参照 詳しくは、「本機を電話回線に接続する (P.35)」を参照してください。 電話回線に異常が発生していないか確認します。
メモリーに登録されている番号が正しくダイヤルされない。	番号がメモリーに正しく登録されているか確認します。

症状	処置
ファクスを送信できない。	ダイヤル種別が正しく設定されていることを確認します。  参照 詳しくは、「[ダイヤルの種類] (P.74)」を参照してください。
	本機が電話回線に正しく接続されていることを確認します。  参照 詳しくは、「本機を電話回線に接続する (P.35)」を参照してください。
	自動原稿送り装置または原稿ガラスに、原稿がセットされていることを確認します。
本機は番号をダイヤルするが相手ファクス機との接続に失敗する。	相手機の電源が入っていないか、用紙切れまたは受信できない状態の可能性があります。
送信した文書に線が入る。	原稿読み取りガラスを確認し、汚れがある場合は清掃します。  参照 詳しくは、「原稿ガラス、原稿読み取りガラス、原稿読み取りガラスカバー、原稿ガラスカバーを清掃する (P.214)」を参照してください。
ファクスを受信できない。	ダイヤル種別が正しく設定されていることを確認します。  参照 詳しくは、「[ダイヤルの種類] (P.74)」を参照してください。
	本機が電話回線に正しく接続されていることを確認します。  参照 詳しくは、「本機を電話回線に接続する (P.35)」を参照してください。
	[受信制限] を [しない] に設定します。  参照 詳しくは、「[受信制限] (P.72)」を参照してください。
ファクスを自動受信できない。	[手動受信] 以外の受信モードに設定されていることを確認します。  参照 詳しくは、「[受信モード] (P.72)」を参照してください。
	用紙トレイに用紙がセットされていることを確認します。
	「ファクスメモリー空き容量不足」がタッチパネルディスプレイに表示されているかどうかを確認します。表示されている場合は、不要になった原稿をメモリーから削除します。
	[自動受信設定] で設定されている時間を、30 秒間程度の間隔に変更します。  参照 詳しくは、「[自動受信設定] (P.72)」を参照してください。

症状	処置
受信したファクスを出力できない。	トナーの残量を確認します。  参照 - 詳しくは、「[消耗品] (P.69)」を参照してください。 用紙トレイに用紙がセットされていることを確認します。 [ファクス受信転送設定] が [転送しない]、[プリント+ファクス転送]、[プリント+メール転送]、または [プリント+サーバー転送] に設定されていることを確認します。  参照 - 詳しくは、「[ファクス受信転送設定] (P.72)」を参照してください。 セキュリティー受信モードが解除されていることを確認します。起動中のときはパスワードを入力するか、受信モードを解除してメモリーに保存されているファクスを出力します。  参照 - 詳しくは、「[セキュリティーファクス受信] (P.83)」を参照してください。
受信したファクスに白抜けがある、または読みにくい。	コピーして本機に問題がないか確認します。 トナーカートリッジが空になっている可能性があります。トナーカートリッジを交換します。  参照 - 詳しくは、「トナーカートリッジを交換する (P.194)」を参照してください。 電話回線にノイズがあると回線エラーが発生することがあります。モデム速度を落とします。  参照 - 詳しくは、「[モデムスピード] (P.74)」を参照してください。 相手機が故障している可能性があります。送信元に確認してください。
原稿がメモリーに保存されていない。	メモリーに文書を保存するための空き容量がなくなっている可能性があります。「ファクスメモリー空き容量不足」がタッチパネルディスプレイに表示されている場合は、メモリーから不要な文書をすべて削除してから文書を保存するか、現在進行中のジョブ（ファクスの送受信など）が完了するのを待ちます。
受信したファクスの文字がかすれている。	送信元のファクス機に一時的な紙詰まりが発生していた可能性があります。送信元に紙詰まりの除去と再送信を依頼してください。
ページの下部に白抜けが起こる、または上部のテキストがとぎれとぎれに表示される。	設定した用紙設定が間違っている可能性があります。  参照 詳しくは、「[トレイ設定] (P.68)」を参照してください。
ファクス送受信時にエラーが頻繁に発生する。	モデム速度を落とします。  参照 詳しくは、「[モデムスピード] (P.74)」を参照してください。

12.2.7 電子証明書のトラブル

症状	処置
次のボタンが使用できない。 ・ [証明書署名要求 (CSR) の生成] ・ [証明書のインポート]	SSL/TLS通信が無効になっている可能性があります。自己署名証明書を作成し、SSL/TLS通信を有効にします。  参照 ・ SSL/TLS通信や証明書については、「暗号化機能を使う (P.187)」を参照してください。
証明書をインポートできない。	日付と時刻の設定が正しくない可能性があります。証明書の有効期限と本機の日付と時刻の設定を確認します。 証明書ファイルが正しくない可能性があります。パスワードが正しいかを確認します。 証明書のファイル種別が、PKCS#7 / PKCS#12 / X.509証明書であることを確認します。 インポートする証明書の鍵用途や拡張鍵用途などの属性情報が正しく設定されていることを確認します。 Webブラウザが正しくない可能性があります。Internet Explorer®を使用します。
[証明書の詳細] で証明書を設定できない。	証明書の有効期限が切れている可能性があります。本機の日付と時刻の設定が正しいことと、証明書の有効期限が切れていないことを確認します。 証明書のパスが無効です。インポートした証明書の証明書チェーン (パス検証) が正しく検証されていない場合があります。高レベルの証明書 (信頼できる / 中級) のすべてがインポートされ、削除されていないことを確認します。また、有効期限が切れていないことも確認します。
証明書がインポートされているが、[自デバイス] を選ぶと表示されない。	証明書の種類が正しくありません。プリンター用の証明書をインポートするには、秘密キーと対の PKCS # 12 (p12/pfx) 形式の証明書をインポートします。
サーバーの検証が正常に動作していない。	サーバーの認証に使用する信頼されたルート証明書をインポートしても、パスを検証するときに、中間証明書が必要な場合があります。認証局で証明書ファイルを実行した場合は、すべてのパスを含む形式で証明書が作成され、証明書がインポートされます。

12.2.8 無線 LAN 接続のトラブル

症状	処置
無線LAN接続が設定できない。	LANケーブルが本機から外れていることを確認します。 [Wi-Fi] が有効になっていることを確認します。  参照 ・ 詳しくは、「[Wi-Fi] (P.75)」を参照してください。 コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にします。 無線LANアクセスポイントがIEEE 802.11b/g/nに準拠し、2.4 GHz帯で使用可能か確認します。

症状	処置
WPS方式で無線LAN接続が設定できない。	無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定がWPAまたはWPA2であることを確認します。WEP は、WPSでは対応していません。
WPS（プッシュボタン方式）で無線LAN接続が設定できない。	本機のWPS操作を開始してから2分以内に無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押します。  参照 ・無線LANアクセスポイントの操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
WPS（PINコード方式）で無線LAN接続が設定できない。	無線LANアクセスポイントに入力したPINコードが正しいことを確認します。  参照 ・PINコードの入力方法については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

12.2.9 Wi-Fi Direct のトラブル

症状	処置
モバイル機器から本機を検出できない。	本機がWi-Fi Directを使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。  参照 ・詳しくは、「Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する (P.154)」を参照してください。
モバイル機器と本機を接続できない。	Android機器のWi-Fi Direct機能を使って本機と接続する場合は、本機の「グループ設定」を「グループオーナー」にします。  参照 ・設定については、「[Wi-Fi Direct] (P.77)」を参照してください。
「Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する (P.154)」の手順を行っても本機からモバイル機器を切断できない。	モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。Wi-Fi Directのパスフレーズを初期化し、モバイル機器を切断します。  参照 ・詳しくは、「パスフレーズを初期化する (P.154)」を参照してください。
本機のネットワークモードをアドホックモードに設定できない。	「[Wi-Fi Direct]」が無効になっていることを確認します。
「[Wi-Fi Direct]」を有効にできない。	ネットワークモードがインフラストラクチャーモードになっていることを確認します。 「[IP動作モード]」が「IPv6」以外のモードに設定されていることを確認します。

12.2.10 トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）のトラブル

症状	処置
トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）が正常に動作しない。	本機の電源を切り、10秒間待ってから、再度本機の電源を入れます。問題が解決しない場合は、本機の電源コードを抜き、トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）と本機の接続に問題がないことを確認します。 システム設定リストを出力し、[オプション] にトレイモジュール（トレイ 2）（オプション）が記載されていることを確認します。  参照 ・リストについては、「[レポート/リスト] (P.66)」を参照してください。 記載されていない場合は、装着しなおします。  参照 ・詳しくは、「トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）を取り外す (P.275)」およびトレイモジュール（トレイ 2）（オプション）の取扱説明書を参照してください。 トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）がお使いのプリンタードライバーで選ばれていることを確認します。 用紙が正しくセットされていることを確認します。  参照 ・詳しくは、「トレイ 1 とトレイモジュール（トレイ 2）（オプション）に用紙をセットする (P.99)」を参照してください。

12.2.11 スキャナードライバー／ソフトウェアのトラブル

症状	処置
宛先表ツールで本機からアドレス帳データを取得できない。	USB ケーブルまたは LAN ケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。 本機の電源が入っていることを確認します。 コンピューターにスキャナードライバーがインストールされていることを確認します。
ドライバーを使用して本機に接続できない。	USB ケーブルまたは LAN ケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。 ネットワーク経由で接続するときは、本機の IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。  参照 ・詳しくは、「ネットワーク設定を確認する (P.34)」を参照してください。 本機の電源が入っていることを確認します。電源が入っている場合は、本機の電源を切り、再度電源を入れます。 スキャナーアプリケーションが実行中の場合はアプリケーションをいったん終了して再起動します。

症状	処置
スキャナードライバーがコンピューターに登録されていない。	スキャナードライバーをインストールします。スキャナードライバーがインストールされているときは、一度アンインストールしてから再インストールします。

12.2.12 その他のトラブル

症状	処置
本機が動いていない。ディスプレイが表示されず、ボタンも動作しない。	電源コードをいったん抜いて差しなおします。
ドライバーをインストールするときに本機が見つからない。	USBケーブルまたはLANケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。 ネットワーク経由で接続するときは、本機のIPアドレスが正しく設定されていることを確認します。  参照 - 詳しくは、「ネットワーク設定を確認する (P.34)」を参照してください。 本機の電源が入っていることを確認します。電源が入っている場合は、本機の電源を切り、再度電源を入れます。 お使いのWindows® OSで、ネットワークの探索が有効になっていることを確認します。 [お好みインストール] でドライバーをインストールします。  参照 - 詳しくは、「[お好みインストール] でインストールする (P.27)」を参照してください。

12.3 エラーコードが表示されたら

エラーが発生して操作が正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。次の表でエラーコードを参照して、処置してください。

！ 注記

- ・エラーが発生した場合は、本機のメモリーに蓄積されている内容が消去されることがあります。

💡 補足

- ・次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合は、操作パネルに表示されたメッセージの説明に従ってください。表の記載や操作パネルに表示されたメッセージの説明に従って処置をしても正常に戻らないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	対処方法
004-310	本機の電源を切ります。トレイが正しく取り付けられていることを確認し、再度本機の電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
010-397	定着ユニットにエラーが起きました。本機の電源を切り、再度電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
016-338	本機の電源を切ります。Wi-Fiアダプターが正しく取り付けられていることを確認し、再度本機の電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
016-404	証明書に問題があります。システム管理者にお問い合わせください。 [OK] をタップすると初期化を開始します。
016-405	
016-503	SMTPサーバーのホスト名が解決できません。SMTPサーバーとDNSサーバーが正しく設定されていることを確認します。
016-504	POP3サーバーのホスト名が解決できません。POP3サーバーとDNSサーバーのユーザー名とパスワードが正しく設定されていることを確認します。
016-505	POP3サーバーにアクセス中にログインエラーが起きました。POP3サーバーのユーザー名とパスワードが正しく設定されていることを確認します。
016-506	SMTPサーバーまたはPOP3サーバーが設定されていません。SMTPサーバーまたはPOP3サーバーの設定をします。
016-507	SMTPサーバーにアクセス中にログインエラーが起きました。SMTPサーバーのユーザー名とパスワードが正しく設定されていることを確認します。
016-520	本機の証明書が無効です。システム管理者にお問い合わせください。
016-521	宛先クライアントの証明書が無効です。システム管理者にお問い合わせください。
016-522	SSL証明書を取得できませんでした。システム管理者にお問い合わせください。
016-523	SSL証明書が正しくありません。システム管理者にお問い合わせください。
016-524	SSL証明書の有効期限が切れました。システム管理者にお問い合わせください。
016-527	システム管理者にお問い合わせください。状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

エラーコード	対処方法
016-530	LDAPサーバーにアクセス中に認証エラーが起きました。本機の電源を切り、再度電源を入れます。認証サーバーのアクセス設定を確認します。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
016-541	無線LAN Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを使用中に、サーバーまたはクライアントの無線証明書が正しく参照されません。システム管理者に依頼して、本機を有線LANに接続し、無線LAN設定を初期化してください。その後、無線証明書をインポートし、Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを再設定してください。
016-542	Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterprise操作で証明書を取得しているときに、サーバー証明書エラーが起きました。Radiusサーバーで使用していたサーバー証明書の有効期限が切れているなど、サーバー証明書に問題があります。システム管理者に依頼して、Radiusサーバーで使用していたサーバー証明書を確認してください。
016-543	無線LAN Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを使用中に、サーバーまたはクライアントの無線証明書の破損エラーが起きました。システム管理者に依頼して、本機を有線LANに接続し、無線LAN設定を初期化してください。その後、無線証明書をインポートし、Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを再設定してください。
016-718	プリント時に十分なメモリーがないため、エラーが起きました。プリントは中止されます。プリントするデータのサイズを削減してください。RAMディスクを使用している場合は、RAMディスクのサイズを削減してください。  参照 ・RAMディスクの機能については、「[RAMディスク] (P.91)」を参照してください。
016-720	対応していないページ記述言語 (PDL) が含まれています。対応しているプリンタードライバーを使用してください。  参照 ・プリンタードライバーのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.26)」および「Mac用のソフトウェアをインストールする (P.30)」を参照してください。
016-757	アカウントが登録されていません。システム管理者にお問い合わせください。
016-758	この機能は使用できません。システム管理者にお問い合わせください。
016-759	印字可能ページ数が上限を超えました。システム管理者にお問い合わせください。
016-764	本機がSMTPサーバー接続時にエラーが起きました。SMTPサーバー設定を確認するか、SMTPサーバーの管理者にお問い合わせください。
016-765	SMTPサーバーの容量が不足しています。SMTPサーバーの管理者にお問い合わせください。
016-766	メールサイズがSMTPサーバーの制限容量を超えています。SMTPサーバーの管理者にお問い合わせください。
016-767	宛先のメールアドレスが正しくありません。メールアドレスを確認し、再度スキャンします。
016-768	メール送信者のアドレスが正しくありません。メールアドレスを確認し、再度スキャンします。

エラーコード	対処方法
016-786	スキャンデータの送受信時にタイムアウトエラーが起きました。LANケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。LANケーブルに問題がない場合は、サーバー管理者にお問い合わせください。
016-790	ネットワーク接続エラーが起きました。IPアドレスが決定されていません。LANケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。LANケーブルに問題がないときは、サーバー管理者にお問い合わせください。
016-799	無効なジョブです。プリンタードライバーで本機の設定を確認します。
016-924	暗号化方式をWEPに設定して無線LAN環境に接続する場合は、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクから起動できる［おまかせセットアップ］を使った無線LANの設定ができません。無線LANアクセスポイントの暗号化方式がWEPの場合は、本機の操作パネルから無線LANの設定をします。  参照 無線LAN設定については、「無線LANに手動設定で接続する (P.24)」を参照してください。
016-985	解像度を下げて再度スキャンします。またはスキャンデータのファイル形式を変更します。
016-986	
027-446	IPv6アドレスが重複しています。IPv6アドレスを変更してください。
027-452	IPv4アドレスが重複しています。IPv4アドレスを変更してください。
031-521	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。システム管理者に依頼して、ログインできるコンピューターを確認してください。
031-522	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。ログイン名（ドメイン名とユーザー名）とパスワードが正しいことを確認します。
031-523	SMB共有名が無効です。設定した共有名を確認します。  補足 JIS第一水準漢字および第二水準漢字以外の文字は、共有名に使用できない場合があります。
031-524	SMBサーバーのユーザーアカウントが上限を超えています。一度にサーバーを使用するユーザー数が上限を超えていないか確認します。
031-525	SMB宛先クライアントの許諾エラーです。指定されたユーザーが格納場所のファイルを読み書きできる権限を持っているか確認します。
031-526	SMBサーバーのホスト名が解決できません。DNS接続を確認するか、転送先のサーバーがDNSに登録されているか確認します。
031-527	SMBサーバーのホスト名が解決できません。DNSアドレスを設定するか、転送先のサーバーアドレスを設定します。
031-528	SMBサーバーに接続できません。本機と転送先のSMBサーバーがネットワークで通信できているか確認します。
031-529	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。パスワードが無効です。パスワードが正しいか確認します。
031-530	SMB共有フォルダーが指定されたSMBサーバーに見つかりません。次を確認します。 - 格納場所は正しいですか。 - 設定したファイル名は、SMBサーバー上でファイルを作成したときの名前と同じですか。 - DFS設定は正しいですか。SMBサーバー、共有名、格納場所は、確認済みの設定に従って直接指定されていますか。

エラーコード	対処方法
031-531	SMBサーバー上でファイル名またはフォルダー名が見つかりません。指定したフォルダーへのアクセス権があるか確認します。
031-532	SMBスキャンファイル名またはフォルダー名が上限を超えています。ファイル名または転送先のフォルダーを変更します。または転送先フォルダー内のファイルを移動または削除します。
031-533	SMBサーバーにファイルの書き込みができません。設定したファイル名がほかのユーザーに使われていないか確認します。
031-534	SMBサーバーにフォルダーの作成ができません。設定したフォルダー名がほかのユーザーに使われていないか確認します。
031-535	SMBサーバーのファイルを削除できません。ほかのユーザーがファイルを使用していないか確認します。
031-536	SMBサーバーのフォルダーを削除できません。ほかのユーザーがフォルダーを使用していないか確認します。
031-537	SMBサーバーが容量を超えています。格納場所に十分な空き容量があるか確認します。
031-539	指定されたSMBサーバーが無効です。サーバー名が正しいか確認します。
031-540	指定されたドメイン名が無効です。ドメイン名が正しいか確認します。
031-541	指定されたユーザー名が無効です。ユーザー名が正しいか確認します。
031-542	TCP/IP が初期化されません。しばらく待ってから同じ操作をします。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
031-543	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。システム管理者にログイン許可時間を確認してください。
031-544	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。パスワードの期限が切れています。システム管理者にパスワードの有効期限を確認してください。
031-545	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。パスワードを変更します。システム管理者にパスワード変更の必要性を確認してください。
031-546	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。無効なユーザーが指定されました。宛先サーバーの設定については、システム管理者にお問い合わせください。
031-547	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。SMBサーバーにアクセスできないユーザーが指定されています。宛先サーバーの設定については、システム管理者にお問い合わせください。
031-548	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。SMBサーバーへのログイン時間が切れています。宛先サーバーの設定については、システム管理者にお問い合わせください。
031-549	SMBサーバーへのログインエラーが起きました。指定されたユーザーは許可されません。パスワード入力必須です。サーバーセキュリティ設定で、ゼロパスワードユーザーのアクセス許可を確認します。
031-550	アペンドコマンドエラーが起きました。本機がSMBサーバーにデータを付加する権限を持っているか確認します。サーバーがアペンドコマンドに対応しているか確認します。
031-551	リネームコマンドエラーが起きました。本機がSMBサーバーのデータをリネームする権限を持っているか確認します。サーバーがリネームコマンドに対応しているか確認します。
031-552	ジョブが中止されました。FTPサーバーにすでに存在するファイル名を変更します。

エラーコード	対処方法
031-574	FTPサーバーのホスト名が解決できません。DNS接続を確認します。または転送先のサーバーがDNSに登録されているか確認します。
031-575	FTPサーバーのホスト名が解決できません。DNSアドレスを設定します。または転送先のサーバーアドレスをIPアドレスとして設定します。
031-576	FTPサーバーに接続できません。本機と転送先のFTPサーバーが通信できているか確認します。確認事項の一例として、LANケーブルが接続されているか、サーバーのIPアドレスが正しいかなどを確認します。
031-578	FTPサーバーへのログインエラーが起きました。ログイン名（ユーザー名）とパスワードが正しいか確認してください。
031-579	FTPのサブディレクトリーパスが無効です。格納場所が正しいかを確認します。
031-580	FTPサーバー上のファイル名またはフォルダー名が見つかりません。サーバーへのアクセス権があるか確認します。
031-581	FTPスキャンファイルまたはフォルダー名が上限を超えています。ファイル名または転送先のフォルダーを変更するか、転送先フォルダー内のファイルを移動または削除します。
031-582	FTPサーバーにファイルの書き込みができません。指定したファイル名が格納場所で作成できるか確認するか、格納場所に十分な空き容量があるか確認します。
031-584	FTPサーバーにフォルダーの作成ができません。指定したフォルダー名が格納場所で作成できるか確認するか、指定したフォルダー名と同じ名前のフォルダーが存在していないか確認します。
031-585	FTPサーバーのファイルが削除できません。サーバーへのアクセス権があるか確認します。
031-587	FTPサーバーのフォルダーが削除できません。サーバーへのアクセス権があるか確認します。
031-588	FTPサーバーにファイルの書き込みができません。格納場所に十分な空き容量があるか確認します。
031-590	ジョブが中止されました。FTPサーバーにすでに存在するファイル名を変更します。
031-594	タイプコマンドエラーが起きました。再度同じ操作をします。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
031-595	ポートコマンドエラーが起きました。再度同じ操作をします。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
031-598	アペンドコマンドエラーが起きました。本機がFTPサーバーにデータを付加する権限を持っているか確認します。サーバーがアペンドコマンドに対応しているか確認します。
031-599	PNFRコマンドエラーが起きました。本機がFTPサーバーのファイルをリネームする権限を持っているか確認します。サーバーがPNFRコマンドに対応しているか確認します。
033-513	ファクス通信エラーが起きました。次の操作をしてください。 ・受信したファクスを出力するか、ファクス送信が完了するまで待ちます。 ・[セキュリティーファクス受信]を有効にしている場合は、蓄積されたファクスを出力します。
033-762	着信拒否された番号からのファクスを拒否しました。

エラーコード	対処方法
033-776	ファクスデータが大きすぎるため、メモリーの上限を超えるおそれがあります。スキャン解像度を下げ、再度スキャンします。  参照 ・詳しくは、「[送信画質] (P.51)」を参照してください。
034-515	ファクス通信エラーが起きました。本機または相手機のメモリーがいっぱいでないかを確認します。
034-791	電話線が正しく接続されているか確認します。電話線が正しく接続されている場合は、次を確認します。 ・ダイヤル種別は正しいですか。  参照 ・詳しくは、「[ダイヤルの種類] (P.74)」を参照してください。 ダイヤル種別が正しく設定されている場合は、次を確認します。 ・相手機はファクスを受信できますか。
035-701	送信先ファクスが応答しません。次を確認します。 ・相手機の状態 ・ダイヤル種別設定  参照 ・詳しくは、「[ダイヤルの種類] (P.74)」を参照してください。
035-708	ファクス通信エラーが起きました。モデム速度を落とします。
035-717	 参照 ・詳しくは、「[モデムスピード] (P.74)」を参照してください。
035-718	送信先ファクスが応答しません。相手機の状態を確認します。
035-720	ファクス通信エラーが起きました。相手機の機能を確認します。
042-700	本機の温度が下がるまでしばらく待ち、本機の電源を切り、再度電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
092-310	本機の電源を切ります。カラートナー濃度（CTD）センサーを乾いた清潔な綿棒で拭き、再度本機の電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。  参照 ・詳しくは、「カラートナー濃度（CTD）センサーの清掃 (P.204)」を参照してください。
116-722	指定されたコンピューターが稼働していることを確認し、再度スキャンします。

12.4 修理に出す前に

12.4.1 修理依頼について

以下の点を同意の上、修理依頼をお願いします。

- ・ 修理作業においてプリンター内のデータが失われる場合があります。この場合当社では責任を負うことができませんので、あらかじめご承知おきください。
- ・ 修理作業において取り外した部品の所有権は当社に帰属し、当該部品はご返却いたしかねますのであしからずご了承ください。
- ・ 本体に保存されたデータ（電話帳データ、受信データ等）の復旧依頼、バックアップ依頼は、対応しかねますのでご了承ください。

12.4.2 プリンター内の電話帳データ（個人情報）の取り扱いに関して

本機を修理に出す際は、本体に保存された宛先表データはあらかじめコンピューター上にバックアップをとり、プリンター内のデータは削除してください。修理時にデータが失われる場合があります。



- ・ 電話帳データは個人情報が含まれていますので、お客様の責任で削除することをお願いします。

付録

主な仕様	262
保証について	268
本機を移動する	273
オプション製品と Wi-Fi アダプターを取り外す	275
最新のソフトウェアを入手する	289
本機のファームウェアを更新する	290
工場出荷時の状態に戻す	291

主な仕様

基本機能 / コピー機能

形式	デスクトップ
メモリー容量	1 GB
カラー対応	フルカラー
読み取り解像度	600 × 600 dpi
書き込み解像度	1200 × 2400 dpi
階調/表現色	各色256階調（1670万色）
ウォームアップ・タイム	45秒以下（室温23℃）
リカバリー・タイム （スリープ復帰時間）	45秒以下（室温23℃）
原稿サイズ	シート・ブック共に最大215.9 × 297 mm (A4) 自動原稿送り装置使用時：最大215.9 × 355.6 mm（A4、リーガル）
用紙サイズ	最大：A4、リーガル 最小：A6 画像欠け幅：先端 4.1 mm、後端 4.1 mm、左／右 4.1 mm
用紙坪量	トレイ：60～220 g/m ² 手差しトレイ：60～220 g/m ²  注記 ・推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しく印刷できない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、お買い求めの販売店またはサービス窓口までお問い合わせください。
ファーストコピー・タイム	モノクロ：原稿ガラス12.5秒、自動原稿送り装置12.5秒（A4／モノクロ優先モード時） カラー：原稿ガラス14.5秒、自動原稿送り装置15.5秒（A4／カラー優先モード時）
複写倍率	等倍：1:1 ± 1.3% 固定倍率：50%、70%、81%、100%、122%、141%、200% 任意倍率：25～400%（1% きざみ）
連続複写速度	片面印刷時（A4/B5）：モノクロ28枚／分、カラー 28枚／分 両面印刷時（A4/B5）：モノクロ18ページ／分、カラー 18ページ／分  注記 ・画質調整のため速度が低下することがあります。 ・用紙種類によっては生産性が落ちることがあります。

給紙方式/給紙容量	標準：250枚 x 1トレイ+手差しトレイ50枚 オプション：トレイモジュール550枚 最大：850枚（標準+トレイモジュール）  注記 ・ P紙（64 g/m²）
連続複写枚数	99枚  注記 ・ 画質安定化処理のため、機械の動作を一時的に中断することがあります。
出力トレイ容量	150枚（A4）  注記 ・ P紙（64 g/m²）
電源	AC100 V ± 10%、15 A、50/60 Hz 共用
最大消費電力	最大消費電力：1200 W 低電力モード：21 W スリープモード：1.2 W
エネルギー消費効率	73 kWh／年 区分：複合機a  注記 ・ 省エネ法（平成25年3月1日付）で定められた測定方法による数値。
大きさ	幅420 × 奥行503 × 高さ500 mm（自動原稿送り装置付き）
質量	30.2 kg  注記 ・ 消耗品は除く。
機械占有寸法	幅859 × 奥行1271 mm （フロントカバー、右サイドカバーおよび背面カバーが開いている状態。）
商品寿命	10万ページ、または5年の早い方  注記 ・ 印刷可能ページ数は、A4サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安であり、使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンター電源投入頻度等により変動します。

プリント機能

形式	内蔵型
連続プリント速度	基本機能／コピー機能に準ずる  注記 ・画質調整のため速度が低下することがあります。 ・ドキュメントによってはプリント速度が低下する場合があります。
書き込み解像度	基本機能／コピー機能に準ずる
ページ記述言語	PCL6、PCL5e、PDF*、TIFF*、JPEG* *USBメモリーに対応
対応プロトコル	TCP/IP (IPv4/IPv6: Port9100/LPD/IPP/IPPS/Web Services on Devices)
対応OS	標準：PCL6ドライバー Windows® 10 (32 ビット) Windows® 10 (64 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows Vista® (32 ビット) Windows Vista® (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) 標準：Mac OS Xドライバー OS X 10.11 El Capitan OS X 10.10 Yosemite OS X 10.9 Mavericks OS X 10.8 Mountain Lion Mac OS X 10.7 Lion  注記 ・最新の対応OSについては、当社公式サイトをご覧ください。
内蔵フォント	日本語2書体(平成明朝、平成角ゴシック)、欧文81書体
エミュレーション	-
インターフェイス	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Wireless IEEE802.11b/802.11g/802.11n、USB 2.0 (有線LANと無線LANは同時に使用できません。)

スキャン機能

形式	カラースキャナー
原稿サイズ	基本機能／コピー機能に準ずる
読み取り解像度	基本機能／コピー機能に準ずる
原稿読み取り速度	モノクロ：8.8枚／分、カラー：4.6枚／分 (A4片面、200 dpi、自動原稿送り装置使用時、スキャナー（SMB保存））  注記 ・原稿によって読み取り速度は異なります。
インターフェイス	プリント機能に準ずる
PC保存：対応プロトコル	TCP/IP（SMB、FTP）
PC保存：対応OS	Windows® 10（32ビット） Windows® 10（64ビット） Windows® 8.1（32ビット） Windows® 8.1（64ビット） Windows® 7（32ビット） Windows® 7（64ビット） Windows Vista®（32ビット） Windows Vista®（64ビット） Windows Server® 2012 R2（64ビット） Windows Server® 2012（64ビット） Windows Server® 2008 R2（64ビット） Windows Server® 2008（32ビット） Windows Server® 2008（64ビット） OS X 10.11 El Capitan OS X 10.10 Yosemite OS X 10.9 Mavericks OS X 10.8 Mountain Lion Mac OS X 10.7 Lion  注記 ・最新の対応OSについては、当社公式サイトをご覧ください。
PC保存：出力フォーマット	JPEG、TIFF、マルチページTIFF、PDF、XDW (DocuWorks)
メール送信：対応プロトコル	TCP/IP（SMTP）
メール送信：出力フォーマット	JPEG、TIFF、マルチページTIFF、PDF、XDW (DocuWorks)

ファクス機能

送信原稿サイズ	原稿ガラス：最大 A4／レター 自動原稿送り装置：最大 リーガル
記録紙サイズ	最大：リーガル 最小：A4
電送時間	約3秒  注記 ・ A4サイズの700字程度の原稿を標準画質（8 × 3.85本/mm）、高速モード（28.8 kbps以上：JBIG）送信時。画質情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状況により異なります。
通信モード	ITU-T G3
走査線密度	標準：8 × 3.85本/mm 高画質：8 × 7.7本/mm 超高画質：16 × 15.4本/mm
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	G3:33.6/31.2/28.8/26.4/24.0/21.6/19.2/16.8/14.4/12.0/9.6/7.2/4.8/2.4kbps
適用回線	加入電話回線、PBX、ファクシミリ通信網（PSTN）（最大1ポート）

ダイレクトファクス機能

送信原稿サイズ	A4、リーガル
送信画質	ファクス機能の走査線密度に準ずる （圧縮方式はMHのみとなります。）
通信速度	ファクス機能に準ずる
適用回線	ファクス機能に準ずる

対応 OS	標準：PCL6ドライバー Windows® 10（32 ビット） Windows® 10（64 ビット） Windows® 8.1（32 ビット） Windows® 8.1（64 ビット） Windows® 7（32 ビット） Windows® 7（64 ビット） Windows Vista®（32 ビット） Windows Vista®（64 ビット） Windows Server® 2012 R2（64 ビット） Windows Server® 2012（64 ビット） Windows Server® 2008 R2（64 ビット） Windows Server® 2008（32 ビット） Windows Server® 2008（64 ビット）  注記 ・最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。
-------	---

両面出力機能

自動両面可能用紙サイズ	A4、B5、A5、レター、リーガル、ユーザー定義サイズ（幅 139.7～215.9 mm、長さ 210～355.6 mm）
用紙坪量	64～176 g/m ²

自動原稿送り装置

原稿送り装置の種類	1パス両面原稿送り装置
原稿サイズ	最大：リーガル 最小：A5  注記 ・非定形サイズでは、幅 148～215.9 mm × 長さ 210～355.6 mm。
用紙坪量	60～128 g/m ²
原稿積載枚数	50枚  注記 ・64 g/m² の用紙を使用した場合
原稿読み取り速度	コピー時：モノクロ 27.5 枚／分、カラー 14 枚／分（A4 片面） スキャン時：モノクロ 32 ページ／分、カラー 14 ページ／分（200 dpi、スキャナー（USB 保存）） （1パス両面読み取り時：モノクロ 44 ページ／分、カラー 14 ページ／分）（200 dpi、スキャナー（USB 保存））

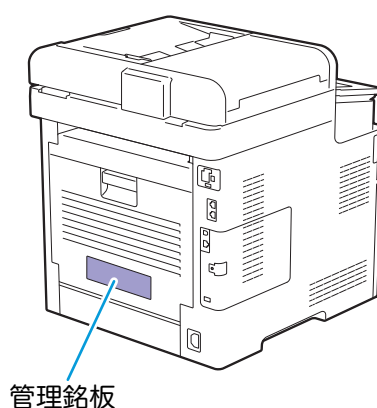
保証について

保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店またはサービス窓口へお問い合わせください。

！ 注記

- ・ 本機の背面に製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- ・ 契約保守
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- ・ 出張修理
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種 類	概 要	修理料金		お支払い 方法	受付窓口 *1
		保証期間 内	保証期間 外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。 ^{*3} （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィール ディング (株)
スポット 保守（出張修理）	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。 ^{*3} （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 ^{*2}	修理料 + 出張料	そのつど 清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、インターネットの Web ページ

<http://www.fielding.co.jp/per/index.html>
をご覧ください。

*2 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

*3 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や、記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせていただきます。



参照

- ・ 保守サービスの最新情報については、インターネットの Web ページ
<http://www.nec.co.jp/products/laser/support/>
をご覧ください。

プリンターの耐久性について

Color MultiWriter 400F の耐久性は、印刷ページ数が10万枚、または使用年数5年のいずれか早い方です。

消耗品の寿命について

プリンター型番	品名	印字可能枚数	消耗品型番
PR-L400F	トナーカートリッジ (ブラック)	約3,000 ページ	PR-L5850C-14
	トナーカートリッジ (シアン)	約3,000 ページ	PR-L5850C-13
	トナーカートリッジ (マゼンタ)	約3,000 ページ	PR-L5850C-12
	トナーカートリッジ (イエロー)	約3,000 ページ	PR-L5850C-11
	大容量トナーカートリッジ (ブラック)	約6,000 ページ	PR-L5850C-19
	大容量トナーカートリッジ (シアン)	約6,000 ページ	PR-L5850C-18
	大容量トナーカートリッジ (マゼンタ)	約6,000 ページ	PR-L5850C-17
	大容量トナーカートリッジ (イエロー)	約6,000 ページ	PR-L5850C-16
	ドラムカートリッジ (ブラック)	約50,000 ページ	PR-L5800C-31K
	ドラムカートリッジ (シアン)	約50,000 ページ	PR-L5800C-31C
	ドラムカートリッジ (マゼンタ)	約50,000 ページ	PR-L5800C-31M
	ドラムカートリッジ (イエロー)	約50,000 ページ	PR-L5800C-31Y
	トナー回収ボトル	約30,000 ページ	PR-L5800C-33

注記

- ・ トナーについて
JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) に基づく公表値です。実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源ON/OFFに伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) とはカラー電子写真式プリンター用トナーカートリッジの印刷可能ページ数を測定するための試験方法を定めた規格です。
- ・ カラー／白黒のプリンタードライバー設定について
お買い上げ時のプリンタードライバー設定（初期設定）で、モノクロ文書のみを印刷した場合、機械の構造上カラートナーも消費することがあります。モノクロ文書のみを印刷する場合に、プリンタードライバーのカラーモードの設定をカラーから白黒に変更することで、カラートナーを消費せずに印刷することができません。
- ・ ドラムについて
印刷可能ページ数はA4サイズ、片面プリント、像密度各色5%、カラー、1度にプリントするページ数を平均3.1枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際の印刷可能ページ数は、以上の諸条件の変更に加え、連続プリントページ数、用紙サイズ、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、白黒カラー自動選択やその他のモード選択の使用状況、本体の電源ON/OFFに伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境、設置環境の温度・湿度により変動し、参考値の半分以下になる場合があります。あくまでも目安としてお考えください。
- ・ トナー回収ボトルについて
印刷可能ページ数は、A4サイズ、片面プリント、像密度各色5%、カラー・モノクロ比率5：5でかつ、1度にプリントするページ数を平均3.1枚として連続印刷したときの参考値です。実際の交換サイクルは印刷条件、出力内容、用紙サイズ、種類や環境によって異なります。

補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後7年間保有しています。

情報サービスについて

プリンター製品に関する最新情報

インターネット [NEC Web サイト]

URL : <http://jpn.nec.com/printer/laser/>

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談

NECプリンタインフォメーションセンター

フリーダイヤル 0120-614-552

（受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日 *土・日・祝日および当社所定の休日を除く）

携帯電話・PHSからでもご利用になれます。（電話番号をよくお確かめの上おかけください。）

MultiWriter サポート窓口について

MultiWriter サポート窓口		
修理 受付 窓 口	保守契約 （サポートパック含 む）されているお 客様	専用フリーダイヤルへおかけください。（契約後 担当営業または登録 窓口より案内） 受付時間：年中無休24時間
	保守契約されてい ないお客様	NECプリンタインフォメーションセンター フリーダイヤル 0120-614-552 （受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日 *土・日・祝日および当社所定の休日を除く）
使い方相談		携帯電話・PHSからでもご利用になれます。 （電話番号をよくお確かめの上おかけください。）

使用済みカートリッジ回収について

●方法1

直接回収

使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1本からでも、当社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

- ・ 連絡先
EP カートリッジ回収センター
TEL：0120-30-6924 FAX：0120-30-8049
E-MAIL：ep-kai@mua.biglobe.ne.jp
- ・ 受付時間
9:00 ～ 17:00（土・日・祝日を除く）

●方法2

お持ち込みいただく場合

お買い上げの販売店までお持ちください。購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。



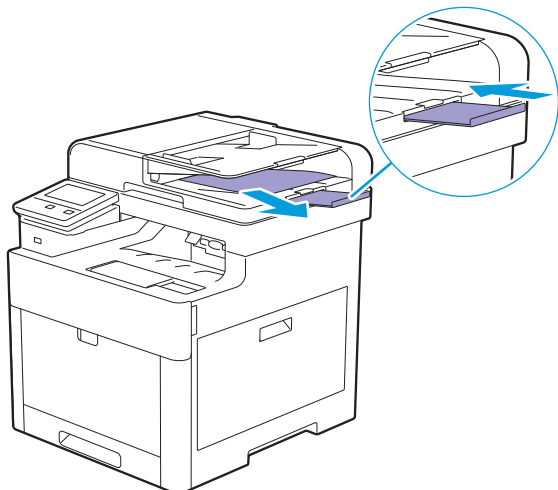
- ・ 回収を希望されないカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分していただきますようお願い申し上げます。

本機を移動する

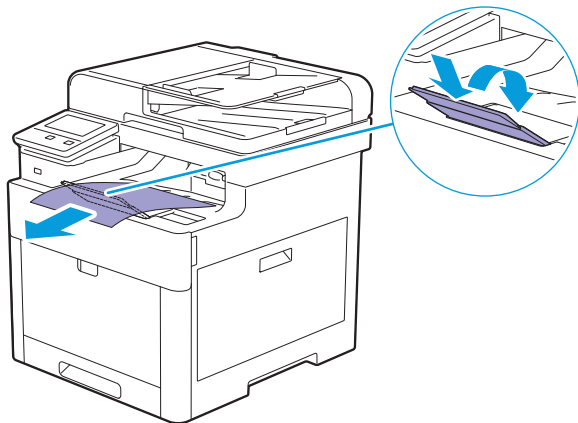
注記

- ・トレイモジュール（トレイ2）（オプション）と専用キャビネット（オプション）が装着されている場合は、本機を移動する前に取り外してください。詳しくは、「トレイモジュール（トレイ2）（オプション）と専用キャビネット（オプション）を取り外す (P.280)」を参照してください。

1. 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。
2. 自動原稿送り装置の用紙を取り除き、延長原稿送りトレイを格納します。



3. 排出トレイの用紙を取り除き、排出延長トレイを戻します。

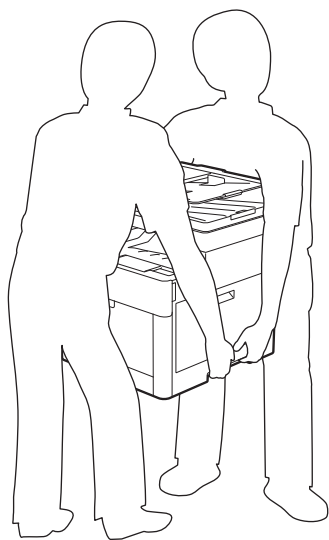


4. 本機を持ち上げて、ゆっくりと移動します。



注記

- ・必ず2人で運んでください。



補足

- ・長距離を移動する場合は、トナーカートリッジを取り外してから本機を箱に詰めてください。移動中にトナーがこぼれるのを防ぎます。トナーカートリッジの取り外しかたについては、「トナーカートリッジを交換する (P.194)」を参照してください。

オプション製品と Wi-Fi アダプターを取り外す

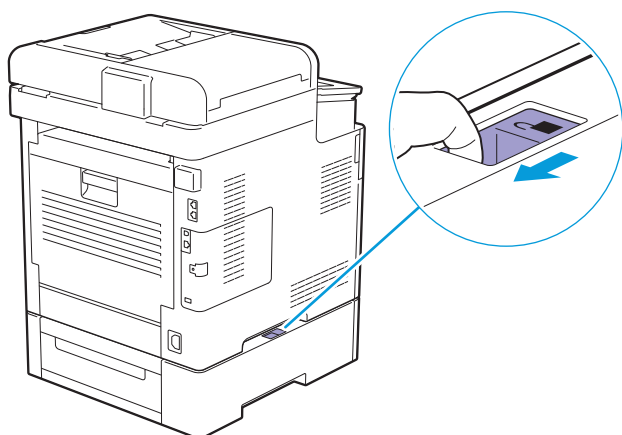


補足

- ・ 本機を移動する場合や本機とオプション製品を輸送する場合は、Wi-Fi アダプター、トレイモジュール（トレイ2）（オプション）、専用キャビネット（オプション）、および専用キャスター台（オプション）を本機から取り外します。

トレイモジュール（トレイ2）（オプション）を取り外す

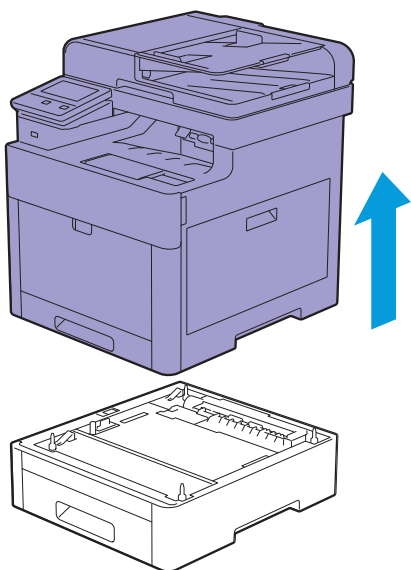
1. 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。
2. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のロックスイッチをスライドさせ、ロックを外します。



3. 本機をゆっくりとトレイモジュール（トレイ2）（オプション）から持ち上げて、平らな場所に置きます。

！ 注記

・必ず2人で持ち上げてください。

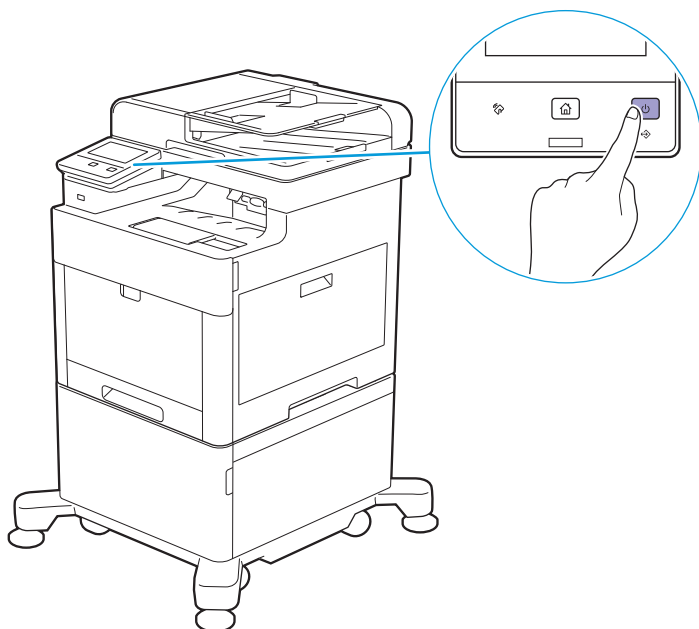


専用キャビネット（オプション）を取り外す

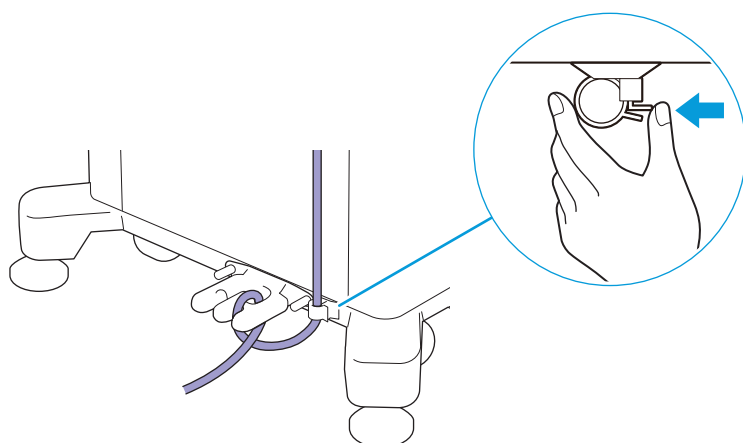
1. 本機の電源を切ります。

！ 参照

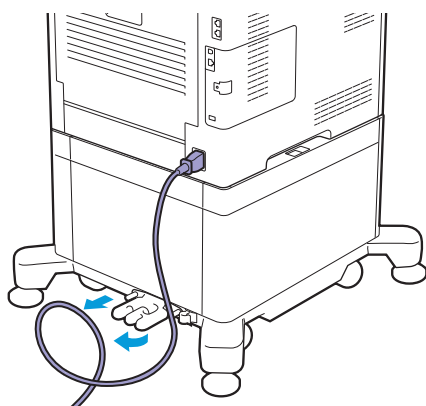
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。



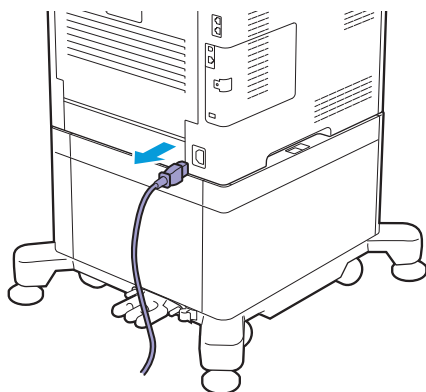
2. ケーブル固定具のツメを押して固定具を開き、電源コードを取り外します。



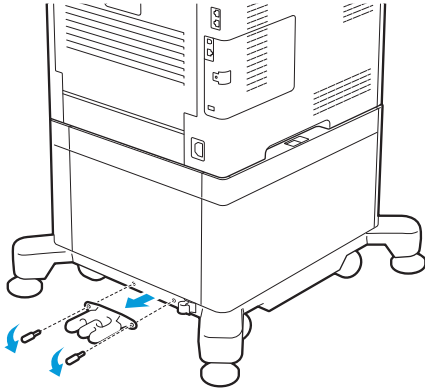
3. ケーブルフックから電源コードを取り外します。



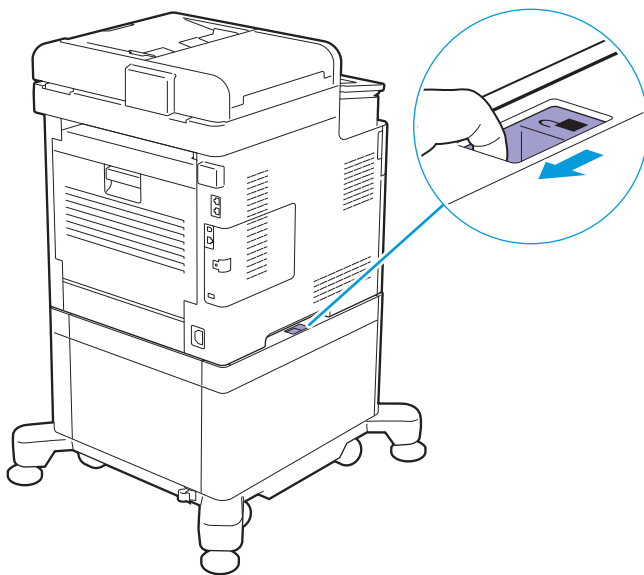
4. 電源コードを抜き、本機の背面からすべてのケーブルを取り外します。



- 5.** ケーブルフックを留めている2つのねじを緩め、フックを専用キャビネット（オプション）から取り外します。



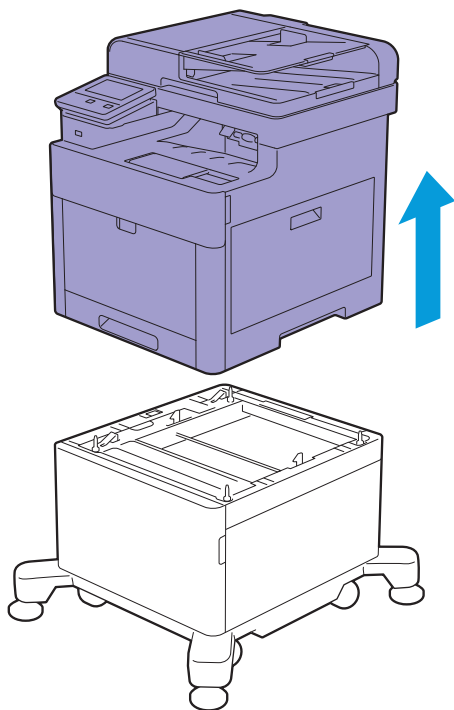
- 6.** 専用キャビネット（オプション）のロックスイッチをスライドさせ、ロックを外します。



7. 本機をゆっくりと専用キャビネット（オプション）から持ち上げて、平らな場所に置きます。

！ 注記

・必ず2人で持ち上げてください。

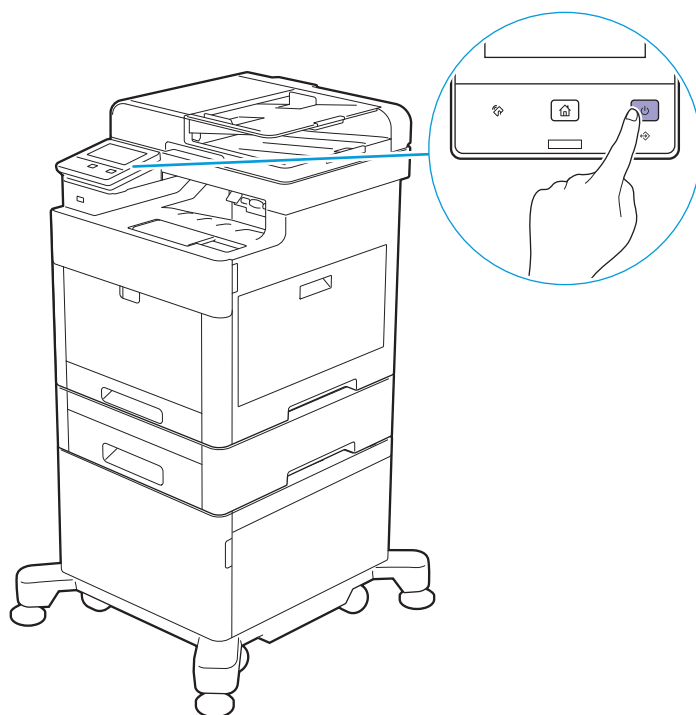


トレイモジュール (トレイ 2) (オプション) と専用キャビネット (オプション) を取り外す

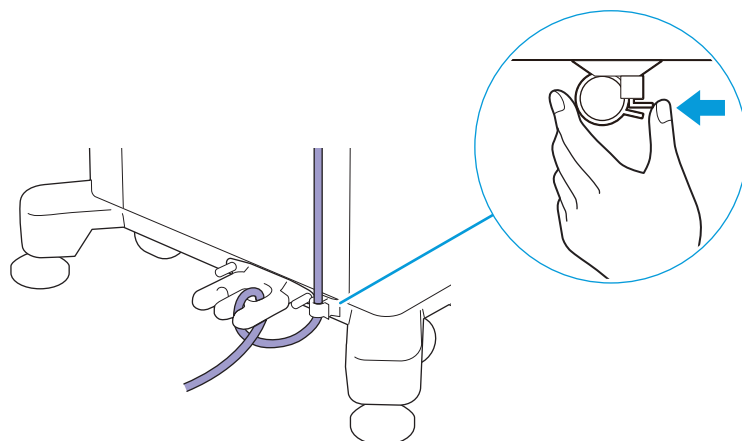
1. 本機の電源を切ります。



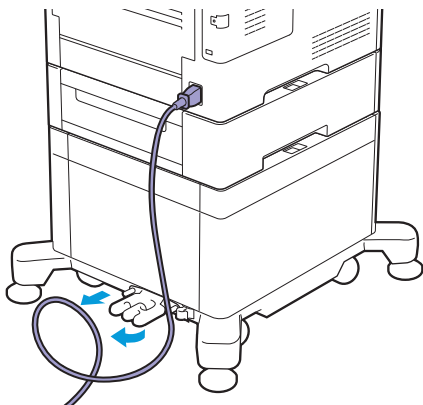
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。



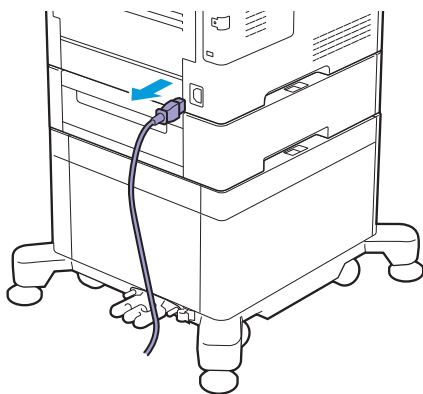
2. ケーブル固定具のツメを押して固定具を開き、電源コードを取り外します。



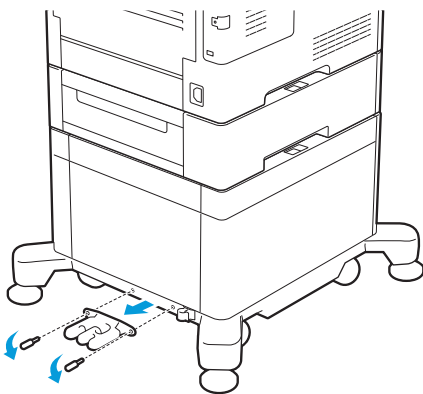
3. ケーブルフックから電源コードを取り外します。



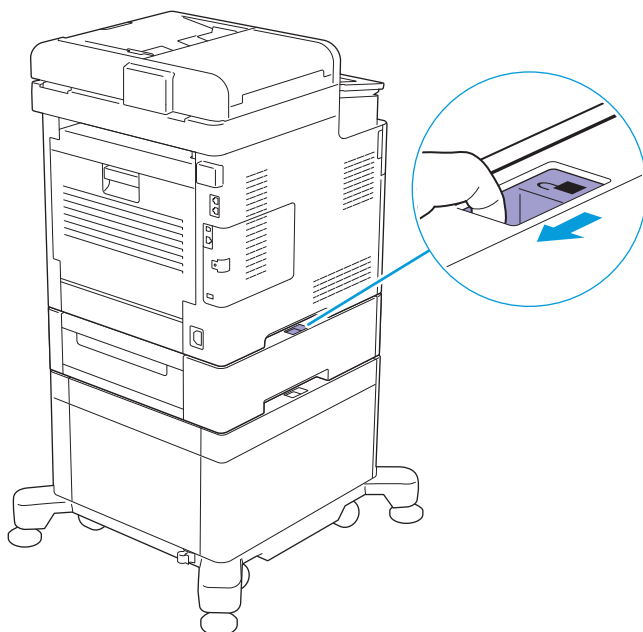
4. 電源コードを抜き、本機の背面からすべてのケーブルを取り外します。



5. ケーブルフックを留めている2つのねじを緩め、フックを専用キャビネット（オプション）から取り外します。



6. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のロックスイッチをスライドさせ、ロックを外します。

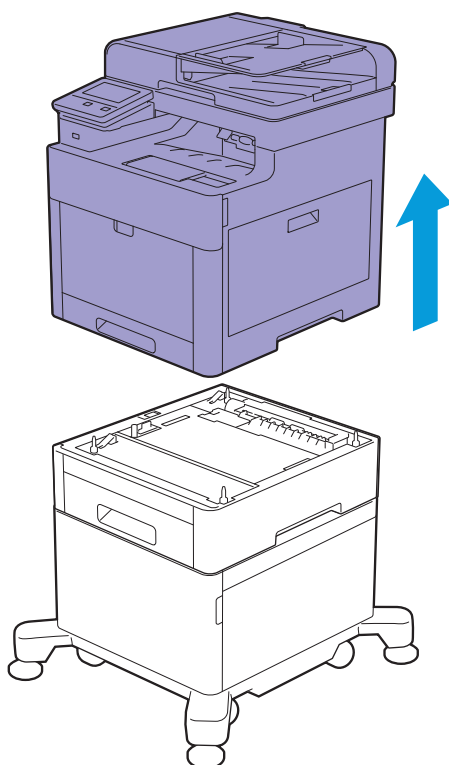


7. 本機をゆっくりとトレイモジュール（トレイ2）（オプション）から持ち上げて、平らな場所に置きます。

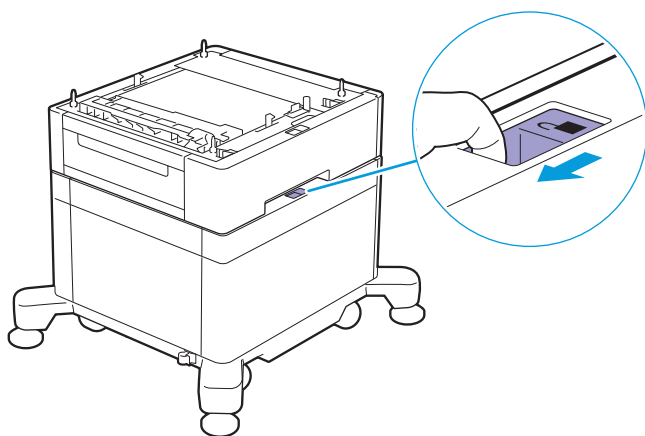


注記

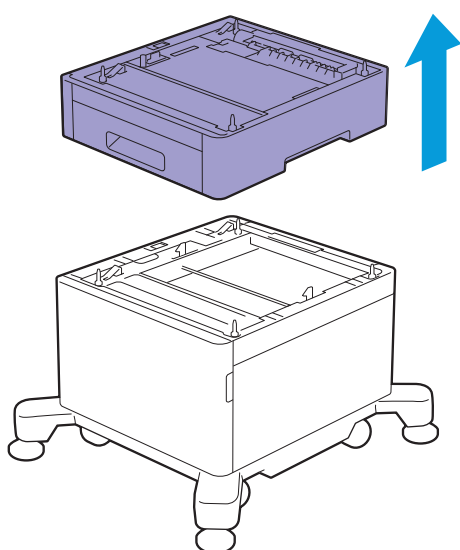
・必ず2人で持ち上げてください。



- 8.** 専用キャビネット（オプション）のロックスイッチをスライドさせ、ロックを外します。



- 9.** トレイモジュール（トレイ2）（オプション）をゆっくりと専用キャビネット（オプション）から持ち上げて、平らな場所に置きます。

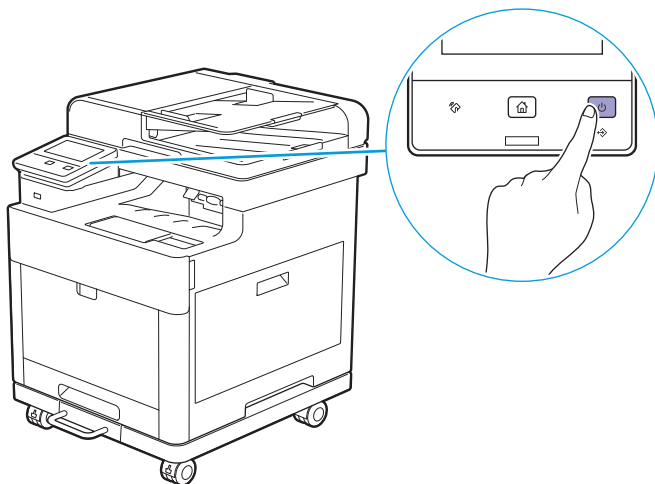


専用キャスター台（オプション）を取り外す

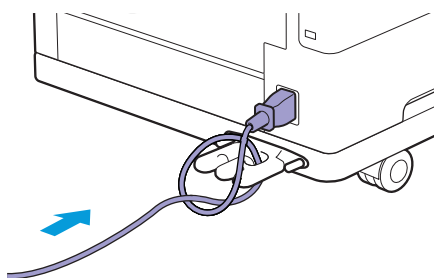
1. 本機の電源を切ります。



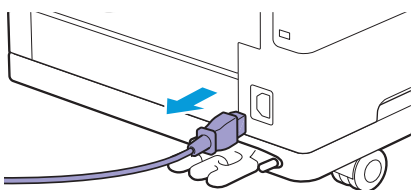
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。



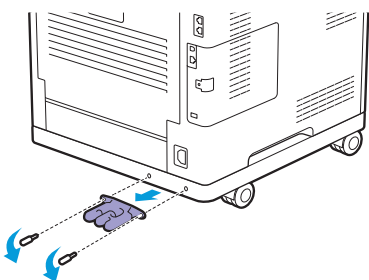
2. 電源コードをケーブルフックから取り外します。



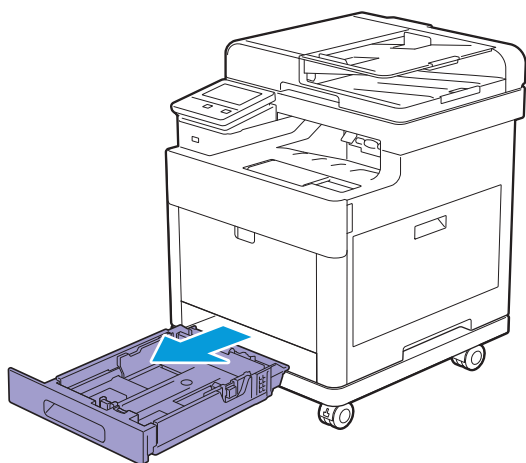
3. 電源コードを抜き、すべてのケーブルを本機の背面から取り外します。



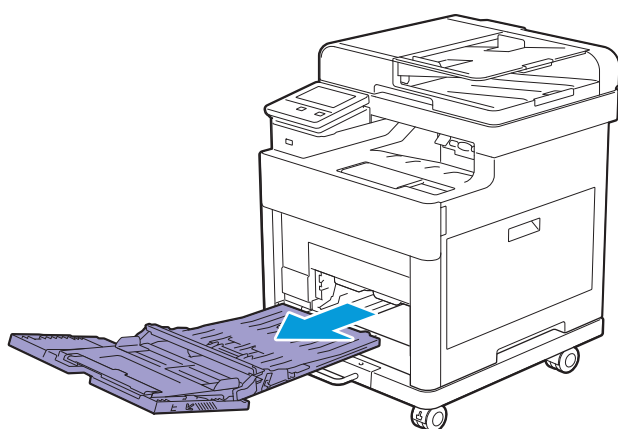
4. ケーブルフックを留めている2つのねじを緩め、フックを専用キャスター台から取り外します。



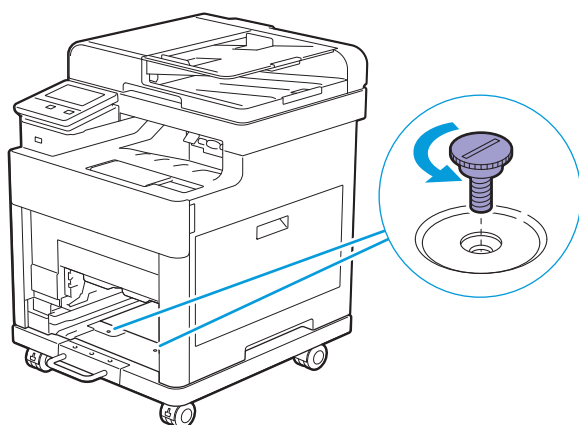
5. トレイ1を本機から取り外します。



6. 手差しトレイを本機から取り外します。



7. 専用キャスター台を留めている2つのねじを緩めます。

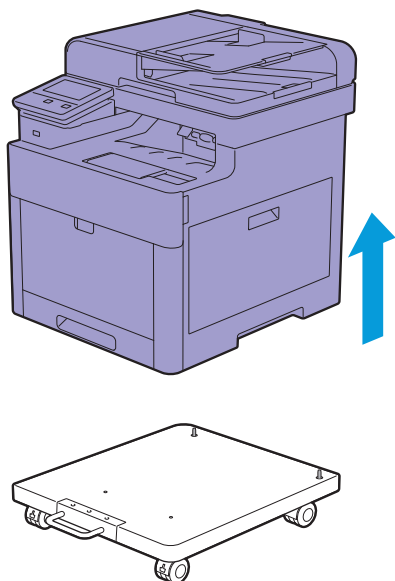


8. 本機をゆっくりと専用キャスター台から持ち上げて、平らな場所に置きます。

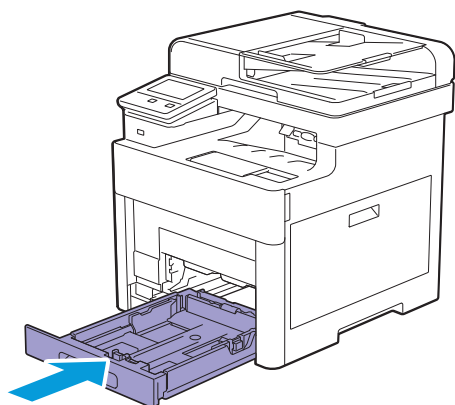


注記

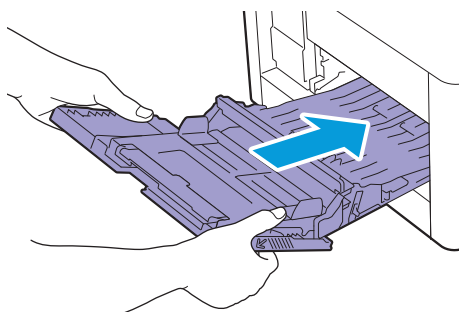
・必ず2人で持ち上げてください。



9. トレイ1を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



10. 手差しトレイを本機に差し込みます。



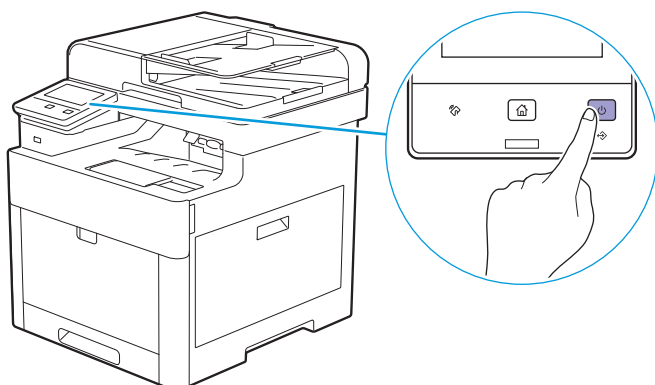
Wi-Fi アダプターを取り外す

1. 本機の電源を切ります。

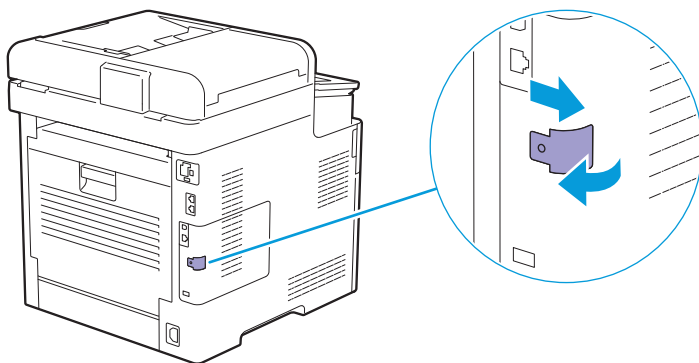


参照

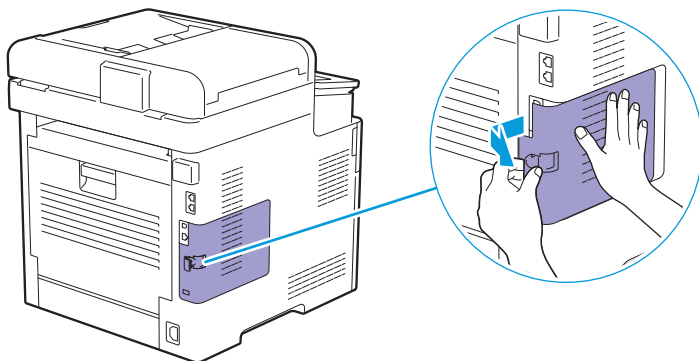
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.21)」を参照してください。



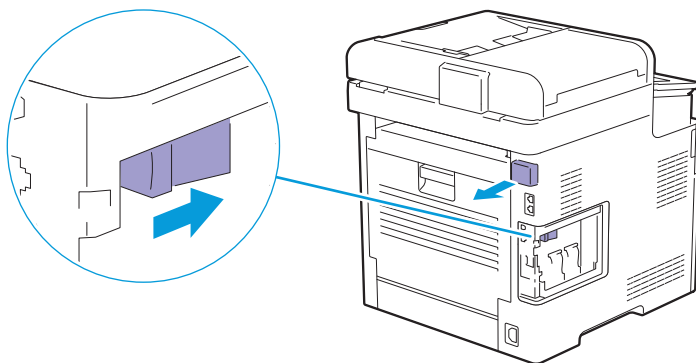
2. ラッチを右にスライドさせ、手前に開きます。



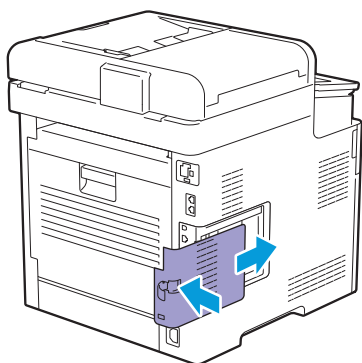
3. カバーを片方の手で押えながら、もう一方の手でラッチを手前に引き、カバーを取り外します。



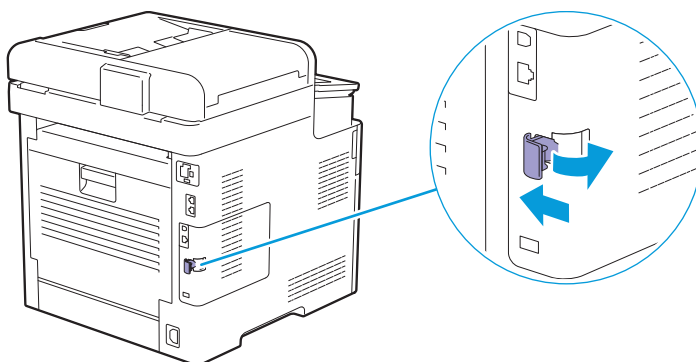
4. レバーを本機の前方向に押し、Wi-Fiアダプターを引き出します。



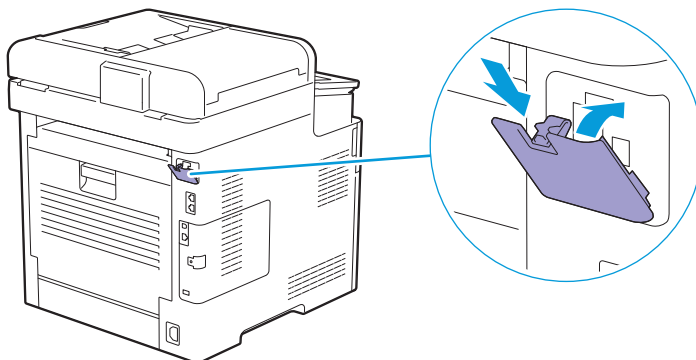
5. カバーを取り付け、カバーを本機の前方向にスライドさせます。



6. ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。



7. Wi-Fiアダプターソケットのカバーを取り付けます。



最新のソフトウェアを入手する

最新のソフトウェアは弊社公式サイトからダウンロードできます。

ここでは、Windows® 7およびWindows® 10を例に手順を説明します。



・通信費用はおお客様の負担になりますのでご了承ください。

1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
Windows® 10の場合は、スタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
3. [プリンター構成] タブ > [バージョン情報] をクリックします。
4. [NECホームページ] をクリックします。
Webブラウザが起動し、弊社公式サイトが表示されます。
5. 表示されるサイト上の指示に従って、必要なソフトウェアをダウンロードします。



- ・ダウンロードサイトのアドレス（URL）は次のとおりです。
<http://jpn.nec.com/prINTER/laser/download/>
- ・ソフトウェア機能の最新情報については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

本機のファームウェアを更新する

弊社公式サイトでは、本機のファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）をお使いのコンピュータから更新できるツールを提供しています。

最新のファームウェアおよび更新ツールは、次のURLからダウンロードできます。

<http://jpn.nec.com/prINTER/laser/download/>

表示されるサイト上の指示に従って、必要なファームウェアや更新ツールをダウンロードしてください。



- ・通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

工場出荷時の状態に戻す

初期化操作後に本機を再起動すると、アドレス帳と一部のメニュー設定が工場出荷時の設定に初期化されます。

ただし、次の設定は初期化されません。

- ・ ネットワーク設定
- ・ [パネルロック] 設定とパスワード
- ・ [サービスロック] 内にある [コピー]、[スキャナー (メール送信)]、[ファクス]、[スキャナー (ネットワーク)]、[スキャナー (PC/WSD)]、[PC スキャン]、[スキャナー (USB 保存)]、および [USB ダイレクトプリント] の各設定とパスワード
- ・ [セキュリティーファクス受信] 設定とパスワード
- ・ [認証失敗アクセス拒否] 設定
- ・ [ポート設定] 設定
- ・ [プリント集計管理] 設定
- ・ [未認証ユーザーのプリント] 設定

設定を初期化するには、次の手順を実行します。

1.  〈ホーム〉 ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [メンテナンス] > [NVMの初期化] をタップします。
4. 初期化する設定をタップします。



参照

・ 設定については、「[NVMの初期化] (P.86)」を参照してください。

5. [スタート] をタップします。

